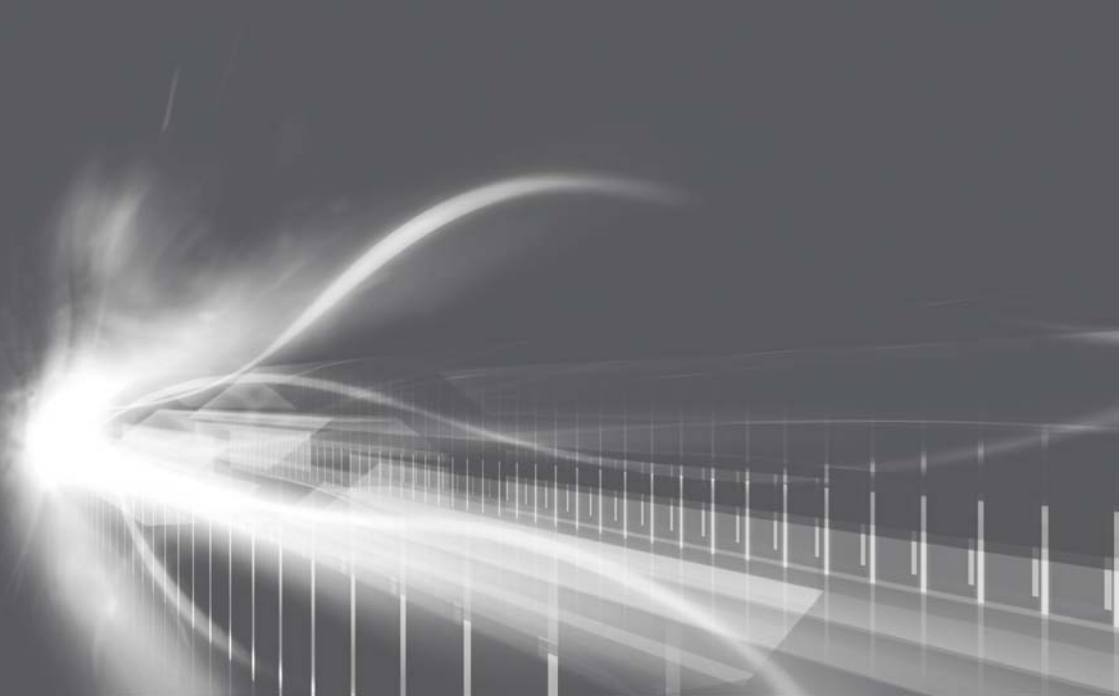


マルチメディア

取 扱 書

よくお読みになってご使用ください。
取扱書は車の中に保管しましょう。

RAV4

TOYOTA

クイックガイド	・本機の基本操作について	1
本機の操作	・各機能を使用する前に知っておきたいこと ・Bluetooth や Wi-Fi® を本機で使用するには	2
オーディオ＆ ビジュアル	・ラジオを聴くには ・音楽や映像を楽しむには	3
周辺監視	・車両周囲の状況を確認するには	4
ハンズフリー	・携帯電話をハンズフリーで使用するには	5
T-Connect	・T-Connect を利用するには	6
さくいん	・五十音で検索 ・アルファベットで検索	

知っておいていただきたいこと.....4
本書の見方.....6
検索のしかた.....7

1 クイックガイド

1-1. 基本操作
ディスプレイと操作スイッチ..... 10
メニュー画面について 15
ステータスアイコンについて..... 17
設定画面について 20
情報画面について 21

2 本機の操作

2-1. お使いになる前に
初期画面について 24
タッチスクリーンを操作する..... 25
Home 画面 27
文字・数字を入力する／リスト画面を操作する 29
画面の調整・設定を変更する..... 34
マルチインフォメーションディスプレイとマルチメディアの連携..... 35
2-2. ネットワークの設定
Bluetooth 機器を接続する 36
Bluetooth の設定をする 38
Wi-Fi® ネットワークに接続する .. 44
2-3. SmartDeviceLink ™ Apps
SmartDeviceLink ™ Apps 50
SmartDeviceLink ™ Apps の設定をする..... 53
知っておいていただきたいこと.... 54
2-4. Apple CarPlay/Android Auto
Apple CarPlay / Android Auto 55
知っておいていただきたいこと.... 59
2-5. その他の設定
共通設定を変更する 61
音声の設定をする 68
車両設定を変更する 69

3 オーディオ＆ビジュアル

3-1. はじめに
基本操作をする.....74
3-2. ラジオを聞く
ラジオを操作する.....80
3-3. メディアを操作する
地上デジタルテレビを視聴する.....82
USB メモリーを操作する.....92
iPod/iPhone（Apple CarPlay）を操作する.....95
Android Auto を操作する 98
Bluetooth オーディオを操作する99
Miracast® を操作する 102
3-4. ステアリングスイッチで操作する
ステアリングスイッチで操作する 104
3-5. オーディオの設定をする
オーディオの設定をする 105
3-6. オーディオ＆ビジュアルで使用できるメディア／データについて
オーディオ＆ビジュアルで使用できるメディア／データについて..... 106

4 周辺監視

4-1. バックガイドモニター
バックガイドモニターについて. 130
並列駐車をする（予想進路線表示モード）..... 133
並列駐車をする（駐車ガイド線表示モード）..... 135
バックガイドモニターの注意点について 137
知っておいていただきたいこと. 141

4-2. パノラミックビューモニター

パノラミックビューモニターについて 143
シースルービュー／ムービングビューについて 146
パノラミックビュー＆ワイドフロントビューについて 148
両サイドビューについて 151
パノラミックビュー＆バックビュー／ワイドバックビュー／バックビューについて 154
ドアミラー格納時の表示について 162
拡大機能について（パノラミックビュー） 164
パノラミックビューモニターの注意点について 165
知っておいていただきたいこと . 176

5 ハンズフリー

5-1. お使いになる前に

ハンズフリーについて 180
ハンズフリーの準備をする 183

5-2. ハンズフリーの基本操作

ステアリングスイッチで操作する 185
電話をかける 185
電話を受ける 188

5-3. ハンズフリーの便利な使い方

色々な方法で電話をかける 190
通話中の操作 191

5-4. ハンズフリーの設定を変更する

電話の設定・編集をする 195

5-5. こんなときは

知っておいていただきたいこと . 202

6 T-Connect

6-1. はじめに

ご利用の前に知っておいていただきたいこと 208
T-Connect について 211

6-2. 各種手続きをする

利用手続きをする 213

6-3. スマートフォンやパソコンで利用する

スマートフォンやパソコンで利用する 216

6-4. サービスの使い方

ヘルプネット（エアバッグ連動タイプ） 217
マイカーサーチ／マイカーサーチ Plus 233
リモートメンテナンスメール／ e ケア／マイカーカスタマイズ 239

6-5. こんなメッセージが表示されたときは

こんなメッセージが表示されたときは 241

さくいん

五十音順さくいん 244
アルファベット順さくいん 248

知っておいていただきたいこと

本書の内容について

- 本書は、車両本体の取扱書および、「ナビゲーション取扱書 ※」とあわせてお読みください。
- トヨタ販売店で取り付けられた装備（販売店装着オプション）の取り扱いについては、その商品に付属の取扱説明書をお読みください。
- ご不明な点は、担当営業スタッフにおたずねください。
- 本書の内容は、仕様変更やソフトウェアの更新などによりお車と一致しない場合があります。あらかじめご了承ください。
- 本書の画面と実際の画面は、装備や契約の有無・地図データの作成時期等によって異なります。
- 操作状況によっては、画面の切り替えに時間がかかったり、黒画やちらつきが生じることがあります。
- 2 章の「本機の操作」には、各機能共通の操作内容、およびはじめに設定しておくと便利なことがまとめられています。本機を初めてお使いになる際は、この章からお読みになることをおすすめします。
- 本書に記載されている会社名・商品名等は、各社の商標及び登録商標です。

※ エントリーナビキット装着車／ T-Connect ナビキット装着車

ナビゲーションについて ※

※ エントリーナビキット装着車／ T-Connect ナビキット装着車

ナビゲーションは、あくまで走行の参考として地図と音声で案内するものですが、精度により、まれに不適切な案内をすることがあります。案内ルートを走行するときは、必ず実際の交通規制（一方通行など）にしたがってください。

ナビゲーション機能の説明は、別冊「ナビゲーション取扱書」をご覧ください。

データの補償に関する免責事項について

本機は各種データを内蔵メモリーに保存します。本機の故障・修理、誤作動、または不具合等により、メモリーに保存されたデータ等が変化・消失することがあります。

お客様がメモリーに保存されたデータについて、正常に保存できなかった場合や損失した場合のデータの補償、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

12V バッテリーの取りはずしについて

本機はエンジンスイッチ＜パワースイッチ＞を OFF にするごとに、各種データを本機に保存しています。各種データの保存が終わる前に 12V バッテリーターミナルを取りはずすと、データが正常に保

存できないことがあります。詳しくは、トヨタ販売店にお問い合わせください。

リコール等の大切なお知らせについて ※

※ T-Connect ナビキット装着車

トヨタまたはトヨタ販売店からリコール情報等、お車に関する大切なお知らせを T-Connect 利用契約の有無にかかわらず、通信モジュール（DCM）を利用して、リモートメンテナンスメールによりお送りする場合があります。あらかじめご了承ください。

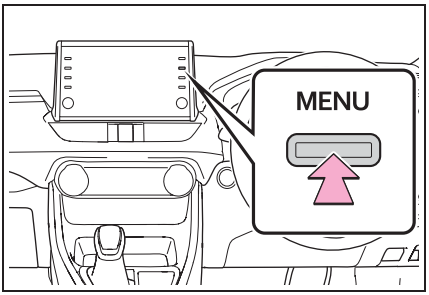
本書の見方

本書で使用している記号について説明します。

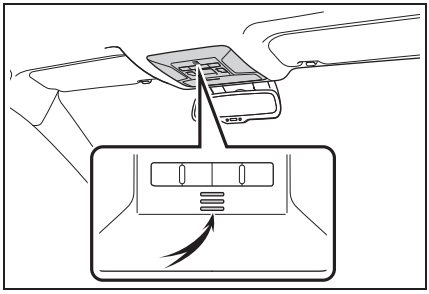
本文の記号について

記号	意味
⚠	警告： お守りいただかないと、お客様自身と周囲の人々が死亡、または重大な傷害につながるおそれがあることを説明しています。
⚠	注意： お守りいただかないと、車や装備品の故障や破損につながるおそれがあることを説明しています。
1 2 3…	操作・作業の手順を示しています。番号の順に従ってください。
📖	機能や操作方法の説明以外で知っておいていただきたい、知っておくと便利なことを説明しています。

イラスト上の記号について



記号	意味
➡	押す、まわすなど、していただきたい操作を示しています。



記号	意味
➡	説明の対象となるもの・場所を示しています。

ガソリン車／ハイブリッド車の表現の違いについて

ハイブリッド車特有の語句はガソリン車特有の語句の後ろに書かれています。

例：エンジンスイッチ ※1 ＜パワースイッチ＞ ※2 を ON にします。

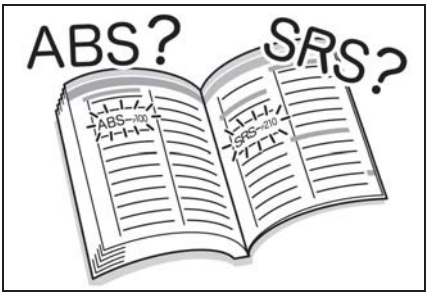
※1 ガソリン車

※2 ハイブリッド車

検索のしかた

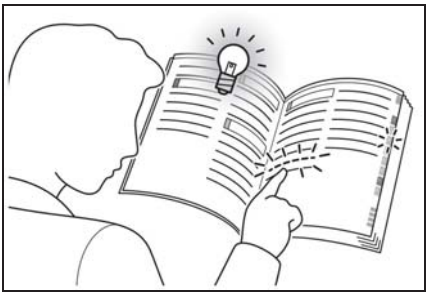
■ 名称から探す

●五十音順さくいん：→P.244
●アルファベット順さくいん：
→P.248



■ タイトルから探す

●目次：→P.2



クイックガイド 1

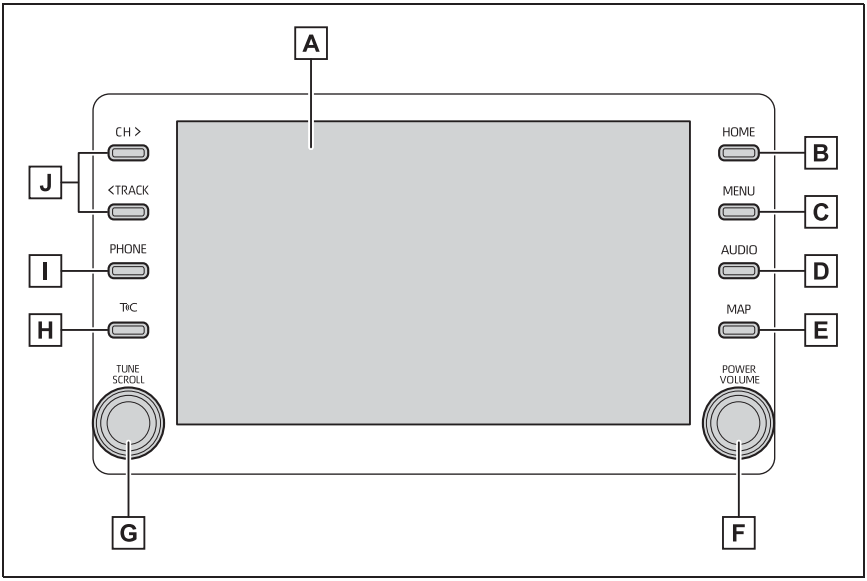
1-1. 基本操作

ディスプレイと操作スイッチ 10
メニュー画面について 15
ステータスアイコンについて 17
設定画面について 20
情報画面について 21

ディスプレイと操作スイッチ

各部の操作

▶ エントリーナビキット非装着車／ T-Connect ナビキット非装着車（8インチディスプレイ）



A ディスプレイ

B Home 画面を表示します。（→P.27）

C メニュー画面を表示します。（→P.15）

D オーディオ操作画面を表示します。（→P.74）

E Apple CarPlay/Android Auto/SmartDeviceLink™ のナビアプリ画面を表示します。（→P.50、55）

F オーディオの電源を ON/OFF します。音量を調整します。（→P.74）

G 曲の選曲やファイルの選択、ラジオ・テレビの放送局を周波数ごとに変えます。（→P.80、82、92、95、98、99）

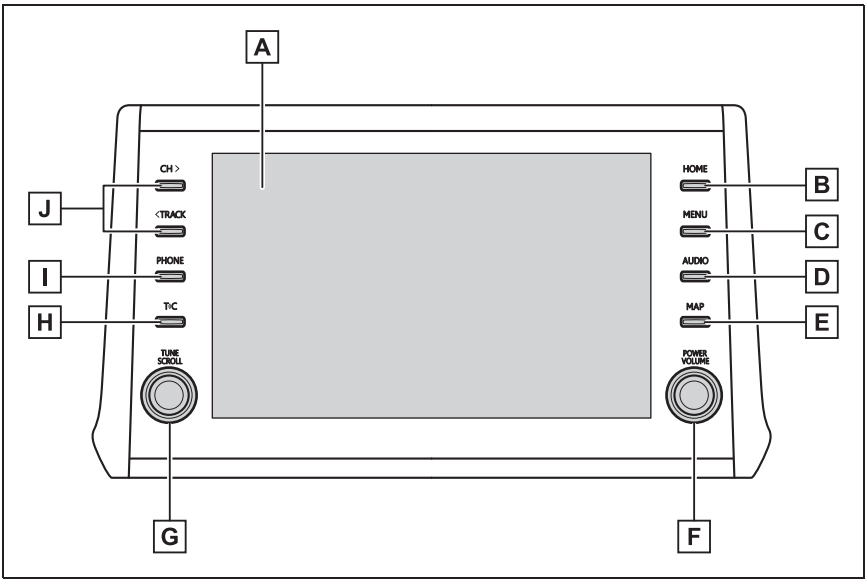
H SmartDeviceLink ™ Apps 画面を表示します。（→P.50）

I ハンズフリー操作画面を表示します。（→P.185）

Apple CarPlay 接続中のときは、Apple CarPlay の電話アプリ画面を表示します。（→P.55）

J 曲の選曲やファイルの選択、ラジオ・テレビの放送局をプリセットスイッチごとに変えます。（→P.80、82、92、98）

▶ エントリーナビキット非装着車／ T-Connect ナビキット非装着車（9インチディスプレイ）



A ディスプレイ

B Home 画面を表示します。（→P.27）

C メニュー画面を表示します。（→P.15）

D オーディオ操作画面を表示します。（→P.74）

E Apple CarPlay/Android Auto/SmartDeviceLink™ のナビアプリ画面を表示します。（→P.50、55）

F オーディオの電源を ON/OFF します。音量を調整します。（→P.74）

G 曲の選曲やファイルの選択、ラジオ・テレビの放送局を周波数ごとに変えます。（→P.80、82、92、95、98、99）

H SmartDeviceLink ™ Apps 画面を表示します。（→P.50）

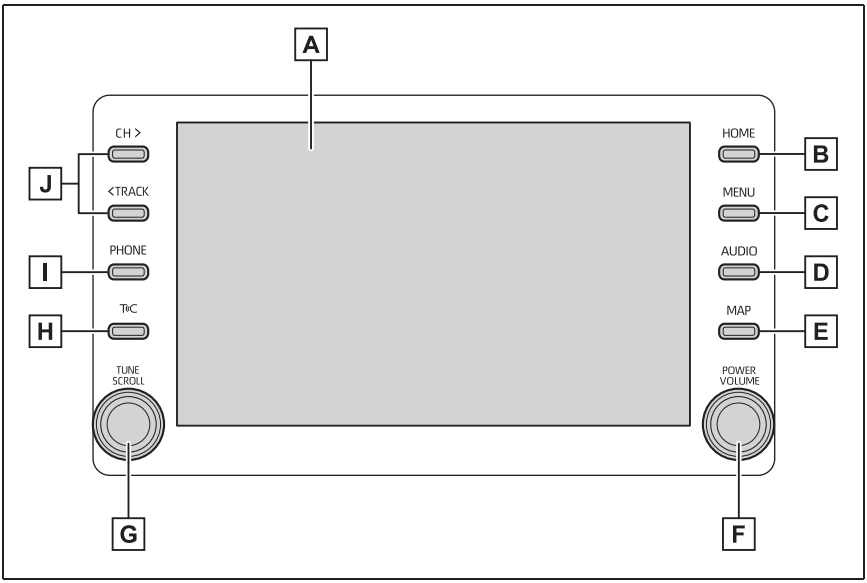
I ハンズフリー操作画面を表示します。（→P.185）

Apple CarPlay 接続中のときは、Apple CarPlay の電話アプリ画面を表示します。（→P.55）

J 曲の選曲やファイルの選択、ラジオ・テレビの放送局をプリセットス

イッチごとに変えます。（→P.80、82、92、98）

▶ エントリーナビキット装着車／ T-Connect ナビキット装着車（8 インチディスプレイ）



A ディスプレイ

B Home 画面を表示します。（→P.27）

C メニュー画面を表示します。（→P.15）

D オーディオ操作画面を表示します。（→P.74）

E ナビゲーション画面で現在地を表示します。もう一度音声案内を聞きます。※1

F オーディオの電源を ON/OFF します。音量を調整します。（→P.74）

G 曲の選曲やファイルの選択、ラジオ・テレビの放送局を周波数ごとに変えます。（→P.80、82、92、95、98、99）

H T-Connect※1, 2/SmartDeviceLink ™ Apps 画面を表示します。（→P.50）

I ハンズフリー操作画面を表示します。（→P.185）

Apple CarPlay 接続中のときは、Apple CarPlay の電話アプリ画面を表示します。（→P.55）

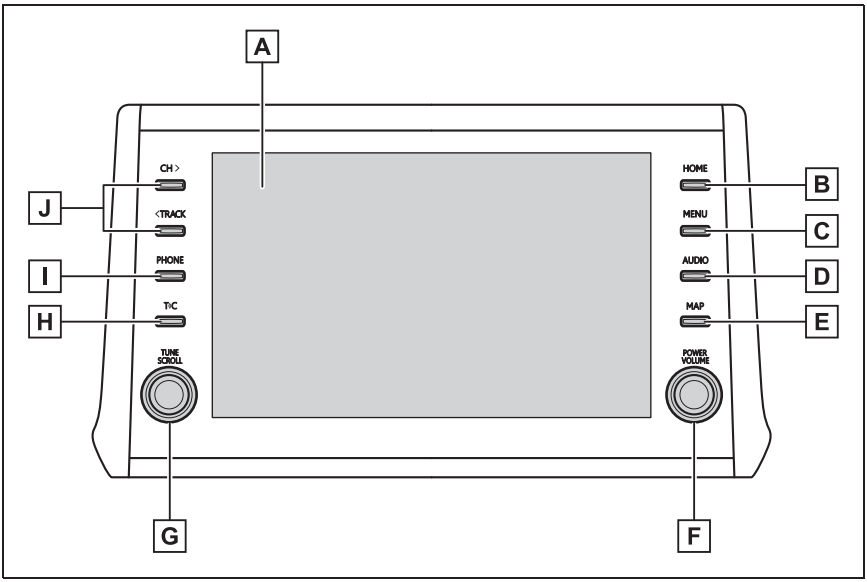
J 曲の選曲やファイルの選択、ラジオ・テレビの放送局をプリセットス

イッチごとに変えます。（→P.80、82、92、98）

※1詳細は、別冊「ナビゲーション取扱書」をご覧ください。

※2T-Connect ナビキット装着車

▶ エントリーナビキット装着車／ T-Connect ナビキット装着車（9 インチディスプレイ）



A ディスプレイ

B Home 画面を表示します。（→P.27）

C メニュー画面を表示します。（→P.15）

D オーディオ操作画面を表示します。（→P.74）

E ナビゲーション画面で現在地を表示します。もう一度音声案内を聞きます。※1

F オーディオの電源を ON/OFF します。音量を調整します。（→P.74）

G 曲の選曲やファイルの選択、ラジオ・テレビの放送局を周波数ごとに変えます。（→P.80、82、92、95、98、99）

H T-Connect※1, 2/SmartDeviceLink ™ Apps 画面を表示します。（→P.50）

I ハンズフリー操作画面を表示します。（→P.185）

Apple CarPlay 接続中のときは、Apple CarPlay の電話アプリ画面を表示します。

（→P.55）

J 曲の選曲やファイルの選択、ラジオ・テレビの放送局をプリセットスイッチごとに変えます。（→P.80、82、92、98）

※1詳細は、別冊「ナビゲーション取扱書」をご覧ください。

※2T-Connect ナビキット装着車

知識

- －20 ℃以下の低温時には、画面の操作ができなくなります。
- 液晶画面は、斜め方向から見ると画面が白っぽく見えたり、黒っぽく見えたりします。
- 太陽の光などの外光が画面に当たると画面が見にくくなります。
- 偏光レンズを使用したサングラスなどを装着すると、画面が暗く見えたり、見にくくなったりします。

警告

- 安全のため、運転者は走行中に極力操作をしないでください。走行中の操作はハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。車を停車させてから操作をしてください。なお、走行中に画面を見るときは、必要最小限の時間にしてください。
- 走行するときは、必ず実際の交通規制にしたがうとともに、道路状況に即した運転を心がけてください。
エントリーナビキット装着車／T-Connect ナビキット装着車：目的地案内で表示されるルートは、規制標識の変更などにより車両進入禁止などのルートや、道幅が狭く通行できないルートが表示されることがあります。

注意

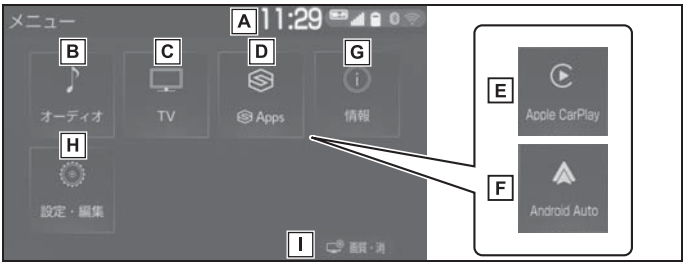
- 画面のよごれは、プラスチックレンズ用メガネふきなどの柔らかく乾いた布で軽くふき取ってください。
手で強く押したり、かたい布などでこすると表面に傷がつくことがあります。また、液晶画面はコーティング処理してあります。ベンジンやアルカリ性溶液などが付着すると画面が損傷するおそれがあります。
- 12V バッテリー上がりを防ぐため、エンジン＜ハイブリッドシステム＞停止中に長時間使用しないでください。

メニュー画面について

“MENU” スイッチを押すと、メニュー画面が表示されます。

メニュー画面の操作

▶ エントリーナビキット非装着車／ T-Connect ナビキット非装着車



A 時計表示。選択すると時計設定画面を表示します。（→P.62）

B オーディオ操作画面を表示します。（→P.74）

C 地上デジタルテレビを表示します。※（→P.82）

D SmartDeviceLink ™ Apps 画面を表示します。（→P.50）

E Apple CarPlay 操作画面を表示します。（→P.55）

F Android Auto 操作画面を表示します。（→P.55）

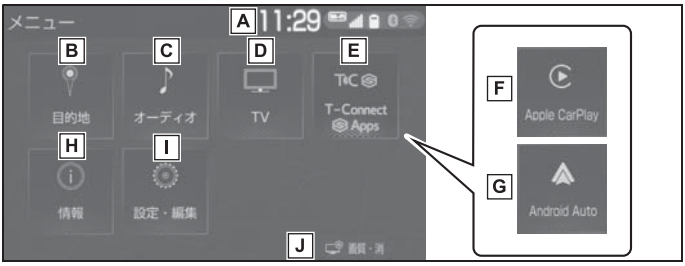
G 情報画面を表示します。（→P.21）

H 設定・編集画面を表示します。（→P.20）

I コントラスト、明るさを調整します。（→P.34）

※ 別途、契約（有料）が必要となりますので、詳しくはトヨタ販売店へお問い合わせください。

▶ エントリーナビキット装着車／ T-Connect ナビキット装着車



A 時計表示。選択すると時計設定画面を表示します。（→P.62）

B 目的地を設定します。※1

C オーディオ操作画面を表示します。（→P.74）

D 地上デジタルテレビを表示します。※2（→P.82）

E T-Connect※1, 3/SmartDeviceLink ™ Apps 画面を表示します。（→P.50）

F Apple CarPlay 操作画面を表示します。（→P.55）

G Android Auto 操作画面を表示します。（→P.55）

H 情報画面を表示します。（→P.21）

I 設定・編集画面を表示します。（→P.20）

J コントラスト、明るさを調整します。（→P.34）

※1詳細は、別冊「ナビゲーション取扱書」をご覧ください。

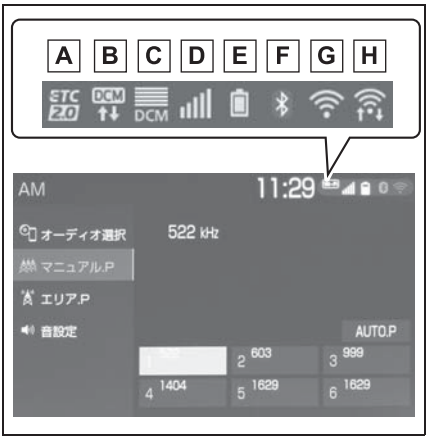
※2別途、契約（有料）が必要となりますので、詳しくはトヨタ販売店へお問い合わせください。

※3T-Connect ナビキット装着車

ステータスアイコンについて

ステータスアイコンは、画面上部に表示されます。

ステータスアイコンの説明



A ETC/ETC2.0 表示 ※1,2

・有効期限内の ETC カードが挿入されている場合に表示します。

B 通信モジュール（DCM）の通信状態を表示します。

・通信中は矢印マークを点滅表示します。

C 通信モジュール（DCM）の受信レベルを表示します。（→P.17）

D Bluetooth 接続されている携帯電話の受信レベルを表示します。（→P.17）

E Bluetooth 接続されている携帯電話の電池残量を表示します。（→P.18）

F Bluetooth 接続されている携帯電話の接続状態を表示します。（→P.18）

G Wi-Fi® の受信レベルを表示します。※3

H Miracast® の Wi-Fi® 接続（P2P モード）通信中に受信レベルを表示します。（→P.17）

※1 詳細は、別冊「ナビゲーション取扱書」をご覧ください。

※2 ETC 車載器（ビルトイン）ナビキット連動タイプ装着車／ ETC2.0 ユニット（ビルトイン）ナビキット連動タイプ装着車（光ビーコン機能付）

※3 T-Connect ナビキット装着車

知識

●表示する画面によりステータスアイコンの表示できる数が異なります。最大 5 つまで表示されます。

受信レベル表示について

電波の受信レベルの目安を表示します。ただし、携帯電話を使用する場合、データ通信中および電話帳データの転送中は表示されないことがあります。

▶ 携帯電話

レベル	表示
圏外	
弱	
強	

▶ 通信モジュール（DCM）

レベル	表示
圏外	
弱	
強	

▶ Wi-Fi®

レベル	表示
圏外／未接続	
弱	
強	

▶ Miracast®

レベル	表示
未接続	
弱	
強	

知識

● ／ の表示が出ているときは、サービスエリア外または電波の届かない場所にいます。この場合は、携帯電話本体も使用できない可能性があります。 ／ の表示が消えるところまで移動してください。

● 携帯電話をハンズフリーで使用する場合は、次の点にも注意してください。
・ 受信レベルは携帯電話の表示と一致しないことがあります。
・ 機種によっては、受信レベルの表示ができないことがあります。
・ の表示が出ているときは、携帯電話が本機に接続されていません。ハンズフリーを利用する場合は、Bluetooth 接続してからご利用ください。

● Wi-Fi® の受信レベルが弱い場合、使用できないことがあります。

● Wi-Fi®/Miracast® 機能がオフのときには、ステータスアイコンは表示されません。

電池残量表示について（携帯電話使用時）

携帯電話の電池残量の目安を表示します。ただし、データ通信中および電話帳データの転送中は表示されないことがあります。

残量	表示
無	
少	
多	

知識

● Bluetooth 接続されている携帯電話の電池残量表示は携帯電話の表示と一致しないことがあります。また、機種によっては、電池残量の表示ができないことがあります。

● 本システムには携帯電話の充電機能はありません。（Bluetooth 接続時）

Bluetooth 機器の接続状態表示について

携帯電話の Bluetooth 接続状態を表示します。

表示	接続状態
（青色）	Bluetooth 接続の状態が良好であることを示しています。この状態で携帯電話をご使用ください。
（灰色）	この状態では通話時に音質が劣化することがあります。表示が青色になるまで、携帯電話を移動してご使用ください。
	携帯電話が Bluetooth 接続されていない状態を示しています。この状態では携帯電話をハンズフリーで使用できませんので、再度、携帯電話の選択をご確認ください。（→P.38）携帯電話の登録がされていない場合は、登録を行ってからご使用ください。（→P.36）

知識

●Bluetooth 通信用の車両側アンテナが本機内に内蔵されています。
Bluetooth 接続されている携帯電話を使用するときは、青色の表示が出るように、携帯電話の場所を移動させてください。
また、次のような場所や状態で Bluetooth 接続されている携帯電話を使用すると、Bluetooth の接続ができないことがあったり、携帯電話の Bluetooth 接続状態表示が灰色になることがあります。

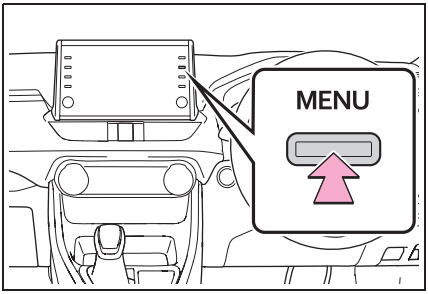
・携帯電話がディスプレイから隠れる場所にあるとき
（携帯電話がシートのうしろや下にあるとき、またはグローブボックス内やコンソールボックス内にあるときなど）
・携帯電話が金属製のものに接したり、覆われているとき

●携帯電話を省電力モードに設定していると、自動的に Bluetooth 接続が切断されてしまうことがあります。この場合は、携帯電話の省電力モードを解除してください。

設定画面について

設定・編集画面を表示する

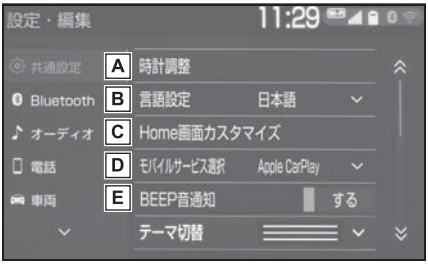
1 “MENU” スイッチを押す。



2 “設定・編集” を選択。

3 希望の項目を選択。

▶ エントリーナビキット非装着車／T-Connect ナビキット非装着車



A 共通の設定を変更します。（→P.61）

B Bluetooth の設定をします。（→P.38）

C オーディオシステムの設定をします。（→P.105）

D ハンズフリーシステムの設定をします。（→P.195）

E 車両の設定をします。（→P.69）

F Wi-Fi® の設定をします。（→P.44）

G SmartDeviceLink ™ Apps の設定をします。（→P.50）

H 音声の設定をします。（→P.68）

▶ エントリーナビキット装着車／T-Connect ナビキット装着車

A 共通の設定を変更します。（→P.61）

B Bluetooth の設定をします。（→P.38）

C オーディオシステムの設定をします。（→P.105）

D ハンズフリーシステムの設定をします。（→P.195）

E ナビゲーションシステムの設定をします。※1

F 車両の設定をします。（→P.69）

G Wi-Fi® の設定をします。（→P.44）

H T-Connect※1, 3/ SmartDeviceLink ™ Apps の設定をします。（→P.50）

I 音声認識の設定をします。※1

J ETC/ETC2.0 の設定をします。※1, 2

※1詳細は、別冊「ナビゲーション取扱書」をご覧ください。

※2ETC 車載器（ビルトイン）ナビキット連動タイプ装着車／ ETC2.0 ユニット（ビルトイン）ナビキット連動タイプ装着車（光ビーコン機能付）

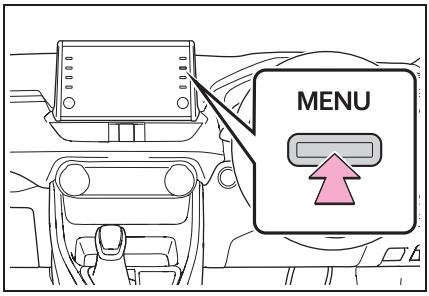
※3T-Connect ナビキット装着車

情報画面について ※

※ エントリーナビキット装着車／ T-Connect ナビキット装着車

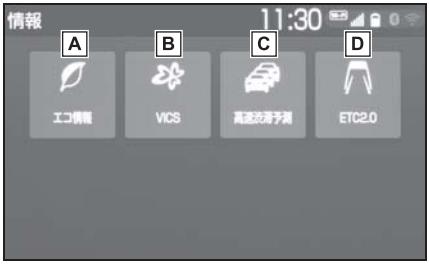
情報画面を表示する

1 “MENU” スイッチを押す。



2 “情報” を選択。

3 希望の項目を選択。



A エネルギーモニターや燃費情報画面を表示します。※1

B VICS 図形情報、文字情報を表示します。※2
緊急情報を表示します。※2
割込情報を表示します。※2, 3
ETC2.0 サービス割込情報を表示します。※2, 3

C 高速渋滞予測情報を表示します。※4

D ETC/ETC2.0 画面を表示します。※2, 5

※1詳細は、別冊「取扱書」をご覧ください。

※2詳細は、別冊「ナビゲーション取扱書」をご覧ください。

※3ETC2.0 （ビルトイン）ナビ連動タイプ装着車

※4T-Connect ナビキット装着車

※5ETC 車載器（ビルトイン）ナビキット連動タイプ装着車／ ETC2.0 ユニット（ビルトイン）ナビキット連動タイプ装着車（光ビーコン機能付）

本機の操作 2

2-1. お使いになる前に

初期画面について 24

タッチスクリーンを操作する 25

Home 画面..... 27

文字・数字を入力する／リスト画面を操作する 29

画面の調整・設定を変更する 34

マルチインフォメーションディスプレイとマルチメディアの連携 .. 35

2-2. ネットワークの設定

Bluetooth 機器を接続する 36

Bluetooth の設定をする 38

Wi-Fi® ネットワークに接続する 44

2-3. SmartDeviceLink ™ Apps

SmartDeviceLink ™ Apps..... 50

SmartDeviceLink ™ Apps の設定をする 53

知っておいていただきたいこと . 54

2-4. Apple CarPlay/Android Auto

Apple CarPlay / Android Auto 55

知っておいていただきたいこと . 59

2-5. その他の設定

共通設定を変更する..... 61

音声の設定をする 68

車両設定を変更する..... 69

初期画面について

エンジンスイッチ＜パワースイッチ＞を ACC または ON にすると初期画面が表示されます。

メンテナンスの案内表示について ※

※ エントリーナビキット装着車／ T-Connect ナビキット装着車

オイルなどの消耗部品の交換時期・各種点検時期・免許証の更新などのイベント時期の案内を行う機能です。

各メンテナンス項目について、あらかじめ設定した日付や走行距離に達すると、システム起動時に案内が表示されます。

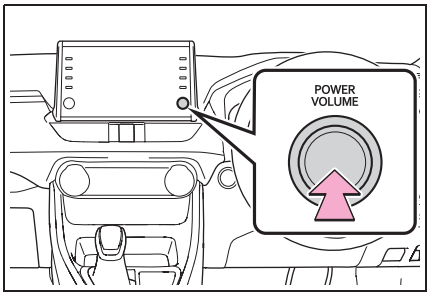
知識

- メンテナンス項目は同時に4つまで案内されます。5 つ以上の項目があるときは、(その他）が表示されます。
- “ 次回表示しない ” を選択すると、次にナビゲーション画面が立ち上がるときは、案内されません。
- メンテナンス項目を設定する：→P.69

システムを再起動する

システムの応答が非常に遅い場合、システムを再起動することができます。

1 “POWER VOLUME” ノブを 3 秒以上押し続ける。

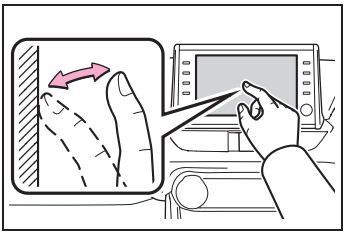
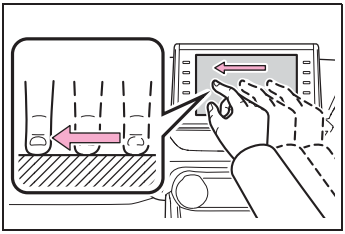


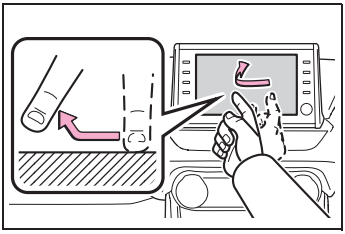
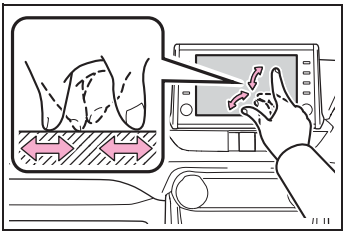
タッチスクリーンを操作する

本機は、おもに画面のスイッチ（タッチスイッチ）に直接指で選択して操作します。また通常の選択操作に加え、画面にふれる指の動きに合わせて、地図画面のスクロール、縮尺変更をするスライドタッチ操作ができます。

タッチスクリーンの操作方法

画面に直接指で選択して操作します。

操作方法	操作	主な用途
	●タッチ 画面を指で軽く選択する。	●画面のスイッチを選択する
	●スライド ※1 画面にふれたまま指をずらす。	●リスト画面をスクロールする ●地図画面をスクロールする ※2

操作方法	操作	主な用途
	●フリック ※1 画面にふれた状態で軽く指を払う。	●リスト画面をページごとスクロールする ●地図画面をスクロールする ※2
	●ピンチアウト／ピンチイン ※1, 3 画面に、2 本の指でふれた状態で指の間隔を広げる、または狭める	●地図の拡大や縮小を行う ※2

※1一部の画面で操作できます。

※2エントリーナビキット装着車／ T-Connect ナビキット装着車

※3Apple CarPlay の地図アプリでは、この機能は使用できません。

知識

- フリック操作は、標高の高い場所ではスムーズに操作できないことがあります。
- タッチスイッチの応答音出力のする／しないを設定することができます。（→P.61）
- タッチスイッチの感度レベルを設定することができます。（→P.61）

タッチスクリーンをお使いになるときは

- 画面保護のため、タッチスイッチは指で軽く選択してください。
- スイッチの反応がないときは、一度画面から手を離してから再度タッチしてください。
- 画面に が表示されているときに を選択すると、一つ前の画面に戻ります。
- 次のときは、タッチスイッチが反応しなかったり、誤作動することがあります。
  - 手袋を着用しているとき
  - 爪で操作したとき
  - 他の指や手のひらが、他のタッチスイッチに近づいたとき
  - 汚れや水分が付着しているとき
  - タッチスイッチの表面にフィルムなどを貼ったとき
  - タッチスイッチの表面を塗装したとき
  - 近くにテレビ塔・発電所・ガソリンスタンド・放送局・大型ディスプレイ・空港があるなど、強い電波やノイズの発生する場所にいるとき
  - 無線機や携帯電話などの無線通信機器

を携帯しているとき

● タッチスイッチが、次のような金属製のものに接していたり、覆われたりしているときは、タッチスイッチが反応しなかったり、誤作動することがあります。

・アルミ箔などの金属の貼られたカード
・アルミ箔を使用したタバコの箱
・金属製の財布やかばん
・小銭
・カイロ
・CD や DVD などのメディア

● 清掃の際、タッチスイッチをふくことで、タッチスイッチが反応することがあります。

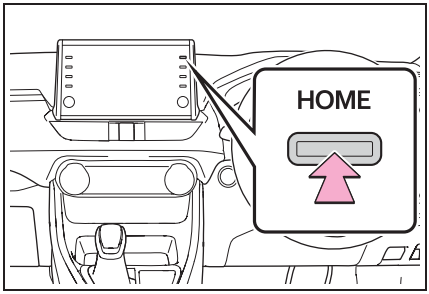
● タッチスイッチに手を近づけた状態で、エンジンスイッチ<パワースイッチ>を ACC または ON にすると、タッチスイッチが反応しないことがあります。その場合、タッチスイッチから手を離し、エンジン<ハイブリッドシステム>をオフにし、エンジンスイッチ<パワースイッチ>を ACC または ON にする、または、“POWER VOLUME” ノブを 3 秒以上押し続けてシステムを再起動してください。

Home 画面

Home 画面では、地図画面とオーディオやハンズフリー画面など、複数の機能を分割表示させることができます。

Home 画面を操作する

1 “HOME” スイッチを押す。



2 Home 画面が表示される。

● 表示されている画面を選択すると、その画面が全画面表示になります。

知識

●表示させる画面と表示位置は変更することができます。

●レイアウトを変更することができます。

Home 画面の設定をする

Home 画面に表示する画面と表示位置、レイアウトを変更することができます。

1 “MENU” スイッチを押す。

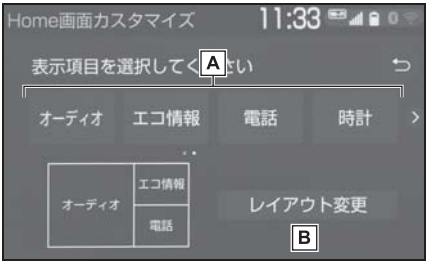
2 “設定・編集” を選択。

● 共通設定画面が表示されない場合は、“共通設定” を選択。

3 “Home 画面カスタマイズ” を選択。

4 各項目を設定する。

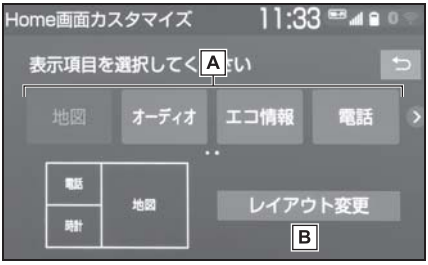
▶ エントリーナビキット非装着車／T-Connect ナビキット非装着車



A 表示させたい画面と位置を選択します。

B レイアウトを選択します。

▶ エントリーナビキット装着車／T-Connect ナビキット装着車



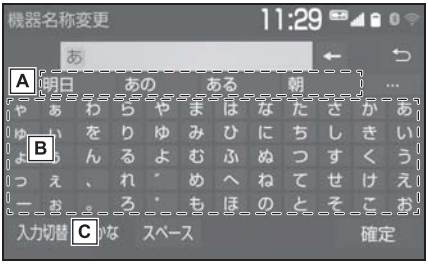
A 表示させたい画面と位置を選択します。

B レイアウトを選択します。

文字・数字を入力する／リスト画面を操作する

文字・数字の入力のしかた

ソフトウェアキーボードを使用して、名前や電話番号などを入力します。



A 予測変換候補（→P.30）

B 文字入力スイッチ

C 入力モード切り替えスイッチ（→P.30）

ソフトウェアキーボードに表示されるスイッチについて

ソフトウェアキーボードによっては、以下のスイッチが表示されます。

スイッチ	機能
	音声認識で文字を入力する。※1 ●音声認識で文字を入力するには、別途 T-Connect の利用手続きをしていただく必要があります。※2
	文字を消去する。 ●カーソルが文字の右にあるときは、カーソルの左の文字を消去します。 ●続けて選択すると、カーソルの位置から 1 文字ずつ順に消去します。
	カーソルを移動する。 ●続けて選択すると、連続してカーソルが移動します。 ●未確定の場合は、未確定の範囲内でカーソルが移動します。 ●確定、未確定に関係なく、カーソルを移動した位置から文字を挿入できます。 ●変換範囲のみ変換するときは、希望の候補を選択。変換範囲（文節）が間違っているときは、< ・ > を選択して変換範囲を修正する。
	表示されている以外の予測変換候補を表示する。

スイッチ	機能
入力切替	文字の入力モードを切り替える。 ● “かな”：ひらがな、漢字を入力 ● “カナ”：カタカナを入力 ● “英数字”：アルファベット、数字を入力 ● “数記号”：数字、記号を入力
スペース	カーソルの左に空白を入力する。
半角／全角	半角入力と全角入力を切り替える。
大文字／小文字	大文字入力と小文字入力を切り替える。
確定	入力文字を確定する。
OK	ソフトウェアキーボードを終了する。

※[1]T-Connect ナビキット装着車

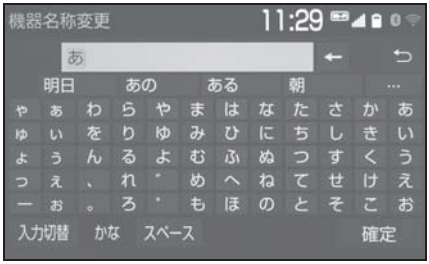
※[2]詳細は、別冊「ナビゲーション取扱書」をご覧ください。

知識

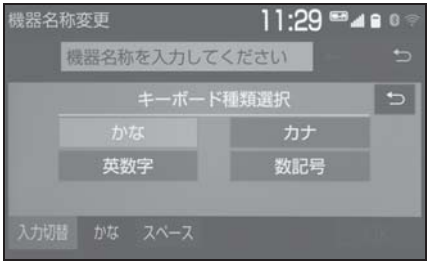
● ソフトウェアキーボードが表示される状況により、キーボード画面の意匠が異なったり、入力方法が限定される場合があります。

入力モードの切り替え

1 “入力切替” を選択。



2 変更したいキーボードの種類を選択。

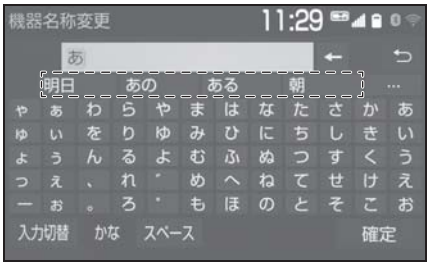


予測変換候補を表示する

文字を入力すると、未確定文字の後に続く文字を予測して、読みの先頭部分が一致する予測変換候補を表示します。

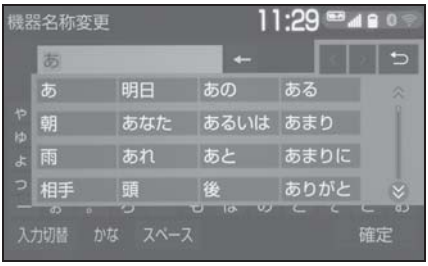
1 かな入力状態で、文字を入力する。

2 予測変換候補を選択。



● 表示されている候補以外の候補

を選択したいときは、 を選択し、希望の予測変換候補を選択します。



リスト画面

地図を呼び出すときなどに複数の候補（選択項目）がある場合、リスト画面が表示されます。希望の候補がないときは、リストをスクロールし、希望の候補を選択します。

リスト画面のスクロール

A 上下方向にフリック操作すると、リストをスクロールします。

B 選択すると、リストをスクロールします。

C インジケーターバーは、表示されているリスト画面がリスト全体のどの位置にあるのかを示します。インジケーターバーをスライド操作すると、リストをスクロールします。

リストの検索

リストに表示されている項目の中から、希望の候補を検索することができます。

1 を選択。

2 文字を入力して“検索”を選択。

3 検索結果が表示される。

リストを並び替える ※

※ エントリーナビキット装着車／T-Connect ナビキット装着車

リストの表示順序を以下のように並べ替えることができます。

- 距離順
- 名称順（50 音順）
- 登録順

など

1 “ソート” を選択。

2 希望の項目を選択。

リストの文字の表示範囲を変更する

リストに表示されている名称の文字数が多い場合、すべてが表示されないことがあります。次の操作をすると、名称をすべて確認することができます。

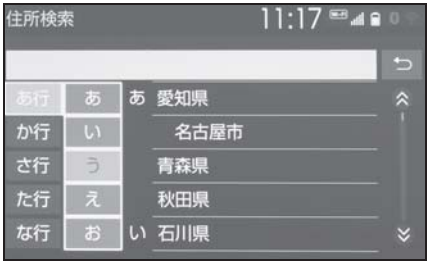
1 を選択。

● 先頭に戻すときは を選択します。

複数の候補から項目を選ぶ

地図を呼び出すときなどに複数の候補（選択項目）がある場合、リスト画面が表示されます。希望の候補がないときは、リストを切り替え、希望の候補を選択します。

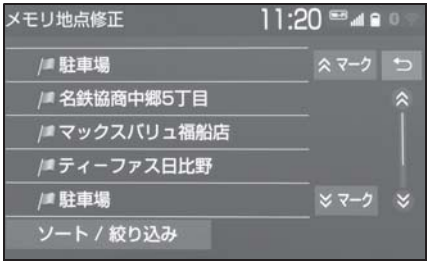
▶ 行ごとにリストを切り替える ※



● “あ行” を選択するとあ行のリストに切り替わります。
それと同時に、“あ” から “お” を切り替えるポップアップが表示されます。

※ エントリーナビキット装着車／T-Connect ナビキット装着車

▶ マークの種類ごとにリストを切り替える ※



※ エントリーナビキット装着車／T-Connect ナビキット装着車

▶ 1 ページずつリストを切り替える

● 選択し続けている間、リストが

切り替わります。

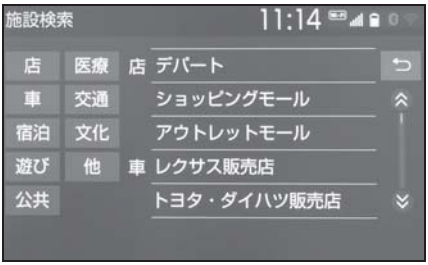
▶ 種類ごとにリストを切り替える ※

※ エントリーナビキット装着車／ T-Connect ナビキット装着車

▶ 地域ごとにリストを切り替える ※

※ エントリーナビキット装着車／ T-Connect ナビキット装着車

▶ 施設項目ごとにリストを切り替える ※



※ エントリーナビキット装着車／ T-Connect ナビキット装着車

▶ リストの全ての項目を選択する

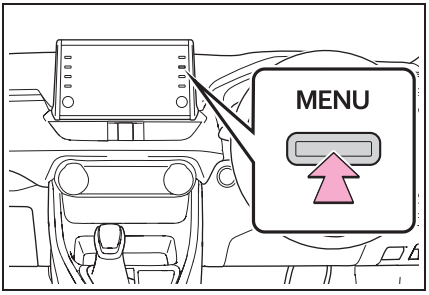
● “全解除” または “全選択解除” を選択すると、選択してある項目を解除します。

画面の調整・設定を変更する

画面の調整・設定を変更する

画面のコントラストや明るさを調整したり昼画面・夜画面表示を切り替えたりすることができます。

1 “MENU” スイッチを押す。



2 “画質・消” を選択。

3 各項目を設定する。

● “画面消”

音声を消さずに画面だけを消すことができます。（→P.35）

● “昼画面”

ライト点灯時に昼画表示にすることができます。（→P.34）

● “共通”

画面のコントラストや明るさを調整することができます。（→P.34）

● “カメラ”

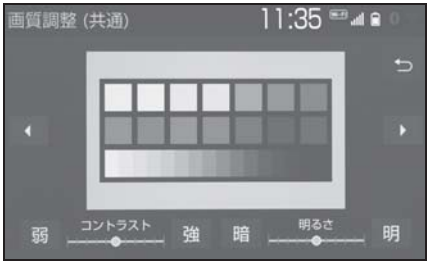
周辺監視などのカメラ画面のコントラストや明るさを調整することができます。（→P.34）

画質を調整する

コントラスト、明るさを調整できます。

1 “共通” または “カメラ” を選択。

2 画質を調整する。



● 画質調整では、次の項目を調整することができます。

・コントラスト

“強”：強くする

“弱”：弱くする

・明るさ

“明”：明るくする

“暗”：暗くする

知識

●USB ビデオ、地上デジタルテレビ、Miracast® の画質調整方法は、「画質調整をする」（→P.79）をご覧ください。

●画質調整（共通）画面の場合、◀ または ▶ を選択すると、地図画面、メニュー画面、カラーバーのサンプルを切り替えることができます。

●昼画・夜画それぞれ独立して調整することができます。

ライト点灯時に昼画表示にする

1 夜画表示のとき、“昼画面” を選択。

● 選択するごとに、昼画表示と夜画表示が切り替わります。

知識

●昼画表示のときは、スイッチの作動表示灯が点灯します。

●以下のようなときは、“昼画面”は表示されません。
・ライト消灯時
・ライト点灯時で周囲が明るいとき

画面を消す

音声を消さずに、画面だけを消すことができます。

1 “画面消”を選択。

● 画面を表示させるときは、“AUDIO”スイッチや“MAP”スイッチなどを押します。

知識

●画面を消しても、GPS による現在地測位は継続されています。

マルチインフォメーションディスプレイとマルチメディアの連携

以下の機能は、メーター内にあるマルチインフォメーションディスプレイと連動します。

● オーディオ

● 電話 ※

など

これらの機能はステアリングのメーター操作スイッチで操作することができます。詳細は、別冊「取扱書」をご覧ください。

※ Apple CarPlay 接続中のときは、この機能は使用できません。

Bluetooth 機器を接続する

ハンズフリーや Bluetooth オーディオを使用するためには、携帯電話／ポータブル機を本機に登録する必要があります。登録完了後は、本機を起動するたびに自動で Bluetooth 接続します。

Apple CarPlay 接続中のときは、Bluetooth 機能は使用できません。接続されている Bluetooth 機器は切断されます。

Android Auto を接続したときは、自動的に Bluetooth 機器として登録されます。

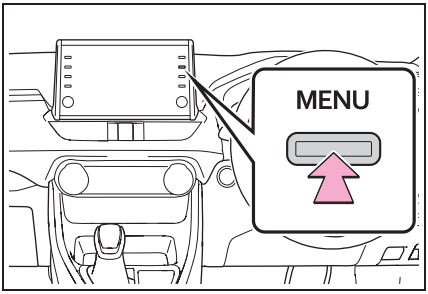
Android Auto 接続中のときは、ハンズフリー以外の Bluetooth 機能は使用できません。

Bluetooth 機器を登録する

■ 本機側から登録する

1 登録する携帯電話／ポータブル機側の Bluetooth 機能を ON にする。

2 “MENU” スイッチを押す。



3 “設定・編集” を選択。

4 “Bluetooth” を選択。

5 “はい” を選択。

6 登録する機器を選択。

● 画面上に登録したい機器が表示されない場合は、画面下の “見つからない場合は・・・” を選択して携帯電話／ポータブル機側からの登録を行ってください。（→P.37）

● 携帯電話／ポータブル機の機種により、特定の画面を携帯電話／ポータブル機側で表示させないと、登録機器画面に表示されない場合があります。詳しくは携帯電話／ポータブル機に添付の取扱説明書をご覧ください。

7 登録する携帯電話／ポータブル機に表示される PIN コードと本機に表示されている PIN コードが同じことを確認する。

● 登録する機種によっては携帯電話／ポータブル機での操作が必要な場合があります。

8 接続完了のメッセージが表示され、登録機器画面に登録した携帯電話／ポータブル機の名称が表示される。

● 失敗画面が表示されたときは、画面の案内に従い、操作してください。

知識

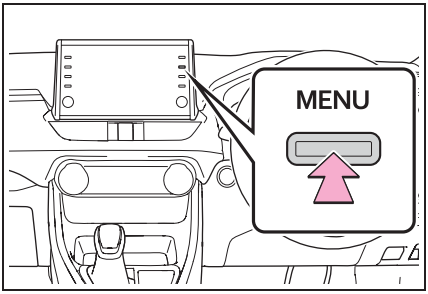
●登録時、携帯電話／ポータブル機側に登録完了が表示されても、本機側の登録が完了しない場合があります。
その場合、携帯電話／ポータブル機側から Bluetooth の登録を行ってください。

■ 携帯電話／ポータブル機側から登録する

本機側からの登録失敗時や登録機器画面上に登録する機器名称が見つからない場合に手動で登録します。

1 登録する携帯電話／ポータブル機側の Bluetooth 機能を ON にする。

2 “MENU” スイッチを押す。



3 “設定・編集” を選択。

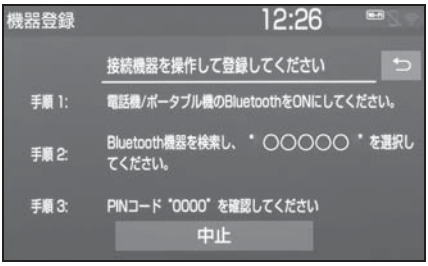
4 “Bluetooth” を選択。

5 “はい” を選択。

6 “見つからない場合は・・・” を選択。

7 “機器から登録する” を選択。

8 機器登録画面が表示されたら、携帯電話／ポータブル機から Bluetooth 登録する。



● 携帯電話側／ポータブル機側の登録操作は、必ずこの機器登録画面を表示させて行ってください。

9 携帯電話本体／ポータブル機本体で、本機に表示されている機器名称を選択し、PIN コード（パスキー）を入力する。

● 携帯電話／ポータブル機の機種により、PIN コード（パスキー）入力後に携帯電話／ポータブル機の操作が必要になる場合があります。

● SSP（Secure Simple Pairing）に対応している携帯電話は、PIN コード（パスキー）を入力する必要はありません。ただし、携帯電話の機種によっては携帯電話に確認メッセージが表示される場合があります。表示にしたがって操作してください。

● ポータブル機で PIN コード（パスキー）入力できないときは、本機の PIN コード（パスキー）をポータブル機の PIN コード（パスキー）に変更し（→P.42）操作しなおしてください。

10 接続完了のメッセージが表示され、登録機器画面に登録した携帯電話／ポータブル機の名称が表示される。

● 失敗画面が表示されたときは、画面の案内に従い、操作してください。

知識

●Bluetooth 機器側の操作は、Bluetooth 機器に添付の取扱説明書をご覧ください。

●PIN コード（パスキー）とは、Bluetooth 機器を本機に登録する際の

パスワードです。任意の数字に変更することもできます。（→P.42）

- HFP に対応していない携帯電話は、本機に携帯電話として登録ができません。また、そのような携帯電話では、OPP、PBAP、SPP のみのサービスは利用できません。（→P.42）
- Miracast® を利用中に Bluetooth 機器の登録をすると、Miracast® の音が途切れることがあります。

オーディオ操作画面から登録する

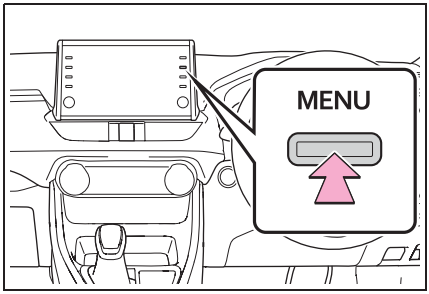
1 登録する携帯電話／ポータブル機側の Bluetooth 機能を ON にする。
2 “MENU” スイッチを押す。
3 “オーディオ” を選択。
4 “オーディオ選択” を選択。
5 “Bluetooth” を選択。
6 “はい” を選択。
7 「本機側から登録する」（→P.36）の手順 **6** 以降と同じ操作をする。

Bluetooth の設定をする

使用する機器の選択や、電話機の情報を変更することができます。

Bluetooth の各種設定をする

1 “MENU” スイッチを押す。



2 “設定・編集” を選択。
3 携帯電話を使用するときは、携帯電話を Bluetooth 接続可能状態にする。
4 “Bluetooth” を選択。
5 各項目を設定する。

A 使用する Bluetooth 機器の選択、登録済み携帯電話の詳細情報の確認、設定をします。（→P.39）

B Bluetooth 機器の登録追加をします。（→P.41）

C 登録済みの Bluetooth 機器の登録削除をします。（→P.41）

D 本機の Bluetooth 詳細情報の確認、設定をします。（→P.41）

知識

- Android Auto 接続中のときは、Android Auto で使用している携帯電話の機能は使用できません。

使用する Bluetooth 機器を選択する

複数の Bluetooth 機器を登録しているときは、使用する Bluetooth 機器を選択します。

1 Bluetooth 設定画面を表示する：

- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “Bluetooth” を順に選択。

2 “登録機器” を選択。

3 携帯電話を使用するときは、携帯電話を Bluetooth 接続可能状態にする。

4 使用する Bluetooth 機器を選択。

“機器登録” ：Bluetooth 機器の登録追加をします。（→P.41）

“優先接続設定” ：優先的に接続する機器を設定します。（→P.41）

“機器削除” ：登録済みの Bluetooth 機器の登録削除をします。（→P.41）

：電話機として接続されています。

：オーディオプレーヤーとして接続されています。

：スマートフォン連携対応電話機として接続されています。

5 “（機器名称）の接続” または “電話機の接続”、“ポータブル機の接続” を選択。

- 他の Bluetooth 機器が Bluetooth 接続中のときは、確認のメッセージが表示されます。切断してよければ、“はい” を選択します。
- 接続完了のメッセージが表示されたら、Bluetooth 機器が使用できます。

知識

- 一番新しく登録した Bluetooth 機器が本機で使用する Bluetooth 機器として選択されます。
- Bluetooth オーディオ再生中に電話機選択をした場合、音声が途切れることがあります。
- 携帯電話の機種により携帯電話の操作が必要な場合があります。
- 緊急通報中（ヘルプネット動作中）は、Bluetooth 機器を選択することはできません。

携帯電話の詳細情報を確認・設定する

本機に登録されている携帯電話の

情報の確認及び設定をすることができます。

1 Bluetooth 設定画面を表示する：

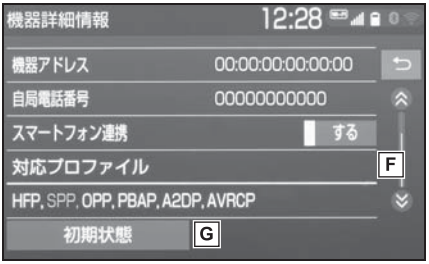
● “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “Bluetooth” を順に選択。

2 “登録機器” を選択。

3 詳細情報を表示したい携帯電話を選択。

4 “機器詳細情報” を選択。

5 各項目を設定・確認する。



A 本機に表示される携帯電話の名称です。任意の名称に変更することができます。（→P.40）

B ポータブル機と本機との接続方法を設定します。（→P.40）

C 機器固有のアドレスです。

・変更することはできません

D 携帯電話の電話番号です。

E スマートフォン連携のする／しないを設定します。※

F 携帯電話で対応しているプロファイルです。

・変更することはできません

G 初期状態の設定に戻ります。

※ エントリーナビキット装着車／T-Connect ナビキット装着車

知識

●自局電話番号は携帯電話の機種によっては、表示されない場合があります。

●表示されている対応プロファイルが本機で使用できないことがあります。詳しくは携帯電話に添付の取扱説明書をご覧ください。

携帯電話の名称を変更する

本機に表示される携帯電話の名称を変更することができます。

1 “機器名称” を選択。

2 ソフトウェアキーボードを使用して名称を入力し、“OK” を選択。

知識

●本機で機器名称を変更しても、携帯電話に登録されている機器名称は変更されません。

ポータブル機と本機との接続方法を設定する

1 “接続方法” を選択し、“車載機から” または “ポータブル機から” を選択。

● 本機側から接続するときは、“車載機から” を選択します。

● ポータブル機から接続するとき

は、“ポータブル機から”を選択します。

Bluetooth 機器を追加登録する

1 Bluetooth 設定画面を表示する：

● “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “Bluetooth” を順に選択。

2 “機器追加” を選択。

● 複数の携帯電話／ポータブル機を使用する場合は、メッセージが表示されることがあります。画面の案内にしたがって操作してください。

3 「本機側から登録する」（→P.36）の手順 6 以降と同じ操作をする。

Bluetooth 機器の登録を削除する

1 Bluetooth 設定画面を表示する：

● “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “Bluetooth” を順に選択。

2 “機器削除” を選択。

3 削除したい Bluetooth 機器を選択。

4 “はい” を選択。

知識

● 緊急通報中（ヘルプネット動作中）は、Bluetooth 機器の登録を削除することはできません。

本機の詳細設定を確認・設定する

1 Bluetooth 設定画面を表示する：

● “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “Bluetooth” を順に選択。

2 “詳細設定” を選択。

3 各項目を設定・確認する。

自動で電話機を接続する

エンジンスイッチ<パワースイッチ>を OFF から ON にするたびに、選択した携帯電話と自動的に Bluetooth 接続します。

1 “ACC ON 時の自動接続” を選択し、“する” に設定する。

● 通常はこの状態で使用してください。

● 携帯電話は Bluetooth 接続可能な状態にしておいてください。

● 解除するときは、“しない” に設定します。

知識

● 携帯電話の機種により携帯電話の操作が必要な場合があります。

優先的に接続する機器を設定する

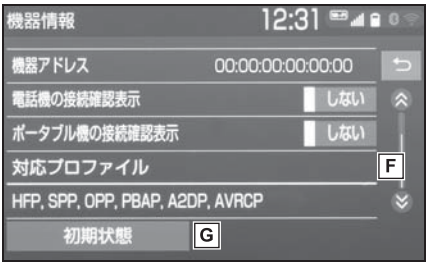
1 “優先接続設定” を選択。

2 “優先接続電話機” または “優先接続ポータブル機” を選択し、設定したい機器を選択。

3 “上へ” または “下へ” を選択し、順位を変更する。

本機の機器情報を確認・設定する

1 “機器情報” を選択。
2 各項目を設定・確認する。



A Bluetooth ネットワーク内での本機の名称です。任意の名称に変更することができます。

B Bluetooth 機器を本機に登録する際のパスワードです。4～8 桁の任意の数字に変更することができます。

C 本機に登録されている機器固有のアドレスです。変更することはできません。
機器名称や PIN コード（パスキー）を他の Bluetooth 機器と同じにしてしまい、ネットワーク内での本機の区別がつけられなくなってしまった場合に参考にすることができます。

D 携帯電話が Bluetooth 接続されたときに、接続確認の表示を画面上部に表示する／しないを設定します。

E ポータブル機が Bluetooth 接続されたときに、接続確認の表示を画面上部に表示する／しないを設定します。

F 本機で対応しているプロファイルです。変更することはできません。

G 初期状態の設定に戻ります。

本機の名称を変更する

Bluetooth ネットワーク内での本機の名称を変更することができます。

1 “機器名称” を選択。
2 ソフトウェアキーボードを使用して名称を入力し、“OK” を選択。

PIN コード（パスキー）を変更する

PIN コード（パスキー）は 4～8 桁の任意の数字に変更することができます。

1 “PIN コード” を選択。
2 4～8 桁の範囲で任意の数字を入力し、“完了” を選択。

● 修正するときは、“修正” を選択します。

Bluetooth の仕様、対応プロファイルについて

■ 対応 Bluetooth 仕様

● Bluetooth Core

Specification Ver.2.0 以上（Ver.4.2 以上を推奨）

■ **対応プロファイル**

● HFP（Hands Free Profile）要求バージョン：Ver. 1.0 以上（推奨バージョン：Ver. 1.7）

・ハンズフリーを行うためのプロファイル

● OPP（Object Push Profile）要求バージョン：Ver. 1.1 以上（推奨バージョン：Ver. 1.2）

・電話帳データの転送を行うためのプロファイル

● PBAP（Phone Book Access Profile）要求バージョン：Ver. 1.0 以上 （推奨バージョン：Ver. 1.2）

・電話帳データおよび通話履歴などの同期を行うためのプロファイル

● SPP（Serial Port Profile）要求バージョン：Ver. 1.1 以上（推奨バージョン：Ver. 1.2）

・Bluetooth 搭載機器を仮想シリアルポート化するためのプロファイル

・SmartDeviceLink ™ Apps、スマートフォン連携を行うためのプロファイル

● A2DP（Advanced Audio Distribution Profile）要求バージョン：Ver. 1.0（推奨バージョン：Ver. 1.3）

・オーディオを転送するためのプロファイル

● AVRCP（Audio/Video Remote Control Profile）要求バージョン：Ver. 1.0（推奨バージョン：Ver. 1.6）

・オーディオをリモートコントロールするためのプロファイル

知識

●本機に対して、すべての Bluetooth 機器において動作を保証しているわけではありません。

●接続している Bluetooth 機器のバージョンが推奨よりも古い、または互換性がない場合、Bluetooth 機器の機能が正しく動作しないことがあります。

●Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG,Inc が所有権を有します。「株式会社デンソーテン」は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。

Bluetooth®

注意

●Bluetooth 携帯電話を本機に近づけて使用しないでください。近づけすぎると、音質が劣化したり、接続状態が悪化することがあります。

■ **ペースメーカーやその他の医療用電気機器をお使いの方は**

Bluetooth 通信時の電波について、次の点にご注意ください。

● 本製品は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。製品に貼り付けてあるシールはその証明です。シールをは

がさないでください。

● 本製品を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。

⚠ 警告

● Bluetooth 通信用の車両側アンテナは本機内に内蔵されています。
植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータおよび植込み型除細動器以外の医療用電気機器を使用される場合は、電波による影響について医師や医療用電気機器製造業者などに事前に確認してください。

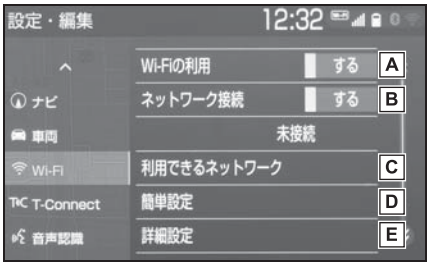
Wi-Fi® ネットワークに接続する

Wi-Fi® ネットワークへの接続やテザリング対応スマートフォンで Wi-Fi® サービスを利用するには、Wi-Fi® 通信設定が必要です。

Wi-Fi® 通信設定をする

Wi-Fi® 通信に関する各種設定をすることができます。

1 “MENU” スイッチを押す。
2 “設定・編集” を選択。
3 “Wi-Fi” を選択。
4 各項目を設定する。



A Wi-Fi® を使用する／しないを切り替えます。

B Wi-Fi® ネットワークに接続する／しないを切り替えます。※

C 利用できるネットワークに Wi-Fi® 接続します。※（→P.45）

D 簡単設定を使用して Wi-Fi® 接続します。※（→P.45）

E Wi-Fi® 詳細設定を変更します。※（→P.47）

F Miracast® の接続状況です。

※ T-Connect ナビキット装着車

利用できるネットワークから Wi-Fi® 接続する

1 Wi-Fi® 設定画面を表示する：

● “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “Wi-Fi” を順に選択。

2 “利用できるネットワーク” を選択。

3 利用するネットワークを選択。

● ネットワークの詳細を確認したいときは、“詳細” → 詳細を確認したいネットワークの順に選択します。

■ リストにないネットワークに接続したいとき

1 “Wi-Fi ネットワークを追加” を選択。

2 ネットワーク SSID（アクセスポイントの識別子）を入力し、“OK” を選択。

3 セキュリティ方法（WPA、WEP など）を選択。

4 パスワードを入力し “OK” を選択。

簡単設定から Wi-Fi® 接続する

簡単設定に対応している Wi-Fi® テザリング対応機器では、より簡単に Wi-Fi® 接続することができます。

1 Wi-Fi® 設定画面を表示する：

● “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “Wi-Fi” を順に選択。

2 “簡単設定” を選択。

3 “PIN コード” または “プッシュボタン” を選択。

● “PIN コード” を選択したときは、画面に表示されている PIN コードを Wi-Fi® テザリング対応機器に入力します。（一定時間経過すると、簡単設定画面に戻ります。）

● “プッシュボタン” を選択したときは、Wi-Fi® テザリング対応機器のプッシュボタンを押します。（一定時間経過すると、簡単設定画面に戻ります。）

4 Wi-Fi® テザリング対応機器を操作し、ネットワークへ接続する。

知識

● Wi-Fi® テザリング対応機器側の操作については、Wi-Fi® テザリング対応機器の取扱説明書をご覧ください。

Wi-Fi® テザリング対応携帯電話で Wi-Fi® 接続を行う場合

Wi-Fi® テザリング対応携帯電話で Wi-Fi® 接続を行う場合、下記の操作例を参考に接続してください。

※ テザリング設定の詳細は携帯電話の取扱説明書などをご覧ください。

知識

● 携帯電話の機種によっては、毎回接続が必要な場合があります。

利用できるネットワークから接続する

1 携帯電話を「Wi-Fi® テザリング設定」に切り替える。
2 携帯電話の Wi-Fi® テザリングを「ON」にする。
3 携帯電話を「Wi-Fi® アクセスポイント設定」に切り替える。
4 携帯電話に表示されているネットワーク名、パスワードを確認する。
5 本機の “ ネットワーク接続 ” を選択し、 “ する ” に設定する。
6 本機の “ 利用できるネットワーク ” を選択。
7 利用できるネットワーク画面（→P.45）で携帯電話に表示されているネットワーク名を選択。
8 携帯電話に表示されているパスワードを本機に入力する。

簡単設定（PIN コード）で接続する

1 携帯電話を「Wi-Fi® テザリング設定」に切り替える。
2 携帯電話の Wi-Fi® テザリングを「ON」にする。
3 携帯電話を「Wi-Fi® 簡単登録」の「PIN 入力」を選択。
4 本機の “ ネットワーク接続 ” を選択し、 “ する ” に設定する。
5 本機の “ 簡単設定 ” → “PIN コード ” の順に選択。
6 簡単設定画面に表示されている PIN コードを携帯電話に入力する。

簡単設定（プッシュボタン）で接続する

1 携帯電話を「Wi-Fi® テザリング設定」に切り替える。
2 携帯電話の Wi-Fi® テザリングを「ON」にする。
3 携帯電話を「Wi-Fi® 簡単登録」の「プッシュボタン」を選択。
4 本機の “ ネットワーク接続 ” を選択し、 “ する ” に設定する。
5 本機の “ 簡単設定 ” → “ プッシュボタン ” の順に選択。

6 簡単設定画面が表示された後、携帯電話のプッシュボタンを選択。

知識

●本書に記載されている接続方法は一例であり、簡単設定（PIN コード、プッシュボタン）に対応している携帯電話などの機器に関する内容は、各通信事業者にお問い合わせください。

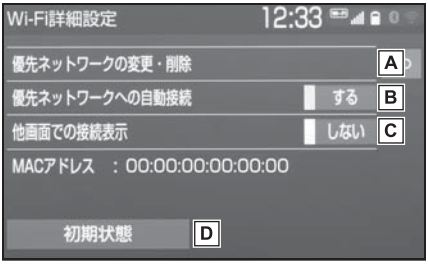
Wi-Fi® 詳細設定を変更する

1 Wi-Fi® 設定画面を表示する：

● “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “Wi-Fi” を順に選択。

2 “詳細設定” を選択。

3 各項目を設定する。



A 優先ネットワークの変更／削除をします。（→P.47）

B 優先ネットワークへの自動接続のする／しないを切り替えます。

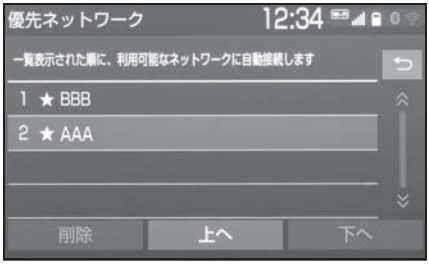
C 他画面で Wi-Fi® の接続確認表示のする／しないを切り替えます。

D 初期状態の設定に戻ります。

優先ネットワークを変更／削除する

1 “優先ネットワークの変更・削除” を選択。

2 優先順位を変更または削除したいネットワークを選択。



● 優先順位を変更するときは、“上へ” または “下へ” を選択し、順位を変更します。

● ネットワークを削除するときは、“削除” → “はい” の順に選択します。

知識

●優先ネットワークへの登録は Wi-Fi® 接続すると自動的に登録されます。最大 20 個まで登録可能です。21 個以上登録する場合は古いものから上書きされます。

●セキュリティ保護されていないネットワークは、優先ネットワークには登録されません。

Wi-Fi® について

知識

●本機能はベストエフォート型の機能です。

●本機能は持ち込み機器との接続にてご利用ください。持ち込み機器以外の接

続を行っている場合、環境によって切断される可能性があります。

●Wi-Fi® や無線 LAN 圏内から出た場合は、通信は切断されます。

●お客様のご利用環境（無線アンテナの設置場所、近隣での各種無線機器利用など）により、通信速度が低下したり、通信ができないことがあります。

●Wi-Fi®、WPA ™、WPA 2 ™ は、Wi-Fi Alliance® の登録商標又は商標です。本機は、電波法に基づく特定無線設備の工事設計の認証を取得しています。

■ 対応 Wi-Fi® 通信方式

● 802.11b/g/n（2.4GHz）

■ 対応セキュリティ方式

● WEP

● WPA ™

● WPA2 ™

Wi-Fi® 機器使用上の注意事項について

● Wi-Fi® 機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
（上記 3 種の無線局を以下「他の無線局」と略します）
Wi-Fi® 機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
万一、Wi-Fi® 機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更して電波干渉を回避してください。

● Wi-Fi® 機器の使用周波数帯は 2.4GHz 帯です。
変調方式として DS-SS 変調方式、OFDM 変調方式を採用しています。想定与干渉距離は 40m 以下です。Wi-Fi® 機器は全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。

■ ペースメーカーやその他の医療用電気機器をお使いの方は

Wi-Fi® 通信時の電波について、次の点にご注意ください。

● 本製品は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。製品に貼り付けてあるシールはその証明です。シールをはがさないでください。

● 本製品を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。

⚠ 警告

●Wi-Fi® 通信用の車両側アンテナは本機内に内蔵されています。
植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータおよび植込み型除細動器以外の医療用電気機器を使用される場合は、電波による影響について医師や医療用電気機器製造業者などに事前に確認してください。

■ Wi-Fi® と Bluetooth を同時に使用するとき

ハンズフリーと Wi-Fi®、Bluetooth オーディオと Wi-Fi® など、Bluetooth 機能と Wi-Fi® を同時に利用すると動作が遅くなることがあります。

SmartDeviceLink ™ Apps

SmartDeviceLink™ Apps は、スマートフォンにインストールされているアプリを、本機の画面上で操作できるサービスです。本機能を利用するには、専用アプリがインストールされたスマートフォンが必要です。

知識

- 音声操作システムを使って操作することもできます。※
- 画面上で操作できるアプリは、本機能に対応しているアプリのみです。
- アプリについては、予告なく変更、終了する場合があります。
- SmartDeviceLink ™ Apps はお客様のスマートフォン経由で通信します。通信には料金が発生する場合があります。

※ 詳細は、別冊「ナビゲーション取扱書」をご覧ください。

スマートフォンの接続について

本機に Bluetooth 接続（かつ USB 接続 ※）（→P.36、77）することにより、SmartDeviceLink™Apps を利用できます。

本システムに接続するスマートフォンが対応していなければならない仕様については、「Bluetooth の仕様、対応プロファイルについて」（→P.42）をご覧ください。

※ 使用するアプリケーションによる

知識

- SmartDeviceLink ™ Apps を使用するためには、スマートフォンを本機に登録する必要があります。（→P.36）
- SmartDeviceLink ™ Apps の音声案内の音量は、ナビゲーションの音量設定で調整することができます。※

※ 詳細は、別冊「ナビゲーション取扱書」をご覧ください。

警告

- 安全のため、運転者は運転中にスマートフォンの操作をしないでください。

注意

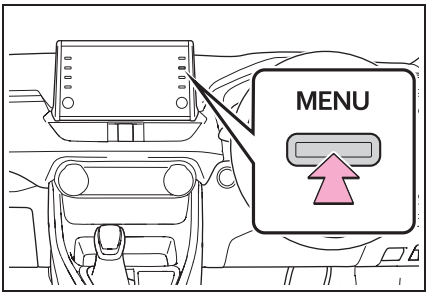
- スマートフォンは車室内に放置しないでください。
  炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。
- スマートフォンを本機に近づけて使用しないでください。近づけすぎると、音質が劣化したり、接続状態が悪化することがあります。

SmartDeviceLink ™ Apps 画面を表示する

1. 接続するスマートフォンに SmartDeviceLink ™ 専用アプリがインストールされていることを確認する。
2. スマートフォンと本機を Bluetooth 接続する。（→P.36）
3. 共通設定画面の “モバイルサービス選択” を “SmartDeviceLink ™” にする。（→P.61）

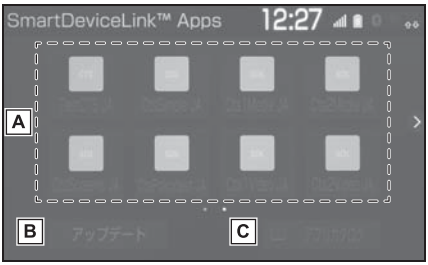
4 アプリをアップデートする。（→P.51）

5 “MENU” スイッチを押す。



6 “Apps” を選択。

7 SmartDeviceLink ™ Apps 画面が表示される。



A 選択したアプリが起動します。

B “アップデート”：アプリを利用するのに必要なデータをダウンロードします。（→P.52）
“ダウンロード中”：ダウンロード中画面を表示します。
“インストール”：ダウンロードしたデータのアップデートをインストールします。（→P.52）
“インストール中”：インストール中画面を表示します。

C インストールしたアプリのカタログを表示します。

知識

- 本機に対応しているアプリのみ表示されます。
- ハンズフリー通話中やアップデート / インストール中などはアプリが選択できない場合があります。
- アプリを利用するのに必要なデータがインストールされていない場合、“アプリカタログ” は表示されません。
- アプリカタログ画面で、アプリの表示順を変更できます。
- “MAP” スイッチを押すと、アプリカタログ画面の先頭に表示されているナビアプリが起動します。※

※ エントリーナビキット非装着車／ T-Connect ナビキット非装着車

アプリをアップデートする

メッセージからアップデートする

アップデートする必要がある場合、メッセージが表示されます。

1 “ダウンロード” を選択。

- アップデートの内容を見るときは、“詳細” を選択します。

・詳細画面で “ダウンロード” を選択すると、ダウンロードを開始します。“後で” を選択すると、ダウンロードは開始されません。ダウンロードする場合は、SmartDeviceLink ™

Apps 画面（→P.50）で “アップデート” を選択します。

● 後でダウンロードするときは、“後で” を選択します。

2 ダウンロード中画面が表示される。

● ダウンロードをしながら、他の画面に切り替えるときは、“バックグラウンドでダウンロードする” を選択します。

・ダウンロード完了後、メッセージが表示されインストールできます。

● ダウンロードを中止するときは、“中止” を選択します。

3 “インストール” を選択。

● アップデートの内容を見るときは、“詳細” を選択します。

・詳細画面で “インストール” を選択すると、インストールを開始します。“後で” を選択すると、インストールは開始されません。インストールする場合は、SmartDeviceLink ™ Apps 画面（→P.50）で “インストール” を選択します。

● 後でインストールするときは、“後で” を選択します。

4 “続ける” を選択。

5 インストール中画面が表示される。

● インストールをしながら、他の画面に切り替えるときは、“バックグラウンドでインストールする” を選択します。

6 “OK” を選択。

知識

●アップデートの内容によっては、複数回ダウンロード・インストールが必要な場合があります。

●ダウンロードに失敗した場合、スマートフォンとの接続やスマートフォンの状態を確認し、再度お試しください。

SmartDeviceLink ™ Apps 画面からアップデートする

アップデートが必要なアプリがある場合、SmartDeviceLink ™ Apps 画面に “アップデート” が表示されます。

1 SmartDeviceLink ™ Apps 画面を表示する。（→P.50）

2 “アップデート” を選択。

3 「メッセージからアップデートする」（→P.51）の手順 2 以降と同じ操作をする。

知識

●アップデートの内容によっては、複数回ダウンロード・インストールが必要な場合があります。

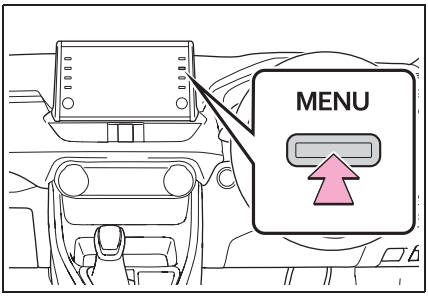
●ダウンロードに失敗した場合、スマートフォンとの接続やスマートフォンの状態を確認し、再度お試しください。

SmartDeviceLink ™ Apps の設定をする

SmartDeviceLink ™ Apps に関する設定を変更できます。

SmartDeviceLink ™ Apps 設定画面を表示する

1 “MENU” スイッチを押す。

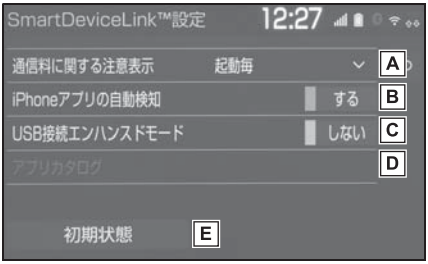


2 “設定・編集” を選択。

3 “T-Connect” を選択。

4 “SmartDeviceLink ™ 設定” を選択。

5 各項目を設定する。



A 通信料に関するメッセージを、ACC ON 毎に表示する／しないを設定します。

B iPhone アプリを自動的に検知する／しないを切り替えます。

C iPhone が USB 接続された場合に、エンハンスドモードにする／しないを切り替えます。

D インストールしたアプリの一覧を表示します。

E 初期設定の状態に戻ります。

知識

- 本機の電源を入れたあと、初めて SmartDeviceLink ™ Apps 画面（→P.50）を表示させたとき “次回表示しない” を選択すると、“通信料に関する注意表示” は「表示しない」に設定されます。
- アプリを利用するのに必要なデータがインストールされていない場合、“アプリカタログ” は表示されません

知っておいていただきたいこと

故障とお考えになる前に

SmartDeviceLink ™ Apps でお困りの際は、まず以下の表を確認してください。

症状	考えられること	処置
アプリが表示されない、またはアプリが選択できない。	Bluetooth 接続がされていない。	Bluetooth の接続を確認してください。（→P.39）
	専用アプリがインストールされていない。	お使いのスマートフォンに専用のアプリをインストールしてください。
	アプリを利用するのに必要なデータが最新になっていない。	アプリを利用するのに必要なデータをアップデートしてください。（→P.51）
「[アプリ名称] が見つかりませんでした ご利用のスマートフォンにインストールされたかご確認ください」というメッセージが表示される。	指定しているSmartDeviceLink ™ アプリとの通信が切れた。	指定しているアプリをインストールしていない場合、そのアプリをインストールしてください。 スマートフォン側のアプリを再起動してください。
「エラーが発生しました。ご利用のスマートフォンのToyotaSmartDeviceLinkが動作しているかご確認ください」というメッセージが表示される。	アプリ動作中に Bluetooth 接続が切れた。	スマートフォンを再接続してください。（→P.39）
「スマートフォンが接続されていません」というメッセージが表示される。	専用のアプリとの通信が切れた。	スマートフォン側で専用のアプリが強制終了された場合、専用のアプリを再起動してください。
		スマートフォン側で専用のアプリが消された場合、専用のアプリをインストールしてください。

知識

● メッセージは、変更されることがあります。

Apple CarPlay / Android Auto

Apple CarPlay / Android Auto では、お客様のスマートフォンの Apple CarPlay / Android Auto 対応アプリケーション（地図、電話、音楽など）を本機に表示し、利用できます。

Apple CarPlay / Android Auto 接続中は、Apple CarPlay / Android Auto 対応アプリケーションが本機のディスプレイに表示されます。

● 対応機器

Apple CarPlay をサポートする Apple iPhone（iOS Ver. 9.3 以降）

Apple CarPlay をサポートする機種については、https://www.apple.com/jp/ios/carplay/ でご確認ください。※

Android Auto をサポートし、Android Auto アプリケーションがインストールされている Android OS Ver.5.0 以降を搭載した Android デバイス。

Android Auto をサポートする機種については、https://www.android.com/auto/ でご確認ください。※

※ 本機での動作を保証しているわけではありません。

Apple CarPlay を開始する

1 スマートフォンの設定画面から Siri を有効にする。

2 スマートフォンを USB 端子に接続する。（→P.77）

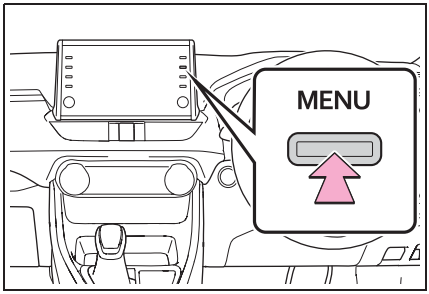
3 “利用する” または “一度だけ利用” を選択。

● “利用しない” を選択すると、Apple CarPlay は起動しません。

● 接続するスマートフォンによっては、元の画面に戻るまでに約 3～6 秒かかることがあります。

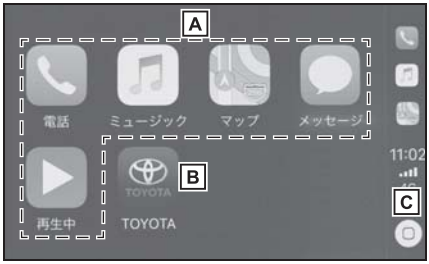
● システムによっては “手順 **6**” の画面に変わることがあります。

4 “MENU” スイッチを押す。



5 “Apple CarPlay” を選択。

6 Apple CarPlay のホーム画面が表示される。



A アプリケーションを起動しま

す。
Apple CarPlay でサポートされている iPhone アプリケーションを使用できます。

B 本機の画面に戻ります。

C Apple CarPlay のホーム画面を表示します。
長押しすると Siri が起動します。

Android Auto を開始する

1 接続するスマートフォンに Android Auto アプリケーションがインストールされていることを確認する。

2 スマートフォンを USB 端子に接続する。（→P.77）

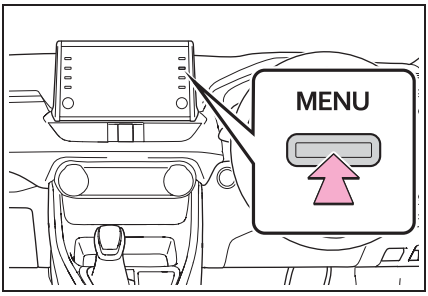
3 “する” を選択。

● “しない” を選択すると、Android Auto は起動しません。

● 接続するスマートフォンによっては、元の画面に戻るまでに約 3～6 秒かかることがあります。

● システムによっては “手順 6” の画面に変わることがあります。

4 “MENU” スイッチを押す。



5 “Android Auto” を選択。

6 Android Auto のホーム画面が表示される。

知識

● Apple CarPlay / Android Auto 接続中は、本機の一部のボタン機能が変わります。

● Apple CarPlay / Android Auto 接続中、以下の機能が Apple CarPlay / AndroidAuto 側の同様の機能に置き換えられるか、利用できなくなります。
・ iPod （オーディオ再生）
・ USB オーディオ／ USB ビデオ
・ Bluetooth オーディオ
・ Bluetooth 電話（Apple CarPlay のみ）
・ SmartDeviceLink ™ Apps

● Miracast® 使用中に Android Auto を開始すると Miracast® が終了することがあります。

● マップアプリのルート案内音声、Siri や Google アシスタントの音声は “POWER VOLUME” ノブで変更できません。音声設定画面で音量を変更することができます。（→P.68）

● iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。

● Apple CarPlay / Android Auto は、Apple 社 /Google 社によって開発されたアプリケーションです。接続されている機器のオペレーティングシステム、ハードウェアおよびソフトウェア、または Apple CarPlay / Android Auto の仕様の変更により、その機能およびサービスは予告なしに終了または変更されることがあります。

● Apple CarPlay または Android Auto でサポートされているアプリケーションについては、それぞれの Web サイトを参照してください。

- Apple CarPlay / Android Auto を使用している間、場所や車速などの車両およびユーザー情報は、それぞれのアプリケーション発行元および携帯電話サービスプロバイダと共有されます。
- アプリケーションをダウンロードして使用することにより、それらの利用規約に同意したことになります。
- データはインターネットを介して送信され、料金が発生する可能性があります。データ通信料金については、携帯電話サービスプロバイダにお問い合わせください。
- アプリケーションによっては、音楽の再生など一部の機能が制限される場合があります。
- 各機能は他社が提供するアプリケーションであり、予告なく変更または中止することがあります。
  詳しくは、各機能の Web サイトをご覧ください。
- 車両のナビゲーションシステムでルート案内中に Apple CarPlay/Android Auto のマップアプリでルート案内を開始すると、車両のナビゲーションシステムでのルート案内が終了します。
  また、Apple CarPlay/Android Auto のマップアプリでルート案内中に車両のナビゲーションシステムでルート案内を開始すると、Apple CarPlay/Android Auto のルート案内が終了します。※

※ エントリーナビキット装着車／ T-Connect ナビキット装着車

- USB ケーブルを抜くと、Apple CarPlay/ Android Auto の動作が終了します。このとき音声出力は停止し、本機の画面に変わります。

Works with Apple CarPlay

- Use of the Apple CarPlay logo means that a vehicle user interface meets Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this vehicle or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this product with iPhone or iPod may affect wireless performance.
- Apple CarPlay is a trademark of Apple Inc.

androidauto

- Android and Android Auto are trademarks of Google LLC.

警告

- 安全のため、運転者は運転中にスマートフォン本体の操作をしないでください。

注意

- スマートフォンは車室内に放置しないでください。
  炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。

注意

- スマートフォンが接続されているときには、スマートフォンを押さえたり、不必要な圧力を加えたりしないでください。スマートフォンまたはその端子が損傷する可能性があります。
- 端子に異物を入れないでください。スマートフォンやその端子が破損する恐れがあります。

知っておいていただきたいこと

故障とお考えになる前に

Apple CarPlay / Android Auto でお困りの際は、まず以下の表を確認してください。

症状	処置
Apple CarPlay / Android Auto が起動しない。	接続するスマートフォンが Apple CarPlay / Android Auto をサポートしているか確認してください。 スマートフォン側で Apple CarPlay / Android Auto が有効になっているか確認してください。 接続するスマートフォンに Android Auto アプリケーションがインストールされているか確認してください。 詳細については、以下の URL をご参照ください。 Apple CarPlay：https://www.apple.com/jp/carplay/ Android Auto：https://www.android.com/auto/
	共通設定画面の「モバイルサービス選択」が「Apple CarPlay」／「Android Auto」になっているか確認してください。（→P.61）
	使用している USB ケーブルがスマートフォンと USB 端子にしっかりと接続されているか確認してください。 USB ハブは使用せずに、本機の USB 端子にスマートフォンを接続してください。 Apple CarPlay の場合： 使用している Lightning ケーブルが Apple 認証されているものか確認してください。 Siri が有効になっているか確認してください。
スマートフォンで YouTube を再生したときに、動画が表示されない。	Apple CarPlay / Android Auto は、YouTube 動画を表示することはできません。
音声が出力されない。	本機がミュートになっているか、音量が小さい可能性があります。 本機側の音量を上げてください。
画面がちらつく、音声にノイズが入る。	本機との接続に使用している USB ケーブルが損傷していないか確認してください。 USB ケーブルが内部で損傷しているかは、スマートフォンを PC などの別のシステムに接続し、充電が開始され、接続したシステムで認識されることを確認してください。

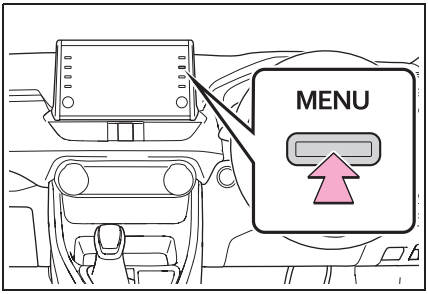
症状	処置
Apple CarPlay 地図アプリで地図表示を拡大／縮小できない。	Apple CarPlay 地図アプリはピンチイン / ピンチアウト操作することはできません。
Apple CarPlay の Music アプリ（Apple MUSIC や Spotify など）で音楽再生中に、iPhone 側で Apple CarPlay 非対応アプリ ※ を起動し音声出力した際、車載機側でボリュームを変更すると、非対応アプリの音声が終了し、元の Music アプリの音楽再生に戻る。	本動作は本機の仕様のため、誤動作ではありません。
本機側のオーディオ再生中に、Apple CarPlay 非対応アプリからの割込み音声（ナビのルート案内音声など）出力が発生した場合、元のオーディオに戻らない。	本動作は本機の仕様のため、誤動作ではありません。お客様自身でオーディオソースを変更してください。もしくは、Apple CarPlay 非対応アプリ ※ の使用をお控えください。一部のナビアプリは iOS12 から対応となっています。最新の iOS、アプリに更新してください。
Apple CarPlay を使用中に、マルチインフォメーションディスプレイと本機画面に、ルート案内矢印とターンバイターンナビゲーションが表示されない。 Android Auto を使用中に、マルチインフォメーションディスプレイおよび本機画面に、ターンバイターンナビゲーションが表示されない。	本動作は本機の仕様のため、誤動作ではありません。
Android Auto を使用中、ハンズフリー通話の音声が車両のスピーカーから聞こえない。	スマートフォンを USB ケーブルから外し、ハンズフリーシステムを使用した場合に、音声が聞こえるかどうかを確認してください。
	本機側の音量を上げて、ハンズフリー通話の音声が聞こえるかどうかを確認してください。 他のスマートフォンに換えた場合に、音声が聞こえるかどうかを確認してください。

※ Apple CarPlay 非対応アプリとは、Apple CarPlay 画面のアプリ一覧に表示されないが iPhone 上にインストールされたアプリのこと。（Visual voicemail など）

共通設定を変更する

共通設定画面を表示する

1 “MENU” スイッチを押す。



2 “設定・編集” を選択。

3 各項目を設定する。

▶ エントリーナビキット非装着車／T-Connect ナビキット非装着車

▶ エントリーナビキット装着車／T-Connect ナビキット装着車

● “時計調整”

GPS の時刻情報（GPS 時計）を利用して、時刻を調整することができます。（→P.62）

● “言語設定”

ディスプレイに表示される言語および音声案内を日本語／英語に切り替えることができます。
Apple CarPlay/Android Auto の言語設定は接続するデバイスで行えます。

● “Home 画面カスタマイズ”

Home 画面に表示させる内容を変更することができます。（→P.27）

● “モバイルサービス選択”

スマートフォンの通信機能を使用する機能を設定することができます。USB 端子に機器が接続されているときは、この設定を変更することはできません。この設定を変更する前に USB 端子に接続されている機器を取り外してください。

● “BEEP 音通知”

画面スイッチの応答音出力のする／しないを設定できます。

● “テーマ切替”

画面のテーマカラーを変更することができます。

● “操作画面継続表示” ※

“する” に設定すると、オーディオ操作画面を表示したまま約 20 秒以上操作しなかったときに、表示を継続させることができます。“しない” に設定すると、継続させずに自動で Home 画面に戻ります。

● “文字学習履歴の削除”

キーボードの文字学習履歴を削除することができます。

● “文字学習履歴の保存”

キーボードの文字学習履歴の保存のする／しないを設定することができます。

● “アニメーション表示”

アニメーション表示のする／しないを設定できます。

● “個人情報初期化”

本機の設定や保存されている情報を初期化することができます。（→P.63）

● “ソフトウェア更新”

ソフトウェアの更新をすることができます。（→P.67）

● “ソフトウェア更新設定”

ソフトウェア更新の設定を変更することができます。（→P.67）

● “オープンソフトウェア情報”

本製品に使用される第三者ソフトウェアに関するお知らせを表示します。（該当する場合、ソフトウェアの入手方法のご案内も含みます。）

● “スイッチ感度レベル”

画面スイッチの感度をレベル 1（低い）からレベル 3（高い）の間で設定することができます。

※ エントリーナビキット装着車／ T-Connect ナビキット装着車

知識

●操作画面継続表示について

・ハンズフリーの着信時などの割り込み画面が表示されると、割り込み画面の解除後に、もとの画面に戻らないことがあります。

●言語設定について

・言語設定を英語に変更した場合、すべての表示および音声案内が英語に変更されるわけではありません。

・英語に変更することによって、いくつかの案内がされない場合があります。

時計を調整する

GPS 情報（GPS 時計）を利用して、時刻を表示させることができます。GPS 補正を使用しない場合は、手動で時計を調整することができます。

1 共通設定画面を表示する：

● “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “共通設定” を順に選択。

2 “時計調整” を選択。

A GPS 補正のする／しないを設定します。（→P.62）

B 24 時間表示のする／しないを設定します。

GPS を使用して時計を調整する

1 共通設定画面を表示する：

● “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “共通設定” を順に選択。

2 “時計調整” を選択。

3 “GPS 補正” を選択し、“する” に設定する。

4 時刻を調整する。

● “＋”：実際の時刻より進めることができます。

● “－”：実際の時刻より遅らせることができます。

手動で時計を調整する

1 共通設定画面を表示する：

● “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “共通設定” を順に選択。

2 “時計調整” を選択。

3 “GPS 補正” を選択し、“しない” に設定する。

4 時刻を調整する。

● 時の “－” または “＋” を選択すると “時”、分の “－” または “＋” を選択すると “分” を調整することができます。

● 時報と同時に “:00” を選択すると、時報に合わせることができます。

・0 ～ 29 分は切り下げられます。（1：00 ～ 1：29 は、1：00 になります。）

・30 ～ 59 分は切り上げられます。（1：30 ～ 1：59 は、2：00 になります。）

個人情報を初期化する

登録した情報を削除したり、変更した設定を初期設定の状態に戻すことができます。

1 共通設定画面を表示する：

● “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “共通設定” を順に選択。

2 “個人情報初期化” を選択。

3 “初期化する” を選択。

4 “する” を選択。

初期化できる項目の例：

● ナビゲーション設定 ※

● オーディオ設定

● 電話設定

● T-Connect 設定

など

※ エントリーナビキット装着車／T-Connect ナビキット装着車

ソフトウェア更新について

より快適にマルチメディアをご利用いただくため、購入後のマルチメディアの機能・操作性向上を目的にソフトウェアの更新を行っています。

● 更新対象

・マルチメディアの性能改善

・マルチメディアの操作性向上

※ 地図データ、CD タイトル情報（CDDB）は本サービスの更新対象ではありません。

ソフトウェア更新は、次のいずれかの方法で行います。

● USB メモリーを使って更新する（USB メモリーが必要です）

● 本機の通信機能（DCM）を使って更新する

※ DCM のご利用には T-Connect の契約が必要になります。（→P.208）

● Wi-Fi® 通信を使って更新する

※ ご不明点についてはトヨタ販売店にお問い合わせください。

⚠ 注意

●USB メモリーを使ってソフトウェア更新をする場合、インターネットに接続できる環境のパソコンと 2GB 以上の空き容量がある USB メモリーが必要となります。お客様のパソコンの環境によっては通信料金が高額となりますのでご注意ください。

●ソフトウェア更新はお客様の責任において実行してください。

●ソフトウェア更新を行うと、前のバージョンに戻すことはできません。

●ソフトウェア更新で適用されるソフトは本機専用です。その他の機器で使用しないでください。

●ソフトウェア更新の内容によっては一部の設定が初期化されることがあります。その場合はソフトウェア更新後、再度設定を行ってください。

●ソフトウェア更新中も本機の操作は可能ですが、動作の遅延が発生する可能性がありますので、できるだけ操作しないようにしてください。

●ソフトウェア更新後、自動的にトヨタ自動車の配信サーバに更新が完了したことを通知します。なお、トヨタ自動車は送信された情報をソフトウェア更新以外の目的には使用いたしません。また、お客様のご契約形態によっては通信料が発生する場合があります。

●ソフトウェア更新の内容によっては、本機の通信機能（DCM）または Wi-Fi® 通信を使った更新ができない場合があります。この場合は、USB メモリーを使った更新を行ってください。

USB メモリーを使って更新する

更新データを準備する

1 共通設定画面を表示する：

● “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “共通設定” を順に選択。

2 “ソフトウェア更新” を選択。

3 「機種識別 ID」を確認する。

▶ エントリーナビキット非装着車／T-Connect ナビキット非装着車

▶ エントリーナビキット装着車／T-Connect ナビキット装着車

4 パソコンで https://toyota.jp/dop/navi/update/software にアクセスし、ソフトウェア更新メニューから、「機種識別 ID」に対応した更新ソフトがあることを確認する。

● 機種識別 ID に対応した更新ソフトが見つからない場合は、対象のマルチメディアには現在更新ソフトは提供されていません。なお、更新ソフトは随時配信されます。

5 更新ソフトをパソコンにダウンロードする。

6 パソコンにダウンロードした更新ソフトを USB メモリーにコピーする。

● 更新ソフトは、USB メモリー内の最上位階層に保存してください。作成したフォルダ内に更新ソフトを保存すると、更新ソフトを読み込むことができません。

ソフトウェアを更新する

1 共通設定画面を表示する：

● “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “共通設定” を順に選択。

2 “ソフトウェア更新” を選択。

3 USB 端子に USB メモリーを接続する。（→P.77）

4 “ソフトウェア更新を実施する” を選択。

5 データがコピーされ、ソフトウェア更新が開始される。

● 更新ソフトがインストールされます。約 10 ～ 15 分程度かかります。

● インストールが完了したとき、更新準備完了画面が表示されます。

6 USB メモリーを USB 端子から取りはずす。（→P.77）

7 エンジンスイッチ＜パワースイッチ＞を OFF にした後、再度 ACC または ON にする。

● ソフトウェアの情報を確認するときは、ソフトウェア更新画面で、“更新情報” を選択します。

● ソフトウェアの更新履歴を確認するときは、ソフトウェア更新画面で、“更新履歴” を選択します。

⚠ 注意

● ソフトウェア更新中は、USB メモリーを抜いたり、エンジンスイッチ＜パワースイッチ＞を OFF にしないでください。

本機の通信機能（DCM）または Wi-Fi® 通信を使って更新する ※

※ DCM のご利用には T-Connect の契

約が必要になります。

本機の通信機能（DCM）または Wi-Fi® 通信を使ったソフトウェア更新は、ソフトウェア更新設定内容によって一部手順が異なります。

納車時の設定やソフトウェア更新設定の変更については、「ソフトウェア更新の設定を変更する」（→P.67）をご確認ください。

Wi-Fi® 通信を使ってソフトウェア更新をするには、以下の条件が必要です。

- Wi-Fi® アクセスポイントに接続が完了している
- 車が Wi-Fi® アクセス可能な場所にある
- 通信設定が「Wi-Fi®」になっている ※

ソフトウェア更新の内容によっては、本機の通信機能（DCM）または Wi-Fi® 通信を使った更新ができない場合があります。この場合は、USB メモリーを使って更新を行ってください。

※ 詳細は、別冊「ナビゲーション取扱書」をご覧ください。

ソフトウェア更新設定の自動確認「する」時の更新

1 配信サーバに新しい更新ソフトがある場合、メッセージが表示される。

- 更新ソフトウェアの自動確認が「する」のとき、本機は定期的に配信サーバーへアクセスして更新ソフトウェアの有無を確認します。

2 “はい” を選択。

- “いいえ” を選択すると、次回確認時に再度通知します。

3 “ソフトウェア更新を実施する” を選択。

4 “はい” を選択。

- 更新ソフトのダウンロードが開始されます。ダウンロード完了後、インストールが開始されます。（約 10 ～ 15 分間）
- ダウンロードとインストールにかかる時間は、通信環境により長くなる場合があります。インストール中にエンジンスイッチ＜パワースイッチ＞を OFF にしたときは、次回エンジンスイッチ＜パワースイッチ＞を ACC または ON にするとインストールを再開します。

5 エンジンスイッチ＜パワースイッチ＞を OFF にした後、再度 ACC または ON にする。

- ソフトウェアの情報を確認するときは、ソフトウェア更新画面で “更新情報” を選択します。
- ソフトウェアの更新履歴を確認するときは、ソフトウェア更新画面で “更新履歴” を選択します。

ソフトウェア更新設定の自動確認「しない」時の更新

1 共通設定画面を表示する：

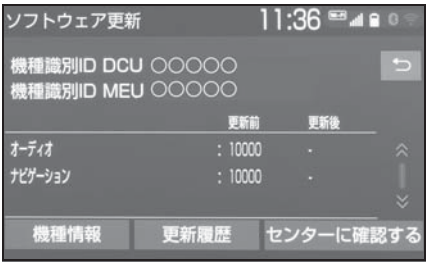
- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “共通設定” を順に選択。

2 “ソフトウェア更新” を選択。

3 “センターに確認する” を選択。

▶ エントリーナビキット非装着車／T-Connect ナビキット非装着車

▶ エントリーナビキット装着車／T-Connect ナビキット装着車



● 新しい更新ソフトが見つかると、“センターに確認する” が “ソフトウェア更新を実施する” に変わります。

● 新しい更新ソフトがない場合は、画面が表示されます。更新ソフトは随時配信されますので、次の配信までお待ちください。

4 “ソフトウェア更新を実施する” を選択。

5 “はい” を選択。

● 更新ソフトのダウンロードが開始されます。ダウンロード完了後、インストールが開始されます。（約 10 ～ 15 分間）

● ダウンロードとインストールにかかる時間は、通信環境により長くなる場合があります。インストール中にエンジンスイッチ＜パワースイッチ＞を OFF にしたときは、次回エンジンスイッチ＜パワースイッチ＞を ACC または ON にするとインストールを再開します。

6 エンジンスイッチ＜パワースイッチ＞を OFF にした後、再度 ACC または ON にする。

● ソフトウェアの情報を確認するときは、ソフトウェア更新画面で “更新情報” を選択します。

● ソフトウェアの更新履歴を確認するときは、ソフトウェア更新画面で “更新履歴” を選択します。

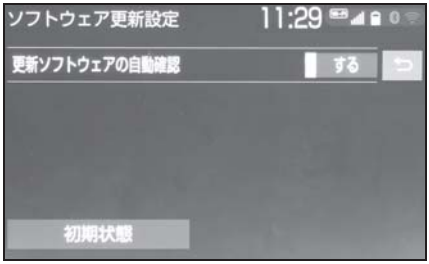
ソフトウェア更新の設定を変更する

1 共通設定画面を表示する：

● “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “共通設定” を順に選択。

2 “ソフトウェア更新設定” を選択。

3 “更新ソフトウェアの自動確認” を選択。



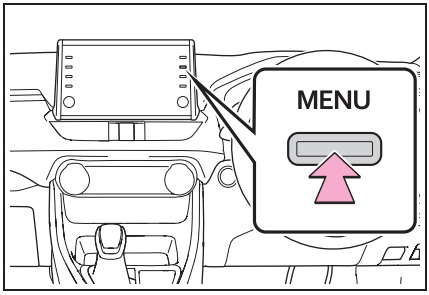
● 選択するごとに、する／しないが切り替わります。

音声の設定をする ※

※ エントリーナビキット非装着車／ T-Connect ナビキット非装着車

音声設定画面を表示する

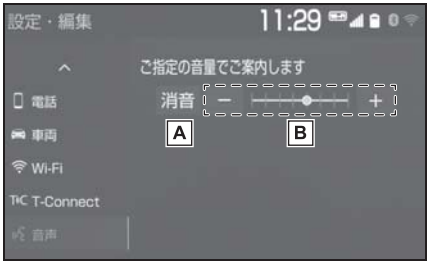
1 “MENU” スイッチを押す。



2 “設定・編集” を選択。

3 “音声” を選択。

4 希望の項目を選択。



A 消音します。

B 音量を調整します。

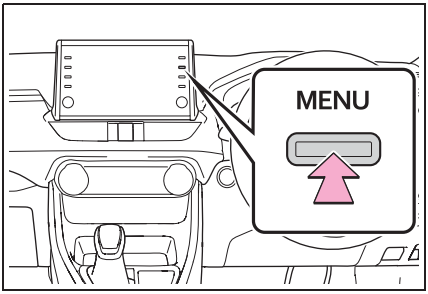
－: 小さくする

＋: 大きくする

車両設定を変更する

車両設定画面を表示する

1 “MENU” スイッチを押す。



2 “設定・編集” を選択。

3 “車両” を選択。

4 各項目を設定する。

▶ エントリーナビキット非装着車／T-Connect ナビキット非装着車

A 車両カスタマイズの設定を変更します。※

※ 詳細は、別冊「取扱書」をご覧ください。

▶ エントリーナビキット装着車／T-Connect ナビキット装着車

A メンテナンス項目の設定を変更します。（→P.69）

B 車両カスタマイズの設定を変更します。※1

C 安全・快適走行設定の項目を変更します。※2

※1 詳細は、別冊「取扱書」をご覧ください。

※2 詳細は、別冊「ナビゲーション取扱書」をご覧ください。

メンテナンス項目を設定する ※

※ エントリーナビキット装着車／T-Connect ナビキット装着車

メンテナンス機能とは、GPS※ のカレンダー機能と車速信号を利用して、オイルなどの消耗部品の交換時期・各種点検時期・免許証の更新などのイベント時期の案内を行う機能です。

1 車両設定画面を表示する：

● “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “車両” を順に選択。

2 “メンテナンス” を選択。

3 設定する項目を選択。

● パーソナル項目 （パーソナル項目）を選択すると、表示されている項目以外の項目を設定することができます。（→P.70）

4 “お知らせ日” または “お知らせ距離” を選択。

5 日付・距離を入力し、“完了” を選択。

● 間違えたときは、“修正” を選択します。

●「日付入力画面」で、一桁の日付を入力するときは、“年”・“月”・“日” を選択して入力することができます。

・2～9月と4～9日は “月”・“日” を選択して入力する必要はありません。
〈例〉2017年9月25日と入力するとき
“1”・“7”・“年”・“0”・“9”・“2”・“5” または
“1”・“7”・“9”・“2”・“5” の順に選択します。

※ 詳細は、別冊「ナビゲーション取扱書」をご覧ください。

知識

●メンテナンスの内容や時期については、トヨタ販売店にご相談ください。

●車の使用状況により、設定した時期と実際に案内が行われる時期は誤差が生じることがあります。また、計測された走行距離と実際の走行距離は誤差が生じることがあります。

●メンテナンス時期の設定をしても、メンテナンスの自動通知を設定しないと、メンテナンス案内は行われません。（→P.24）

●未設定の項目は バッテリー交換 （白色）、すでに設定されている項目は エンジンオイル交換 （緑色）、メンテナンス案内が行われる時期の項目は タイヤローテイション （茶色）で表示されます。

パーソナル項目を設定する

1 “パーソナル項目” を選択。

2 設定する項目を選択。

● パーソナル項目 （パーソナル項目）を選択したときは、名称を入力します。

3 “お知らせ日” または “お知らせ距離” を選択。

4 日付・距離を入力し、“完了” を選択。

メンテナンス設定を消去する

1 設定を消去する項目を選択。

● すべての設定を消去したいときは、“設定全消去” を選択し、“はい” を選択します。

2 “設定消去” を選択。

3 “はい” を選択。

メンテナンス設定を個別に更新する

1 設定を更新する項目を選択。
2 “自動更新” を選択。
3 “はい” を選択。

- 距離が更新され、新しい日付・設定した距離に変更されます。
- パーソナル項目の免許証更新を選択したときは、“3 年後” または “5 年後” を選択します。
- すべて更新するときは、「メンテナンス設定をすべて更新する」（→P.71）を参照ください。

知識

- 新しい日付は、メンテナンスの時期を設定した日と現在の日、または案内する予定だった日から自動的に計算され、変更されます。（項目により、計算方法は異なります。）

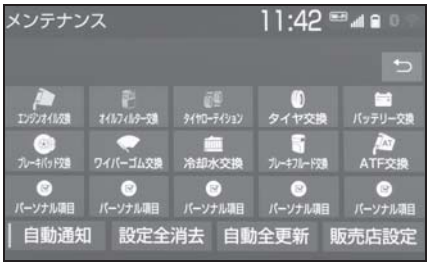
メンテナンス設定をすべて更新する

1 “自動全更新” を選択。

2 “はい” を選択。

販売店の設定をする

1 “販売店設定” を選択。



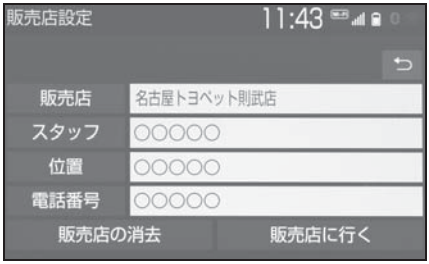
2 地図の呼び出し方法を選び、販売店を設定する地点の地図を表示する。※
3 “セット” を選択。

- の位置に販売店が設定されます。
- 「施設で検索する」※ でトヨタ販売店を呼び出し、そのまま位置を調整せずに “セット” を選択すると、販売店名・電話番号が自動的に入力されます。

※ 詳細は、別冊「ナビゲーション取扱書」をご覧ください。

販売店の情報を修正・入力する

1 “販売店設定” を選択。
2 修正／入力をする。



- “販売店に行く” を選択すると、販売店の地図が表示されます。
- 販売店を消去したいときは、“販売店の消去” を選択し、“はい” を選択します。

オーディオ＆ビジュアル

3

3-1. はじめに

基本操作をする 74

3-2. ラジオを聞く

ラジオを操作する 80

3-3. メディアを操作する

地上デジタルテレビを視聴する . 82

USB メモリーを操作する 92

iPod/iPhone（Apple CarPlay）を操作する 95

Android Auto を操作する..... 98

Bluetooth オーディオを操作する 99

Miracast® を操作する 102

3-4. ステアリングスイッチで操作する

ステアリングスイッチで操作する 104

3-5. オーディオの設定をする

オーディオの設定をする..... 105

3-6. オーディオ＆ビジュアルで使用できるメディア／データについて

オーディオ＆ビジュアルで使用できるメディア／データについて 106

基本操作をする

操作画面を表示するには、次の操作を行います。

● オーディオコントロールスイッチから表示する

“AUDIO” スイッチを押す。

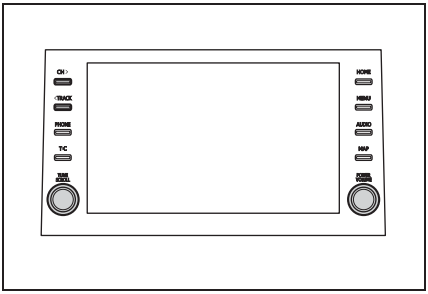
● メニュー画面から表示する

“MENU” スイッチを押し、“オーディオ” または、“TV” を選択。

操作画面とオーディオコントロールスイッチについて

■ 操作画面

■ オーディオコントロールスイッチ



● ラジオ（→P.80）

● 地上デジタルテレビ ※（→P.82）

● USB メモリー（→P.92）

● iPod/iPhone （Apple CarPlay）（→P.95）

● Android Auto（→P.98）

● Bluetooth オーディオ（→P.99）

● Miracast®（→P.102）

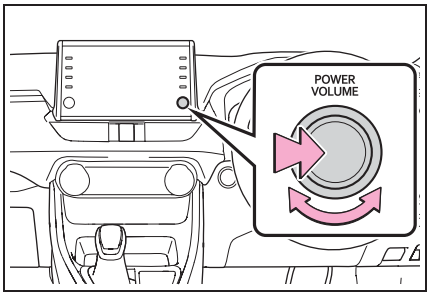
● SmartDeviceLink ™ Apps（→P.50）

● オーディオ設定（→P.105）

※ 別途、契約（有料）が必要となりますので、詳しくはトヨタ販売店へお問い合わせください。

オーディオシステムを ON/OFF する

エンジンスイッチ<パワースイッチ>が ACC または ON のときに使用できます。



“POWER VOLUME” ノブ：押すごとに電源の ON と OFF が切り替わります。回すと音量が切り替わります。

⚠ 注意

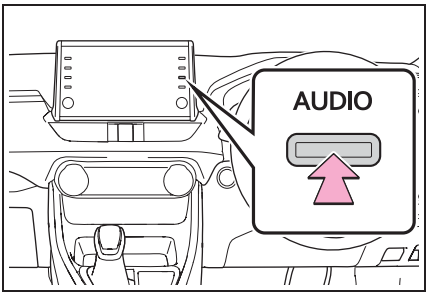
● 安全運転に支障がないように適度な音量でお聞きください。

ソースを選択する

オーディオソース選択画面から
ソースを選択します。

■ オーディオコントロールスイッチから選択する

1 “AUDIO” スイッチを押す。



● オーディオ操作画面が表示されます。

● オーディオ操作画面表示中に“AUDIO” スイッチを押すと、オーディオソース選択画面が表示されます。

2 “オーディオ選択” を選択。

3 ソースを選択。

■ メニュー画面から選択する

1 “MENU” スイッチを押す。

2 “オーディオ” または“TV” を選択。

3 “オーディオ選択” を選択。

4 ソースを選択。

スイッチ	内容
“AM”	AM ラジオを受信する。
“FM”	FM ラジオを受信する。
“交通情報”	交通情報を受信する。
“Miracast ™”	スマートフォンの画面を表示する。
“Bluetooth”	Bluetooth オーディオを再生する。
“TV” ※	地上デジタルテレビを受信する。
“USB” / “USB2”（機器名称）	USB メモリーに記録した音楽ファイルや動画ファイルを再生する。
“iPod” / “iPod2”（機器名称）	iPod/iPhone の音楽ファイルを再生する。
“Android Auto”	Android デバイスの音楽ファイルを再生する。
“SmartDevice Link ™”（アプリ名称）	SmartDeviceLink™ Apps を利用して音楽アプリを再生する。

※ 別途、契約（有料）が必要となりますので、詳しくはトヨタ販売店へお問い合わせください。

知識

●次のようなときは選択することができません。
・再生するデータのないとき
・USB 端子に機器が接続されていないとき（USB/iPod モード）

●USB ハブを使用して、USB メモリーや iPod を 2 つ同時に接続すると、オーディオソース選択画面には

“USB”/“iPod”（機器名称）、“USB2”/“iPod2”（機器名称）スイッチが表示されます。
ただし、接続した機器が Apple CarPlay/Android Auto 接続した場合は、Apple CarPlay/Android Auto 接続が優先され、それ以外の USB 接続した機器は利用できなくなります。

●接続した機器に名称が登録されている場合は、その名称でスイッチが表示されます。機器によっては、表示されないことがあります。

●オーディオを聞いているときに、車内または車の近くで携帯電話を使用すると、オーディオのスピーカーからノイズ（雑音）が聞こえることがありますが、故障ではありません。

●Apple CarPlay / Android Auto 接続中、以下の機能が Apple CarPlay / AndroidAuto 側の同様の機能に置き換えられるか、利用できなくなります。
・iPod（オーディオ再生）
・USB オーディオ／USB ビデオ
・Bluetooth オーディオ
・SmartDeviceLink ™ Apps

■ スイッチの配置を変更する

1 “AUDIO” スイッチを押す。
2 “オーディオ選択” を選択。
3 “配置変更” を選択。
4 移動したいオーディオソースを選択。
5 < または > を選択して、スイッチを移動させる。

● ページを切り替えるときは、< または > を選択します。

ラジオ用アンテナについて

ルーフ後部に埋め込まれています。

地上デジタルテレビ用アンテナについて

フロントウインドウガラスおよびクォーターガラスに埋め込まれています。

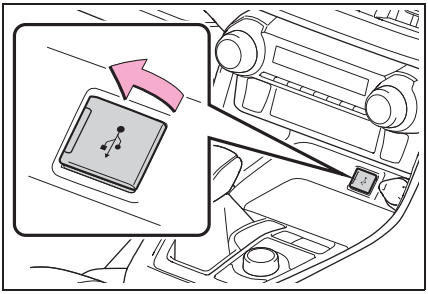
⚠注意

●アンテナ入りガラス（室内側）の清掃は湿った布で線にそって軽くふいてください。ガラスクリーナーなどは、アンテナをいためますので使用しないでください。

●フロントウインドウガラスおよびクォーターガラスのアンテナ線部に以下のものを貼りつけないでください。受信感度が低下したり、ノイズ（雑音）がはいるおそれがあります。
・金属を含有するウインドウフィルム
・その他の金属物（トヨタ純正品以外のアンテナなど）

USB 端子について

ポータブルオーディオなどの機器を接続して、車両のスピーカーで聞くことができます。



知識

- USB 端子が接続できます。
- USB ハブを使用して、USB メモリーを接続した場合、USB メモリーが認識されないことがあります。
- USB ハブを使用しても、最大 2 個までしかデバイス（USB メモリー、iPod 等）は認識されません。
- ご使用になるUSB ハブが3 口以上ある場合、USB 端子から供給できる電流には制限があるため、電力供給不足になる場合があります。
  外付け電源を持たない、3 口以上ある USB ハブを使用して、全ての端子に USB デバイスを差し込んだ場合、正常にデバイスを読み込めなくなることがあります。
- USB ハブを使用して 2 つ以上の機器を接続し、同時に充電させた場合、充電が十分な性能を確保できなくなることがあります。
- USB 端子、接続する機器の取扱説明書をよくお読みください。
- 接続する機器の電源は、機器に付属のバッテリーなどを使用してください。
  車に装着されているアクセサリーソケットを使用すると、雑音が出ることがあります。（アクセサリーソケットについては、別冊「取扱書」をご覧ください。）

⚠ 注意

- 接続する機器の形状によっては、周辺部品と干渉し、本体もしくは接続機器が破損する可能性がありますのでご注意ください。
- USB 端子の差込口に iPod などの USB 接続機器以外のものを入れないでください。故障の原因となります。

音の設定をする

1 “AUDIO” スイッチを押す。
2 “音設定” を選択。
3 各項目を設定する。

A Treble（高音）、Mid（中音）、Bass（低音）の調整をします。

B 前後左右の音量バランスを調整します。

C 走行時の車速に応じて、オーディオの音量を自動で補正するレベルを設定することができます。

・ASL は Automatic Sound Levelizer の略です。

知識

●Treble/Mid/Bass スイッチについて
・各オーディオソースごとに独立して調整することができます。

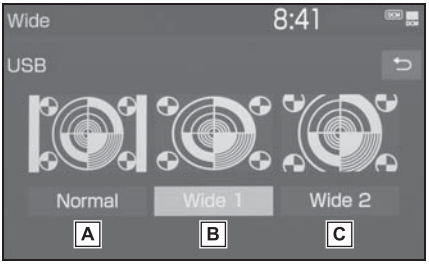
画面モードを切り替える

通常の映像とワイド映像を切り替えることができます。

1 “MENU” スイッチを押す。
2 “設定・編集” を選択。
3 “オーディオ” を選択。
4 “共通” を選択。
5 “Wide” を選択。

● 映像モード時のみスイッチが表示されます。

6 希望のモードを選択。



A Normal （ノーマル）

● 入力映像をよこ 4：たて 3（地上デジタルテレビは、よこ 16：たて 9）の割合で表示します。

B Wide1 （フル）

● 入力映像を上下方向または左右方向いずれかに均等に拡大して表示します。

C Wide2 （ズーム）

● 入力映像を上下左右方向に均等に拡大して表示します。

知識

●映像モードによって設定できるモードは異なります。

●お客様が個人的に視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。

●ディスプレイの表示方法（全画面 / 分割画面）によっては、動画の見え方に違和感が生じないよう黒帯をつけて動画表示領域を制限する場合があります。

画質調整をする

映像のコントラストや明るさなどを調整することができます。

1 “MENU” スイッチを押す。
2 “設定・編集” を選択。
3 “オーディオ” を選択。
4 “共通” を選択。
5 “画質調整” を選択。

● 映像モード時のみスイッチが表示されます。

6 各項目を設定する。

A コントラストを調整します。

“弱” ：弱くなる

“強” ：強くなる

B 明るさを調整します。

“暗” ：暗くする

“明” ：明るくする

知識

● 映像モードによって設定できる項目は異なります。

ブレーキホールドまたはクルーズ機能による完全停車時に動画を視聴する

パーキングブレーキがかかっていなくても、ブレーキホールドの作動中、またはクルーズコントロール機能による完全停車状態になっていれば動画を視聴できるように設定できます。
設定については、「オーディオの設定をする」（→P.105）をご覧ください。

知識

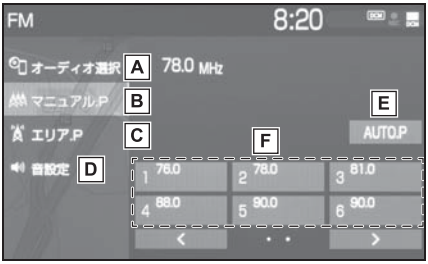
● Apple CarPlay/Android Auto/SmartDeviceLink ™ のナビアプリ画面表示中など、一部、映像が自動で表示されない場合があります。

ラジオを操作する

ラジオ操作画面を表示するには オーディオソース選択画面で “AM” または “FM” を選択します。

ラジオを聴く

■ **操作画面**



A オーディオソース選択画面を表示します。（→P.75）

B マニュアルで記憶している放送局を表示します。

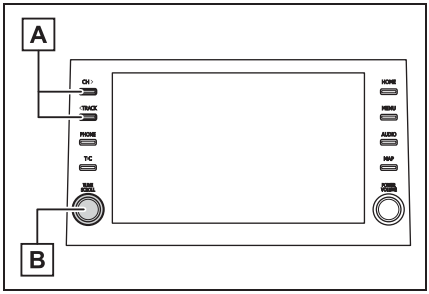
C 本機がエリアごとに記憶している放送局を表示します。（GPSの自車位置情報により、今いる地域で放送されている放送局の局名と周波数がプリセットスイッチに表示されます。）

D 音設定画面を表示します。（→P.77）

E 選択し続けると、自動で受信可能な周波数をプリセットスイッチに記憶します。再度選択すると、解除されます。

F 記憶されている放送局を受信します。
マニュアルプリセット画面のときに、記憶したい周波数に切り替え、選択し続けると、その周波数を記憶します。

■ **オーディオコントロールスイッチ**



A プリセットスイッチに記憶されている放送局が切り替わります。

・0.8 秒以上押し続けると、受信感度が良く、現在受信している周波数に一番近い周波数を自動で選択します。再度スイッチを押すと、止まります。
1.5 秒以上押し続けると、押し続けている間、周波数が切り替わり、手を離すと、その位置から一番近い周波数を自動で選択します。

B 回すと、周波数が切り替わります。

知識

●走行中、受信状態は刻々とかわるため電波の強さがかわったり、障害物や電車、信号機などの影響により最良な受信状態を維持することが困難なことがあります。

●放送を受信できても、放送局名が表示されないことがあります。

● “AUTO.P” スイッチについて

・エリア .P 画面では、“AUTO.P” スイッチは操作できません。

・AM 放送の場合は 6 局まで、FM 放送

の場合は 12 局まで記憶します。受信可能な放送局数が AM 放送は 6 局、FM 放送は 12 局未満の場合、残りのプリセットスイッチには何も記憶されません。
・地域や車の向きなどの条件により、すべての周波数の受信感度が悪い場合、自動で記憶できないことがあります。
・同じ放送局からの受信でも、“TUNE/SCROLL” ノブまたは “CH/TRACK” スイッチで選択し、記憶させた周波数と “AUTO.P” スイッチで記憶させた周波数は一致しないことがあります。
・“AUTO.P” スイッチによる周波数の記憶操作を同じ場所で繰り返しても、受信感度の状態によっては、操作ごとに記憶される周波数が異なることがあります。
・受信状況によっては、同一放送局が複数プリセットされる場合があります。その場合、受信状態の良い放送局を選択してください。

●エリア .P 画面について
・プリセットスイッチを選択し続けても、周波数を記憶させることはできません。
・AM 放送の場合、昼画表示（ライト消灯時）と夜画表示（ライト点灯時）で、表示される周波数・放送局名が異なることがあります。

●自動選局について
・地域や車の向きなどの条件により、すべての周波数の受信感度が悪い場合、自動で選局できないことがあります。

●本機はワイド FM（→P.81）に対応しているため、FM の操作画面に AM の放送局が表示されることがあります。

交通情報を聴く

1 “オーディオ選択” を選択。
2 “交通情報” を選択。

知識

●新車時には 1620kHz にセットしてあります。

●AM 放送の周波数を選択してから、“交通情報” スイッチを選択し続けると、その周波数が記憶されます。

●“交通情報” を選択してラジオを受信しているときは、“TUNE/SCROLL” ノブ、“CH/TRACK” スイッチを操作しても、周波数は切り替わりません。

ワイド FM（FM 補完放送）について

ワイド FM とは、AM 放送の難聴解消や災害時の放送継続のために、FM の周波数を使用して AM の番組を放送することです。

周波数帯は従来アナログ TV で使用されていた V-Low 帯域の一部（90.1MHz ～ 95.0MHz）を使用しています。

2014 年 12 月からサービスが開始されており、FM 補完中継局は全国で拡大中です。ワイド FM の開局状況については、各ラジオ局のホームページなどでご確認ください。

知識

●ワイド FM の電波状況について
・従来の FM 放送局とは、受信状態が異なる場合があります。

地上デジタルテレビを視聴する

地上デジタルテレビ操作画面を表示するにはオーディオソース選択画面で “TV” を選択します。

地上デジタルテレビの操作は、おもに操作画面と TV 局リスト画面から行います。

目的に応じていずれかの画面を表示して操作します。

別途、契約（有料）が必要となりますので、詳しくはトヨタ販売店へお問い合わせください。

知識

●本機での地上デジタルテレビ放送の受信は受信場所によって、電波の強さがかわったり、障害物などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合もあります。
この関係の主な例を次に説明します。
・電車の架線、高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くで受信すると、画像が静止したり音声がとぎれる場合があります。
・ラジオ放送やアマチュア無線の送信用アンテナの近くで受信すると、画像が静止したり音声がとぎれる場合があります。
・電波の特性上、建物や山などが障害物となり受信状態が悪くなることがあります。
・トンネル内にはいったり、放送局から遠ざかると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
・一部の地域において、テレビやラジオなどの送信アンテナ塔付近では、受信している周波数以外の電波の影響により、画像が静止したり音声がとぎれる場合があります。

●本機はハイビジョン放送の受信は可能ですが、表示は標準映像となります。また、双方向通信には対応していません。

●地上デジタルテレビの画面表示などは、製品の仕様変更などにより、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

●本機は、B-CAS カードを使用せずに地上デジタル放送を視聴できる新 RMP 方式※を採用しており、B-CAS カードを付属していません。

※新 RMP 方式とは、地上デジタル放送のコンテンツ権利保護専用方式です。詳しくは、下記サイトをご覧ください。
一般社団法人地上放送 RMP 管理センター
http://www.trmp.or.jp/

※放送局が新 RMP に関する情報を更新した際は、更新情報を取得するまでの間（最大 30 秒）地上デジタル放送が視聴できない場合があります。

⚠ 警告

●安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかける、またはシフトレバーを P にいれたときのみ映像をご覧になることができます。（走行中は音声だけになります。）

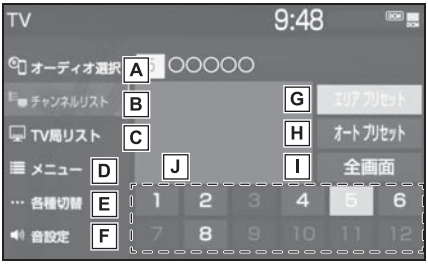
初回起動時について

■ 居住地域の設定について

データ放送で地域情報を受信するために、居住地域を設定する必要があります。居住地域の設定については「機能設定画面について」（→P.88）をご覧ください。

地上デジタル TV を視聴する

■ 操作画面



A オーディオソース選択画面を表示します。（→P.75）

B 操作画面を表示します。

C TV 局リスト画面を表示します。（→P.84）

D 地上デジタルテレビの設定をします。（→P.84）

E 音や映像の設定を変更することができます。（→P.89）

F 音設定画面を表示します。（→P.77）

G 本機がエリアごとに記憶しているチャンネルを表示します。（GPS の自車位置情報により、今いる地域で放送されている放送局の局名とチャンネルがプリセットスイッチに表示されます。）再度選択すると、解除されます。

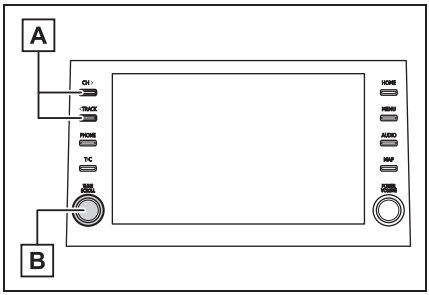
H 選択し続けると、自動で受信可能なチャンネルを、一時的にプリセットスイッチに記憶します。再度押すと、解除されます。

I 全画面に切り替わります。全画面表示中は、画面を選択すると操作画面に切り替わります。

J 記憶されているチャンネル放送局を受信します。
記憶したいチャンネルに切り替え、選択し続けると、そのチャンネルを記憶します。

・“エリアプリセット” スイッチ選択中は、チャンネルを記憶できません。
・サブチャンネル放送が行われている場合、スイッチを押すごとにメインチャンネルとサブチャンネルが切り替わります。

■ オーディオコントロールスイッチ



A プリセットスイッチに記憶されているチャンネルが番号順に切り替わります。
0.8 秒以上押し続けると、受信感度が良く、現在受信しているチャンネルに一番近いチャンネルを選択します。再度押すと、選択を停止します。
1.5 秒以上押し続けると、押し続けている間、周波数が切り替わり、手を離すと、その位置から一番近いチャンネルを自動で選択します。

B 回すと、チャンネルが切り替わ

ります。

知識

●プリセットスイッチについて
・地上デジタル TV を初めてご利用になる場合や、すべてのプリセットスイッチにチャンネル番号が表示されていない場合、チャンネル設定が行われていません。初期スキャンを行ってください。（→P.88）

●ワンセグ放送のサービス番号は、611 ～ 728 に割り当てられています。

●ご覧になっているチャンネルがワンセグ放送をおこなっていない場合、ワンセグ放送に切り替えることができません。

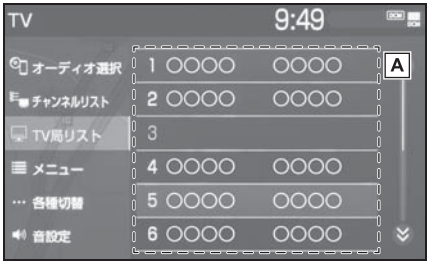
●ワンセグ自動切替に設定されている場合、通常の地上デジタルテレビ放送が受信可能なときは、ワンセグ放送に切り替えても自動で通常の地上デジタルテレビ放送に戻ります。（→P.84）

●地上デジタルテレビ放送では1つのチャンネル（放送局）で複数の番組（サービス）を同時に放送する（サブチャンネル放送）ことができます。
違うサブチャンネルの番組に切り替えたい場合、チャンネルを選択した後、番組を切り替えてください。

●1 つのチャンネルで、サービス番号が異なっていても、同じ番組が複数放送されている場合があります。

TV 局リスト画面について

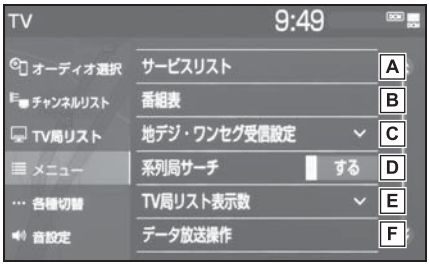
1 “TV 局リスト ” を選択。

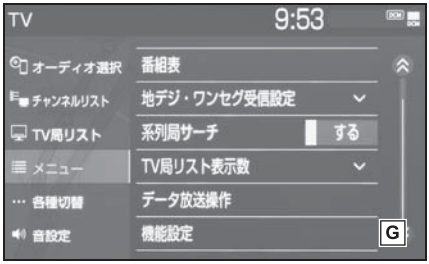


A 選択したチャンネルを受信します。長押しすると、受信中のチャンネルを記憶します。
・“エリアプリセット ” 選択中は、チャンネルを記憶できません。

メニュー画面について

1 “メニュー ” を選択。





A 同じチャンネル内で、サービスが複数ある場合に切り替えることができます。

B 番組表を表示します。（→P.85）

C 地上デジタルテレビ放送／ワン

セグ放送を切り替えます。

・“ワンセグ自動切替”を選択すると、地上デジタルテレビ放送が受信できなくなった場合、自動でワンセグ方法に切り替えます。地上デジタルテレビが受信可能になると、ワンセグ放送から自動で切り替わります。
・“地デジ”を選択すると、地上デジタルテレビ放送に固定します。
・“ワンセグ”を選択すると、ワンセグ放送に固定します。

D 走行中に、地上デジタルテレビ放送の受信状態が不安定になった場合、より受信感度が良い中継局や系列局を自動的にサーチして受信することができます。(→P.86)

E TV 局リスト画面での放送局リスト表示数を選択できます。

F データ放送操作スイッチを表示します。(→P.86)

G 機能設定画面を表示します。初期スキャンや居住地域の登録などができます。(→P.88)

知識

●地デジ・ワンセグ受信設定スイッチについて
・ワンセグ放送を受信しているときは、映像の右下に「ワンセグ」と表示されます。
・放送が切り替わるとき、一時的に画像が静止したり音声がとぎれる場合があります。
・自動で切り替わった番組の映像や音声が、ご覧になっていた番組と異なることがあります。
・ワンセグ放送を実施していない放送局をご覧になっている場合、ワンセグ自動切替にしていても、ワンセグ放送に切り替わりません。

EPG（電子番組表）を見る

EPG とは放送局が提供する、画面上で見ることができるテレビ番組表です。画面上で番組をさがすことができます。

1 “メニュー”を選択。
2 “番組表”を選択。

A 前後の時間帯の番組情報に切り替えます。

B 別の日の番組情報に切り替えます。

C 別のサービスの番組情報に切り替えます。

選択するごとに、複数サービス →1 サービス → プライマリーサービスの順に表示が切り替わります。
・複数サービスは、1 チャンネルの全番組を表示します。
・サービスは、1 チャンネルの 1 番組を表示します。
・プライマリーサービスは、3 チャンネルを 1 番組ずつ表示します。

D 現在受信中の映像を表示します。

E チャンネルを切り替えます。

知識

●放送局を選択すると選局できます。

●番組を選択すると、詳細情報を表示します。表示しきれていない番組がある場合はリストが表示されます。

●TV 番組表画面は現在から最大７日分表示することができます。

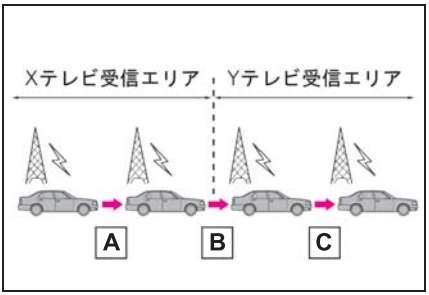
系列局サーチについて

1 “メニュー” を選択。

2 “系列局サーチ” を選択。

● “する”：中継局、系列局を自動的にサーチして受信します。

● “しない”：中継局のみ自動的にサーチして受信します。



A 中継局サーチ

親局の受信エリアから外れても、中継局を自動でサーチし、切り替えます。

B 系列局サーチ

X テレビの受信エリアを外れても、隣接する系列局の Y テレビを自動でサーチし、切り替えます。

C 中継局サーチ

受信状態の良い親局や中継局を自動でサーチし、切り替えます。

知識

●系列局サーチスイッチについて

・同じ中継局／系列局を探し出し、受信するまでの約 10 秒間は受信できません。

・系列局を受信した場合、自動で切り替わった番組の映像や音声が、ご覧になっていた番組と異なることがあります。

データ放送を操作する

データ放送とは地上デジタルテレビ映像の他に、図形や文字の情報を付加した放送です。受信するデータ放送により、番組の内容と関係ないニュースや天気、交通情報などの独立した情報や番組に連動した情報を見ることができます。

画面に表示される説明の順に操作すると、さまざまな情報を見ることができます。受信したデータ放送は色スイッチ、カーソル、10 キー（テンキー）などで操作します。操作方法は受信したデータ放送により異なります。

1 “メニュー” を選択。

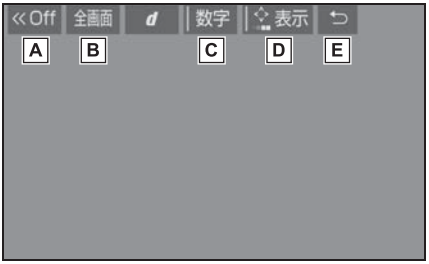
2 “データ放送操作” を選択。

3 “d” を選択。

● データ放送が表示されます。

● データ放送画面を解除するとき

は、再度 “d” を選択します。



A スイッチの表示を消します。

B 全画面に切り替わります。

C 10 キー（テンキー）で数字を入力し、データ放送を操作します。（→P.87）

D 色スイッチとカーソルでデータ放送を操作します。（→P.87）

E データ放送操作画面を、ひとつ前に表示させていた画面に戻します。

知識

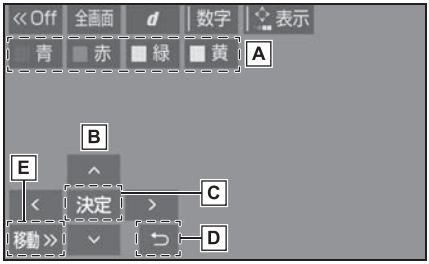
- 本機はワンセグ放送のデータ放送には対応していません。
- データ放送を受信可能な場合、地上デジタルテレビ操作画面に “d” が表示されます。
- データ放送の操作は、画面に表示される指示の順におこなってください。

■ 色スイッチとカーソルを操作する

1 “メニュー” を選択。

2 “データ放送操作” を選択。

3 “表示” を選択。



A 色スイッチ

B カーソル

C カーソルを操作して選択した項目を実行します。

D ひとつ前に表示させていた画面に戻します。

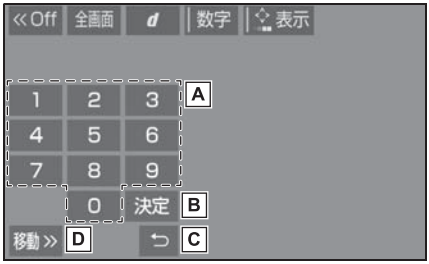
E 操作スイッチを移動することができます。

■ 10 キー（テンキー）で数字を入力する

1 “メニュー” を選択。

2 “データ放送操作” を選択。

3 “数字” を選択。



A 数字を入力します。

B 入力した数字を決定します。

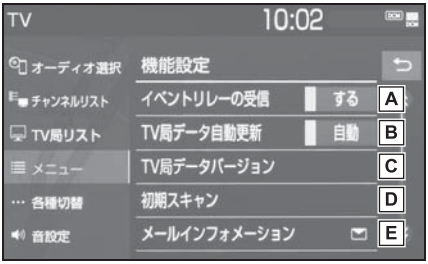
C ひとつ前に表示させていた画面に戻します。

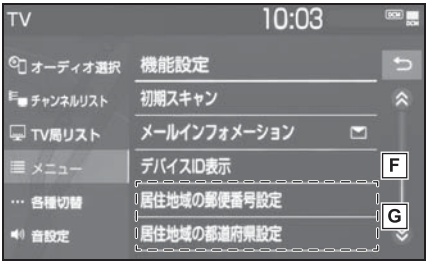
D 操作スイッチを移動することが

できます。

機能設定画面について

1 “メニュー” を選択。
2 “機能設定” を選択。





A 視聴中の番組から、異なるイベント（番組）や臨時サービスに自動で切り替えする／しないを選択できます。

・イベントリレーを受信すると、例えば、野球の延長放送を、視聴中の番組とは異なるサービス番号で放送するときに、自動で切り替えます。

B 本機の放送局データを、自動または手動で更新します。

・手動で更新する場合は、“TV 局データバージョン” を選択します。

C 本機の TV 局データのバージョンを表示します。

・“TV 局データ更新” を選択すると、データが更新されます。
・中止するときは、“中止” を選択します。

D プリセットスイッチにチャンネル番号が表示されていないときや、地域を移動したとき、現在地で受信可能なチャンネルを自動で設定します。

・設定が終了すると機能設定画面に戻ります。
・中止するときは、“中止” を選択します。

E 放送局から受信したメールを確認できます。

・タイトル別または受信した日時でリストを表示できます。
・見たいメールを選択すると、メール詳細画面が表示されます。
・未読のメールがあるときは、スイッチ部分に が表示されます。

F デバイス ID を表示します。

G データ放送で地域情報を受信するために、居住地域を設定する必要があります。初めて起動したときや、引越したときは必ず設定してください。

設定方法は 2 種類あります。

・“居住地域の郵便番号設定” ：郵便番号を入力して設定します。
・“居住地域の都道府県設定” ：地方や県名などを選択して設定します。

知識

●イベントリレーの受信スイッチについて

・地域によっては、同じ番組を放送している放送局に切り替わらない場合があります。
・受信電波の弱い地域では放送局が切り替わらない場合があります。
・山を境に放送区域が変わる所では、トンネルを出ても放送局が切り替わらない場合があります。

・ご覧になっている放送局と移動先の放送局の受信状態が同じようなときは、頻繁に切り替わることがあります。

●メールインフォメーションスイッチについて

・受信したメールのタイトルは、受信メールの先頭から全角 18 文字（メール詳細画面では 14 文字）をタイトルとして表示します。

・メールの保存件数は最大 7 件です。7 件を超えたときは、一番古いメールが自動で削除されます。（未読メール含む）

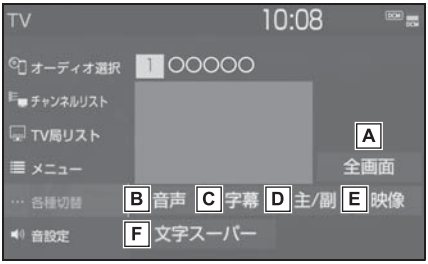
●居住地域の設定スイッチについて

・都道府県名から設定するとき、東京都島部（伊豆・小笠原諸島）または鹿児島県島部（南西諸島の鹿児島県域）にお住いの場合は、“沖縄地方・その他”を選択してください。

・郵便番号から設定するとき、郵便番号は 7 桁で入力してください。

各種切替画面について

1 “各種切替”を選択。



A 全画面を表示します。

・映像部分を選択して全画面を表示することもできます。

B 地上デジタルテレビ放送では、複数の音声を提供している場合があります。
選択するごとに、音声が切り替わります。

C 地上デジタルテレビ放送では、複数の字幕を提供している場合があります。
選択するごとに、日本語 → 英語 → 字幕なしの順に字幕が切り替わります。

D 選択するごとに、主音声 → 副音声 → 主／副音声の順に切り替わります。

E 地上デジタルテレビ放送では、マルチビュー放送で複数の映像を提供する場合があります。
選択するごとに、映像が切り替わります。

F 地上デジタルテレビ放送では、放送と独立して文字スーパー（天気予報やニュースなどを字幕で放送するサービス）を行っています。
選択するごとに、日本語 → 英語 → 表示なしの順に文字スーパーが切り替わります。

知識

●映像スイッチについて

・映像を切り替えると同時に、音声と字幕も切り替わることがあります。

●主／副スイッチについて

・副音声または主／副音声を選択している場合、受信状態によって主音声・副音声が頻繁に切り替わることがあります。

緊急警報放送（EWS）について

緊急警報放送（EWS:Emergency Warning System）は、緊急警報信号を送信し、地震や津波などの

情報をお知らせする放送です。緊急警報放送は、警戒宣言、津波警報、知事からの要請があったときに放送されます。

■ 緊急警報放送を受信したときは

緊急警報放送を受信した場合、自動で放送内容が表示されます。放送が終了すると、自動的にもとの番組に戻ります。

こんなメッセージが表示されたとき

メッセージ	原因	処置
受信制御データが設定されていません しばらくお待ちください	新 RMP に関する情報が取得できていないため。	受信環境の良い場所で受信できるまでお待ちください。
このチャンネルは視聴できません ご覧のチャンネルのカスタマーセンターにお問い合わせください	新 RMP に関する情報が取得できていないため。	メッセージに表示された放送局にお問い合わせください。
この受信機ではご覧になることができません ご覧のチャンネルのカスタマーセンターにお問い合わせください	放送波が RMP ではない形式になっているため。	メッセージに表示された放送局にお問い合わせください。
放送を受信できません	地上デジタル放送の受信エリア外にいるため。	地上デジタル放送を受信できるエリアに移動してください。
データを受信できませんでした	データ放送を正常に受信できなかったため。	もう一度、操作し直してください。
データを表示できませんでした	本機で対応していないデータを受信したため。	故障ではありません。

故障とお考えになる前に

ちょっとした操作の違いで故障と間違えることがありますので、次の表にもとづき、まず確認してください。

処置をしても直らないときは、トヨタ販売店で点検を受けてください。

症状	考えられること	処置
地上デジタル放送が受信できない。	地上デジタル放送の受信エリア外で使用していませんか。	地上デジタル放送を受信できるエリアに移動してください。
映像は出るが、音が出ない。	音量が小さくなっていませんか。	音量を大きくしてください。（→P.74）
映像が止まって、音が出ない。	地上デジタル放送の受信状態が良くない。	受信エリア内でも環境により受信できない場合があります。（→P.82） 受信できる場所に移動してください。
画面上部のチャンネル番号の表示が 13 ～ 52 のままで、プリセットスイッチにチャンネル番号が表示されない。		
黒い画面が表示され、音が出ない。 地上デジタル放送が受信できない。	チャンネルの設定がされていない。	チャンネル設定を行ってください。 ●オートプリセット／エリアプリセット（→P.83） ●初期スキャン（→P.88）
	チャンネル（放送局）が増えたり、他のエリアに移動して受信環境が変わったため。	
オーディオソース選択画面に “TV” が表示されない。	地上デジタルテレビ／Apple CarPlay/ Android Auto のオプションサービス申込み、支払いの登録をしていない。	地上デジタルテレビ／Apple CarPlay/ Android Auto のオプションサービス申込み、支払いの登録をしてください。詳しくはトヨタ販売店へお問い合わせください。

USB メモリーを操作する

USB 端子（→P.77）に接続した USB メモリー内の音楽ファイルや動画ファイルを再生することができます。

USB 操作画面を表示するにはオーディオソース選択画面で“USB”/“USB2”（機器名称）を選択します。

USB メモリーを接続すると、オーディオソース選択画面には、その機器名称のスイッチが表示されます。機器によっては、表示されないことがあります。

本機で使用できるオーディオ、ビデオフォーマットについては、「オーディオ＆ビジュアルで使用できるメディア／データについて」（→P.106）をご覧ください。

Apple CarPlay/Android Auto 接続中のときは、この機能は使用できません。

知識

●本機で対応していないフォーマットのファイルを読み込んだ場合、動作に影響がでることがあります。

警告

●安全のため、運転者は運転中に USB メモリーを操作しないでください。

●安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかける、またはシフトレバーを P にいれたときのみ映像をご覧になることができます。（走行中は音声だけになります。）

注意

●USB メモリーを車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。

音楽ファイルを再生する

■ 操作画面

A オーディオソース選択画面を表示します。（→P.75）

B 再生中の画面に戻ります。

C ソングリストを表示します。

・ファイル／トラックを選択すると、再生します。

・を選択すると、ソフトウェアキーボードを使って曲を検索できます。（→P.29）

D 再生モードを指定してファイル／トラックを選択します。アーティスト／アルバム／フォルダ／曲／ジャンル／作曲者ごとに分類して並び替えたリストからファイル／トラックを選択します。“ビデオ”を選択すると、動画の再生ができます。（→P.93）

・ファイル／トラックはリストに表示されている順に再生されます。そのためリストの表示方法（“アーティスト”、“アルバム”、“フォルダ

”、“曲”、“ジャンル”、“作曲者”）を変更すると再生順が変わります。

・ を選択すると、ソフトウェアキーボードを使って曲を検索できます。（→P.29）

E 音設定画面を表示します。（→P.77）

F 選択するたびに、再生中のファイル／トラックをリピート再生 → 再生中のフォルダ／アルバムをリピート再生 → リピート解除の順に切り替わります。

・ ランダム再生中は再生中のフォルダ／アルバムをリピート再生することはできません。

G ファイル／トラックが切り替わります。

・ 選択し続けると、早戻しします。手を離すと、その位置から再生します。

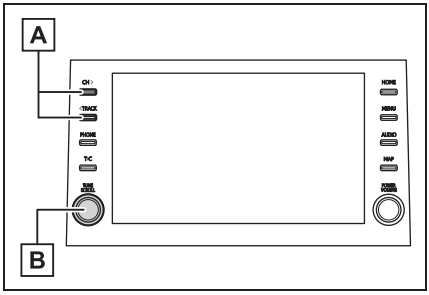
H 再生を一時停止します。再度選択すると、再生します。

I ファイル／トラックが切り替わります。

・ 選択し続けると、早送りします。手を離すと、その位置から再生します。

J 選択するたびにフォルダ／アルバム内でランダム再生 → 全フォルダ／アルバムからランダム再生 → ランダム解除の順に切り替わります。

■ オーディオコントロールスイッチ



A ファイル／トラックが切り替わります。
再生時に押し続けると、フォルダ／アルバムが切り替わります。

B 回すと、ファイル／トラックが切り替わります。

動画ファイルを再生する

本機で使用できるビデオフォーマットについては、「オーディオ＆ビジュアルで使用できるメディア／データについて」（→P.106）をご覧ください。

動画ファイルを再生するには、音楽ファイルの操作画面（→P.92）から切り替えます。

1 “選曲” を選択。
2 “ビデオ” を選択。
3 フォルダを選択。
4 ファイルを選択。

■ 操作画面

A オーディオソース選択画面を表示します。（→P.75）

B 再生中の画面に戻ります。

C ソングリストを表示します。

・ファイルを選択すると、再生します。

・を選択すると、ソフトウェアキーボードを使ってファイルを検索できます。（→P.29）

D 再生モードを指定してファイルを選択します。

・“ビデオ” 以外のモードを選択すると、音楽を再生します。

・を選択すると、ソフトウェアキーボードを使ってファイルを検索できます。（→P.29）

E 動画ファイルの情報を表示します。

F 音設定画面を表示します。（→P.77）

G 全画面表示に切り替わります。

H ファイルが切り替わります。

・選択し続けると、映像を早戻しします。手を離すと、その位置から再生します。

I 映像の再生を停止します。

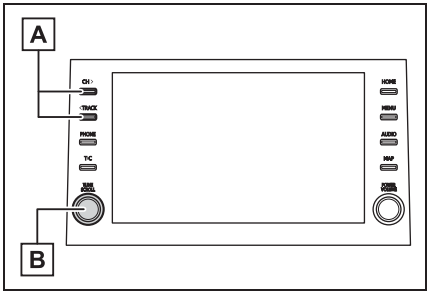
J 映像の再生を一時停止します。再度選択すると、再生します。

K ファイルが切り替わります。

・選択し続けると、映像を早送りします。手を離すと、その位置から再生します。

・一時停止中は、選択し続けている間、スロー再生します。

■ オーディオコントロールスイッチ



A ファイルが切り替わります。

B 回すと、ファイルが切り替わります。

■ MP3/WMA/AAC/WAV/FLAC/ALAC/OGG Vorbis の再生について

MP3/WMA/AAC/WAV/FLAC/ALAC/OGG Vorbis ファイルが収録されている USB メモリーを接続すると、最初に USB メモリー内のすべてのファイルをチェックします。ファイルのチェックが終わると、最初の MP3/WMA/AAC/WAV/FLAC/ALAC/OGG Vorbis ファイルを再生します。

USB メモリー内のチェックを早く終わらせるために、MP3/WMA/AAC/WAV/FLAC/ALAC/OGG Vorbis ファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。

知識

●MP3/WMA/AAC/WAV/FLAC/ALAC/OGG Vorbis は市場にフリーウェア等、多くのエンコーダソフトが存在し、エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズの発生、また再生できない場合もあります。

注意

●ファイルの中身と一致しない拡張子をファイルにつけると、誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。
間違った拡張子をつけないでください。

＜間違いの例＞

・MP3 ではないファイルに、“.mp3” の拡張子をつける

・WMA ではないファイルに、“.wma” の拡張子をつける

iPod/iPhone（Apple CarPlay）を操作する

USB 端子（→P.77）に接続した iPod/iPhone の音楽ファイルを再生することができます。

iPod/iPhone 操作画面を表示するにはオーディオソース選択画面で “iPod” / “iPod2” （機器名称）を選択します。

iPod/iPhone を接続すると、オーディオソース選択画面には、その機器名称のスイッチが表示されます。機器によっては、表示されないことがあります。

本機で使用できるiPod/iPhoneについては、「オーディオ＆ビジュアルで使用できるメディア／データについて」（→P.106）をご覧ください。

Android Auto 接続中のときは、この機能は使用できません。

知識

●iPod/iPhone モード中に端子を抜いたり、接続する機器を抜き差ししたりすると、雑音が出ることがあります。

●iPod/iPhone が接続されている状態で、他モードから iPod/iPhone モードに切り替えたとき、前回、最後に再生していたトラックから再生されます。

警告

●安全のため、運転者は運転中に iPod/iPhone を操作しないでください。

⚠注意

- iPod/iPhone を車室内に放置しないでください。
  炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。
- iPod/iPhone が接続されているときに、iPod/iPhone の上に乗ったり、物を上に置かないでください。故障の原因になります。

iPod/iPhone を再生する

■ 操作画面

▶ Apple CarPlay 未接続時

A オーディオソース選択画面を表示します。(→P.75)

B 再生中の画面に戻ります。

C ソングリストを表示します。

- トラックを選択すると、再生します。
- を選択すると、ソフトウェアキーボードを使って曲を検索できます。(→P.29)

D 再生モードを指定してトラックを選択します。
プレイリスト／アーティスト／アルバム／曲／ Podcasts ／オーディオブック／ジャンル／作曲者ごとに分類して並び替えたリストからトラックを選択します。

- トラックはリストに表示されている順に再生されます。そのためリストのプレイモード（“プレイリスト”、“アーティスト”、“アルバム”、“曲”、“Podcasts”、“オーディオブック”、“ジャンル”、“作曲者”）を変更すると再生順が変わります。
- を選択すると、ソフトウェアキーボードを使って曲を検索できます。(→P.29)

E カバーアートを拡大して表示します。

F 音設定画面を表示します。(→P.77)

G リピート再生をします。
選択するたびに、モードが切り替わります。

- iPhone 5 以降の機種：
  再生中のトラックをリピート再生 → 再生中のアルバムをリピート再生 → リピート解除の順に切り替わります。
- iPhone 4s 以前の機種
  再生中のトラックをリピート再生 → リピート解除の順に切り替わります。
- シャッフル再生中は再生中のアルバムをリピート再生することはできません。

H トラックが切り替わります。

- 選択し続けると、早戻しします。手を離すと、その位置から再生します。

I 再生を一時停止します。再度選択すると、再生します。

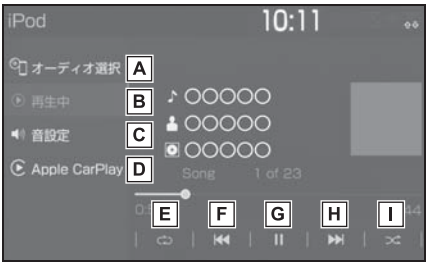
J トラックが切り替わります。

- 選択し続けると、早送りします。手を離すと、その位置から再生します。

K 選択するたびに、アルバム内でシャッフル再生 → 全アルバムからシャッフル再生 → シャッフル解除の順に切り替わりま

す。

▶ Apple CarPlay 接続時



A オーディオソース選択画面を表示します。(→P.75)

B 再生中の画面に戻ります。

C 音設定画面を表示します。(→P.77)

D Apple CarPlay 操作画面を表示します。

E リピート再生をします。
選択するたびに、モードが切り替わります。

・再生中のトラックをリピート再生 → 再生中のアルバムをリピート再生 → リピート解除の順に切り替わります。
・シャッフル再生中は再生中のアルバムをリピート再生することはできません。

F トラックが切り替わります。

・選択し続けると、早戻しします。手を離すと、その位置から再生します。

G 再生を一時停止します。再度選択すると、再生します。

H トラックが切り替わります。

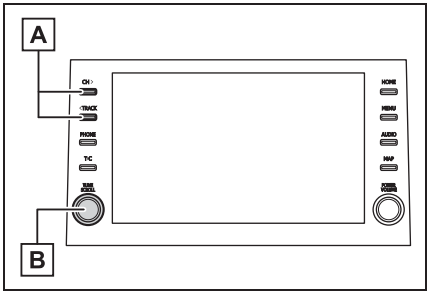
・選択し続けると、早送りします。手を離すと、その位置から再生します。

I 選択するたびに、アルバム内でシャッフル再生 → 全アルバムからシャッフル再生 → シャッフル解除の順に切り替わります。

知識

●iPhone 5 以降の機種の場合、リピート／シャッフルの設定がどの順番で切り替わるかは機種によって異なります。

■ オーディオコントロールスイッチ



A トラックが切り替わります。
再生時に押し続けると、早送り／早戻しします。手を離すと、その位置から再生します。

B 回すと、トラックが切り替わります。

知識

●カバーアートについて

・接続する iPod/iPhone の世代や機種によって、画像が粗くなることがあります。

●接続機器によっては、リストスクロールの表示が遅くなる場合があります。

●iPhone 5 以降の機種と iPhone 4s 以前の機種で動作が異なることがあります。

Android Auto を操作する

USB 端子（→P.77）に接続した Android デバイスの音楽ファイルを再生することができます。

Android Auto 操作画面を表示するにはオーディオソース選択画面で “Android Auto” を選択します。

Apple CarPlay 接続中のときは、この機能は使用できません。

知識

- Android Auto モード中に端子を抜いたり、接続する機器を抜き差ししたりすると、雑音が出ることがあります。
- Android デバイスが接続されている状態で、他モードから Android Auto モードに切り替えたとき、前回、最後に再生していたトラックから再生されます。

警告

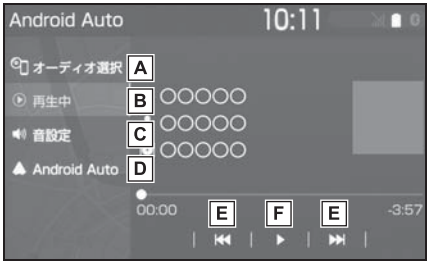
- 安全のため、運転者は運転中に Android デバイスを操作しないでください。

注意

- Android デバイスを車室内に放置しないでください。
  炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。
- Android デバイスが接続されているときに、Android デバイスの上に乗ったり、物を上に置かないでください。故障の原因になります。

Android Auto を再生する

■ 操作画面



A オーディオソース選択画面を表示します。（→P.75）

B 再生中の画面に戻ります。

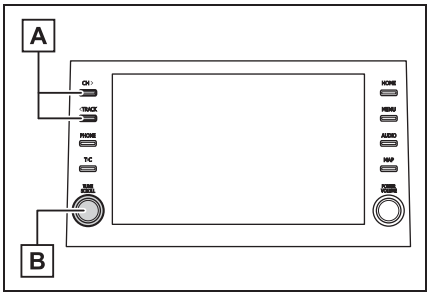
C 音設定画面を表示します。（→P.77）

D Android Auto 操作画面を表示します。

E トラックが切り替わります。

F 再生を一時停止します。再度選択すると、再生します。

■ オーディオコントロールスイッチ



A トラックが切り替わります。

B 回すと、トラックが切り替わります。

Bluetooth オーディオを操作する

動作確認済の Bluetooth ポータブルオーディオプレーヤー ※（以下「ポータブル機」）を本機に接続することで、ポータブル機を直接操作することなく使用できます。

Bluetooth 操作画面を表示するにはオーディオソース選択画面で “Bluetooth” を選択します。

Bluetooth オーディオを使用するためには、まず本機にポータブル機を登録することが必要です。（→P.36）

本システムに接続するポータブル機が対応していなければならない仕様については、「Bluetooth について」（→P.111）をご覧ください。ただし、ポータブル機の機種により、一部機能が制限される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

Apple CarPlay/Android Auto 接続中のときは、この機能は使用できません。

※ 携帯電話のオーディオプレーヤーを含む。
Bluetooth オーディオ対応のアダプターについては、動作確認を実施していません。
本機で動作確認済みの機種については、トヨタ販売店または T-Connect の Web サイト（https://toyota.jp/tconnectservice/ の「ご利用になるには」の「サービスのご利用方法」）でご確認ください。

警告

- 安全のため、運転者は運転中にポータブル機本体の操作をしないでください。

注意

- ポータブル機を車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。
- ポータブル機を本機に近づけて使用しないでください。近づけすぎると、音質が劣化したり、接続状態が悪化することがあります。

Bluetooth オーディオについて

知識

- 本システムに対して、すべての Bluetooth 端末において動作を保証しているわけではありません。
- 他の無線機器と同時に使用すると、それぞれの通信に悪影響をおよぼすことがあります。
- Bluetooth 接続により、ポータブル機

の電池が早く消耗します。

●ポータブル機で Miracast®（→P.102）の接続をしているときは、Bluetooth オーディオの音が出ないことがあります。その場合は、Miracast® を切断すると Bluetooth オーディオの音がでることがあります。

●本機の Wi-Fi® 機能を利用する設定になっているときは、Bluetooth オーディオの音がとぎれる場合があります。このときは Wi-Fi® 機能を利用しない設定にすると快適にご利用できます。

●Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG,Inc が所有権を有します。「株式会社デンソーテン」は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。

Bluetooth オーディオを再生する

Bluetooth オーディオを使用するためには、まず本機にポータブル機を登録することが必要です。（→P.36）

■ 操作画面

A オーディオソース選択画面を表示します。（→P.75）

B 再生中の画面に戻ります。

C ソングリストを表示します。

・トラックを選択すると、再生します。

D 選曲リストを表示します。

・項目選択後、再生したいトラックを選択すると、選択したトラックが再生されます。

E ポータブル機が Bluetooth 接続されてないときに登録済みの機器と接続します。

F 音設定画面を表示します。（→P.77）

G 選択するたびに、全曲をリピート再生 → 再生中の曲をリピート再生 → 再生中のフォルダ / アルバムをリピート再生 → リピート解除の順に切り替わります。

・ランダム再生中は再生中のアルバムをリピート再生することはできません。

H トラックが切り替わります。

・選択し続けると、早戻しします。手を離すと、その位置から再生します。

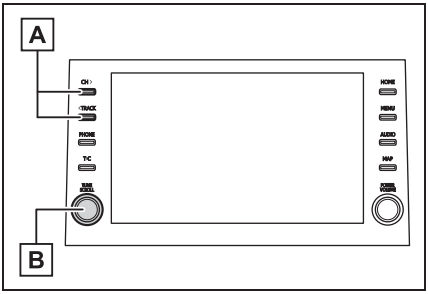
I 再生を一時停止します。再度選択すると、再生します。

J トラックが切り替わります。

・選択し続けると、早送りします。手を離すと、その位置から再生します。

K 選択するたびに、アルバム内でランダム再生 → 全アルバムからランダム再生 → ランダム解除の順に切り替わります。

■ オーディオコントロールスイッチ



A トラックが切り替わります。
再生時に押し続けると、アルバムが切り替わります。

B 回すと、トラックが切り替わります。

知識

●接続した機器によっては、アーティスト名、アルバム名、トラック名などが表示されないことがあります。

●接続した機器によっては、次のような場合があります。

・本機で操作できない。
・動作や音量が異なる。
・本機とポータブル機で曲情報や時間表示などの表示が異なる。
・再生を停止すると、接続が切断される。この場合、手動で接続してください。(→P.184)

●長時間再生した場合、音飛びすることがあります。

●接続時のボリュームレベルは、Bluetooth 機器によって異なります。

Miracast® を操作する

Miracast® は、スマートフォンもしくはタブレットの画面を、本機の画面に表示したり、音声を再生する機能です。本機とデバイスは Wi-Fi® 接続（P2P モード）で通信します。

Miracast® 操作画面を表示するにはオーディオソース選択画面で “Miracast ™ ” を選択します。

知識

- Wi-Fi®、Miracast® は、Wi-Fi Alliance® の登録商標です。
- 本機能はベストエフォート型の機能です。
- Miracast® は機器によって、“スクリーンミラーリング”、“メディアアウトプット” などと表示されることがあります。
- Miracast® は Bluetooth と同じ 2.4GHz 帯の電波を使った無線通信をします。利用環境によっては電波干渉などにより、相互に影響をあたえ、画像の乱れや音途切れが発生するときがあります。
- Wi-Fi® ネットワーク接続（→P.44）を “する” にしていると、Wi-Fi® ネットワーク接続の通信と、Miracast® の通信の相互に影響をあたえ、画像乱れや音途切れが発生するときがあります。その場合、Wi-Fi® ネットワーク接続を “しない” にすると影響を軽減することができます。

⚠ 警告

- 安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかける、またはシフトレバーを P にいれたときのみ映像をご覧になることができます。（走行中は音声だけになります。）

接続できる機器について

Miracast® 機能をサポートする Android スマートフォンとタブレットでご使用できます。

Miracast® の対応状況については、機器に添付の取扱説明書などでご確認ください。※

※ 本機での動作を保証しているわけではありません。

機器を接続する

1 オーディオソース選択画面を表示する。（→P.75）

2 “Miracast ™ ” を選択。

- 「Miracast ™ は Wi-Fi が必要です Wi-Fi を利用しますか？」というメッセージが表示されたら “はい” を選択します。

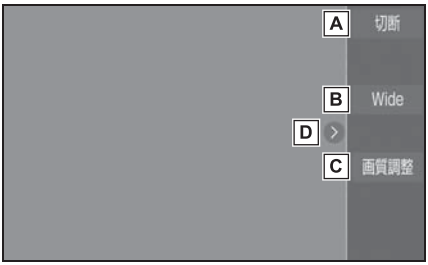
3 Miracast® 対応機器を接続可能な状態にする。

- 機器の操作については、機器に添付の取扱説明書でご確認ください。
- 機器が見つからなかった場合は、“再検索” を選択してください。

4 Miracast® 対応機器で本機を選択。

5 機器名称を確認して、“はい”を選択。

Miracast® を操作する



A Miracast® を切断して、オーディオソース選択画面を表示します。

B 通常の映像とワイド映像を切り替えることができます。(→P.78)

C 画質調整画面を表示します。(→P.79)

D 選択するたびに、操作スイッチの表示／非表示が切り替わります。

知識

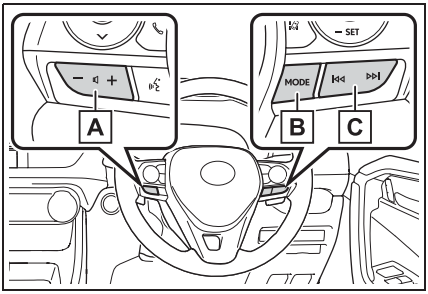
- Miracast® の音量は、本機の音量と接続した機器の音量が加味されます。
  Miracast® 使用時は、事前に接続機器の音量を適正なレベルに設定してください。
- Bluetooth オーディオを使用している機器で Miracast® を使用する場合に、Miracast® の音が出ないことがあります。そのときは Bluetooth オーディオを切断すると Miracast® の音が出るようになることがあります。

Miracast® の画面表示について

Miracast® の画面表示は、機器から送られる映像をそのまま表示します。
機器の画面が縦向きの時は、縦向きの表示になります。

ステアリングスイッチで操作する

各部の名称とはたらき



A 音量調整スイッチ

“＋”：音量が大きくなります。

“－”：音量が小さくなります。

・押し続けると、連続して調整できます。

B “MODE” スイッチ

押すとラジオやテレビなどのオーディオソースが順番に切り替わります。

・オーディオソース選択画面のスイッチの配置を変更（→P.76）すると、切り替わる順番も変わります。

押し続けると、消音または再生を一時停止します。再度、押し続けると解除されます。

C TUNE・TRACK スイッチ

・ラジオ（AM・FM）／地上デジタルテレビ

プリセットスイッチに登録されている周波数・チャンネルが順番に切り替わります。

0.8 秒以上押し続けると、受信感度が良く、現在受信している周波数／チャンネルに一番近い周波数／チャンネルを選択します。再度押すと、選択を停止します。

1.5 秒以上押し続けると、押し続けている間、周波数が切り替わり、手を離すと、その位置から一番近い周波数／チャンネルを自動で選択します。

・USB/Bluetooth オーディオ

ファイル・トラックが切り替わります。

1 秒以上押し続けると、フォルダ・アルバムが切り替わります。

フォルダ・アルバムが作成されている場合のみ切り替わります。

・iPod/iPhone （Apple CarPlay）

トラックが切り替わります。

1 秒以上押し続けると、早送り／早戻しします。

・Android Auto

トラックが切り替わります。

知識

●TUNE・TRACK スイッチについて

・地域や車の向きなどの条件により、すべての周波数／チャンネルの受信感度が悪い場合、自動で選択できないことがあります。

・接続している機器により、操作できなかったり、異なる動作をすることがあります。

注意

●安全運転に支障がないように適度な音量でお聞きください。

オーディオの設定をする

オーディオ設定画面からオーディオの詳細設定をします。

オーディオ設定画面を表示する

1 “MENU” スイッチを押す。
2 “設定・編集” を選択。
3 “オーディオ” を選択。

A 共通項目の設定ができます。（→P.105）

共通設定をする

1 オーディオ設定画面を表示する：

● “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “オーディオ” を順に選択。

2 “共通” を選択。
3 各項目を設定する。

A カバーアート表示のする／しないを設定できます。

B すでにカバーアートが設定されている曲に対して、Gracenote のデータベースに別のカバーアートがある場合、Gracenote のデータを優先して表示する／しないを設定できます。

C ブレーキホールド作動中の動画視聴する／しないを選択することができます。（→P.79）

D 通常の映像とワイド映像を切り替えることができます。※（→P.78）

E 映像の画質調整ができます。※（→P.79）

F Gracenote データベースのバージョンを確認できます。

※ 映像モード時のみスイッチが表示されます。

オーディオ＆ビジュアルで使用できるメディア／データについて

メディアについて

使用できるメディアの仕様は、下記の通りです。

■ USB メモリーのフォーマット、仕様について

使用できる USB メモリーのフォーマット、規格ならびに制限事項は次のとおりです。

USB コミュニケーションフォーマット	USB2.0 HS（480MBPS）
ファイルフォーマット	FAT 16/32
通信クラス	Mass storage class
最大フォルダ数	3000（ルート含む）
最大フォルダ階層数	8
最大ファイル数	9999（1 フォルダにつき、最大 255 ファイル）
メモリ容量	～ 32GB
1 ファイルの最大サイズ	2GB

- 上記フォーマット以外のファイルは正常に再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。
- ご利用のUSBメモリーによっては、本機で再生できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- パソコンを使用して USB メモリーに音楽ファイルや動画ファイルを保存する場合、パソコンによっては再生ファイルに加えて不可視ファイルも保存される場合があります。音楽／動画再生時に不可視ファイルが悪影響を及ぼし、正常にファイルを切り替えられない場合がありますので、不可視ファイルは削除することを推奨します。

フォーマットについて

使用できる音楽データの仕様は、次の通りです。

■ MP3

対応規格	MP3（MPEG1 LAYER3、MPEG2 LSF LAYER3）
対応サンプリング周波数（kHz）	MPEG1 LAYER3：32、44.1、48 MPEG2 LSF LAYER3：16、22.05 、24
対応ビットレート（kbps）	MPEG1 LAYER3：32 ～ 320 MPEG2 LSF LAYER3：8 ～ 160 ※ VBR（Variable Bit Rate）に対応しています。

対応 チャンネル モード	ステレオ、 ジョイントステレオ、 デュアルチャンネル、 モノラル
ID3 タグ	ID3 Ver.1.0、1.1、2.2、2.3（文字数は各 Ver, に準拠）

■ WMA

対応規格	WMA Ver.7、8、9（9.1、9.2）
対応 サンプリング 周波数 (kHz)	32、44.1、48
対応 ビット レート (kbps)	Ver7, 8：CBR（Constant Bit Rate） 48 ～ 192 Ver9（9.1/9.2）：CBR 48 ～ 320 ※ VBR（Variable Bit Rate）に対応しています。 ※ マルチチャンネルの音源は 2ch に変換されます。

■ AAC

対応規格	MPEG4 AAC-LC ※ ADIF には対応していません。
対応 サンプリング 周波数 (kHz)	11.025、12、16、22.05、24、32、44.1、48
対応 ビット レート (kbps)	8 ～ 320 ※ VBR（Variable Bit Rate）に対応しています。
対応チャンネルモード	1ch（1/0）、2ch（2/0） ※ デュアルチャンネルには対応していません。

■ WAV（LPCM）

対応 サンプリング 周波数 (kHz)	8、11.025、12、16、22.05、24、32、44.1、48、88.2、96、176.4、192 ※ 48kHz/24bit 以上の音源は 48kHz/24bit にダウンコンバートします。
対応 量子化 bit 数 (bit)	16/24 ※ マルチチャンネルの音源は 2ch に変換されます。
対応チャンネルモード	1ch（1/0）、 2ch（2/0）

■ FLAC

対応 サンプリング 周波数 (kHz)	8、11.025、12、16、22.05、24、32、44.1、48、88.2、96、176.4、192 ※ 48kHz/24bit 以上の音源は 48kHz/24bit にダウンコンバートします。
対応 量子化 bit 数 (bit)	16/24 ※ マルチチャンネルの音源は 2ch に変換されます。

■ ALAC

対応 サンプリング 周波数 (kHz)	8、11.025、12、16、22.05、24、32、44.1、48、64、88.2、96 ※ 48kHz/24bit 以上の音源は 48kHz/24bit にダウンコンバートします。
対応 量子化 bit 数 (bit)	16/24 ※ マルチチャンネルの音源は 2ch に変換されます。

■ OGG Vorbis

対応サンプリング 周波数 (kHz)	8、11.025、16、22.05、32、44.1、48 ※ 48kHz/24bit 以上の音源は 48kHz/24bit にダウンコンバートします。
対応ビット レート (kbps)	32 ～ 500 ※ VBR（Variable BitRate）に対応しています。

■ ファイル名について

MP3/WMA/AAC と認識し再生するファイルはMP3/WMA/AACの拡張子 “.mp3”/“.wma”/“.m4a” がついたものだけです。MP3/WMA/AAC ファイルには、“.mp3”/“.wma”/“.m4a” の拡張子をつけて保存してください。

■ ID3タグ／WMAタグ／AACタグについて

MP3 ファイルには、ID3 タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

WMA ファイルには、WMA タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、ID3 タグと同様に曲のタイトル、アーティスト名を保存することができます。

AAC ファイルには、AAC タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、ID3 タグと同様に曲のタイトル、アーティスト、アルバム名を保存することができます。

ハイレゾリューション（ハイレゾ）音源について

本機はハイレゾ音源に対応しています。ハイレゾの定義は、一般社団法人電子技術産業協議会（JEITA）の定義に準拠しています。対応フォーマットと再生可能メディアについては、次の通りです。

■ 対応フォーマット

WAV、FLAC、ALAC, OGG Vorbis

■ 再生可能メディア

USB メモリー

USB メモリーから再生できる動画データについて

パソコンから USB メモリーに記録した動画ファイルについては、次のフォーマットに対応しています。

フォーマット	コーデック
MPEG4	動画コーデック： ●H.264/MPEG-4 AVC ●MPEG4 オーディオコーデック： ●AAC ●MP3
AVI コンテナ	動画コーデック： ●H.264/MPEG-4 AVC ●MPEG4 ●WMV9 ●WMV9 Advanced profile オーディオコーデック： ●AAC ●MP3 ●WMA9.2（7,8,9.1,9.2）
Windows Media Video	動画コーデック： ●WMV9 ●WMV9 Advanced profile オーディオコーデック： ●WMA9.2（7,8,9.1,9.2）

● 対応画像サイズは、最大1920×1080 ピクセルです。

● 対応フレームレートは最大 60i/30p です。

● 使用するUSB メモリーによっては、動画を再生できない場合があります。

iPod について

知識

■商標・設計認証情報

Made for iPhone | iPod

● Use of the Made for Apple badge means that an accessory has been designed to connect specifically to the Apple product(s) identified in the badge, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with an Apple product may affect wireless performance.

● iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, iPod touch, and Lightning are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. The trademark “iPhone” is used in Japan with a license from Aiphone K.K.

■ 再生可能な iPod について

本機は下記の iPod nano、iPod touch、iPhone を使用することができます。

Made for

- iPhone XS Max
- iPhone XS
- iPhone XR
- iPhone X
- iPhone 8
- iPhone 8 Plus
- iPhone 7
- iPhone 7 Plus
- iPhone SE
- iPhone 6s
- iPhone 6s Plus
- iPhone 6
- iPhone 6 Plus
- iPhone 5s
- iPhone 5c
- iPhone 5
- iPod touch（6th generation）
- iPod touch（5th generation）
- iPod nano（7th generation）

知識

- 使用できるモデルに該当していても、機種やソフトウェアバージョン、個体差などにより使用できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 機種やソフトウェアのバージョンなどの違いによっては、本機と互換性がない機種があります。
  - ・iPhone
  - ・iPod classic
  - ・iPod with video
  - ・iPod nano（3rd generation）
  - ・iPod nano（2nd generation）
  - ・iPod nano（1st generation）
- 本機では音声の再生のみに対応しています。

USB メモリーについて

■ パソコンで記録した音楽ファイルの再生について

次の音楽ファイルを再生することができます。

- MP3
- WMA
- AAC
- FLAC
- WAV
- ALAC
- Ogg Vorbis

本機で使用できる音楽ファイル（パソコンで記録した場合）については、「フォーマットについて」（→P.106）をご覧ください。

知識

- 再生中に USB メモリーを抜いたり、接続する機器を抜き差ししたりすると、雑音が出ることがあります。
- USBメモリーが接続されている状態で、他モードから USB メモリーモードに切り替えたとき、最初のファイルが再生されます。もし、同じ USB メモリー（内容が変更されていないもの）が再び差し込まれたときは、前回、最後に再生していた曲から再生されます。
- 他の車両で録音した SD メモリーカード内のサウンドライブラリの音楽データは、アダプタを使って接続しても、ご利用にはなれません。

⚠注意

●USB メモリーを車室内放置しないでください。
炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。

●USB メモリーが接続されているときに、USB メモリーの上に乗ったり、物を上に置かないでください。故障の原因になります。

●USB メモリー端末の差込口に USB メモリー端末以外のものを入れないでください。故障の原因となります。

MP3/WMA/AAC の仕様について

使用できる音楽データの仕様は、次の通りです。

使用できる MP3/WMA/AAC ファイルの規格やそれを記憶したメディア、フォーマットには制限があります。MP3/WMA/AAC ファイルについては、「フォーマットについて」（→P.106）をご覧ください。
Microsoft、Windows、Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。

■ MP3

MP3（MPEG Audio LAYER3）は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3 を使用すれば、元のファイルを約 1/10 のサイズに圧縮することができます。

■ WMA

This product is protected by certain intellectual property rights of Microsoft.

Use or distribution of such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft.

WMA（Windows Media Audio）はマイクロソフト社の音声圧縮フォーマットです。MP3 よりも小さいサイズに圧縮することができます。

■ AAC

AAC（Advanced Audio Coding）は MPEG2、MPEG4 で使用される音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。本機では、MPEG2、MPEG4 で作成された AAC ファイルを再生できます。

Bluetooth について

使用できる Bluetooth の仕様およびプロファイルは次のとおりです。

項目	Bluetooth オーディオ
対応 Bluetooth 仕様	Bluetooth Core Specification Ver.2.0 以上
	Ver.4.2 以上を推奨
対応 Profile	●A2DP（Advanced Audio Distribution Profile）音楽データを伝送するためのプロファイル：Ver.1.0 以上（Ver. 1.3 を推奨） ●AVRCP（Audio/Video Remote Control Profile）本機からポータブルオーディオなどをコントロール（再生・停止など）するためのプロファイル：Ver.1.0 以上（Ver. 1.6 を推奨）

Gracenote® について

本機に収録されているデータベース情報は、Gracenote メディアデータベースを使用しています。

知識

■Gracenote® メディアデータベースについて

●自動で付与されたタイトル情報は、実際のタイトル情報と異なる場合があります。

●「Gracenote メディアデータベース」によって提供されたデータについては内容を 100%保証するものではありません。

●Gracenote、CDDB、MusicID、MediaVOCS, Gracenote のロゴとロゴタイプ、および “Powered by Gracenote” ロゴは、米国および／またはその他の国における Gracenote の登録商標または商標です。

文字情報の表示について

各種画面で情報として表示できる文字数には制限があるため、すべてを表示できないことがあります。また、記録されている内容によっては正しく表示されなかったり、表示ができないことがあります。

オープンソースソフトウェアについて

■本製品には、以下のソフトウェアが含まれています。
(1) パナソニック株式会社 (「パナソニック」) により、またはパナソニックのために開発されたソフトウェア
(2) パナソニックにライセンスされた第三者所有のソフトウェア
(3)GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2(「GPL」) に基づいてライセンスされたソフトウェア
(4)GNU LIBRARY GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.0 またはGNU LESSER GENERAL

PUBLIC LICENSE Version 2.1(まとめて「LGPL」) に基づいてライセンスされたソフトウェア
(5)GPL, LGPL 以外に基づいてライセンスされたオープンソースソフトウェア

■上記 (3)、(4) に分類されるソフトウェアについては、それぞれ、以下の GPL および LGPL 所定の条件をご参照ください。
GPL:http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html
LGPL:http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.1.htmlhttp://www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.0.html

また、上記 (3)、(4) に分類されるソフトウェアについては、多数の人が著作権を保有しています。これらの著作権者の著作権表示については、以下をご参照ください。
http://car.panasonic.jp/oss/ca9gwkz2/

GPL/LGPL に基づきライセンスされるソフトウェア（「GPL/LGPL ソフト」）は、有用であることを願って頒布されますが、全くの無保証です。商業可能性があることや特定の目的に適合していることについては、黙示的保証も含め、一切保証されません。

パナソニックは、製品発売から少なくとも 3 年間、以下の問い合わせ窓口にご連絡いただいた全ての方に対してソースコードの提供に必要な物理的コストを上回らない程度の料金と引き換えに、GPL/LGPL ソフトに対応した完全かつ機械で読み取り可能なソースコードを提供します。ソースコードの内容等についてのご質問はお答えできませんので、あらかじめご了承ください。またインターネット接続環境はお客様ご自身でご用意していただく必要があります。Web サイトの閲覧中およびダウンロード中のインターネット接続、回線使用料等はお客様ご負担となります。

[問い合わせ窓口] 〒 224-8520 神奈川県横浜市都筑区池辺町 4261 番地パナソニック株式会社 オートモーティブ＆インダストリアルシステムズ社 技術管理部門 責任者 宛

また、上記の GPL/LGPL ソフトに対応したソースコードは、以下のウェブサイトで、誰でも自由に入手することができます。
http://car.panasonic.jp/oss/ca9gwkz2/

■上記 (5) に分類されるソフトウェアには、以下のソフトウェアを含む様々なオープンソースソフトウェア のプログラム（OSS）が含まれています。

<1> juniversalchardet-1.0.2Copyright (C) 1998 the Initial Developer. All Rights Reserved.This software licensed under Mozilla Public License Version 1.1 (“MPL-1.1”).Please refer to the terms and conditions of MPL-1.1 at the website below:

https://www.mozilla.org/en-US/MPL/1.1/
Corresponding source code is freely available to you and any member of the public at the website below:
http://www.antepedia.com/detail/p/juniversalchardet.html

<2> dhcp-4.2.1-P1 Copyright (c) 2004-2011 by Internet Systems Consortium, Inc. ("ISC")
Copyright (c) 1995-2003 by Internet Software Consortium
Permission to use, copy, modify, and distribute this software for anypurpose with or without fee is hereby granted, provided that the abovecopyright notice and this permission notice appear in all copies.
THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND ISC DISCLAIMS ALL WARRANTIESWITH REGARD TO THIS SOFTWARE INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OFMERCHANTABILITY AND FITNESS. IN NO EVENT SHALL ISC BE LIABLE FORANY SPECIAL, DIRECT, INDIRECT, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGESWHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN ANACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUTOF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.Internet Systems Consortium, Inc. 950 Charter Street Redwood City, CA 94063
<info@isc.org>
https://www.isc.org/

<3> iw-3.11
Copyright (c) 2007, 2008 Johannes Berg
Copyright (c) 2007 Andy Lutomirski
Copyright (c) 2007 Mike Kershaw
Copyright (c) 2008-2009 Luis R. Rodriguez
Permission to use, copy, modify, and/or distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.
THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND THE AUTHOR DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FORANY SPECIAL,

DIRECT, INDIRECT, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN ANACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

<4> expat-2.1.0
Copyright (c) 1998, 1999, 2000 Thai Open Source Software Center Ltd and Clark Cooper
Copyright (c) 2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006 Expat maintainers.
Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaininga copy of this software and associated documentation files (the"Software"), to deal in the Software without restriction, includingwithout limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and topermit persons to whom the Software is furnished to do so, subject tothe following conditions:
The above copyright notice and this permission notice shall be includedin all copies or substantial portions of the Software.
THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND,EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OFMERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT.IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANYCLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT,TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THESOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

<5> libxml2-2.9.1
Except where otherwise noted in the source code (e.g. the files hash.c,list.c and the trio files, which are covered by a similar license but with different Copyright notices) all the files are:
Copyright (C) 1998-2012 Daniel Veillard. All Rights Reserved.
Permission is here by granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the

"Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:
The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.
THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS ORIMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FIT-NESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THEAUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHERLIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM,OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS INTHE SOFTWARE.

<6> openssl-1.0.0a
This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)
Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)All rights reserved.
This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.
This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

<7> tcp_wrappers-7.6
Copyright 1995 by Wietse Venema. All rights reserved.
Some individualfiles may be covered by other copyrights.
This material was originally written and compiled by Wietse Venema at Eindhoven University of Technology, The Netherlands, in 1990, 1991,1992, 1993, 1994 and 1995.
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that this entire copyright noticeis duplicated in all such copies.
This software is provided "as is" and without any expressed or impliedwarranties, including, without limitation, the implied warranties of merchantibility and fitness for

any particular purpose.

<8> libjpeg
This software is based in part on the work of the independent JPEG Group.

<9> Bitstream Vera Fonts Copyright (c) 2003 by Bitstream, Inc. All Rights Reserved. Bitstream Vera is atrademark of Bitstream, Inc. Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of thefonts accompanying this license (“Fonts”) and associated documentation files (the“Font Software”), to reproduce and distribute the Font Software, including without limitation the rights to use, copy, merge, publish, distribute, and/or sell copies of the Font Software, and to permit persons to whom the Font Software is furnished to do so, subject to the following conditions:
The above copyright and trademark notices and this permission notice shall beincluded in all copies of one or more of the Font Software typefaces.
The Font Software may be modified, altered, or added to, and in particular thedesigns of glyphs or characters in the Fonts may be modified and additional glyphsor characters may be added to the Fonts, only if the fonts are renamed to names notcontaining either the words “Bitstream” or the word “Vera”.
This License becomes null and void to the extent applicable to Fonts or Font Softwarethat has been modified and is distributed under the “Bitstream Vera” names.
The Font Software may be sold as part of a larger software package but no copy of oneor more of the Font Software typefaces may be sold by itself.
THE FONT SOFTWARE IS PROVIDED “AS IS”, WITHOUT WARRANTY OF ANYKIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO ANY WARRANTIESOF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ANDNONINFRINGEMENT OF COPYRIGHT, PATENT, TRADEMARK, OR OTHER RIGHT.IN NO EVENT SHALL BITSTREAM OR THE GNOME FOUNDATION BE LIABLE FORANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL,INDIRECT, INCIDENTAL, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, WHETHER IN AN ACTIONOF CONTRACT, TORT OR

OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF THE USE ORINABILITY TO USE THE FONT SOFTWARE OR FROM OTHER DEALINGS IN THE FONTSOFTWARE.
Except as contained in this notice, the names of Gnome, the Gnome Foundation, andBitstream Inc., shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use orother dealings in this Font Software without prior written authorization from the Gnome Foundation or Bitstream Inc., respectively. For further information, contact: fonts atgnome dot org.

<10> libtiff-4.0.0beta7
Copyright (c) 1988-1997 Sam Leffler
Copyright (c) 1991-1997 Silicon Graphics, Inc.
Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, providedthat (i) the above copyright notices and this permission notice appear inall copies of the software and related documentation, and (ii) the names of Sam Leffler and Silicon Graphics may not be used in any advertising orpublicity relating to the software without the specific, prior written permission of Sam Leffler and Silicon Graphics.
THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS-IS" AND WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS, IMPLIED OR OTHERWISE, INCLUDING WITHOUT LIMITATION, ANY WARRANTY OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. IN NO EVENT SHALL SAM LEFFLER OR SILICON GRAPHICS BE LIABLE FORANY SPECIAL, INCIDENTAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OF ANY KIND,OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS,WHETHER OR NOT ADVISED OF THE POSSIBILITY OF DAMAGE, AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

<11> giflib-4.1.6
The GIFLIB distribution is Copyright (c) 1997 Eric S. Raymond Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the

"Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:
The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.
THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

<12>libGLESv1_CM.so.1
MIT-V:18

SGI FREE SOFTWARE LICENSE B (Version 2.0, Sept. 18, 2008)
Copyright (C) Silicon Graphics, Inc. All Rights Reserved.
Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:
The above copyright notice including the dates of first publication and either this permission notice or a reference to http://oss.sgi.com/projects/FreeB/ shall be included in all copies or substantial portions of the Software.
THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL SILICON

GRAPHICS, INC. BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.
Except as contained in this notice, the name of Silicon Graphics, Inc. shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization from Silicon Graphics, Inc.

MIT-V:7
Copyright (c) 2008-2009 The Khronos Group Inc.
Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and/or associated documentation files (the "Materials"), to deal in the Materials without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Materials, and to permit persons to whom the Materials are furnished to do so, subject to the following conditions:
The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Materials.
THE MATERIALS ARE PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE MATERIALS OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE MATERIALS.

<13> i2c-omap35xx-j5
Copyright Notice and Attribution Chart:
Notice Number Name of Licensor Date(s) Restriction
1 Epson Research and Development, Inc. 2000, 2001
2 Texas Instruments 2005
3 The Apache Software Foundation 2001-2005
4 The Apache Software Foundation 2000-2004

5 The Apache Software Foundation 2002-2004
7 The Apache Software Foundation 2003-2004
8 Texas Instruments, Inc. - http://www.ti.com/ 2001-2010
9 Spansion International Inc. 2009 This software is limited to use with Spansion’s S29GLxxxS NOR Flash parts.

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License");

you may not use this file except in compliance with the License.
You may obtain a copy of the License at
http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0
Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied. See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

<14> libcapture-soc-j5.so.1
Copyright Notice and Attribution Chart:
Notice Number Name of Licensor Date(s) Restriction

1 Epson Research and Development, Inc. 2000, 2001
2 Texas Instruments 2005
3 The Apache Software Foundation 2001-2005
4 The Apache Software Foundation 2000-2004
5 The Apache Software Foundation 2002-2004
7 The Apache Software Foundation 2003-2004
8 Texas Instruments, Inc. - http://www.ti.com/ 2001-2010
9 Spansion International Inc. 2009 This software is limited to use with Spansion’s S29GLxxxS NOR Flash parts.Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License");you may not use this file except in compliance with the License.You may obtain a copy of the License at
http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0
Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied. See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

これらの OSS についてのライセンス条件その他の事項に関しては、以下の URL をご参照ください。
http://car.panasonic.jp/oss/ca9gwkz2/

■前記 (2) に分類されるソフトウェアには、Oracle Java ME が含まれています。
このソフトウェアのユーザーを規定する契約条件については、以下の URL をご参照ください。
http://car.panasonic.jp/oss/b01qhs03/oracle_licence.htm

Oracle Java ME エンドユーザー使用許諾契約書（END USER LICENSE AGREEMENT）

BEFORE USING THIS IN-CAR BLU-RAY PRODUCT, PLEASE READ ALL OF THE FOLLOWING
TERMS AND CONDITIONS OF THIS END USER LICESE AGREEMENT (“Agreement”) CAREFULLY. THIS AGREEMENT IS A LEGALLY BINDING CONTRACT BETWEEN ENDUSER (“you”) AND PANASONIC THAT SETS FORTH THE TERMS AND CONDITIONSTHAT GOVERN YOUR USE OF ORACLE JAVA ME MEDIA PACK FOR CDC (the “ program”) IMPLEMENTED IN THIS IN-CAR BLU-RAY PRODUCT.

(1) Java Technology Restrictions. You are prohibited from creating, modifying, changing
the behavior of classes, interfaces, or subpackages that are in any way identified as
“Java”, “Javax”, “Sun” or similar convention as specified by Oracle in any naming
convention designation.

(2) Trademarks and Logos. You shall acknowledge that Oracle owns the Java trademarkand all Java-related trademarks, logos and icons including the Coffee Cup and Duke
(“Java Marks”) and shall agree to: (a) comply with the Java Trademark Guidelines at http://www.oracle.com/us/legal/third-party-trademarks/index.html; (b) not do anythingharmful to or inconsistent with Oracle’s rights in the Java Marks; and (c) assist Oraclein protecting those rights, including assigning to Oracle any rights acquired by you inany Java Mark.

(3) Third Party Code. You shall read additional copyright notices and license terms applicable to portions of the programs are set forth below.

==========
COMPONENTS
==========

The following software (or certain identified files distributed with the software) may beincluded in this product. Unless otherwise specified, the software identified in this fileis licensed under the licenses described below. The disclaimers and copyright noticesprovided are based on information made available to Oracle by the third party licensorslisted.

3DES

Des3Cipher - the triple-DES encryption method
Copyright (C) 1996 by Jef Poskanzer <jef@mail.acme.com>. All rights reserved.
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, arepermitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR AND CONTRIBUTORS “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUS INESSINTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHERIN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Visit the ACME Labs Java page for up-to-date versions of this and other fine Java utilities:
http:www.acme.com/java/

AES

Cryptix General License
Copyright (c) 1995-2005 The Cryptix Foundation Limited. All rights reserved.
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE CRYPTIX FOUNDATION LIMITED AND CONTRIBUTORS “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE CRYPTIX FOUNDATION LIMITED OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUS INESSINTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

DES

DesCipher - the DES encryption method
@@ The meat of this code is by Dave Zimmerman <dzimm@widget.com>, and is:
Copyright (c) 1996 Widget Workshop, Inc. All Rights Reserved.
Permission to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation
for NON-COMMERCIAL or COMMERCIAL purposes and without fee is hereby granted,

provided that this copyright notice is kept intact.

WIDGET WORKSHOP MAKES NO REPRESENTATIONS OR WARRANTIES ABOUT THE SUITABILITY OF THE SOFTWARE, EITHER EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, OR NON-INFRINGEMENT. WIDGET WORKSHOP SHALL NOT BE LIABLE FOR ANY DAMAGES SUFFERED BY LICENSEE AS A RESULT OF USING, MODIFYING OR DISTRIBUTING THIS SOFTWARE OR ITS DERIVATIVES. THIS SOFTWARE IS NOT DESIGNED OR INTENDED FOR USE OR RESALE AS ONLINE CONTROL EQUIPMENT IN HAZARDOUS ENVIRONMENTS REQUIRING FAIL-SAFE PERFORMANCE, SUCH AS IN THE OPERATION OF NUCLEAR FACILITIES, AIRCRAFT NAVIGATION OR COMMUNICATION SYSTEMS, AIR TRAFFIC CONTROL, DIRECT LIFE SUPPORT MACHINES, OR WEAPONS SYSTEMS, IN WHICH THE FAILURE OF THE SOFTWARE COULD LEAD DIRECTLY TO DEATH, PERSONAL INJURY, OR SEVERE PHYSICAL OR ENVIRONMENTAL DAMAGE (“HIGH RISK ACTIVITIES”). WIDGET WORKSHOP SPECIFICALLY DISCLAIMS ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTY OF FITNESS FOR HIGH RISK ACTIVITIES.

@@ The rest of the code is:
Copyright (C) 1996 by Jef Poskanzer <jef@mail.acme.com>.
All rights reserved.
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR AND CONTRIBUTORS “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED

WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.
Visit the ACME Labs Java page for up-to-date versions of this and other fine Java utilities: http:www.acme.com/java/

JPEG library

The authors make NO WARRANTY or representation, either express or implied, with respect to this software, its quality, accuracy, merchantability, or fitness for a particular purpose. This software is provided “AS IS”, and you, its user, assume the entire risk as to its quality and accuracy.
This software is copyright (C) 1991-1998, Thomas G. Lane.

---
zlib 1.1.3

@@ Acknowledgments:
Oracle gratefully acknowledges the contributions of Jean-loup Gailly and Mark Adler in creating the zlib general purpose compression library which is used in this product.

@@ Copyright notice:
(C) 1995-1998 Jean-loup Gailly and Mark Adler
This software is provided ‘as-is’, without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.
Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If

you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.

2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.

3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

Jean-loup Gailly Mark Adler
jloup@gzip.org
madler@alumni.caltech.edu
If you use the zlib library in a product, we would appreciate *not* receiving lengthy legal documents to sign. The sources are provided for free but without warranty of any kind. The library has been entirely written by Jean-loup Gailly and Mark Adler; it does not include third-party code. If you redistribute modified sources, we would appreciate that you include in the file ChangeLog history information documenting your changes.

(4)Others.

(i) You shall not install the programs separately and independently from this Blu-ray product.

(ii) You agree not to reply on the future availability of any programs or services which Oracle will provide.

(5)ENTIRE AGREEMENT

You agree that this Agreement is the complete agreement pertaining to the subject matter hereof (including references to information contained in a URL) and this Agreement supersedes all prior or contemporaneous written or oral agreements or representations existing between you and Panasonic with respect to such subject matter. If any term of this Agreement is found to be invalid or unenforceable, the remaining provisions will remain effective.
Panasonic’s failure to enforce any right or provisions in this Agreement will not constitute a waiver of such provision, or any other provision of this Agreement.

周辺監視

4

4-1. バックガイドモニター

バックガイドモニターについて130
並列駐車をする（予想進路線表示モード）..... 133
並列駐車をする（駐車ガイド線表示モード）..... 135
バックガイドモニターの注意点について..... 137
知っておいていただきたいこと141

4-2. パノラミックビューモニター

パノラミックビューモニターについて..... 143
シースルービュー／ムービングビューについて 146
パノラミックビュー＆ワイドフロントビューについて..... 148
両サイドビューについて..... 151
パノラミックビュー＆バックビュー／ワイドバックビュー／バックビューについて 154
ドアミラー格納時の表示について 162
拡大機能について（パノラミックビュー）..... 164
パノラミックビューモニターの注意点について 165
知っておいていただきたいこと176

バックガイドモニターについて★

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

車両後方の映像をモニター画面に映し出し、駐車時などの後退操作を補助する装置です。

本文中で使用している画面のイラストは例であり、イラストと実際に映し出される映像では車両の映り込みなどが異なることがあります。

運転時の注意について

バックガイドモニターは、後退操作を補助する装置です。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認してください。お守りいただかないと、車をぶつけるなど思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。バックガイドモニターを使用するときは以下のことをお守りください。

警告

- 画面だけを見ながら後退することは絶対にしないでください。
  画面に映っている映像と実際の状況は異なることがあり、画面だけを見て後退すると車をぶつけたり、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。とくに周辺に駐車している車や障害物などに接触しないようにしてください。後退するときは、必ず目視やミラーなどで後方や周囲の安全を直接確認してください。
- 後退するときは、ブレーキペダルを踏んで速度調整しながら、ゆっくり後退してください。
- 周辺の車両や障害物、人などに接触しそうなとき、または路肩に乗り上げそうになったときは、ブレーキペダルを踏んで停車してください。
- バックガイドモニターの各モードの操作手順はあくまでも一例であり、駐車時の道路事情・路面や車の状況などにより、ハンドル操作のタイミング・操作量は異なります。以上のことを十分理解したうえで、バックガイドモニターをご使用ください。
- 駐車するときは、必ず駐車スペースに車を駐車できるかを確認してから後退してください。
- 以下のような状況では、バックガイドモニターを使用しないでください。
  - ・雪道、凍結した道などのすべりやすい路面
  - ・タイヤチェーン、応急用タイヤを使用しているとき
  - ・バックドアが完全に閉まっていないとき
  - ・カーブや坂道など平坦・まっすぐではない道路
  - ・タイヤをメーカー指定のものから交換しているとき
  - ・サスペンションを改造しているとき
- 外気温が低い場合、画面が暗くなったり、映像が薄れたりすることがあります。とくに動いているものの映像が歪む、または画面から見えなくなることがあるため、必ず後方や周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。

警告

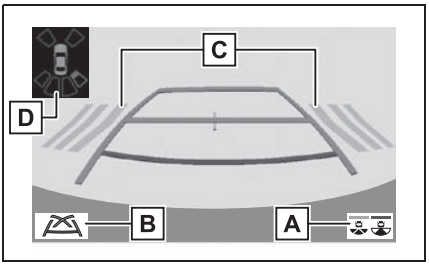
- タイヤサイズを変更した場合、画面に表示されるガイド線の位置に誤差が生じることがあります。
- カメラのレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なります。（→P.138）

ガイド画面を表示する

エンジンスイッチ＜パワースイッチ＞が ACC または ON のときにシフトレバーを R にすると、バックガイドモニターの画面になります。

- バックガイドモニターは、前回使用した駐車モード画面が最初に表示されます。

▶ バックビュー



A 画面モード切り替えスイッチ

・スイッチを押すたびに、バックビューとワイドバックビューが切り替わります。

B 表示モード切り替えスイッチ

・ガイド線表示モードを切り替える。

C RCTA（リヤクロストラフィックアラート）★

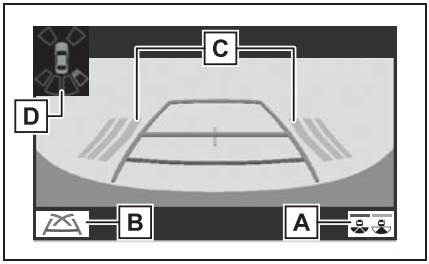
・後側方からの接近車両を後側方レーダーで検知すると、ガイド画面左上に割込み表示される。（RCTA（リヤクロストラフィックアラート）については、別冊「取扱書」をご覧ください。）

D クリアランスソナー★

・クリアランスソナーが ON のとき、クリアランスソナーが静止物を検知すると、ガイド画面左上に割込み表示される。（クリアランスソナーについては、別冊「取扱書」をご覧ください。）

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

▶ ワイドバックビュー



A 画面モード切り替えスイッチ

・スイッチを押すたびに、バックビューとワイドバックビューが切り替わります。

B 表示モード切り替えスイッチ

・ガイド線表示モードを切り替える。

C RCTA（リヤクロストラフィックアラート）★

・後側方からの接近車両を後側方レーダーで検知すると、ガイド画面左上に割込み表示される。（RCTA（リヤクロストラフィックアラート）については、別冊「取扱書」をご覧ください。）

D クリアランスソナー★

・クリアランスソナーが ON のとき、クリアランスソナーが静止物を検知すると、ガイド画面左上に割込み表示される。（クリアランスソナーについては、別冊「取扱書」をご覧ください。）

★：グレード、オプションなどにより、

装備の有無があります。

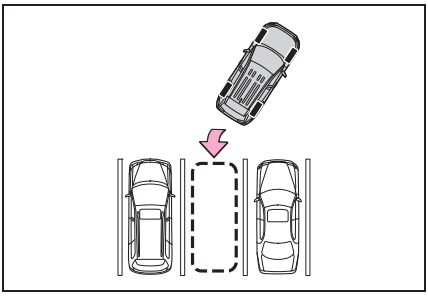
知識

●画面上に表示される表示モード切り替えスイッチの絵は、スイッチを押した際、次に表示される表示モードを表しています。現在表示されているモードの状態ではありません。

バックガイドモニターを解除する

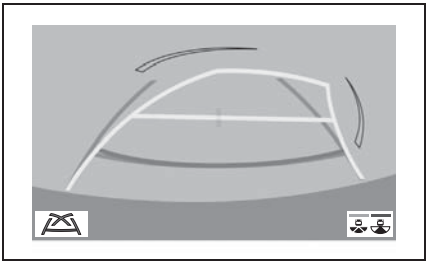
シフトレバーをR以外にすると、バックガイドモニターは解除されます。

並列駐車（車庫入れ）時に使用する



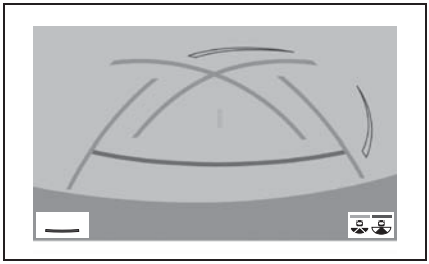
車庫入れなど並列駐車をするときは、次のいずれかのモードを使用します。

▶ 予想進路線表示モード（→P.133）



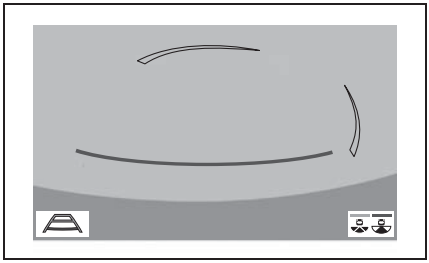
ハンドル操作に連動した予想進路線などが表示されます。

▶ 駐車ガイド線表示モード（→P.135）



ハンドルの切り返し点（駐車ガイド線）が表示されます。

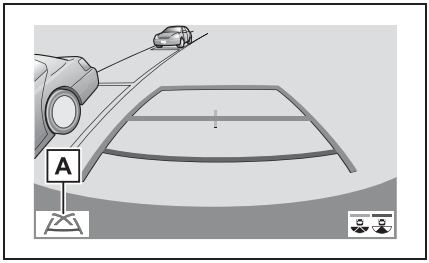
▶ 距離目安線表示モード



距離目安線のみ表示されます。

表示モードを切り替える

1 ガイド画面で、表示モード切り替えスイッチを押す。



A 表示モード切り替えスイッチ

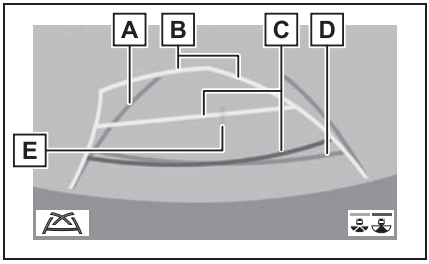
・表示モード切り替えスイッチを押すご

とに、並列駐車案内時の表示モードが、予想進路線表示モード → 駐車ガイド線表示モード → 距離目安線表示モードの順に切り替わります。

並列駐車をする（予想進路線表示モード）

画面の見方について

▶ バックビュー



A 車幅延長線

車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示す。

・ 実際の車幅より広く表示。
・ 直進状態になっているときは、予想進路線と重なる。

B 予想進路線

ハンドル操作と連動して、進路の目安を示す。

C 距離目安線

ハンドル操作と連動して、車の後方の距離を示す。

・ 予想進路線と連動する。
・ バンパー後端の中心位置から約 0.5m 先（赤色）・約 1m 先（黄色）を示す。

D 距離目安線

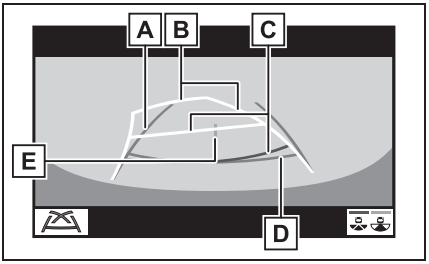
車の後方の距離を示す。

・ バンパー後端から約 0.5m 先（青色）を示す。

E 車両中央線

車幅延長線の中心位置を示す。

▶ ワイドバックビュー



A 車幅延長線

車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示す。
・ 実際の車幅より広く表示。
・ 直進状態になっているときは、予想進路線と重なる。

B 予想進路線

ハンドル操作と連動して、進路の目安を示す。

C 距離目安線

ハンドル操作と連動して、車の後方の距離を示す。
・ 予想進路線と連動する。
・ バンパー後端の中心位置から約 0.5m 先（赤色）・約 1m 先（黄色）を示す。

D 距離目安線

車の後方の距離を示す。
・ バンパー後端から約 0.5m 先（青色）を示す。

E 車両中央線

車幅延長線の中心位置を示す。

警告

●乗車人数・積載量などにより、画面のガイド線の示す位置は変わります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

●ハンドルがまっすぐ（直進状態）で車幅延長線と予想進路線がずれている場合は、トヨタ販売店で点検を受けてください。

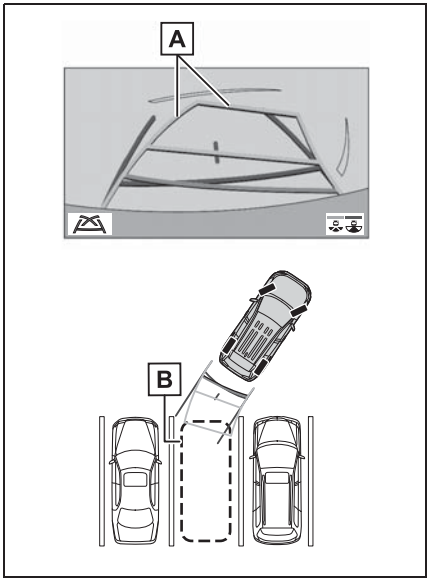
●車幅延長線は、実際の車幅より広く表示されます。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

駐車する

以下の手順と逆方向の駐車スペースに駐車するときは、ハンドル操作がすべて左右逆になります。

1 シフトレバーを R にする。

2 予想進路線が駐車スペースの中に入るようにハンドルを操作して、ゆっくり後退する。

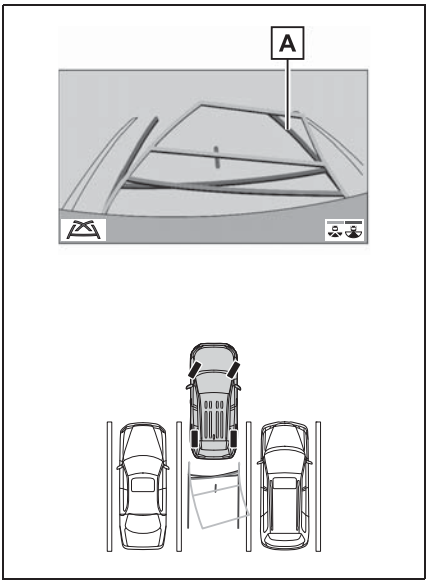


A 予想進路線

B 駐車スペース

3 車の後部が駐車スペースの中に入ったら、車幅延長線が駐車ス

ペース左右の区画線の間に入るようにハンドルを操作する。



A 車幅延長線

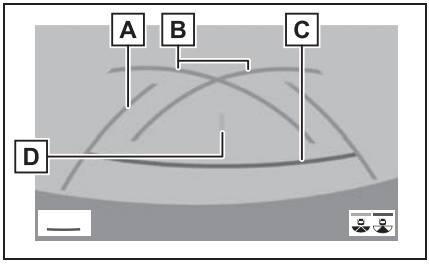
4 車幅延長線と駐車スペースの区画線が平行になったら、ハンドルをまっすぐにして、車が駐車スペースにすべて入るまで、ゆっくり後退する。

5 適切な位置で停車し、駐車を終える。

並列駐車をする（駐車ガイド線表示モード）

画面の見方について

▶ バックビュー



A 車幅延長線

車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示す。

・ 実際の車幅より広く表示。

B 駐車ガイド線

もっとも後方へ小まわりしたときの進路の目安を示す。

・ 駐車時にハンドルを操作する位置の目安。

C 距離目安線

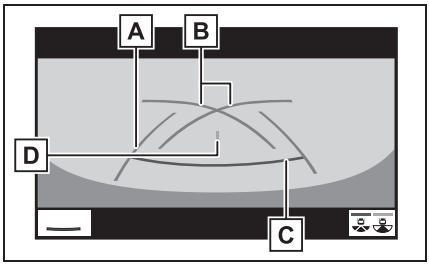
車の後方の距離を示す。

・ バンパー後端から約 0.5m 先（赤色）を示す。

D 車両中央線

車幅延長線の中心位置を示す。

▶ ワイドバックビュー



A 車幅延長線

車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示す。

・ 実際の車幅より広く表示。

B 駐車ガイド線

もっとも後方へ小まわりしたときの進路の目安を示す。

・ 駐車時にハンドルを操作する位置の目安。

C 距離目安線

車の後方の距離を示す。

・ バンパー後端から約 0.5m 先（赤色）を示す。

D 車両中央線

車幅延長線の中心位置を示す。

警告

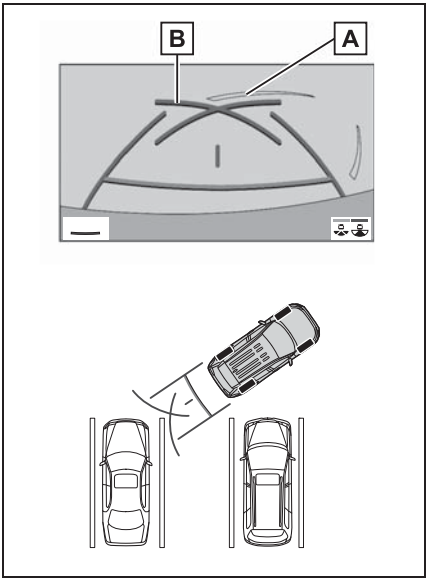
- 乗車人数・積載量などにより、画面のガイド線の示す位置はかわります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- 車幅延長線は、実際の車幅より広く表示されます。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

駐車する

以下の手順と逆方向の駐車スペースに駐車するときは、ハンドル操作がすべて左右逆になります。

1 シフトレバーを R にする。

2 駐車ガイド線が駐車スペースの左端の区画線に合うまで後退したら止まる。



A 駐車場の区画線

B 駐車ガイド線

3 ハンドルを右いっぱいにまわして、ゆっくり後退する。

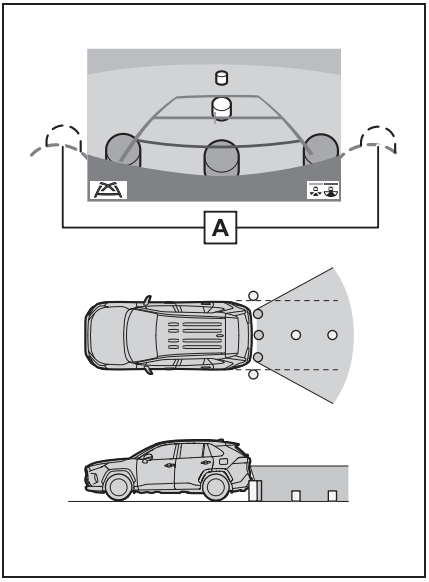
4 車が駐車スペースと平行になったら、ハンドルをまっすぐにして、車が駐車スペースにすべて入るまで、ゆっくり後退する。

5 適切な位置で停車し、駐車を終える。

バックガイドモニターの注意点について

画面に映る範囲について

▶ バックビュー

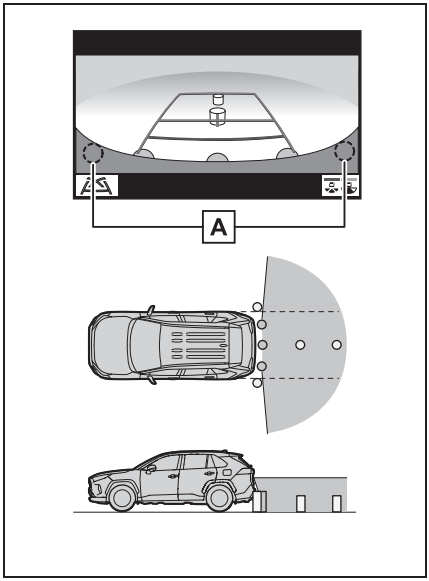


A 画面には映らない障害物

バックガイドモニターは、バンパー後端から車の後方が映ります。

バンパーの両端付近は映りません。

▶ ワイドバックビュー



A 画面には映らない障害物

バックガイドモニターは、バンパー後端から車の後方が映ります。

バンパーの両端付近は映りません。

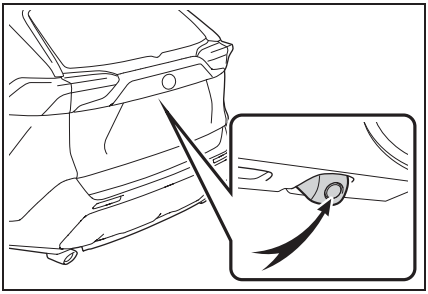
知識

- バックガイドモニターの画質調整の方法は、ナビゲーション画面の調整と同じです。（→P.34）
- 車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
- バンパーの両端付近やバンパーの下にあるものは映りません。
- カメラのレンズ特性により、画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。
- カメラより高い位置にあるものについては、モニターに映らないことがあります。
- 字光式ナンバープレートを装着していると、画面上に映り込むことがありま

す。

カメラについて

バックガイドモニターのカメラは、図の位置にあります。



■ カメラのお手入れについて

カメラに水滴、雪、泥などの異物や汚れが付着していると、鮮明な画像を見ることができません。この場合、大量の水でカメラの汚れを流し、水で湿らせた柔らかい布でカメラレンズをふき取ってください。

⚠ 注意

●バックガイドモニターが正常に作動しなくなるおそれがありますので、以下のことにご注意ください。

・カメラ部を強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃を与えないでください。カメラの位置、取りつけ角度がずれるおそれがあります。

・カメラ部は防水構造となっていますので、取りはずし・分解・改造をしないでください。

・カメラレンズを洗うときは、大量の水でカメラの汚れを流した後、水で湿らせた柔らかい布でカメラレンズをふき取ってください。
カメラレンズを強くこするとカメラレンズが傷ついて、鮮明な画像を見ることができなくなるおそれがあります。

・カメラのカバーは樹脂ですので、有機溶剤・ボディワックス・油膜取り剤・ガラスコート剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐにふき取ってください。

・寒いときにお湯をかけるなどして急激な温度変化を与えないでください。

・洗車時に高圧洗浄機でカメラやカメラ周辺に直接水を当てないでください。強い水圧により衝撃が加わり、装置が正常に作動しなくなるおそれがあります。

●カメラ部をぶつけたときは、カメラの故障などのおそれがあります。早めにトヨタ販売店で点検を受けてください。

画面と実際の路面との誤差について

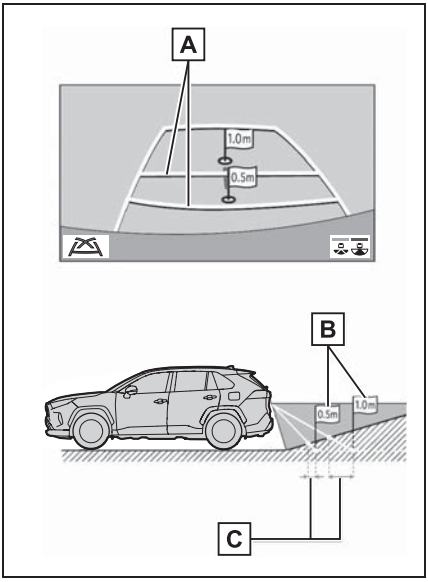
● 距離目安線や車幅延長線と駐車スペースの区画線が画面では平行に見えても、実際は平行ではないことがあります。必ず直接確かめてください。

● 車幅延長線と駐車スペース左右の区画線の間隔が画面では左右均等に見えても、実際は左右均等ではないことがあります。必ず直接確かめてください。

● 距離目安線は、平らな路面に対しての距離の目安を示していま

す。そのため、以下の状態のときは、画面のガイドと実際の路面上の距離・進路に誤差が生じます。

■ 急な上り坂が後方にあるとき



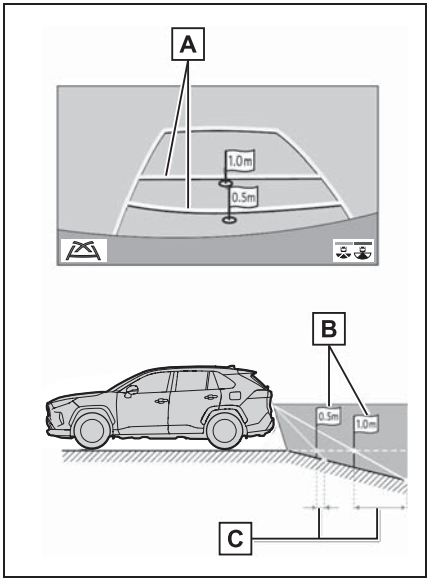
A 距離目安線

B 実際の距離

C 誤差

実際の距離より手前に距離目安線が表示されます。そのため、上り坂にある障害物は実際より遠くに見えます。同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

■ 急な下り坂が後方にあるとき



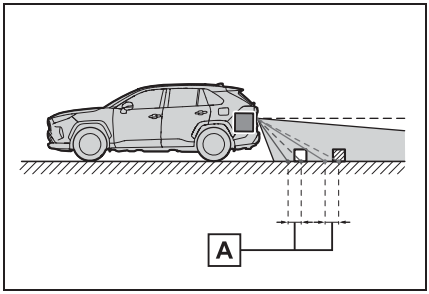
A 距離目安線

B 実際の距離

C 誤差

実際の距離よりうしろに距離目安線が表示されます。そのため、下り坂にある障害物は、実際より近くに見えます。同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

■ 車が傾いているとき



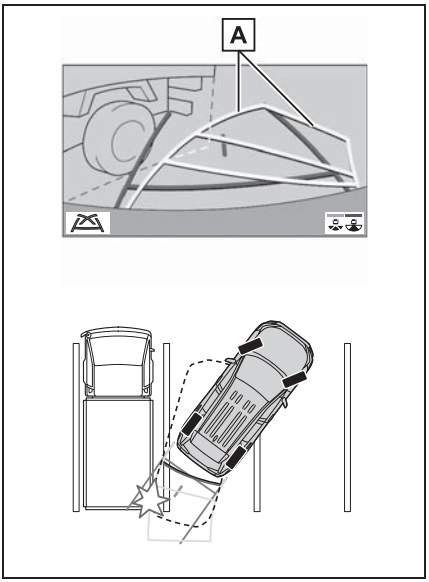
A 誤差

乗車人数、積載量などにより車が傾いているときは、実際の距離、進路と誤差が生じます。

立体物が近くにあるとき

予想進路線・距離目安線は路面に対して表示されているため、立体物の位置を判断することができません。張り出しのある立体物（トラックの荷台のような障害物）が近くにあるときは、以下のことにご注意ください。

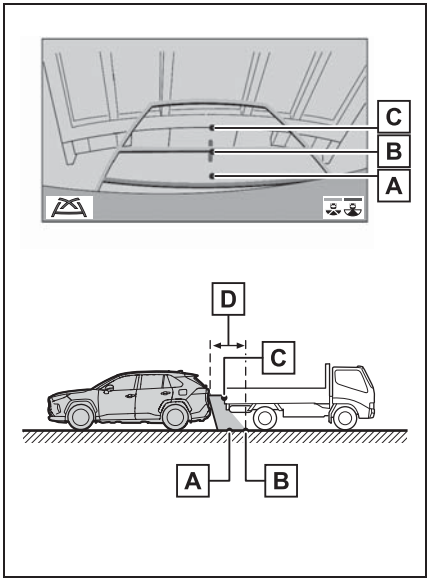
■ 予想進路線について



A 予想進路線

後方や周囲の安全を直接確認してください。画面では、トラックの荷台が予想進路線の外側にあり、ぶつからないように見えても、実際は荷台が進路上に張り出しているためぶつかることがあります。

■ 距離目安線について



D 約 1m

後方や周囲の安全を直接確認してください。画面では、距離目安線によりB の位置にトラックが駐車してあるように見えますが、実際にはA の位置まで後退すると、ぶつかります。画面ではA 、B 、C の順に近く見えますが、実際の距離はA とC は同じ距離で、B はA とC より遠い距離にあります。

知っておいていただきたいこと

故障とお考えになる前に

下記のような症状で気になったりお困りになった時は、考えられる原因と処置を参考に、もう一度確認してください。

処置をしても直らないときは、トヨタ販売店で点検を受けてください。

症状	考えられる原因	処置
画面が見にくい	●夜間など暗いところで使用。 ●レンズ付近の温度が高い、または低い。 ●外気温が低いとき。 ●カメラに水滴がついた。 ●雨天時など湿度が高い。 ●カメラ付近に異物（泥など）がついた。 ●太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズに当たった。 ●蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯などの照明下で使用した。	車両周囲の状況を直接確認しながら、運転してください。 （カメラ及びその周辺環境が改善されてから、再びバックガイドモニターをご使用ください。） バックガイドモニターの画質調整の方法は、ナビゲーション画面の調整と同じです。（→P.34）
画面が不鮮明	カメラのレンズに水滴、雪、泥など異物や汚れが付着している。	大量の水でカメラの汚れを流した後、水で湿らせた柔らかい布でカメラレンズをふき取ってください。
画面がずれている	カメラ部に強い衝撃が与えられた。	トヨタ販売店で点検を受けてください。
ガイド線が大きくずれる	カメラの位置がずれている。	トヨタ販売店で点検を受けてください。
	●車が傾いているとき（重い荷物の積載やパンクしてタイヤ空気圧が低いときなど）。 ●傾斜地で使用するとき。	車両周囲の状況を直接確認しながら、運転してください。

症状	考えられる原因	処置
ハンドルが直進状態であるにも関わらず予想進路線がまがっている（車幅延長線と予想進路線がずれる）	ステアリングセンサーの信号に異常が発生した。	トヨタ販売店で点検を受けてください。
ガイド線が表示されない	バックドアが開いている。	バックドアを閉める。 直らない場合は、トヨタ販売店で点検を受けてください。
画面に と表示された	●12V バッテリーの脱着中にハンドル操作を行った。 ●12V バッテリー能力が低下した。 ●12V バッテリーを脱着した。 ●ステアリングセンサーを脱着した。 ●ステアリングセンサーの信号に異常が発生した。	車を止め、ハンドルを左右いっぱいにまわしてください。 直らない場合は、トヨタ販売店で点検を受けてください。

パノラミックビューモニターについて★

★：グレード、オプションなどにより、装備の有無があります。

パノラミックビューモニターは、車両に取り付けたフロント、サイド、バックカメラの映像を合成して画面上につなぎ目のない車両上方からの映像を表示させることで、低速時の運転を補助する装置です。

知識

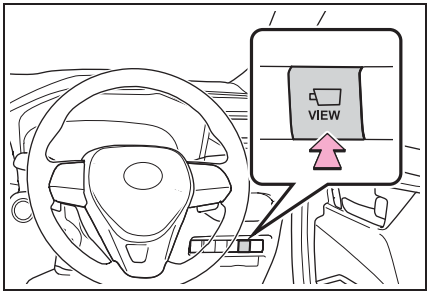
- 本文中で使用している画面のイラストは例であり、イラストと実際に映し出される映像では車両の映り込みなどが異なることがあります。

警告

- パノラミックビューモニターは、車両周囲確認を補助する装置です。必ず周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- カメラのレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なります。

カメラスイッチについて

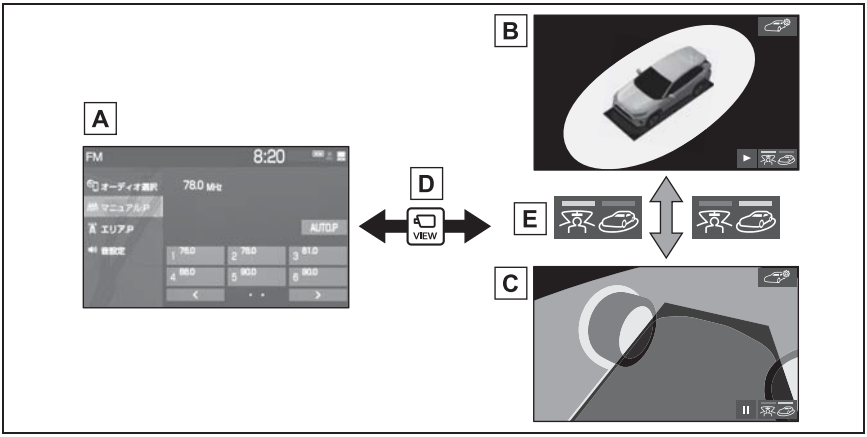
パノラミックビューモニターの表示と画面の切り替えをします。



パノラミックビューモニター画面表示条件について

エンジンスイッチ＜パワースイッチ＞が ON の状態で、カメラスイッチを押したときにシフトレバーの位置に応じて、パノラミックビューモニター画面は表示されます。（以下は一例です）

▶ シフトレバーが P のとき



A オーディオ画面など

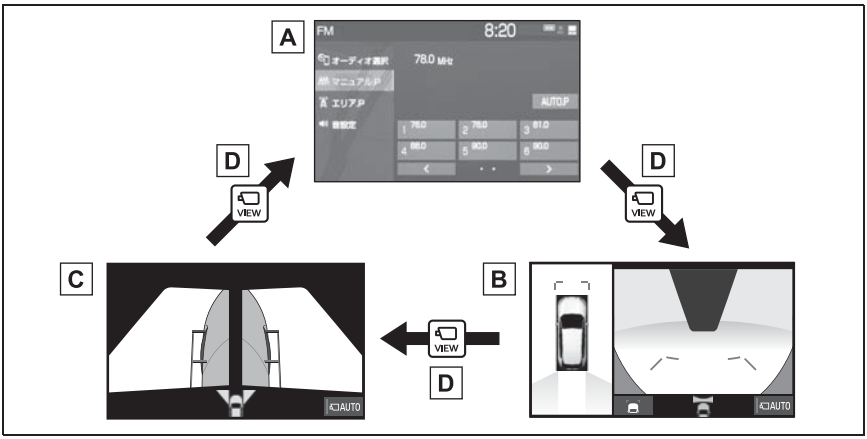
B ムービングビュー

C シースルービュー

D カメラスイッチを押す

E 画面切り替えスイッチを選択

▶ シフトレバーが D、N のとき



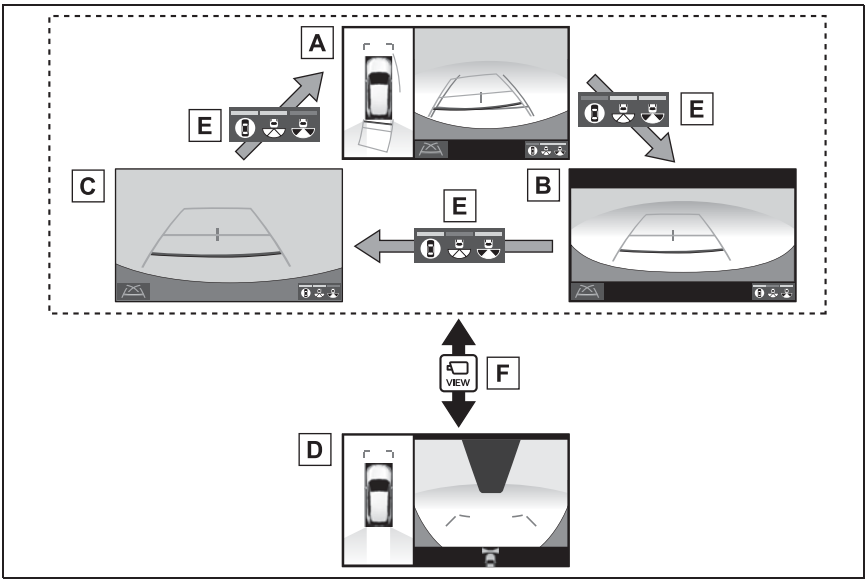
A オーディオ画面など

B パノラミックビュー＆ワイドフロントビュー

C 両サイドビュー

D カメラスイッチを押す

▶ シフトレバーが R のとき



A パノラミックビュー＆バックビュー

B ワイドバックビュー

C バックビュー

D パノラミックビュー＆ワイドフロントビュー

E 画面切り替えスイッチを選択

F カメラスイッチを押す

知識

- 車速が約 12km/h 以下でカメラスイッチを押した場合、約 8 秒間パノラミックビューモニター画面を表示します。車速が約 12km/h 以上になると、パノラミックビューモニター画面が消えて元の画面に戻ります。
- 車速が約 12km/h 以上でカメラスイッチを押した場合、車速が約 12km/h 以下にならない限り、約 5 分間はパノラミックビューモニター画面が表示されます。ただし、車速が約 12km/h 以下になった場合は、約 8 秒間はパノラミックビューモニター画面が表示され、車速が約 12km/h 以上になると、パノラミックビューモニター画面が消えて元の画面に戻ります。
- 画面表示タイマー機能を作動していないとき、車速が 12km/h 以上になると、パノラミックビューモニター画面が消えて元の画面に戻ります。

シースルービュー／ムービングビューについて

車両周辺の障害物を確認するため、各カメラから合成された映像を表示するモードです。運転席から見たような映像や、車両周りの斜め上方から見たような映像を表示します。

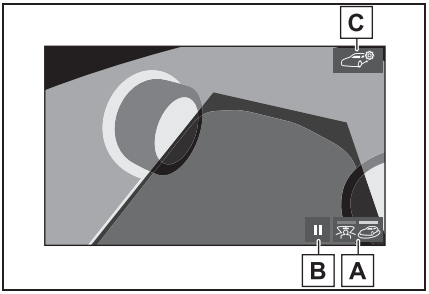
画面を表示する

1 シフトレバーを P にする。

2 カメラスイッチを押す。

● シースルービュー／ムービングビューが表示されます。

▶ シースルービュー



A 画面モード切り替え

シースルービュー／ムービングビューを切り替える。

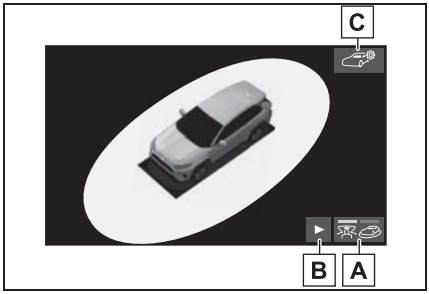
B 一時停止／再回転スイッチ

回転表示を一時停止、再開する。

C ボディカラー設定スイッチ

パノラミックビューモニターで表示される車両のボディカラーを設定する画面を表示する。

▶ ムービングビュー



A 画面モード切り替え

シースルービュー／ムービングビューを切り替える。

B 一時停止／再回転スイッチ

回転表示を一時停止、再開する。

C ボディカラー設定スイッチ

パノラミックビューモニターで表示される車両のボディカラーを設定する画面を表示する。

知識

●シフトレバーが P のときにシースルービュー／ムービングビューを表示できます。

●シースルービュー／ムービングビューが表示されているときに、シフトレバーを D または N にすると、パノラミックビュー＆ワイドフロントビュー表示に切り替わります。

●シースルービュー／ムービングビュー画面を選択しても、シースルービュー／ムービングビューの回転を一時停止、再開できます。

●クリアランスソナーが ON のときのみ、シースルービュー／ムービングビューを 表示できます。（クリアランスソナーについては、別冊「取扱書」をご覧ください。）

ボディカラーを設定する

パノラミックビューモニターで表示される車両のボディカラーを変更することができます。

1 を選択。

2 希望のボディカラーを選択。

パノラミックビュー&ワイドフロントビューについて

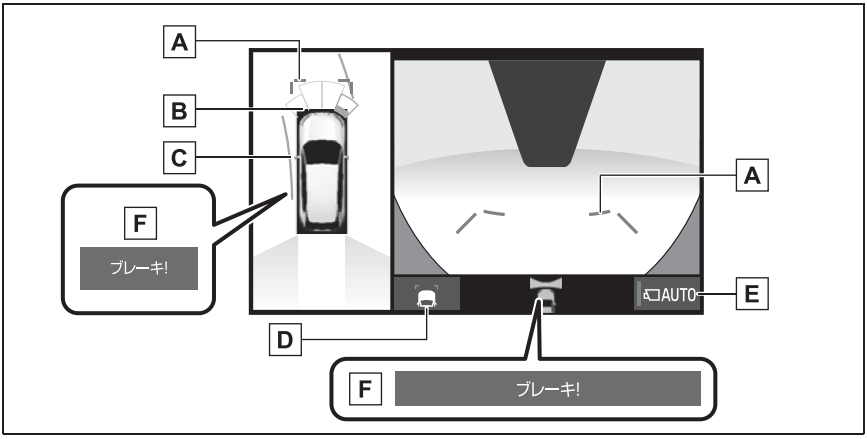
見通しの悪い交差点や丁字路などで、車両の前方と左右方向の状況確認をするために、車両上方からの映像と前方カメラからの映像を同時に表示するモードです。

画面を表示する

1 シフトレバーを D または N にする。

2 カメラスイッチを押す。

● パノラミックビュー&ワイドフロントビューが表示されます。



A 前方距離目安線

車両前端から約 1.0m 先（青色）を示す。

B クリアランスソナー

クリアランスソナーが ON のとき、クリアランスソナーが障害物を感知すると、画面にインジケーターが表示される。（クリアランスソナーについては、別冊「取扱書」をご覧ください。）

C 前進予想進路線

・ ハンドル操作と連動して、進路の目安を示す（黄色）。
・ 直進状態から 90 度以上ハンドル操作をした場合に表示します。

D ガイド線表示モード切り替えスイッチ

スイッチを押すたびにガイド線表示モードが切り替わります。（→P.149）

E 自動表示モード切り替えスイッチ

・ 自動表示モードの ON/OFF を切り替える。（→P.149）

・ 自動表示モードが ON のときは作動表示灯が点灯します。

F PKSB（パーキングサポートブレーキ）

衝突の可能性がある障害物を感知すると、画面にメッセージが表示される。（PKSB（パーキングサポートブレーキ）については、別冊「取扱書」をご覧ください。）

知識

●シフトレバーが D、N のときにパノラミックビュー＆ワイドフロントビューを表示できます。

●シフトレバーが R でドアミラーが開いているときにカメラスイッチを押すと、パノラミックビュー＆ワイドフロントビューに切り替えできます。

●クリアランスソナーの表示位置とカメラ映像に映し出される障害物の位置は合わないことがあります。

警告

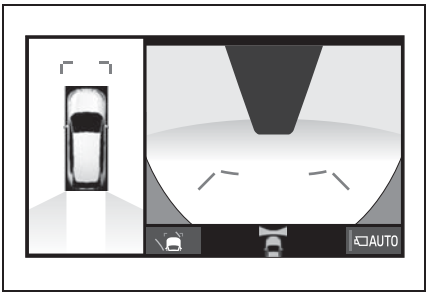
●乗車人数・積載量・路面の勾配などにより、画面のガイド線の示す位置はかわります。必ず周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

●クリアランスソナーの表示は、カメラ映像に重畳して表示しているため、周囲の明るさや色などによっては見えにくい場合があります。

ガイド線表示モードについて

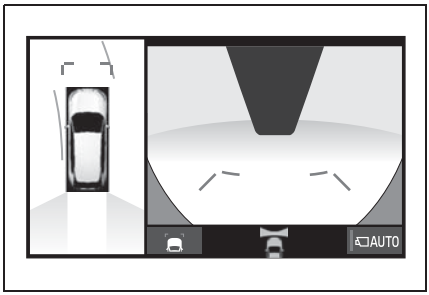
ガイド線表示モード切り替えスイッチを選択するごとに、表示モード が切り替わります。

▶ 距離目安線表示モード



● 車両前端から約 1.0 m 先を示します。（青色）

▶ 予想進路線表示モード



● ハンドル操作と連動して、進路の目安を示します。（黄色）直進状態から 90 度以上ハンドル操作をした場合に表示されます。

自動表示モードについて

カメラスイッチの操作による表示に加え、車速に応じて自動的にパノラミックビュー＆ワイドフロン

トビュー、両サイドビューが表示される自動表示モードを設定することができます。

● 自動表示モードを ON にすると、次の場合に自動で表示することができます。

・シフトレバーを D または N にしたとき

・車速が約 10km/h 以下に減速したとき（シフトレバーが R 以外）

● 自動表示モード 切り替えスイッチを選択するごとに、自動表示モードの ON/OFF が切り替わります。

クリアランスソナー連動表示機能について

クリアランスソナーの感知状態に応じて、パノラミックビュー＆ワイドフロントビューが自動的に表示されます。

● 次の場合に自動で表示されます。

・クリアランスソナーが障害物を感知したとき（シフトレバーが D または N のとき）

● 次の場合に自動で元の画面へ戻ります。

・クリアランスソナーの感知が終了したとき

両サイドビューについて

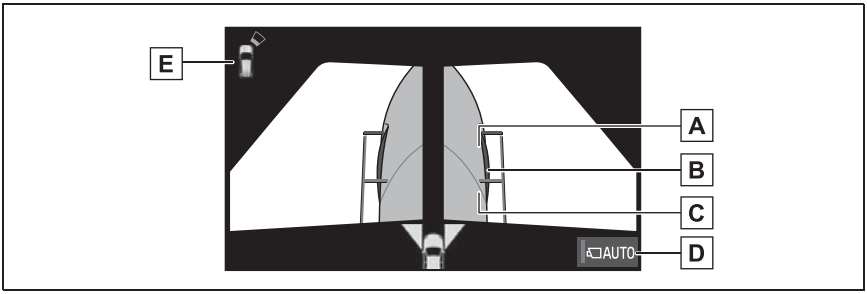
左右両サイドに設置されたカメラからの映像を表示し、車両側方の安全確認や狭い小路での接触回避などの操作を補助するモードです。

画面を表示する

1 シフトレバーを D または N にする。

2 カメラスイッチを両サイドビューが表示されるまで押す。

● 両サイドビューが表示されます。



A 前方距離目安線

車両前端から約 0.5m 先（赤色）を示す。

B 車幅平行線

ドアミラー分を含んだ車幅の目安線（青色）を示す

C 前輪接地線

前タイヤの位置（青色）を示す。

D 自動表示モード切り替えスイッチ

・ 自動表示モードの ON/OFF を切り替える。（→P.152）
・ 自動表示モードが ON のときは作動表示灯が点灯します。

E クリアランスソナー

クリアランスソナーが ON のとき、クリアランスソナーが障害物を感知すると、画面にインジケーターが表示される。（クリアランスソナーについては、別冊「取扱書」をご覧ください。）

知識

● シフトレバーが D、N のときに両サイドビューを表示できます。

● クリアランスソナーの表示位置とカメラ映像に映し出される障害物の位置は合わない

ことがあります。

● ドアミラーを格納しても、両サイドビューを表示できます。

警告

● 乗車人数・積載量・路面の勾配などにより、画面のガイド線の示す位置はかわります。必ず周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

● クリアランスソナーの表示は、カメラ映像に重畳して表示しているため、周囲の明るさや色などによっては見えにくい場合があります。

自動表示モードについて

カメラスイッチの操作による表示に加え、車速に応じて自動的に両サイドビューが表示される自動表示モードを設定することができます。

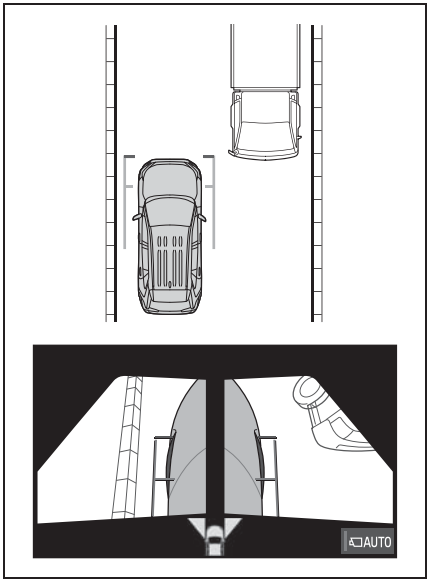
● 自動表示モードを ON にすると、次の場合に自動で表示することができます。

・ シフトレバーを D または N にしたとき

・ 車速が約 10km/h 以下に減速したとき（シフトレバーが R 以外）

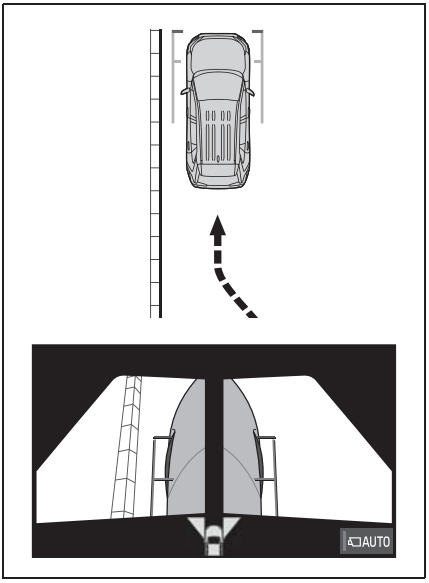
● 自動表示モード 切り替えスイッチを選択するごとに、自動表示モードの ON/OFF が切り替わります。

車幅平行線の使い方



● 車幅平行線と障害物との位置関係を確認します。

● 車幅平行線が実際の障害物などに重ならないようにハンドル操作をして前進します。



- 車両平行線と路肩の縁石などの目標物との位置関係を確認します。
- 上記のように車幅平行線が重ならないように車両を幅寄せします。
- 同時に車幅平行線と目標物が平行になるように運転操作することで、目標物に沿って駐車することができます。

パノラミックビュー&バックビュー／ワイドバックビュー／バックビューについて

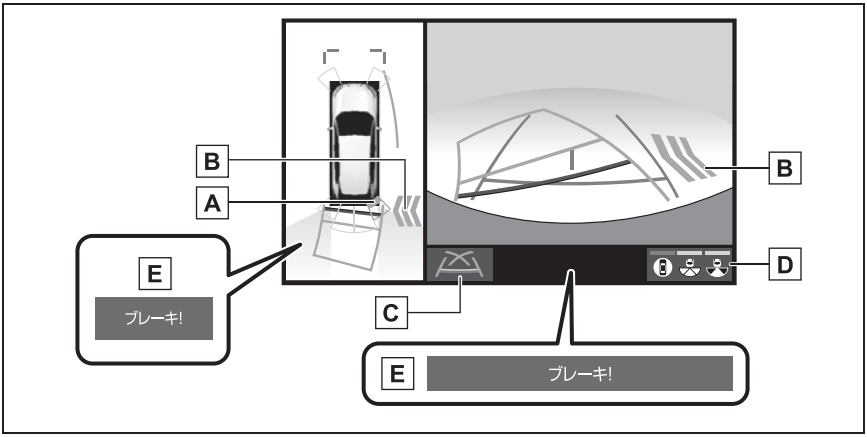
駐車時の安全確認を行うために、車両上方からの映像と後方カメラからの映像を同時に表示するモードです。

画面を表示する

1 シフトレバーをRにする。

● パノラミックビュー&バックビュー／ワイドバックビュー／バックビューが表示されます。

▶ パノラミックビュー&バックビュー



A クリアランスソナー

クリアランスソナーがONのとき、クリアランスソナーが障害物を感知すると、画面にインジケーターが表示される。（クリアランスソナーについては、別冊「取扱書」をご覧ください。）

B RCTA（リヤクロストラフィックアラート）

後側方からの接近車両や障害物を後側方レーダーで検知すると、画面にインジケーターが表示される。（RCTA（リヤクロストラフィックアラート）については、別冊「取扱書」をご覧ください。）

C ガイド線表示モード切り替えスイッチ

スイッチを押すたびにガイド線表示モードが切り替わります。（→P.157）

D 画面モード切り替えスイッチ

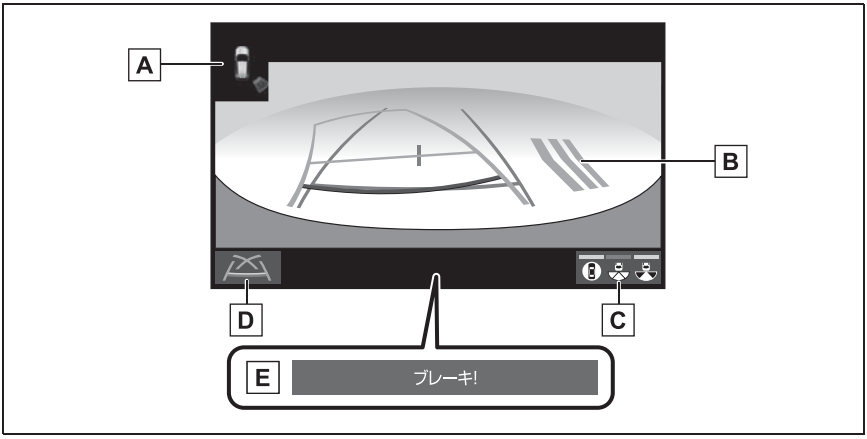
スイッチを押すたびに、次のように切り替わります。

パノラミックビュー&バックビュー → ワイドバックビュー → バックビュー

E PKSB（パーキングサポートブレーキ）

衝突の可能性がある障害物を感知すると、画面にメッセージが表示される。（PKSB（パーキングサポートブレーキ）については、別冊「取扱書」をご覧ください。）

▶ ワイドバックビュー



A クリアランスソナー

クリアランスソナーが ON のとき、クリアランスソナーが障害物を感知すると、画面にインジケーターが表示される。（クリアランスソナーについては、別冊「取扱書」をご覧ください。）

B RCTA（リヤクロストラフィックアラート）

後側方からの接近車両や障害物を後側方レーダーで検知すると、画面にインジケーターが表示される。（RCTA（リヤクロストラフィックアラート）については、別冊「取扱書」をご覧ください。）

C 画面モード切り替えスイッチ

スイッチを押すたびに、次のように切り替わります。

パノラミックビュー&バックビュー → ワイドバックビュー → バックビュー

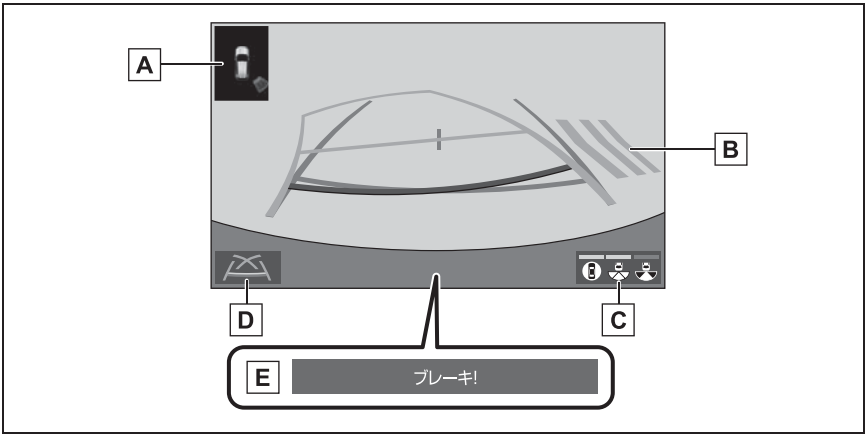
D ガイド線表示モード切り替えスイッチ

スイッチを押すたびにガイド線表示モードが切り替わります。（→P.157）

E PKSB（パーキングサポートブレーキ）

衝突の可能性がある障害物を感知すると、画面にメッセージが表示される。（PKSB（パーキングサポートブレーキ）については、別冊「取扱書」をご覧ください。）

▶ バックビュー



A クリアランスソナー

クリアランスソナーが ON のとき、クリアランスソナーが障害物を感知すると、画面にインジケーターが表示される。（クリアランスソナーについては、別冊「取扱書」をご覧ください。）

B RCTA（リヤクロストラフィックアラート）

後側方からの接近車両や障害物を後側方レーダーで検知すると、画面にインジケーターが表示される。（RCTA（リヤクロストラフィックアラート）については、別冊「取扱書」をご覧ください。）

C ガイド線表示モード切り替えスイッチ

スイッチを押すたびにガイド線表示モードが切り替わります。（→P.157）

D 画面モード切り替えスイッチ

スイッチを押すたびに、次のように切り替わります。

パノラミックビュー＆バックビュー → ワイドバックビュー → バックビュー

E PKSB（パーキングサポートブレーキ）

衝突の可能性がある障害物を感知すると、画面にメッセージが表示される。（PKSB（パーキングサポートブレーキ）については、別冊「取扱書」をご覧ください。）

知識

- シフトレバーが R のときにパノラミックビュー＆バックビュー／ワイドバックビュー／バックビューを表示できます。
- シフトレバーが R のときにカメラスイッチを押すと、パノラミックビュー＆ワイドフロントビューに切り替えできます。
- バックビュー部分を選択することでもワイドバックビューに切り替えることができます。

●クリアランスソナーの表示位置とカメラ映像に映し出される障害物の位置は合わないことがあります。

警告

●乗車人数・積載量・路面の勾配などにより、画面のガイド線の示す位置はかわります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

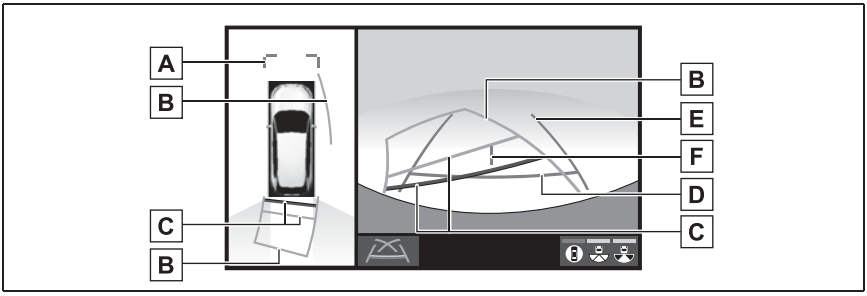
●クリアランスソナー、RCTA（リヤクロストラフィックアラート）の表示は、カメラ映像に重畳して表示しているため、周囲の明るさや色などによっては見えにくい場合があります。

ガイド線表示モードについて

ガイド線表示モード切り替えスイッチを選択するごとに、表示モード が切り替わります。

▶ 予想進路線表示モード

ハンドル操作に連動した予想進路線などが表示されます。



A 前方距離目安線

車両前端から約 1.0m 先（青色）を示す。

B 予想進路線

ハンドル操作と連動して、進路の目安（黄色）を示す。

C 後方距離目安線

車の後方の距離を示す。
・ 予想進路線と連動する。
・ 車両後端から約 0.5m 先（赤色）・約 1m 先（黄色）を示す。

D 後方距離目安線

車両後端から約 0.5m 先（青色）を示す。

E 後方車幅延長線

車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示す。
・ 実際の車幅より広く表示。

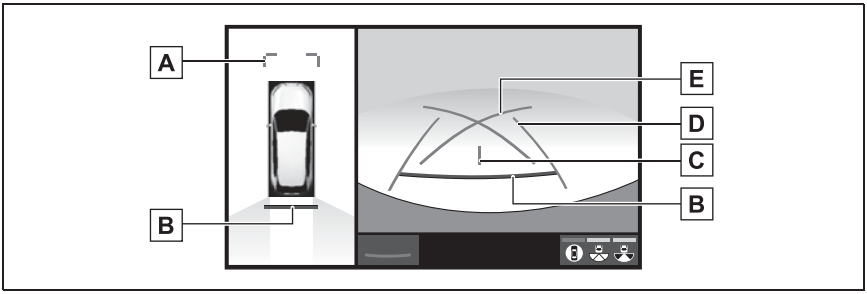
・ 直進状態になっているときは、予想進路線と重なる。

F 車両中央線

後方車幅延長線の中心位置（青色）を示す。

▶ 駐車ガイド線表示モード

ハンドルの切り返し点（駐車ガイド線）が表示されます。予想進路線表示を必要とせずに駐車できる、車両感覚に慣れた方におすすめします。



A 前方距離目安線

車両前端から約 1.0m 先（青色）を示す。

B 後方距離目安線

車の後方の距離を示す。
・ 車両後端から約 0.5m 先（赤色）を示す。

C 車両中央線

後方車幅延長線の中心位置（青色）を示す。

D 後方車幅延長線

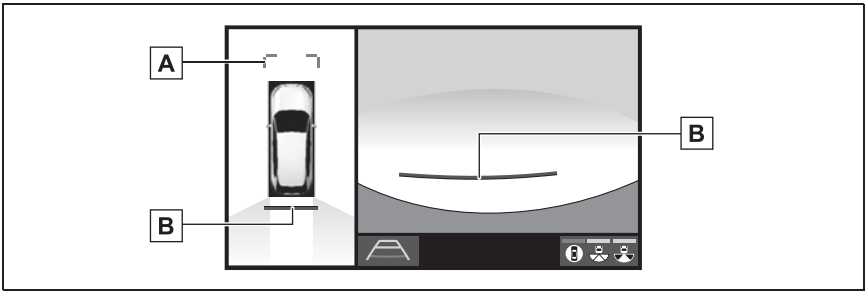
車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示す。
・ 実際の車幅より広く表示。

E 駐車ガイド線

もっとも後方へ小まわりしたときの進路の目安を示す。
・ 駐車時にハンドルを操作する位置の目安。

▶ 距離目安線表示モード

距離目安線のみ表示されるモードです。ガイド線を必要としない方におすすめします。



A 前方距離目安線

車両前端から約 1.0m 先（青色）を示す。

B 後方距離目安線

車の後方の距離を示す。

・ 車両後端から約 0.5m 先（赤色）を示す。

知識

●バックドアが閉じていないとガイド線は表示されません。バックドアを閉じてもガイド線が表示されない場合は、トヨタ販売店で点検を受けてください。

●クリアランスソナーは障害物の接近をお知らせする機能であり、画面に障害物感知方向の映像が映ることはありません。

警告

●ハンドルがまっすぐ（直進状態）で車幅延長線と予想進路線がずれているときは、できるだけ曲り角・カーブ等がなく、渋滞の少ない道路を前進で約 5 分間以上走行してください。それでも直らない場合は、トヨタ販売店で点検を受けてください。

●後方車幅延長線は、実際の車幅より広く表示されます。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

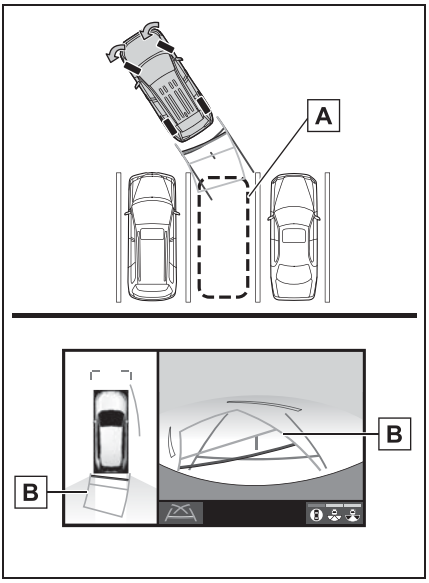
駐車する

予想進路線表示モード

以下の手順と逆方向の駐車スペースに駐車するときは、ハンドル操作がすべて左右逆になります。

1 シフトレバーを R にする。

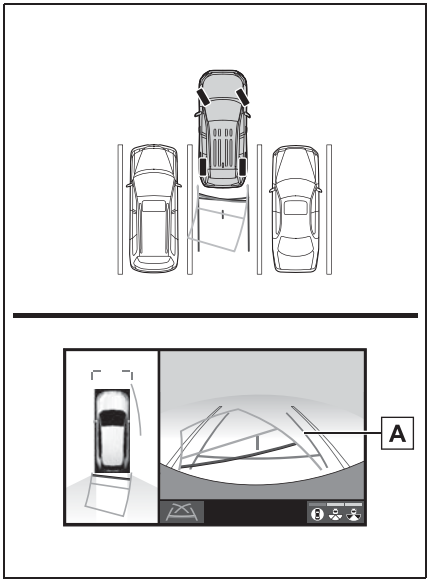
2 予想進路線が駐車スペースの中に入るようにハンドルを操作して、ゆっくり後退する。



A 駐車スペース

B 予想進路線

3 車の後部が駐車スペースの中に入ったら、車幅延長線が駐車スペース左右の区画線の間に入るようにハンドルを操作する。



A 車幅延長線

4 車幅延長線と駐車スペースの区画線が平行になったら、ハンドルをまっすぐにして、車が駐車スペースにすべて入るまで、ゆっくり後退する。

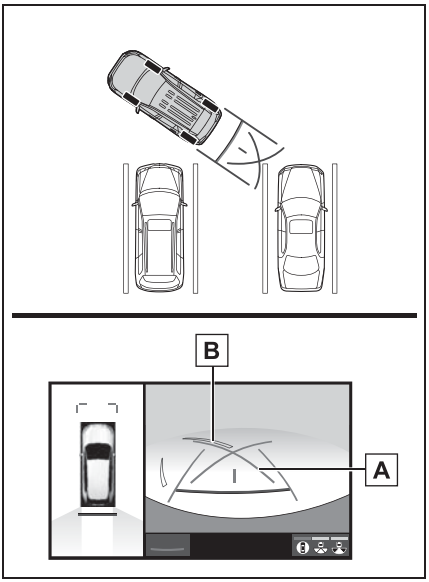
5 適切な位置で停車し、駐車を終える。

駐車ガイド線表示モード

以下の手順と逆方向の駐車スペースに駐車するときは、ハンドル操作がすべて左右逆になります。

1 シフトレバーを R にする。

2 駐車ガイド線が駐車スペースの右端の区画線に合うまで後退したら止まる。



A 駐車ガイド線

B 駐車場の区画線

3 ハンドルを左いっぱいにまわして、ゆっくり後退する。

4 車が駐車スペースと平行になったら、ハンドルをまっすぐにして、車が駐車スペースにすべて入るまで、ゆっくり後退する。

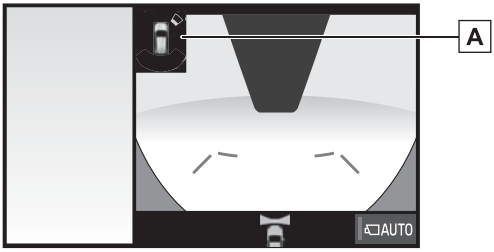
5 適切な位置で停車し、駐車を終える。

ドアミラー格納時の表示について

ドアミラーを格納した場合、パノラミックビューの代わりにサイドカメラからの映像が表示されます。狭い場所での幅寄せ駐車の際などに、車両周辺の安全確認を補助します。

画面の見方について

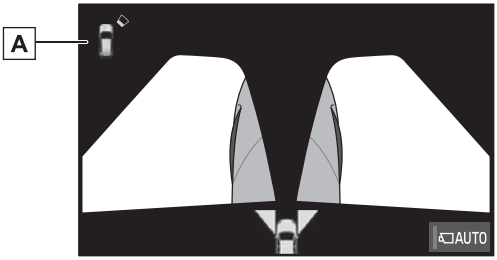
▶ ワイドフロントビュー＆サイドビュー



A クリアランスソナー

クリアランスソナーが ON のとき、クリアランスソナーが障害物を感知すると、画面にインジケーターが表示される。（クリアランスソナーについては、別冊「取扱書」をご覧ください。）

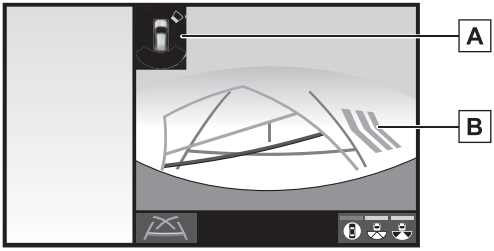
▶ 両サイドビュー



A クリアランスソナー

クリアランスソナーが ON のとき、クリアランスソナーが障害物を感知すると、画面にインジケーターが表示される。（クリアランスソナーについては、別冊「取扱書」をご覧ください。）

▶ バックビュー＆サイドビュー



A クリアランスソナー

クリアランスソナーが ON のとき、クリアランスソナーが障害物を感知すると、画面にインジケーターが表示される。（クリアランスソナーについては、別冊「取扱書」をご覧ください。）

B RCTA（リヤクロストラフィックアラート）

後側方からの接近車両や障害物を後側方レーダーで検知すると、画面にインジケーターが表示される。（RCTA（リヤクロストラフィックアラート）については、別冊「取扱書」をご覧ください。）

知識

- シフトレバーが R のときは、サイドビュー＆ ワイドフロントビューを使用できません。
- ワイドフロントビュー、バックビュー、ワイドバックビューについては、それぞれ「パノラミックビュー＆ワイドフロントビューについて」（→P.148）、「パノラミックビュー＆バックビュー／ワイドバックビュー／バックビューについて」（→P.154）をご覧ください。

警告

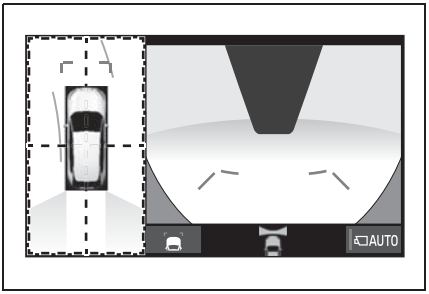
- 乗車人数・積載量・路面の勾配などにより、画面のガイド線の示す位置はかわります。必ず周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- クリアランスソナー、RCTA（リヤクロストラフィックアラート）の表示は、カメラ映像に重畳して表示しているため、周囲の明るさや色などによっては見えにくい場合があります。

拡大機能について（パノラミックビュー）

パノラミックビューを表示させているとき、画面に映っているものが小さく見えにくい場合に、パノラミックビューの車両コーナー付近の 4 カ所のいずれかを拡大して表示させることができます。

画面を拡大表示させる

1 パノラミックビューを表示させているときに、パノラミックビューの拡大させたいエリアを選択。



● 選択したエリアが拡大表示されます。

● 拡大表示を解除するには、再度画面を選択します。

知識

●以下の条件をすべて満たすと拡大機能を使用することができます。
・車速が 12km/h 以下
・クリアランスソナーが ON になっている

●以下のいずれかの条件を満たすと拡大表示が自動的に解除されます。
・車速が 12km/h 以上になった
・クリアランスソナーを OFF にした

●シフトレバーが R のときの パノラミックビュー＆フロントビューでは、拡大機能を使用できません。

●パノラミックビューの拡大表示は、通常のパノラミックビューとは違い、ガイド線を表示しません。

●クリアランスソナーの割込表示は障害物の接近をお知らせする機能であり、画面に障害物感知方向の映像が映ることはありません。

パノラミックビューモニターの注意点について

運転時の注意

運転操作時は、必ず後方や周囲の安全を直接確認してください。お守りいただかないと、車をぶつけるなど、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。パノラミックビューモニターを使用するときは以下のことをお守りください。

警告

- パノラミックビューモニターを過信しないでください。一般の車と同様、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら慎重に運転してください。特に周辺に駐車している車や障害物などに接触しないようにしてください。
- 運転操作時は、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- 画面だけを見ながら運転操作することは絶対にしないでください。画面に映し出されている映像と実際の状況は異なることがあります。また、カメラの映し出す範囲は限られていますので、画面だけを見て右左折、後退することは絶対にしないでください。車をぶつけたり、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。必ず目視やインナーミラー、ドアミラーなどで周囲の安全を確認し、十分注意したうえで運転してください。
- 乗車人数・積載量・路面の勾配などにより、画面のガイド線の示す位置はかわります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- 以下のような状況では、使用しないでください。
  - ・凍結したり、すべりやすい路面、または雪道
  - ・タイヤチェーン、応急用タイヤを使用しているとき
  - ・ドア・バックドアが完全に閉まっていないとき
  - ・坂道など平坦でない道路
  - ・タイヤをメーカー指定のものから交換しているとき
  - ・サスペンションを改造しているとき
  - ・画面に映るエリアにトヨタ純正品以外の装備品を装着しているとき
- 外気温が低い場合、画面が暗くなったり、映像が薄れることがあります。特に動いているものの映像が歪む、または画面から見えなくなることがあるため、必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。
- タイヤを交換すると、画面に表示されるガイド線の示す位置に誤差が生じることがあります。

注意

- シースルービュー、ムービングビュー、パノラミックビューは、フロントカメラとバックカメラ、左右サイドカメラが撮影した映像を合成処理した映像です。表示可能な範囲や表示内容には限界があるため、パノラミックビューモニターの特性を十分理解したうえで使用してください。

注意

●シースルービュー、ムービングビュー、パノラミックビューの四隅には、それぞれのカメラ映像境界位置を中心に映像合成処理領域が存在し、映像の鮮明度が低下することがありますが、故障ではありません。

●それぞれのカメラ付近の照度条件により、シースルービュー、ムービングビュー、パノラミックビューに明暗ができる場合があります。

●シースルービュー、ムービングビュー、パノラミックビューでは、それぞれのカメラの取り付け位置や撮像範囲より上部は表示されません。

●車両付近には死角があり、パノラミックビューモニターには表示されない領域があります。

●ワイドフロントビュー または バックビュー、ワイドバックビュー、両サイドビュー、サイドビューに表示されている立体物が、シースルービュー、ムービングビュー、パノラミックビューでは表示されない場合があります。

●パノラミックビューモニターは、人物や障害物などの立体物が実際と異なって表示される場合があります。（倒れているように表示される場合や、映像合成処理領域付近で消えてしまう場合、映像合成処理領域付近から現れるように表示される場合、表示位置の距離感が実際と異なるなど）

●パノラミックビューモニターは、以下のとき正しく表示されません。また、クリアランスソナー、ガイド線などは、以下のとき正しく表示されないことがあります。

・バックカメラが取り付けられたバックドアが開いている

・サイドカメラを内蔵したドアミラーが閉じている

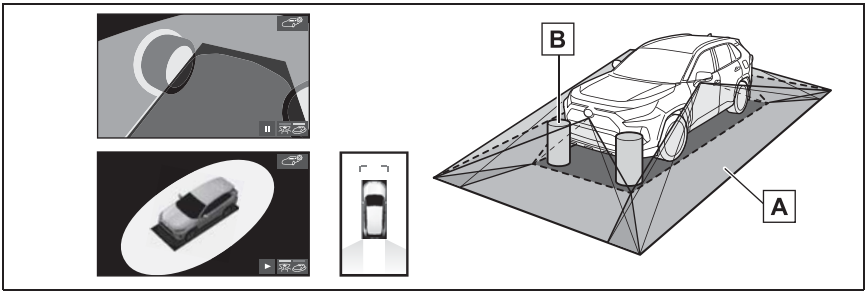
・ドアミラーが取り付けられたフロントドアが開いている

●シースルービュー、ムービングビュー、パノラミックビューに表示される車両アイコンは、コンピューターグラフィックによる画像を表示しているため、実際の車両とは色や形状、大きさなどが異なります。このため、車両付近の立体物が車両と接触しているように見える場合や、立体物との位置関係が実際の位置関係と異なる場合があります。

画面に映る範囲について

シースルービュー、ムービングビュー、パノラミックビュー（拡大表示を含む）について

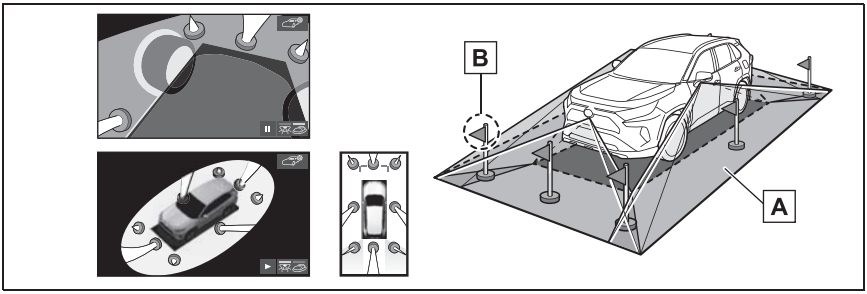
車両付近には死角があり、表示されない領域があります。画面では車両の周辺に何も表示されていなくても、実際には障害物が進路上にあるため、接触することがあります。必ず周囲の安全を直接確認してください。



A 画面に映るエリア

B 画面に映らない障害物

黒色部分内にある障害物は画面に表示されません。



A 画面に映るエリア

B 画面に映らない障害物

路面より高い部分は画面に表示されません。

知識

- 車両アイコンまわりの黒色部分はカメラに映らない部分です。直接確認してください。
- シースルービュー、ムービングビュー、パノラミックビュー（拡大表示を含む）は、4 つのカメラから得られた画像を平な路面を基準に加工して表示しているため、以下

のように表示されることがあります。
・立体物が倒れて細長く、もしくは大きく見える。
・路面より高い位置にある立体物が実際より遠くに見える、もしくは見えない。
・高さのある物が合成のつぎ目から現れてくるように見える場合がある。

●照度条件により、カメラごとの映像の明るさにばらつきが出る場合があります。

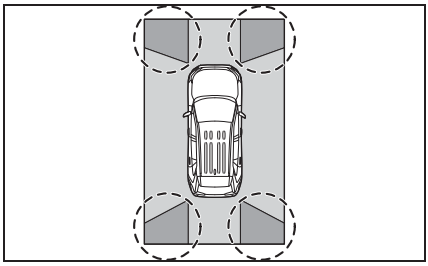
●乗員人数、積載状況、ガソリン残量による車体の傾きや車高の変化などにより、表示映像がずれる場合があります。

●ドアが完全に閉まっていないと、表示映像・ガイド線が正しく表示されない場合があります。

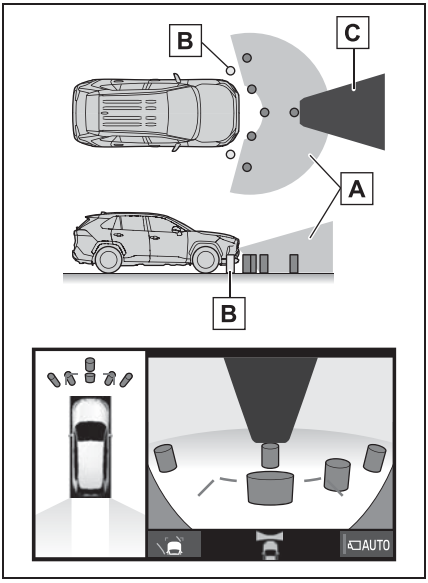
●シースルービュー、ムービングビュー、パノラミックビュー（拡大表示を含む）に表示されている車両アイコンと、路面・障害物との位置関係は実際の位置とは異なる場合があります。

●字光式ナンバープレートを装着していると、画面上に映り込むことがあります。

●下図の○部分は画像を合成しているため、映像が見えにくい場合があります。



ワイドフロントビューについて



A 画面に映るエリア

B 画面に映らない障害物

バンパーの両端付近は画面に映りません。

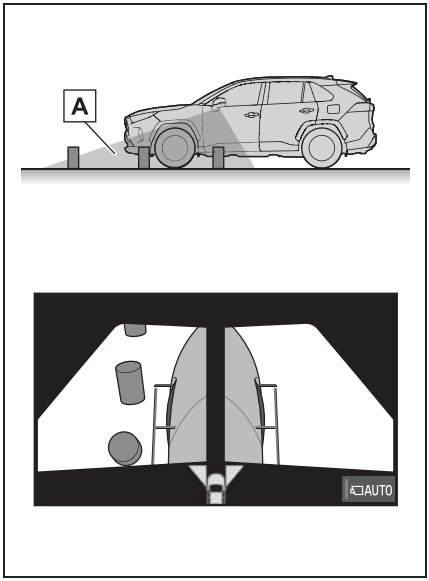
C マスキング

知識

- 車両前方は距離感が異なるため、マスキングをしています。
- カメラの映し出される範囲には限度があり、バンパーの両端付近やバンパーの真下付近にある物は映し出されません。
- 画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。
- ワイドフロントビューのカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離感は実際の距離とは異なります。

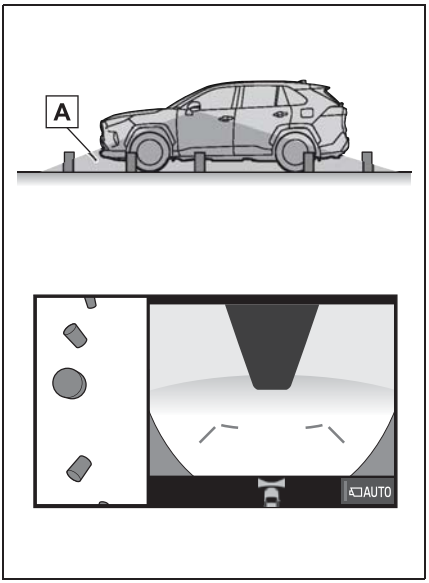
両サイドビュー・サイドビューについて

▶ 両サイドビュー



A 画面に映るエリア

▶ サイドビュー（ドアミラー格納時）



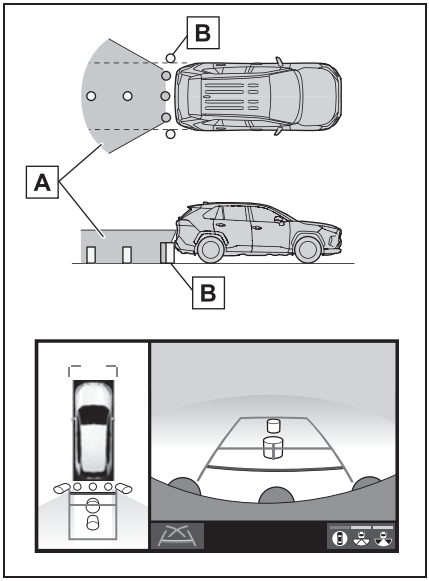
A 画面に映るエリア

知識

- 車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
- カメラの映し出される範囲には限度があり、バンパーの両端付近やバンパーの真下付近にある物は映し出されません。
- 画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。
- 両サイドビュー・サイドビューのカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離感は実際の距離とは異なります。

バックビュー・ワイドバックビューについて

▶ バックビュー

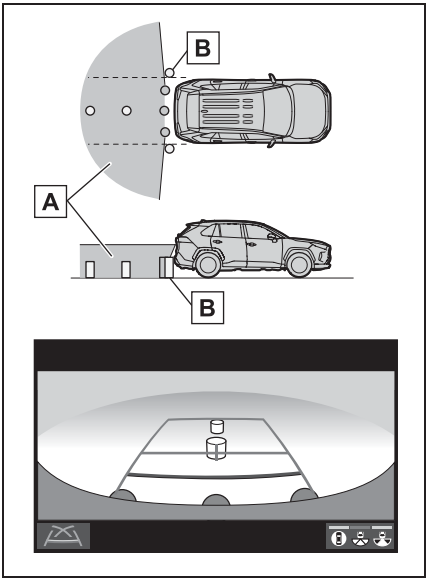


A 画面に映るエリア

B 画面に映らない障害物

バンパーの両端付近は画面に映りません。

▶ ワイドバックビュー



A 画面に映るエリア

B 画面に映らない障害物

バンパーの両端付近は画面に映りません。

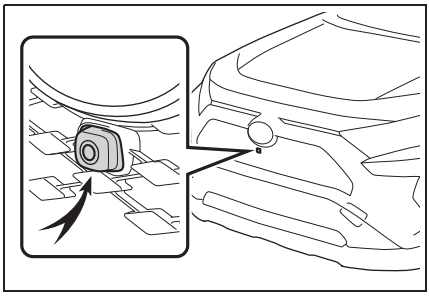
知識

- 車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
- カメラの映し出される範囲には限度があり、バンパーの両端付近やバンパーの真下付近にある物は映し出されません。
- 画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。
- バックビュー・ワイドバックビューのカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離感は実際の距離とは異なります。
- バックカメラより高い位置にあるものについては、モニターに映らないことがあります。
- 字光式ナンバープレートを装着していると、画面上に映り込むことがあります。

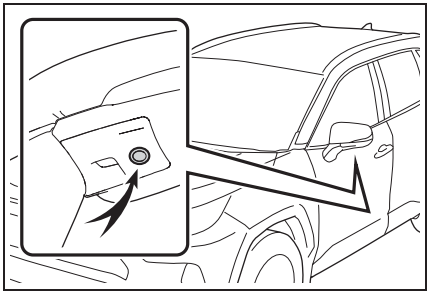
カメラについて

パノラミックビューモニターの各カメラは図の位置にあります。

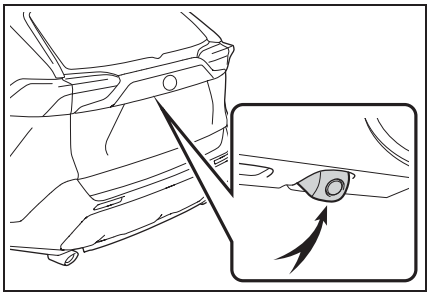
▶ フロントカメラ



▶ サイドカメラ



▶ バックカメラ



カメラのお手入れについて

カメラに水滴、雪、泥などの異物

や汚れが付着していると、鮮明な画像を見ることができません。この場合、大量の水でカメラの汚れを流し、水で湿らせた柔らかい布でカメラレンズをふき取ってください。

注意

●パノラミックビューモニターが正常に作動しなくなるおそれがありますので、以下のことにご注意ください。

・カメラ部を強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃を与えないでください。カメラの位置、取り付け角度がずれるおそれがあります。

・カメラ部は防水構造となっていますので、取りはずし・分解・改造をしないでください。

・カメラレンズを洗うときは、大量の水でカメラの汚れを流した後、水で湿らせた柔らかい布でカメラレンズをふき取ってください。カメラレンズを強くこするとカメラレンズが傷ついて、鮮明な画像を見ることができなくなるおそれがあります。

・カメラのカバーは樹脂ですので、有機溶剤・ボディワックス・油膜取り剤・ガラスコート剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐにふき取ってください。

・寒いときにお湯をかけるなどして急激な温度変化を与えないでください。

・洗車時に高圧洗浄機でカメラやカメラ周辺に直接水を当てないでください。強い水圧により衝撃が加わり、装置が正常に作動しなくなるおそれがあります。

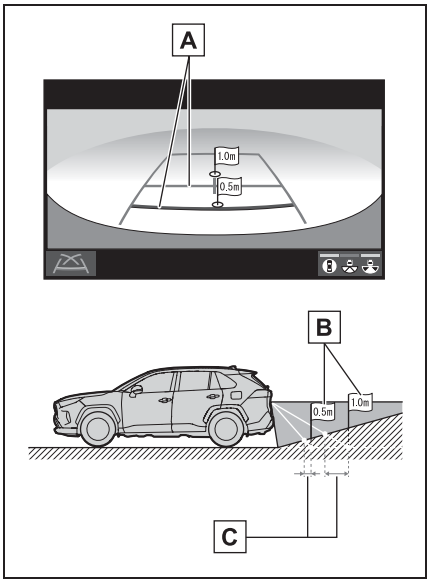
●カメラ部をぶつけたときは、カメラの故障などのおそれがあります。早めにトヨタ販売店で点検を受けてください。

画面と実際の路面との誤差について

パノラミックビューモニターの合成映像・ガイド線は、平らな路面に対しての距離の目安を示しています。そのため、以下の状態のときは、画面のガイドと実際の路面上の距離・進路に誤差が生じます。

急な上り坂が後方にあるとき

実際の距離より手前に距離目安線が表示されます。そのため、上り坂にある障害物は実際より遠くに見えます。同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。



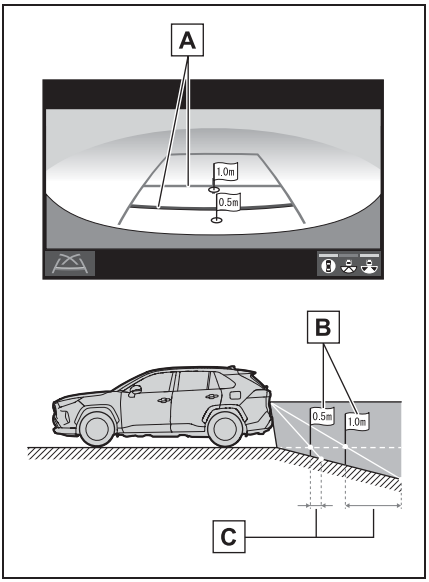
A 距離目安線

B 実際の距離

C 誤差

急な下り坂が後方にあるとき

実際の距離よりうしろに距離目安線が表示されます。そのため、下り坂にある障害物は、実際より近くに見えます。同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。



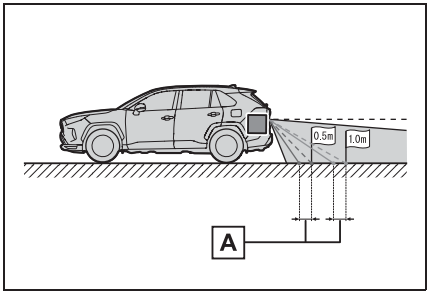
A 距離目安線

B 実際の距離

C 誤差

車が傾いているとき

乗車人数、積載量などにより車が傾いているときは、実際の距離、進路と誤差が生じます。



A 誤差

画面と実際の立体物との誤差について

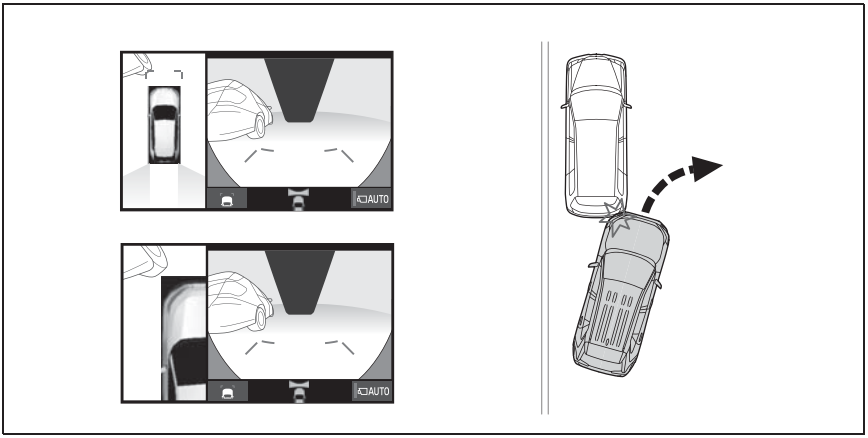
画面に表示されるガイド線は路面に対して表示されているため、立体物の位置を判断することができません。張り出しのある立体物（トラックの荷台のような障害物）が近くにあるときは、以下のことにご注意ください。

警告

- クリアランスソナーの表示が赤色のときは、必ず直接確認して、それ以上進まないでください。車をぶつけるなど、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。

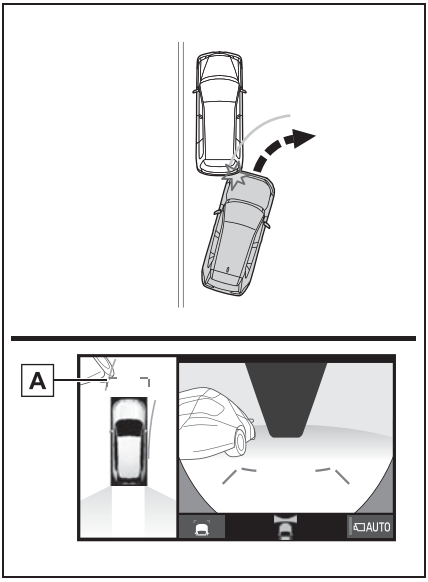
パノラミックビュー（拡大表示を含む）の表示について

画面では車両のバンパーとの間に余裕があり、ぶつからないように見えても、実際には車両が進路上にあるためぶつかることがあります。周囲の安全を直接確認してください。



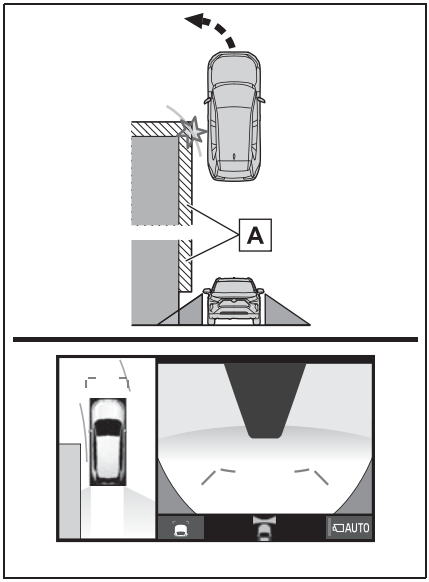
予想進路線について

● 画面では車両のバンパーが予想進路線の外側にあり、ぶつからないように見えても、実際には車両が進路上にあるためぶつかることがあります。周囲の安全を直接確認してください。



A 予想進路線

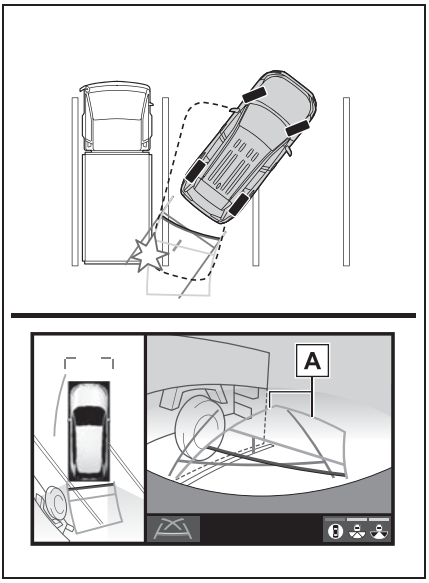
● 高い位置にある立体物（張り出しのある壁やトラックの荷台など）は、画面に映らない場合があります。周囲の安全を直接確認してください。



A 壁の張り出し部分

● 画面では、トラックの荷台が予想進路線の外側にあり、ぶつからないように見えても、実際は

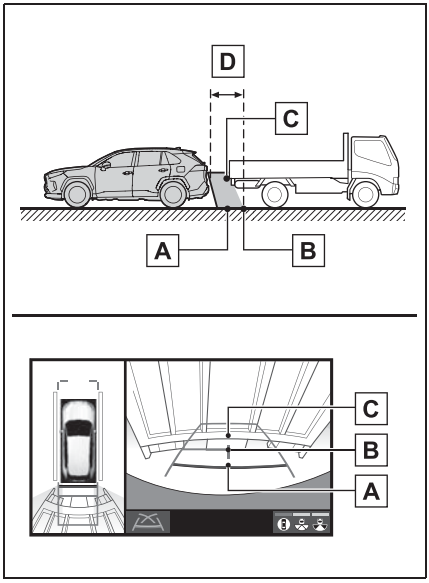
荷台が進路上に張り出しているためぶつかることがあります。周囲の安全を直接確認してください。



A 予想進路線

距離目安線について

画面では、距離目安線によりB の位置にトラックが駐車してあるように見えますが、実際にはA の位置まで後退すると、ぶつかります。画面ではA 、B 、C の順に近く見えますが、実際の距離はA とC は同じ距離で、B はA とC より遠い距離にあります。後方や周囲の安全を直接確認してください。



D 約 1.0m

知っておいていただきたいこと

故障とお考えになる前に

下記のような症状で気になったりお困りになった時は、考えられる原因と処置を参考に、もう一度確認してください。

処置をしても直らないときは、トヨタ販売店で点検を受けてください。

症状	考えられる原因	処置
画面が見にくい	●夜間など暗いところで使用。 ●レンズ付近の温度が高い、または低い。 ●外気温が低いとき。 ●カメラに水滴がついた。 ●雨天時など湿度が高い。 ●カメラ付近に異物（泥など）がついた。 ●太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズに当たった。 ●蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯などの照明下で使用した。	車両周囲の状況を直接確認しながら、運転してください。 カメラおよびその周辺環境が改善されてから、再びパノラミックビューモニターをご使用ください。 パノラミックビューモニターの画質調整の方法は、地図画面の調整と同じです。（→P.34）
画面が不鮮明	カメラのレンズに水滴、雪、泥など異物や汚れが付着している。	大量の水でカメラの汚れを流した後、水で湿らせた柔らかい布でカメラレンズをふき取ってください。
画面がずれている	カメラ部に強い衝撃が与えられた。	トヨタ販売店で点検を受けてください。
ガイド線が大きくずれる	カメラの位置がずれている。	トヨタ販売店で点検を受けてください。
	●車が傾いているとき（重い荷物の積載やパンクしてタイヤ空気圧が低いときなど）。 ●傾斜地で使用するとき。	車両周囲の状況を直接確認しながら、運転してください。

症状	考えられる原因	処置
ハンドルが直進状態であるにも関わらず予想進路線がまがっている（車幅延長線と予想進路線がずれる）	ステアリングセンサーの信号に異常が発生した。	トヨタ販売店で点検を受けてください。
ガイド線が表示されない	バックドアが開いている。	バックドアを閉める。 直らない場合は、トヨタ販売店で点検を受けてください。
画面にと表示された	●12V バッテリーの脱着中にハンドル操作を行った。 ●12V バッテリー能力が低下した。 ●12V バッテリーを脱着した。 ●ステアリングセンサーを脱着した。 ●ステアリングセンサーの信号に異常が発生した。	車を止め、ハンドルを左右いっぱいにまわしてください。 直らない場合は、トヨタ販売店で点検を受けてください。
パノラミックビューが拡大できない シースルービュー／ムービングビューが表示されない	クリアランスソナーに異常（汚れ・故障など）が発生した。	クリアランスソナー異常時の対処方法にしたがってください。（クリアランスソナーについては、別冊「取扱書」をご覧ください。）

ライセンスについて

This product contains eT-Kernel Multi-Core Edition™ real-time OS of eSOL Co.,Ltd.
Copyright (c) 2020 eSOL Co.,Ltd.
eT-Kernel Multi-Core Edition™ is a trademark of eSOL Co.,Ltd in Japan.

T-Kernel
This Product uses the Source Code of T-Kernel under T-License granted by the Tron Forum (www.tron.org/ja/).

ハンズフリー

5

5-1. お使いになる前に

ハンズフリーについて..... 180

ハンズフリーの準備をする..... 183

5-2. ハンズフリーの基本操作

ステアリングスイッチで操作する 185

電話をかける 185

電話を受ける 188

5-3. ハンズフリーの便利な使い方

色々な方法で電話をかける..... 190

通話中の操作 191

5-4. ハンズフリーの設定を変更する

電話の設定・編集をする..... 195

5-5. こんなときは

知っておいていただきたいこと202

ハンズフリーについて

動作確認済の Bluetooth 携帯電話※（以下「携帯電話」）を本機に接続することで、携帯電話を直接操作することなく、「電話をかける」「電話を受ける」という電話機能を使用できます。これをハンズフリー機能と呼びます。

本機に接続する携帯電話は、本機の仕様に対応した携帯電話を使用してください。（→P.42）ただし、携帯電話の機種により、一部機能が制限される場合があります。

Apple CarPlay 接続中のときは、本機のハンズフリー機能は、Apple CarPlay のハンズフリー機能になります。

※ 本機で携帯電話を利用する際には、必ず動作確認済携帯電話をトヨタ販売店または T-Connect の Web サイト（https://toyota.jp/tconnectservice/ の「ご利用になるには」の「サービスのご利用方法」）でご確認ください。なお、動作確認は、一定の条件下で確認したものです。そのため、携帯電話の仕様変更などにより、動作確認済機種でも、確認内容が変更になることがあります。

知識

- 本機に対して、すべての Bluetooth 機器において動作を保証しているわけではありません。

警告

- 携帯電話をハンズフリーで使用する場合、安全のため、運転者は運転中に携帯電話本体の操作をしないでください。
- 安全な場所に停車して電話をかけてください。運転中に電話がかかってきたときは、安全運転に留意し、通話は手短にしてください。

注意

- 携帯電話は車室内に放置しないでください。
  炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。

Bluetooth 携帯電話について

Bluetooth 携帯電話は、本機と携帯電話との間の通信を無線（Bluetooth）を使用して行う携帯電話です。

例えば、ポケットなどに携帯電話を入れたままでも、そのままの状態でハンズフリーがご利用いただけます。

知識

- Bluetooth 携帯電話と他の無線機器を同時に使用すると、それぞれの通信に悪影響をおよぼすことがあります。
- 同じ 2.4GHz 帯の無線通信を行う Wi-Fi®、Miracast® と Bluetooth 携帯電話を本機で同時に使用すると、それぞれの通信に悪影響を及ぼすことがあります。この場合は、本機の Wi-Fi® 機能を利用しない設定にすると快適にご利用できます。
- Bluetooth 携帯電話は、Bluetooth 接

続により、携帯電話の電池が早く消耗します。

●Bluetooth 携帯電話の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
（上記 3 種の無線局を以下「他の無線局」と略します）
Bluetooth 携帯電話を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
万一、Bluetooth 携帯電話から「他の無線局」に対して有害な電波干渉事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更して電波干渉を回避してください。

●Bluetooth 携帯電話の使用周波数帯は 2.4GHz 帯です。
変調方式として FH-SS 変調方式を採用しています。
想定与干渉距離は 10m 以下です。
Bluetooth 携帯電話は全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。

Bluetooth オーディオと同時に使用するとき

● Bluetooth オーディオとハンズフリーで異なる Bluetooth 機器（携帯電話）を同時に使用すると、以下のような場合があります。

・携帯電話の Bluetooth 接続が切断される。
・ハンズフリーの音声にノイズが発生する。
・ハンズフリーの動作が遅くなる。

● Bluetooth オーディオを再生中にハンズフリーで使用する携帯電話の選択を変更した場合、再生音声が途切れることがあります。

● 電話帳データ転送中は、ポータブル機の接続が切断されることがありますが、転送が終了すると再接続されます。（機種によっては、再接続できないことがあります。）

● ハンズフリー接続とオーディオ接続の両方に対応している携帯電話でも、ハンズフリー接続とオーディオ接続を同時にできない場合があります。

● 本機で携帯電話を利用する際には、必ず動作確認済携帯電話をトヨタ販売店または T-Connect の Web サイト（https://toyota.jp/tconnectservice/ の「ご利用になるには」の「サービスのご利用方法」）でご確認ください。

ハンズフリーが使用できないとき

● 次の場合は、ハンズフリーを使用することができません。

・通話エリア外のとき
・回線が混雑しているなど、発信規制中のとき
・緊急通報中のとき
・携帯電話から電話帳データを転送中のとき
・携帯電話がダイヤルロックされているとき
・データ通信中など、携帯電話が使用中のとき

・携帯電話が故障しているとき
・携帯電話が本機に接続されていないとき
・携帯電話のバッテリー残量が不足しているとき
・携帯電話の電源が OFF のとき
・携帯電話の設定が、ハンズフリーモードでないとき
・本機側でデータ通信や電話帳転送からハンズフリー通話に切り替えているとき
（切り替え中は本機の Bluetooth 接続状態表示が表示されません。）
・その他、携帯電話自体が使えないとき

知識

●三者通話を契約しているときは、携帯電話本体で三者通話を解除してからお使いください。

緊急通報（ヘルプネット）を利用中のとき

緊急通報（ヘルプネット）をご利用の場合は、次のような制限があります。

● 緊急通報（ヘルプネット）動作中はハンズフリーを使用できません。また、緊急通報（ヘルプネット）動作中は電話を切る操作による回線切断ができません。ただし、呼び返し待機中は、ハンズフリーで発信できます。
呼び返し待機中、ハンズフリー通話中は、救援機関からの着信は受けることができません。

● 着信中、応答保留中または通話中画面表示中に緊急通報（ヘルプネット）が起動すると、ハンズフリーは強制終了されます。

お車を手放すとき

ハンズフリーを使用すると、多数の個人情報が登録されます。

お車を手放すときには、個人情報の初期化を行ってください。
（→P.63）

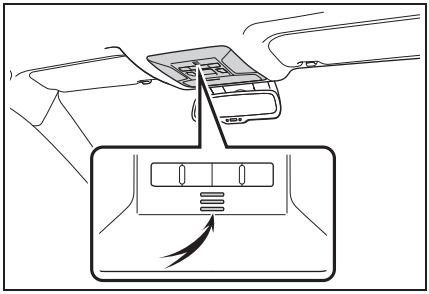
なお、個人情報の初期化を行うと、登録した情報や変更した設定が初期設定の状態になります。

間違えて初期化してしまわないよう、ご注意ください。

● ハンズフリーでは、次の情報が初期化されます。
・電話帳データ
・画像データ
・発信または着信の履歴データ
・ワンタッチダイヤル
・Bluetooth 電話機の登録情報
・ハンズフリー関連の設定・編集項目

通話について

通話には、マイクを使用します。



● 着信通知や通話時などの音声出力は、前席両側のスピーカーから出力されます。

● ハンズフリーで音声や呼び出し音などが出力されると、オー

ディオ音声などはミュート（消音）されます。

知識

- 通話時は通話相手と交互にお話しください。通話相手と同時に話した場合、こちらの音声が相手に、相手の音声がこちらに聞こえにくくなることがあります。
- 受話音量はできるだけ小さく調整してください。音量が大きいと、通話相手の音声が車外にもれたり、通話相手側にエコーが聞こえることがあります。
- 音声は大きくはっきりとお話しください。
- 次のような場合は、通話相手側にこちらの音声が聞こえにくくなることがあります。
  - ・悪路走行時
  - ・高速走行時
  - ・窓を開けているとき
  - ・エアコンの吹き出し口をマイクの方に向けたとき
  - ・エアコン送風の音が大きいとき
  - ・携帯電話をマイクに近づけたとき
- 使用する携帯電話やネットワークの影響により、音質が悪化（ノイズ、エコーなど）することがあります。
- 本器で Wi-Fi® 機能を利用する設定にしていると、ハンズフリーの音声にノイズが発生することがあります。

注意

- マイクに触れたり、先の尖った物を入れないでください。故障の原因となります。

ハンズフリーの準備をする

携帯電話を登録する

ハンズフリーを使用するには、携帯電話を本機に登録する必要があります。（→P.36）

携帯電話を接続する

Bluetooth 携帯電話の本機への接続は、自動と手動の 2 通りの方法があります。

知識

- 携帯電話側の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書をご覧ください。
- 携帯電話接続時の動作が不安定な場合は、一度通話を切り、再度接続してください。
- 携帯電話は本機に最大5台まで登録することができますが、本機で使用できるのは電話機として接続された携帯電話のみです。（→P.39）

自動で接続する

“ACC ON 時の自動接続”（→P.41）を「する」に設定すると、自動で Bluetooth 接続できます。

エンジンスイッチ＜パワースイッチ＞を OFF から ON にするたびに、本機は過去の接続履歴順に Bluetooth 接続します。

- “電話機の接続確認表示”（→P.42）で「する」を選択しているときは、電話機が Bluetooth 接続されると、接続完了の表示が画面上部に表示さ

れます。
携帯電話をハンズフリーで使用するときは、表示をご確認ください。

● 接続できなかった場合は、手動で接続操作を行ってください。（→P.184）

知識

● 接続完了の表示は、エンジンスイッチ＜パワースイッチ＞を OFF から ON にした後、携帯電話と Bluetooth 接続が完了したときに表示されます。
（緊急通報（ヘルプネット）動作後に再接続した場合は表示されません。）

● 携帯電話の機種によってはエンジンスイッチ＜パワースイッチ＞が ON のときに表示部の照明がついたままになることがあります。この場合、携帯電話本体で照明を OFF に設定してください。
（設定については、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。）

● PBAP に対応している携帯電話を接続すると、電話帳、発着信履歴は自動で同期されます。

手動で接続する

携帯電話の自動接続が失敗したときや “ACC ON 時の自動接続” を「しない」に設定しているときは、手動で Bluetooth 接続操作をしてください。（→P.39）

知識

● 携帯電話の状態によっては、一度で接続できない場合があります。その場合、しばらくしてから再度接続操作を行ってください。

Bluetooth 接続の再接続について

エンジンスイッチ＜パワースイッチ＞が ON のときに Bluetooth 接続が切断された場合は、自動接続の設定に関わらず、再接続処理を自動的に行います。

知識

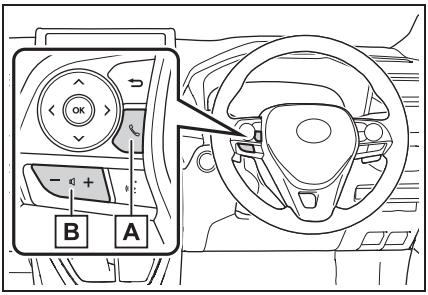
● 再接続できなかった場合は、手動で接続操作を行ってください。（→P.39）

● 前回のエンジンスイッチ＜パワースイッチ＞が ON のときに接続していた携帯電話に、優先的に接続します。

ステアリングスイッチで操作する

各部のはたらき

ハンズフリーの主な操作は、ステアリングスイッチで操作することができます。



A スイッチ

▶ 着信時または応答保留時

電話を受けることができます。

▶ が画面に表示されているとき

電話をかけることができます。

▶ 発信中または通話中

発信の中断、または電話を切ることができます。
音声操作で電話をかけている場合、操作が中止されます。

▶ Apple CarPlay 接続中

Apple CarPlay の電話画面が表示されます。（→P.55）

B 音量調整スイッチ

＋：受話音量・着信音量が大きくなります。
－：受話音量・着信音量が小さくなります。

電話をかける

電話画面から色々な方法で電話をかけることができます。

電話画面を表示する

1 “PHONE” スイッチを押す。

● 携帯電話が登録されていないときはメッセージが表示されます。“はい” を選択すると、携帯電話の登録（→P.36）を開始します。

A 発信／着信履歴を表示します。（→P.186）

B 本機に登録してあるワンタッチダイヤルを表示します。（→P.187）

C 電話帳を表示します。（→P.187）

D 電話番号の入力画面を表示します。（→P.187）

E 携帯電話が 2 台以上登録されている場合に、使用する携帯電話を選択します。

・登録されている携帯電話が 5 台未満の場合は、携帯電話を追加登録することができます。（→P.41）

F 電話の設定・編集画面を表示します。（→P.195）

知識

●その他、次の方法で電話をかけることもできます。
・音声認識で電話をかける（→P.190）
・ナビに登録しているデータから電話をかける（→P.190）

●携帯電話の機種によっては、次のようなことがあります。
・発信中画面が表示されず、相手が電話に出る前に通話中画面が表示されることがあります。
・通信事業者のサービスにより発信中画面で 10 キー入力する必要がある場合、10 キー入力をしてもトーン信号を送れないことがあります。10 キー入力については、「10 キー入力する」（→P.192）をご覧ください。

●Bluetooth オーディオ再生中に発信すると、発信中画面の表示および発信音の鳴る動作が遅れることがあります。

●携帯電話の機種により、発信操作後に携帯電話の操作が必要になる場合があります。

履歴から発信する

発信／着信履歴から電話をかけることができます。

新しい順に 30 件まで表示されます。

1 “PHONE” スイッチを押す。

2 “ 履歴 ” を選択。

3 希望の通話相手を選択。

● 本機の電話帳に登録されていない相手先を選択した場合、Unknown 画面が表示されます。画面に表示されている電話番号を選択し、発信できます。また、電話帳への登録および編集をすることができます。（→P.200）

知識

●履歴が 30 件を超えると、古い履歴から自動で削除されます。

●発信履歴は、状況によって次のように登録されます。
・本機の電話帳またはナビに登録されている電話番号に発信した場合、そのデータに名称情報・画像情報があると、名称・画像も登録されます。
・同一電話番号に発信した場合は、最新の発信履歴のみ登録されます。

●着信履歴は、状況によって次のように登録されます。
・本機の電話帳に登録してある電話番号から着信した場合、そのデータに名称情報・画像情報があると、名称・画像も登録されます。
・同一電話番号から着信した場合は、すべて登録されます。
・不在着信および着信拒否も登録されます。
・相手先電話番号の情報がない場合は、「非通知」と登録されます。

ワンタッチ発信する

よくかける電話番号をワンタッチダイヤルとして登録（→P.199）しておくと簡単な操作で電話をかけることができます。

ワンタッチ発信は走行中でも使用することができます。

1 “PHONE” スイッチを押す。

2 “ワンタッチダイヤル” を選択。

3 希望の通話相手を選択。

電話帳から発信する

電話番号を本機に登録（→P.196）しておくと、電話帳から電話をかけることができます。

1 “PHONE” スイッチを押す。

2 “電話帳” を選択。

● 電話帳データが登録されていないときはメッセージが表示されます。

・PBAP に対応していない携帯電話の場合、“編集” を選択すると、電話帳名称変更画面（→P.200）が表示されます。“転送” を選択すると、電話帳転送画面（→P.198）が表示されます。

・PBAP に対応している携帯電話の場合、“はい” を選択すると電話帳転送を行います。

3 希望の通話相手を選択。

● 接続されている携帯電話に対応した電話帳のみ表示されます。

● 画面右下の を選択すると、キーボード入力での名称検索ができます。

・ソフトウェアキーボードの使用方法は、「文字・数字の入力のしかた」（→P.29）をご覧ください。

4 希望の電話番号を選択。

● PBAP に対応している携帯電話で画像表示設定をしている場合、携帯電話から画像情報が表示されると、電話番号と共に画像が表示されます。

ダイヤル発信する

1 “PHONE” スイッチを押す。

2 “キーパッド” を選択。

3 電話番号を入力する。

4 ステアリングスイッチの スイッチを押す、または画面上の を選択。

知識

●電話画面を表示しているときに走行を開始すると、メッセージが表示され 10 キーが操作できなくなります。この場合、電話番号が入力済みであれば、発信することはできます。

電話を切る

1 次のいずれかの操作をする。

● ステアリングスイッチの スイッチを押す。

● 発信中または通話中画面で “ 終話 ” を選択。

● 携帯電話本体で電話を切る。

電話を受ける

着信があると着信音が鳴り、着信画面が表示されます。

着信画面は、着信割込み表示の設定（→P.195）により表示画面が異なります。

電話を受ける

1 次のいずれかの操作をして、電話を受ける。

● ステアリングスイッチの スイッチを押す。

● “ 応答 ” を選択。

知識

●周辺監視画面表示中は、着信画面は表示されません。着信音のみで着信を通知します。

●着信があると、ハンズフリー以外の音声をミュート（消音）します。ただし、ハンズフリーより優先される音声（ナビ案内※ など）は、ミュート（消音）されません。

●ハンズフリーを使用する場合は、次のようなことがあります。携帯電話の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書でご確認ください。

・ドライブモードなど、携帯電話の設定によっては、着信できないことがあります。

・着信音の設定で “ 電話機の着信音 ” 以外を設定している場合（→P.195）、携帯電話をマナー（バイブレータ）モードや着信音消去に設定していても、本機に登録されている着信音が出力されます。

・着信音については、携帯電話の機種に

よって、車両のスピーカーのみから聞こえる場合と、携帯電話と車両のスピーカーの両方から聞こえる場合があります。
・携帯電話の機種によっては、着信時に相手の電話番号が表示されないことがあります。
・携帯電話を直接操作して電話を受けたとき、または携帯電話を自動着信応答に設定したときは、ハンズフリーでの通話になるか、携帯電話本体での通話になるかは、携帯電話の機種によって異なります。
・携帯電話でデータ通信を行っている最中に着信があった場合、携帯電話の機種によっては、本機に着信中画面が表示されず、着信音も鳴らないことがあります。
・Bluetooth オーディオ再生中に着信があった場合、着信中画面の表示および着信音の鳴る動作が遅れることがあります。

●PBAP に対応している携帯電話で、電話帳の画像データが転送された場合、着信時の画像表示（→P.197）が「する」に設定されていると、電話番号と共に画像が表示されます。

※ エントリーナビキット装着車／ T-Connect ナビキット装着車

電話を保留する（応答保留）

1 着信中画面で “ 応答保留 ” を選択。

● 応答保留を解除して通話するときは “ 保留解除 ” を選択します。

● 応答保留中に電話を切るときは “ 拒否 ” を選択します。

知識

●携帯電話をハンズフリーで使用する場合は、次のようなことがあります。
・携帯電話の機種によっては、応答保留できないことがあります。
・携帯電話の機種によっては、本機側の操作で応答保留中になると、自動的に携帯電話本体での通話に切り替わることがあります。
・Bluetooth 接続中に、携帯電話本体で応答保留する、または応答保留を解除すると、携帯電話本体での通話に切り替わります。

着信を拒否する

携帯電話が着信拒否に対応しているときのみ使用することができます。

1 次のいずれかの操作をする。

● “ 拒否 ” を選択。

● 電話機を直接操作する。

・着信拒否すると、着信画面が解除されます。

色々な方法で電話をかける

ここでは、さまざまな電話のかけ方について説明します。

音声認識で発信する ※

※ エントリーナビキット装着車／T-Connect ナビキット装着車

音声操作システムを使って電話をかけることができます。音声認識発信のしかたについては、別冊「ナビゲーション取扱書」をご覧ください。

■ 音声認識発信を中止する

1 次のいずれかの操作をする。

● 「音声認識モードを中止する」※

● ステアリングスイッチの スイッチを押す。

※ 詳細は、別冊「ナビゲーション取扱書」をご覧ください。

知識

● 音声認識中に着信した場合やハンズフリー以外の画面に切り替えた場合は、認識動作を中止します。

● 音声認識発信は走行中でも使用できます。

● 音声操作で電話をかける場合、携帯電話の機種によっては、発信後電話画面に切り替わるまでに時間がかかることがあります。

● データ通信中に音声操作で電話をかけると、データ通信は強制終了されます。

ナビ画面から発信する ※

※ エントリーナビキット装着車／T-Connect ナビキット装着車

ナビ画面で または “電話をかける” が表示されているときは、ナビに登録されているデータの電話番号に電話をかけることができます。

1 または “電話をかける” を選択。

電話画面の “交通ナビ” の操作

電話画面で “交通ナビ” を選択すると、ナビの交通ナビ関連画面が表示され、電話をかけることができます。※

※ 詳細は、別冊「ナビゲーション取扱書」をご覧ください。

携帯電話本体から発信する

本機に Bluetooth 接続された携帯電話本体を直接操作して、発信することができます。

携帯電話本体から発信しても、Bluetooth 接続中であれば、電話画面を表示することができます。

1 “PHONE” スイッチを押す。

● “ハンズフリー通話” 以外のスイッチは、操作できません。

画面スイッチを使用したいときは、「通話を転送する」を参照してください。(→P.193)

知識

● 通話中の携帯電話が本機に接続された場合、相手先電話番号は発信履歴または着信履歴に登録されません。

● 携帯電話本体から発信した場合、ハンズフリーでの通話になるか、携帯電話本体での通話になるかは、携帯電話の機種によって異なります。携帯電話の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書でご確認ください。

警告

● 安全のため、運転者は運転中に携帯電話本体の操作をしないでください。

通話中の操作

通話中は通話中画面が表示され、次の操作をすることができます。

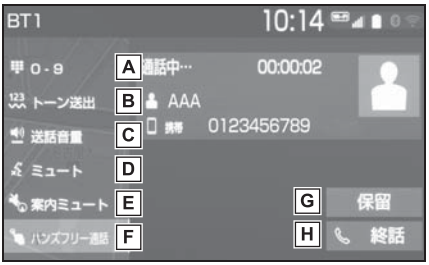
● 受話音量の調整
● 10 キーの入力
● トーン送出
● 送話音量の調整
● 送話音のミュート
● ナビ案内音声のミュート ※
● 通話の転送
● 割込通話

※ エントリーナビキット装着車／T-Connect ナビキット装着車

知識

● ハンズフリーを使用する場合は、次のようなことがあります。
携帯電話の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書でご確認ください。
・ 通話中の携帯電話が本機に接続されると、通話中画面が表示されます。この場合、そのままで通話が維持されるか、ハンズフリーでの通話になるかは、携帯電話の機種によって異なります。
・ ハンズフリーで通話中にエンジンスイッチ<パワースイッチ>を操作すると、携帯電話の機種によって、通話が切断される場合と、通話が携帯電話で継続される場合があります。
なお、通話が携帯電話で継続される場合は、携帯電話の操作が必要になることがあります。この場合、エンジンスイッチ<パワースイッチ>が ON であれば、通話を転送することでハンズフリーでの通話に切り替えられます。
(→P.193)

通話中画面について



A 10 キーを表示します。（→P.192）

B ウェイト信号を含む電話番号が電話帳に登録されているとき、トーン送出します。（→P.192）

C 送話音量を調整します。（→P.192）

D 送話音をミュート（消音）します。（→P.193）

E ナビ案内音声をミュート（消音）します。※（→P.193）

F 通話中にハンズフリー通話と携帯電話本体での通話を切り替えます。（→P.193）

G 通話保留、または割込通話の切り替えをします。（→P.193）

H 電話を切る、または割込通話を拒否します。（→P.188、194）

※ エントリーナビキット装着車／T-Connect ナビキット装着車

受話音量を調整する

1 次のいずれかの操作をする。

● ステアリングスイッチの音量調整スイッチを押す。

● オーディオコントロールスイッチの“POWER VOLUME”ノブをまわす。

10 キー入力する

通話中に 10 キー入力が必要な場合は、10 キーを表示させます。

1 “0-9”を選択。

2 10 キーを選択して番号を入力する。

● 画面上の“終話”を選択すると、電話が切れます。

知識

● 走行中は 10 キーの操作はできません。

トーン送出する

ウェイト（;）信号が含まれる番号に電話をかける場合に使用します。
例）117(;)56931

1 電話帳からウェイト信号を含む番号に電話をかける。

● 通話中画面になると“トーン送出”が表示されます。

2 “トーン送出”を選択すると、登録した番号のウェイト (;) 信号以降がダイヤルされる。

知識

● “トーン送出”は、国際電話や音声ガイダンスなどの自動応答サービスを利用する際に使用します。

送話音量を調整する

1 “送話音量”を選択。

2 調整する音量を選択。

知識

●送話音量の設定を変更すると、音質が悪くなることがあります。

送話音をミュート（消音）する

通話中の発話を相手に聞こえないようにすることができます。このとき相手の発話は聞くことはできます。

1 “ミュート”を選択。

● ミュート（消音）を解除するときは、再度“ミュート”を選択します。

ナビ案内音声をミュート（消音）する

通話中にナビ案内音声をミュート（消音）することができます。通話を終えるとミュート（消音）は解除されます。

1 “案内ミュート”を選択。

● ミュート（消音）を解除するときは、再度“案内ミュート”を選択します。

●「通話中の音声案内」を“しない”に設定している場合は、通話中の音声案内が常にミュート（消音）されます。（→P.195）

通話を転送する

ハンズフリーでの通話から携帯電話本体での通話、または携帯電話本体での通話からハンズフリーでの通話に切り替えることができます。

1 “ハンズフリー通話”を選択。

● 携帯電話本体での通話からハンズフリーでの通話に切り替えると、電話画面が表示され、ステアリングスイッチや画面のスイッチでの操作ができます。

知識

●走行中は、ハンズフリーでの通話から携帯電話本体での通話に切り替えることはできません。

●携帯電話の機種により、転送方法や動作が異なります。また、転送できない機種もあります。携帯電話の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書でご確認ください。

●応答保留中の携帯電話本体の通話をハンズフリー通話に切り替えると、携帯電話は応答保留中のままで本機には通話中画面が表示されます。この場合は、“保留解除”を選択すると、ハンズフリー通話を続けることができます。

割込通話を受ける／拒否する

通話中に第三者から着信が入った場合、割込通話で両者と通話することができます。

知識

●電話会社との割込通話の契約が必要です。

●携帯電話が HFP Ver 1.5 プロファイルに対応していない場合は、割込通話は利用できません。

■ 割込通話を受ける

通話中に第三者から着信が入ったとき、画面表示で割込み着信中であることを知らせます。

1 “応答” を選択またはステアリングスイッチの スイッチを押す。

● 着信相手との通話に切り替わり、通話していた相手は保留になります。

● “通話者切替” を選択するごとに通話相手が切り替わります。

■ **割込通話を拒否する**

1 “拒否” を選択。

知識

● 携帯電話の機種により、両者とも通話が切れる場合があります。携帯電話に添付の取扱説明書でご確認ください。

電話の設定・編集をする

設定・編集画面から電話の各種設定をすることができます。

電話設定・編集画面を表示する

1 “MENU” スイッチを押す。
2 “設定・編集” を選択。
3 “電話” を選択。
4 各項目を設定する。

A 使用する Bluetooth 機器の選択、登録済み携帯電話の詳細情報の確認、設定をします。(→P.39)

B ハンズフリー各音の音量調整・設定をします。(→P.195)

C 着信時の通知／表示設定を変更します。(→P.195)

- 着信割込み表示
- 電話帳／履歴転送確認表示
- ステアリングスイッチによる電話画面表示

D 電話帳／履歴の設定をします。(→P.196)

- 電話帳／履歴の転送
- 電話帳表示順の変更
- ワンタッチダイヤルの登録・削除
- 履歴データの削除
- 電話帳の登録・編集・削除

音の設定をする

1 電話設定・編集画面を表示する：

● “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “電話” を順に選択。

2 “音設定” を選択。
3 各項目を設定する。

A “着信音 1”、“着信音 2”、“着信音 3”、“電話機の着信音” のいずれかを選択すると、ハンズフリーの着信音が切り替わります。

B “＋”、“－” を選択し、着信音量を調整します。

C “＋”、“－” を選択し、受話音量を調整します。

D 通話中の音声案内のする／しないを選択します。※

E 初期設定の状態に戻ります。

※ エントリーナビキット装着車／ T-Connect ナビキット装着車

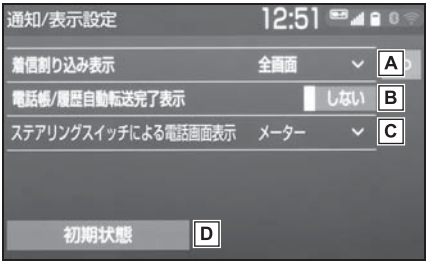
電話の通知／表示設定を変更する

1 電話設定・編集画面を表示する：

● “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “電話” を順に選択。

2 “通知／表示設定” を選択。

3 各項目を設定する。



A 電話がかかってきた場合の、画面の表示方法を設定します。

・“全画面”：着信画面が表示されます。

・“簡易”：着信画面が画面上部に表示されます。

B PBAP に対応している携帯電話と Bluetooth 接続後、電話帳データや履歴データの自動転送が完了したときに、完了表示を画面に表示する／しないを選択します。

C ステアリングスイッチの スイッチを押した際に、電話画面をディスプレイに表示するかメーターに表示するかを選択します。

・“ディスプレイ”：電話画面が本機のディスプレイに表示されます。

・“メーター”：電話画面がメーターのマルチインフォメーションディスプレイに表示されます。

D 初期設定の状態に戻ります。

電話帳の設定・編集をする

電話帳は、次のいずれかの方法で電話番号（電話帳データ）を登録しておくことができます。

● 携帯電話に登録してある電話帳を本機の電話帳に転送する。（→P.198）

● 本機の電話帳に新規登録する。（→P.200）

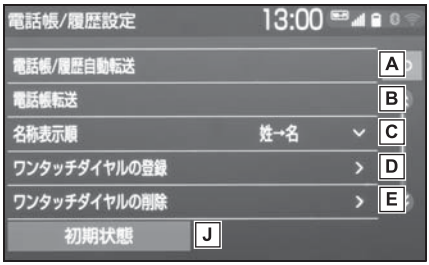
● 履歴データから登録する。（→P.200）

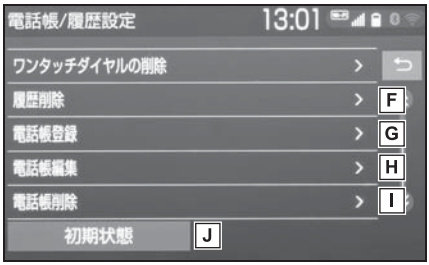
1 電話設定・編集画面を表示する：

● “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “電話” を順に選択。

2 “電話帳／履歴設定” を選択。

3 各項目を設定する。





A PBAP に対応している携帯電話の電話帳／履歴の自動転送設定をします。（→P.197）

・携帯電話の電話帳や履歴が更新されている場合、本機の電話帳や履歴も更新されます。
・自動転送は、エンジンスイッチ<パワースイッチ>を ON にし、初めて携帯電話が Bluetooth 接続されたときや使用する携帯電話を切り替えて、Bluetooth 接続されたときに行われます。

B OPP に対応している携帯電話の電話帳、または USB メモリーに登録してある電話帳の転送をします。（→P.198、199）

C 電話帳の表示順を変更します。

D 電話帳に登録済みの電話番号をワンタッチダイヤルに登録します。（→P.199）

E ワンタッチダイヤルに登録済みの電話番号を削除します。（→P.200）※

F 履歴データを削除します。（→P.200）※

G 新規連絡先を電話帳に登録します。（→P.200）※

H 登録済みの電話帳を編集します。（→P.200）※

I 登録済み連絡先を削除することができます。（→P.201）※

J 初期設定の状態に戻ります。

※ PBAP に対応している携帯電話で「電話帳／履歴自動転送」（→P.197）を「する」に設定しているときは、この機能は利用できません。

知識

●電話帳は接続された携帯電話 1 台につき、5000 名分のデータを登録することができます。接続されている携帯電話の電話帳が表示されます。

●電話帳には 1 名につき最大 4 件の電話番号が登録できます。

●接続された電話機ごとに電話帳は管理されます。

電話帳／履歴自動転送を設定する

PBAP に対応している携帯電話では、Bluetooth 接続時に携帯電話の電話帳データを自動転送することができます。

1 “電話帳／履歴自動転送” を選択。

2 各項目を設定する。

A 電話帳と履歴の自動転送のする／しないを選択します。

B 電話帳と履歴を更新します。（→P.198）

C 着信時の画面表示のする／しないを選択します。

D 初期設定の状態に戻ります。

携帯電話の電話帳データを転送する

携帯電話に登録してある電話番号（電話帳データ）を、本機に転送することができます。

● この機能は、OPP か PBAP のどちらかに対応している携帯電話で使用できます。ご使用の携帯電話が OPP、PBAP に対応しているかは携帯電話に添付の取扱説明書または本機と接続中の携帯電話の対応プロファイルを確認してください。（→P.42）

▶ PBAP を利用して電話帳データを転送するとき

1 “電話帳／履歴自動転送” を選択。

2 “電話帳／履歴更新” を選択。

3 電話帳更新画面が表示される。

● 転送が終了すると、メッセージが表示されます。

▶ OPP を利用して電話帳データを転送するとき

1 “電話帳転送” を選択。

2 “電話機から Bluetooth で転送” を選択。

3 電話帳にすでに電話帳データがある場合は、転送方法を選択。

● “上書き”：現在のデータに上書きされます。

● “追加”：現在のデータに追加されます。

4 携帯電話を操作して電話帳データを転送する。

知識

● 転送失敗画面が表示されたときは、転送操作をやり直してください。

● 転送するときは、エンジン<ハイブリッドシステム>を始動した状態で行ってください。

● PBAP に対応している携帯電話では、携帯電話の機種により携帯電話の操作が必要なことがあります。

● Android Auto 接続中のときは、OPP を利用した転送はできません。

● 本機の電話帳データを携帯電話に転送することはできません。

● シークレットメモリの転送はできません。（携帯電話の機種により転送できる場合もあります。）

● 携帯電話の機種によっては、携帯電話の暗証番号および認証パスワード（“1234”）の入力が必要になります。

● 携帯電話の電話帳データすべてを転送する場合、10 分程度かかる場合があります。

● 電話帳データ転送中の動作については、次のようになります。

・ エンジンスイッチ<パワースイッチ>を OFF にすると、転送は中止されます。この場合は、エンジン<ハイブリッドシステム>を始動して、転送操作をやり直してください。

・ 転送中画面が表示されているときでも他画面に切り替えることができます。電話帳データ転送は継続されます。

・ 着信があった場合は、データ転送か着信のどちらかが優先されます。着信が優先された場合は、通話は携帯電話本体での通話になります。通話終了後、転送操作をやり直してください。

・ 発信操作はできません。

・ Bluetooth オーディオの接続が切断されることがあります。転送が終了すると再接続されます。（接続している Bluetooth 機器によっては、再接続で

きないことがあります。）
・本機のメモリ容量不足、または何らかの原因で転送が中断されても、転送済みの電話帳データは本機の電話帳に保存されます。

●転送された電話帳データについては、次のようになります。
・携帯電話の電話帳で 1 つの名称に 5 件以上の電話番号が登録されている場合、本機の電話帳には同じ名称を複数登録してすべての電話番号が登録されます。
・電話番号と同時に名称も転送されますが、機種によっては漢字や記号などが転送されないことや、すべての文字が転送されないことがあります。また、転送されても正しく表示されないことがあります。
・携帯電話に登録されているグループ名は転送されません。
・本機の電話帳で表示されるアイコンは接続している携帯電話の情報を元にして自動で割り当てられます。ただし、携帯電話の機種や使用環境によっては、表示されるアイコンがすべて同じになることがあります。

USB メモリーの電話帳データを転送する

USB メモリーに登録してある電話番号（電話帳データ）を、本機に転送することができます。
Android Auto 接続中のときは、この機能は使用できません。

● USB メモリーの電話帳データは、vCard 形式（.vcf）のデータのみ転送可能です。

1 USB 端子に USB メモリーを接続する。（→P.77）
2 “電話帳転送” を選択。
3 “USB メモリから転送” を選択。
4 すでに電話帳登録がある場合は、“追加” または “上書き” を選択。
5 vCard ファイルリストから、転送したいファイルを選択。

● 転送が完了すると、“電話帳／履歴設定” が表示されます。

ワンタッチダイヤルを登録する

■ 設定・編集画面から登録する

1 “ワンタッチダイヤルの登録” を選択。
2 登録したいデータを選択。
3 登録したい電話番号を選択。
4 登録したいスイッチを選択。

■ 電話画面から登録する

1 “PHONE” スイッチを押す。
2 “ワンタッチダイヤル” を選択。
3 “未登録” を選択。
4 “はい” を選択。
5 登録したいデータを選択。
6 登録したい電話番号を選択。

知識

●ワンタッチダイヤルは接続する携帯電話ごとに登録が必要です。
●接続する携帯電話ごとにプリセットとして 110/119 が登録されています。
●110/119 は上書き登録及び、削除後は表示されません。
●携帯電話の登録情報削除し、再度接続を行った場合、110/119 は復帰します。

ワンタッチダイヤルを削除する

1 “ワンタッチダイヤルの削除” を選択。
2 削除したいワンタッチダイヤルを選択。
3 “削除” を選択。
4 “はい” を選択。

履歴データを削除する

1 “履歴削除” を選択。
2 “はい” を選択。

電話帳に連絡先を登録する

本機の電話帳にデータを入力して連絡先を追加することができます。

電話帳には、1 名のデータにつき、次の項目が登録できます。

名称、電話番号（最大 4 件）、アイコン（各電話番号にそれぞれ 1 つ）

1 “電話帳登録” を選択。
2 各項目を編集する。（→P.200）

■ 名称、電話番号、アイコンの編集をする

電話番号は 1 名につき最大 4 件登録できます。また、それぞれの電話番号にアイコンを登録できます。

1 ソフトウェアキーボードで名称を入力し、“OK” を選択。
2 ソフトウェアキーボードで名称（読み）を入力し、“OK” を選択。
3 電話番号を入力し、“完了” を選択。
4 登録したいアイコンを選択。

▶ 電話番号を追加する場合

5 “はい” を選択。

● 手順 2 に戻ります。

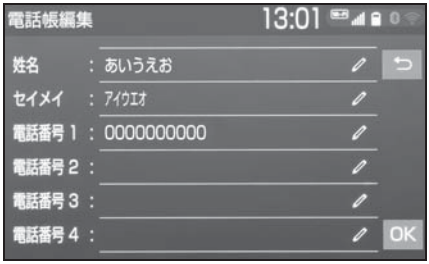
▶ 編集を終了する場合

5 “いいえ” を選択。

電話帳のデータを編集する

登録済みの電話帳データを編集することができます。

1 “電話帳編集” を選択。
2 修正したいデータを選択。
3 希望の項目を選択して編集する。



4 “OK” を選択。

■ 姓名の編集をする

1 “姓名” を選択。

● 読みを編集するときは、“セイメイ” を選択してください。

2 ソフトウェアキーボードで入力し、“OK” を選択。

■ 電話番号を編集する

1 “電話番号 1” ～ “電話番号 4” のいずれかを選択。
2 電話番号を入力し、“完了” を選択。
3 登録したいアイコンを選択。

電話帳のデータを削除する

1 “電話帳削除” を選択。
2 削除したいデータを選択。
3 “削除” を選択。
4 “はい” を選択。

知っておいていただきたいこと

故障とお考えになる前に

ハンズフリーでお困りの際は、まず以下の表を確認してください。

▶ ハンズフリーを使う

症状	考えられること	処置
ハンズフリーを使うことができない	携帯電話が Bluetooth 非対応機種である。	本機で動作確認済みの機種については、トヨタ販売店または T-Connect の Web サイト（https://toyota.jp/tconnectservice/ の「ご利用になるには」の「サービスのご利用方法」）でご確認ください。
	携帯電話のバージョンが Bluetooth に適合していない。	Bluetooth Core Specification Ver2.0 以上（Ver.4.2 以上を推奨）の携帯電話を使用してください。（→P.42）

▶ 携帯電話の登録と接続

症状	考えられること	処置
携帯電話が登録できない	携帯電話に入力した PIN コード（パスキー）が間違っている。	携帯電話に正しい PIN コード（パスキー）を入力してください。
	携帯電話の登録操作が完了していない。	携帯電話に承認ボタンが表示されているときは承認ボタンを選択して、登録操作を継続してください。
	本機、携帯電話どちらか一方の登録情報が残っている。	本機の登録処理を中止し、再度登録操作を行ってください。（→P.36）
		本機、携帯電話双方の登録情報を削除してから、登録操作を行なってください。（→P.36、41）

症状	考えられること	処置
Bluetooth 接続ができない	お使いになる携帯電話以外がすでに Bluetooth 接続状態にある。	お使いになる携帯電話を本機から手動で Bluetooth 接続してください。（→P.184）
	携帯電話の Bluetooth 機能が OFF になっている。	携帯電話の Bluetooth 機能を ON にしてください。
	本機の “ACC ON 時の自動接続” が “しない” になっている。	本機の “ACC ON 時の自動接続” を “する” にしてください。（→P.41）
「電話機をご確認ください」とメッセージが表示される	携帯電話の Bluetooth 機能が OFF になっている。	携帯電話の Bluetooth 機能を ON にしてください。
	携帯電話の登録情報が削除されている。	本機、携帯電話双方の登録情報を削除してから、登録操作を行なってください。（→P.36、41）

▶ 着信と発信

症状	考えられること	処置
電話をかける、受けるができない	圏外である。	表示が消えるところまで移動してください。
	携帯電話の発信制限（ダイヤルロック）が ON になっている。	携帯電話の発信制限（ダイヤルロック）を OFF にしてください。

▶ 電話帳

症状	考えられること	処置
電話帳データの転送／自動転送ができない	携帯電話のプロファイルが電話帳データ転送に対応していない。	本機で動作確認済みの機種については、トヨタ販売店または T-Connect の Web サイト（https://toyota.jp/tconnectservice/ の「ご利用になるには」の「サービスのご利用方法」）でご確認ください。
	本機の電話帳／履歴自動転送設定が “しない” になっている。	本機の電話帳／履歴自動転送設定を “する” にしてください。（→P.197）
	携帯電話の PIN コード（パスキー）を入力していない。	携帯電話で PIN コード（パスキー）を求められているとき、PIN コード（パスキー）を入力してください。PIN コード（パスキー）は “1234” です。
	携帯電話が電話帳転送の承認待ちになっている。	携帯電話で電話帳転送承認ボタンを選択してください。
携帯電話に「承認」の確認画面が表示される	承認時に「常に許可」が選択されていない。	携帯電話で「常に許可」を選択し承認してください。
電話帳データが「その他」のフォルダに登録される	携帯電話の電話帳に登録してある名称にふりがながない。	携帯電話の電話帳に登録してある名称にふりがながあるか確認してください。
	携帯電話に電話帳が登録されていない。	携帯電話に電話帳を登録してください。
電話帳データの編集ができない	本機の電話帳／履歴自動転送設定が “する” になっている。	本機の電話帳／履歴自動転送設定を “しない” にしてください。（→P.197）

▶ その他の状況

症状	考えられること	処置
エンジンスイッチ<パワースイッチ>が ON の都度、画面上部に Bluetooth 接続状態が表示される	本機の接続確認表示の設定が “する” になっている。	接続状態を表示させたくないときは、本機の接続確認表示の設定を “しない” にしてください。（→P.42）
考えられる処置をしても、症状が改善されないとき	携帯電話と本機の距離が離れすぎている。	携帯電話と本機の距離を近づけてください。
	電波干渉が発生している。	Wi-Fi® 機器など電波を発生する機器の電源を OFF にしてください。 本機の Wi-Fi® 設定を “しない” にしてください。（→P.44）
	携帯電話に要因がある。	携帯電話の電源を OFF にして、電池パックを取り出してください。
		携帯電話の Bluetooth 接続を OFF から ON にしてください。
		携帯電話の Wi-Fi® 接続を OFF にしてください。
		携帯電話のセキュリティソフト、または常駐アプリを停止してください。
		携帯電話にインストールしたアプリケーションは、提供元および動作状況について十分ご確認の上ご利用ください。

6-1. はじめに

ご利用の前に知っておいていただきたいこと 208

T-Connect について 211

6-2. 各種手続きをする

利用手続きをする 213

6-3. スマートフォンやパソコンで利用する

スマートフォンやパソコンで利用する..... 216

6-4. サービスの使い方

ヘルプネット（エアバッグ連動タイプ）..... 217

マイカーサーチ／マイカーサーチ Plus..... 233

リモートメンテナンスメール／ e ケア／マイカーカスタマイズ ... 239

6-5. こんなメッセージが表示されたときは

こんなメッセージが表示されたときは..... 241

ご利用の前に知っておいていただきたいこと

T-Connect を利用するには、別途利用手続きをしていただく必要があります。（→P.213）

安全にご利用するため注意すること

T-Connect をご利用になるときは、次の注意事項を必ずお守りの上、正しくお使いください。

■ 走行中の操作、表示規制について ※

※ T-Connect ナビキット装着車

走行中に T-Connect をご利用になると、安全のため、操作の一部を制限したり、コンテンツによっては T-Connect Viewer のコンテンツ表示部分を覆って、メッセージを表示します。
このようなコンテンツをご覧になるときは、安全な場所に車を停車させてご覧ください。

■ 消耗品について

エアバッグ作動による自動通報を補助するため、ヘルプネット専用補助バッテリーを搭載しています。寿命による交換時期は、ヘルプネットスイッチの表示灯（赤点滅）でお知らせします。また、エアバッグ作動による自動通報を実施した際は、安全のため交換をお願いします。
ヘルプネット専用補助バッテリーの交換についてはトヨタ販売店にご相談ください。

⚠ 警告

- 安全のため、運転者は走行中に極力操作（音声操作も含む）をしないでください。
  走行中の操作はハンドル操作を誤るなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。車を停車させてから操作をしてください。
  なお、走行中に画面を見るときは、必要最小限の時間にしてください。

掲載画面について

本書で使用している画面の表示内容は、サンプル表示となっております。

通信機器について

T-Connect は、通信モジュール（DCM）、Wi-Fi® テザリング対応機器（スマートフォン／ Wi-Fi® ルーター等）※ を利用して、データ通信を行います。

※ T-Connect ナビキット装着車

■ 通信モジュール（DCM）について

車両に装着した通信モジュール（DCM）で通信を行います。
ご利用には T-Connect 利用申込みのうえ、利用開始操作（→P.213）が必要です。
通信費は T-Connect 利用料金に含まれます。利用料金は、トヨタ販売店または T-Connect の Web サイト（https://toyota.jp/tconnectservice/）でご確認ください。
リコール情報等のお車に関する大切なお知らせをトヨタまたは

トヨタ販売店からリモートメンテナンスメールによりお送りするため、T-Connect の利用契約の有無にかかわらず、通信を行う場合があります。（この場合の通信費は無料です。）

■ Wi-Fi® 機器について ※

※ T-Connect ナビキット装着車

お客様のスマートフォンが Wi-Fi® テザリングに対応しているかをご確認ください。
詳しくは、ご契約されている通信事業者にご確認ください。

通信モジュール（DCM）について

通信モジュール（DCM）は通信アンテナを使用します。

通信アンテナは、ルーフ後部とインストルメントパネルに内蔵されています。

知識

- 通信モジュール（DCM）は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。製品本体のネームプレートはその証明ですので、ネームプレートの記載を削除しないでください。
- 通信モジュール（DCM）を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。
- フリー／オープンソースソフトウェア情報について
・本製品はフリー／オープンソースソフトウェアを含んでいます。
このようなフリー／オープンソースソフトウェアのライセンス情報やソースコードの両方またはどちらか片方は以下の URL で入手することができます。
https://www.denso.com/global/en/opensource/dcm/toyota/

■ ペースメーカーやその他の医療用電気機器をお使いの方は

データ通信時の電波について、次の点にご注意ください。

警告

- 植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータおよび植込み型除細動器以外の医療用電気機器をお使いの方は、T-Connect をお使いになる前に、医師や医療用電気機器の製造事業者などに個別にご相談ください。電波により医療用電気機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

データ通信時の留意事項

T-Connect は、データ取得時に通信を行います。

次の点をご理解の上、正しくお使いください。

- 通信方式は、KDDI 株式会社の LTE 方式です。
LTE サービスエリアでは、最大 150 Mbps のデータ通信サービスがご利用いただけます。
サービスエリアは同社サービスエリア図をご参照ください。
なお、通信状況は様々な要因で変動します。必ずしもサービスエリア内にいれば、常に通信が可能というわけではありません。
- 次のような通信環境では、データ通信できません。
・トンネルの中にいるとき
・地下駐車場にいるとき

・山奥などの通信圏外にいるとき
・回線が混雑しているなど、発信規制中のとき

● 通信モジュール（DCM）は、お客様に T-Connect をご利用いただくため、トヨタよりお客様に対しリコール等の大切なお知らせをお送りするため等の目的で、T-Connect を契約されない場合または解約された場合であっても、初度登録日から一定期間、通信事業者との間で通信回線を維持します。

● 通信モジュール（DCM）の回線維持期間経過後に T-Connect を新たにご契約いただく場合、通信モジュール（DCM）の回線を接続するための費用が必要になることがありますので、あらかじめご了承ください。

● この先、通信事業者にて通信に使用する電波が変更もしくは打ち切りになった場合、T-Connect が使用できなくなります。（その場合には事前にご連絡します。）

● 画面上部（タイトル）に、ネットワーク接続中は「接続中」、コンテンツ読み込み中は「しばらくお待ちください」が表示されます。また、コンテンツ読み込み中は、タイトルの下に読み込み状況がバーで表示されます。バーの表示が消えて、コンテンツのタイトルが表示されたら、画面の操作を行ってください。

・走行中のためにコンテンツの表示が制限されている場合は、コンテンツの読み込みが終了すると、<ピッ>という音でもお知らせします。

● 通信中は、ネットワーク接続中であることをお知らせするため、通信中マークが表示されます。

知識

●T-Connect はデータ取得に通信を利用するため、通信環境の整わない状況では通信を利用するサービスはすべて利用できません。

●データ取得までの時間は、本機の状態やデータの内容、電波状態によって異なります。

●GPS 信号を長い間（数カ月間）受信していないとき、または 12V バッテリーとの接続が断たれたときは、データ通信ができなくなることがあります。この場合は、GPS 信号が受信できる場所（できるだけ見晴らしの良い場所）に車を移動し、再度試してみてください。

■ 受信レベルについて

画面右上に受信レベルが表示されます。データ通信時の目安にしてください。

▶ 通信モジュール（DCM）使用時

レベル	表示
圏外	DCM
弱	DCM
強	DCM

▶ Wi-Fi® テザリング対応機器（スマートフォン／ Wi-Fi® ルーター等）使用時

レベル	表示
圏外／未接続	
弱	
強	

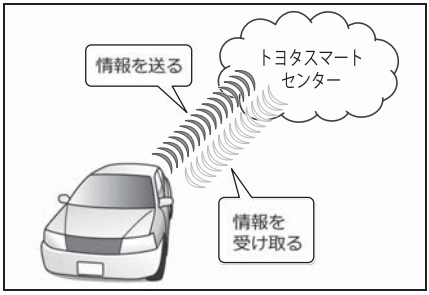
● Wi-Fi® の受信レベルにつきましては、「受信レベル表示について」をご覧ください。（→P.17）

知識

●受信レベル表示が「圏外」の場合でも、本機はデータ取得動作を行いますが、一定時間経過してもデータ取得できない場合は、自動的に中止します。中止までの時間は本機の通信状態によって異なります。

T-Connect について

T-Connect について



専用通信機（DCM）に車載機を接続することで、「安心・安全・快適・便利」な車向けサービスがご利用いただけます。

サービス内容について

● 緊急通報サービス
ヘルプネット（→P.217）

● カーセキュリティサービス
マイカーサーチ／マイカーサーチ Plus（→P.233）※1

● 地図更新サービス
マップオンデマンド※2, 3

● 最適ルート案内
ハイブリッドナビ※2, 3 ／ T ルート探索※2, 3

● 音声対話サービス
エージェント※2, 3

● T-Connect のアプリケーションサービス
Apps※2, 3

● ルート上の渋滞を予測
渋滞予測※2, 3

- インターネットで施設検索
  WEB 検索 ※2, 3
- ナビ操作をサポート
  オペレーターサービス ※1, 2, 3
- ホテル予約も対応
  オペレーターサービス Plus※1, 2, 3

※1ご利用には別途契約（有料）が必要になります。詳しくはトヨタ販売店へお問い合わせください。

※2T-Connect ナビキット装着車

※3詳細は、別冊「ナビゲーション取扱書」をご覧ください。

掲載の情報は、2020 年 8 月現在のサービスです。サービス内容は変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。

ご利用いただけるサービスは、車種・ナビ等により異なります。最新のサービスおよび詳細は、T-Connect の Web サイト（https://toyota.jp/tconnectservice/）でご確認ください。

利用手続きをする

下記にしたがって、利用手続きとそれに伴う各種設定を行ってください。

ヘルプネットの手動保守点検を必ず契約者本人が行うようにしてください。（→P.226）

申込みをする

トヨタ販売店にてお申込みください。販売店店頭にお越しになれないお客様は、ホームページからもお申込みいただけます。
URL：https://toyota.jp/tconnectservice/

■ **用意するもの**

- 自動車検査証（車検証）
- メールアドレス（パソコン、スマートフォンのもの）

■ **無料期間**

- 初度登録日から初回の60ヵ月点検月の末日までとなります。
- 無料期間内に一旦解約した場合でも、初度登録日から初回の60ヵ月点検月の末日までは無料となります。
- 利用料金は、トヨタ販売店またはT-Connectの Web サイト（https://toyota.jp/tconnectservice/）でご確認ください。

■ **有料オプションのサービスについて**

有料オプションのサービスのご利用には T-Connect のユーザーサイト（https://toyota.jp/tconnectservice/）で次の手続きが必要です。

- 有料オプションのサービスの申込み
- 支払い方法の登録

利用開始状況を確認する ※

※ T-Connect ナビキット非装着車

申込み後、エンジンスイッチ＜パワースイッチ＞を ON にし約 1 分お待ちください。ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点灯します。（→P.217）その後、T-Connect のユーザーサイト（https://toyota.jp/tconnectservice/）で利用開始状況をご確認ください。

利用開始操作をする ※

※ T-Connect ナビキット装着車

1 “TC” スイッチを押す。

2　“利用開始”を選択。

3　完了画面が表示される。

■ T-Connect 利用のお問合せ先

T-Connect サポートセンター

全国共通・フリーコール

0800-500-6200

受付時間　9：00 ～ 18：00

年中無休

継続手続きについて

契約の更新日が近づくと、トヨタコネクティッド（株）より案内を送付します。

案内に従って継続の手続きを行ってください。

知識

●利用契約の継続／停止は T-Connect のユーザー サイト（https://toyota.jp/tconnectservice/）から手続きができます。

解約手続きについて

お車を手放すときなど、T-Connect を解約するときは、状況に応じて、次の手続きを行ってください。

■ 解約する場合

● T-Connect のユーザーサイト（https://toyota.jp/tconnectservice/）で解約手続きをする。

● 本機で解約手続きをする。※（→P.214）

※ T-Connect ナビキット装着車

■ お車を手放す場合

個人情報の初期化をする（→P.63）

解約しないで車を手放したときなどは、T-Connect サポートセンターに連絡して解約する

T-Connect サポートセンター

全国共通・フリーコール

0800-500-6200

受付時間　9：00 ～ 18：00

年中無休

注意

●お客様の大切な情報を保護するため、お車を手放すときは、本機で個人情報初期化を必ず行ってください。

本機で解約手続きをする ※

※ T-Connect ナビキット装着車

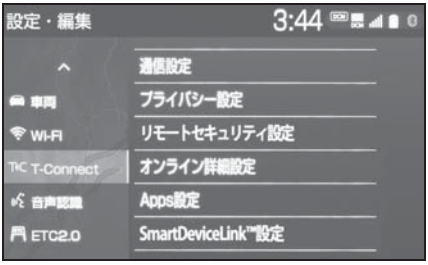
T-Connect の利用契約を解除するときは、次の手順で実施してください。

1　“MENU”スイッチを押す。

2　“設定・編集”を選択。

3　“T-Connect”を選択。

4 “オンライン詳細設定” を選択。



5 “T-Connect オンライン契約解除” を選択。

6 画面の指示にしたがって操作する。

知識

- ユーザー設定画面からでも解約手続きができます。※1, 2
- T-Connect を解約した場合であっても、トヨタまたはトヨタ販売店からリコール情報等のお車に関する大切なお知らせを、通信モジュール（DCM）を利用し、お車にリモートメンテナンスメールでご連絡する場合があります。（この場合の通信費は無料です。）

※1 T-Connect ナビキット装着車

※2 詳細は、別冊「ナビゲーション取扱書」をご覧ください。

スマートフォンやパソコンで利用する

T-Connect はパソコンやスマートフォンからも情報確認や各種設定ができます。

アドレスは以下をご確認ください。

パソコンサイト

● T-Connect ユーザーサイト

URL：https://toyota.jp/tconnectservice/

スマホアプリ

専用のスマホアプリ（無料）をダウンロードします。

● MyTOYOTA for T-Connect を下記 QR コードからダウンロードします。

● T-Connect ナビキット装着車：TC スマホナビを下記 QR コードからダウンロードします。

ヘルプネット（エアバッグ連動タイプ）

ヘルプネットは、交通事故発生時や急病などの緊急事態発生時に、自動またはボタン操作でヘルプネットセンターに電話し、車内からの通報を補助するシステムです。

さらに、あおり運転などのトラブルのときでも、警察へ状況に応じて通報します。

また、交通事故発生時車両データの活用により、お客様の重症度を推定し、ドクターヘリ等の早期出動判断を行うD-Call Net機能に対応しています。

ヘルプネットは、警察や消防への緊急通報サービスです。ロードサービスへの取次ぎは行いません。

ヘルプネットについて

■ サービス開始と解約について

ヘルプネットは、T-Connect 利用申込み後、エンジン<ハイブリッドシステム>を始動してください。約 1 分後、緑の表示灯が点灯すると利用できます。その後、ヘルプネット手動保守点検を必ず契約者本人で行うようにしてください。（→P.220）

ヘルプネットを解約したいときは、T-Connect を解約すると、同時に解約されます。

● ヘルプネットは（株）日本緊急通報サービスの登録商標です。

■ 緊急通報について

▶ エアバッグ作動による自動通報

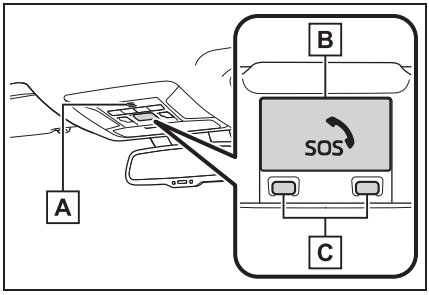
● エアバッグ作動時など、お車に一定以上の衝撃が加わると、自動的にヘルプネットセンターに通報します。

▶ ボタン操作による手動通報

● 乗員がヘルプネットボタンを押すと、ヘルプネットセンターに通報します。

各部の名称とはたらき

■ ヘルプネットスイッチパネル



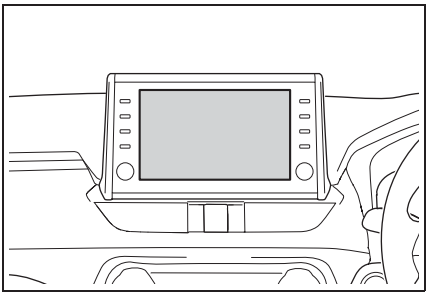
A マイク
緊急通報中や手動保守点検中のハンズフリー通話時に使用します。

B ヘルプネットボタン
ボタン操作による手動通報をするとき。また、手動保守点検をするときに押します。

C 表示灯
赤と緑の表示灯の点灯の組み合わせにより機器の故障、緊急通報中などシステムの動作を知らせます。（→P.228）

■ 本機

緊急通報時や保守点検時にメッセージを表示します。



知識

●いたずらなどで緊急車両などが出動したとき、該当費用に関しての請求をされたり、関連法規により処罰されることがあります。いたずらをしないでください。

●事故発生時以外でも、エアバッグが開いたときには自動通報します。このようなときには、ヘルプネットセンターのオペレーターに理由を告げて通報を終了してください。

●表示灯は、緊急通報可能または不可能状態を正しく表示しないことがあります。例えば、解約時の処理をしていない中古車などに搭載された通信モジュールを使用するときは、サービスの利用契約をしていない状態でも緊急通報可能状態として表示することがあります。

注意

●ヘルプネットスイッチパネルなどに液体をかけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
ヘルプネットスイッチパネルなどが故障すると、緊急通報ができなくなったり、システム状態を正確にお知らせすることができなくなります。
ヘルプネットスイッチパネルなどが故障したときは、必ずトヨタ販売店にご相談ください。

●緊急通報および手動保守点検時は、スピーカーまたはマイクに故障不具合等があると、ヘルプネットセンターのオペレーターと通話できません。これらの機器が故障したときは、必ずトヨタ販売店にご相談ください。

安全のために

警告

●安全運転を心がけてください。本機は、交通事故や急病時などの救援通報を補助するものであり、乗員保護の機能を持つものではありません。
乗員保護のために、乗員はシートベルトを着用し、安全運転を心がけてください。

●緊急事態が発生したときは、人命救助とけが人の対処を最優先にしてください。

●緊急事態発生により燃料の匂いや異臭を感じるときは、車内にとどまらずにただちに安全な場所に避難してください。

●手動保守点検は契約者本人が行い、ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点灯していることを必ず確認してください。

警告

- 本機は衝撃などによって、作動しなくなることがあります。このようなときには、最寄りの公衆電話などから通報してください。
- 12V バッテリーの電圧低下または接続が断たれたとき、ヘルプネットセンターと通信できないことがあります。
- 携帯電話サービスエリア内であっても電波状態または回線混雑のために、緊急通報や通話が困難になることがあります。この場合は、ヘルプネットセンターと回線接続しても、ヘルプネットセンターと通信できず、救援要請の通報および通話ができません。緊急通報できないときには、最寄りの公衆電話などから通報してください。
- 事故発生時、エアバッグが作動せず、車両へ強い衝撃が加わっていないときは自動通報されません。また、エアバッグが作動しても通報されないことがあります。このようなときにはボタン操作による手動通報をしてください。
- 以下のときは緊急通報できません。緊急通報できないときには、最寄りの公衆電話などから通報してください。
  - 携帯電話サービスエリア外で使用している
  - 関連機器（ヘルプネットスイッチパネル、ディスプレイ、マイク、スピーカー、通信モジュール、アンテナ、およびこれらを接続する電気配線など）に異常または損傷があり、故障している
  - T-Connect が未契約、または契約期限が切れている
  - 手動保守点検を実施していないため、緊急通報可能状態になっていない
- 緊急通報時は、ヘルプネットセンターへの回線接続を繰り返し行います。ただし、電波状態などの理由で回線接続ができないときは、ヘルプネットスイッチパネルの赤の表示灯が点滅し、通報しないまま緊急通報を終了します。通報が必要なときには、最寄りの公衆電話などから通報してください。
- 緊急通報後に救援を待つ間は、後続車の追突などの二次災害を防ぐ手段をとり、乗員は安全な場所へ避難してください。基本的には車内にとどまらず、窓を開け、ヘルプネットセンターのオペレーターの声が聞こえる車外で、安全な場所を確保してください。
- 安全のため、走行中は緊急通報をしないでください。走行中の通報はハンドル操作を誤るなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。緊急通報は、停車して安全を確認してから行ってください。

警告

- T-Connect を解約してもヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点灯しているときは、トヨタ販売店にご相談ください。
- ヒューズ交換は、必ず表示された規格のヒューズをご使用ください。規定以外のヒューズを使用すると、発煙、発火の原因となり、火災につながるおそれがあり危険です。
- 煙が出る、異臭がするなど異常な状態で使用すると、発火の原因になります。ただちに使用を中止してトヨタ販売店にご相談ください。

注意

- 本機内部は精密な構造になっています。無理に分解しようとすると、故障の原因になります。万一、異常などがあるときには、すぐにトヨタ販売店にご相談ください。
- 関連機器などの取りはずしをすると、接触不良や機器の故障などを引き起こし、緊急通報ができなくなることがあります。取りはずしが必要なときには、トヨタ販売店にご相談ください。
- 緊急通報および手動保守点検時は、スピーカーまたはマイクに故障などがあると、ヘルプネットセンターのオペレーターと通話ができません。これらの機器が故障したときは、必ずトヨタ販売店にご相談ください。
- 以下の温度範囲以外では、緊急通報が正常に動作しないことがあります。そのときは、最寄りの公衆電話などを使用してください。
  動作温度範囲：-20 ℃～＋ 60 ℃
- 実際の通報地点とヘルプネットセンターに通報される位置には、誤差が発生することがあります。通報地点や目標物は、ヘルプネットセンターのオペレーターと通話で相互確認してください。
- 呼び返し待機状態で火災発生などの危険がある場合、および車外に避難するときは、パーキングブレーキをしっかりかけて、エンジンスイッチ＜パワースイッチ＞を OFF にしてください。

ヘルプネットをお使いになる前に

ヘルプネットは、手動保守点検を実施してからご利用ください。

1 手動保守点検を行い、以下の点を確かめる。（→P.226）

- 通信が正常に始まる。
- 通話ができる。
- 通報位置が正しい（ヘルプネットセンターとの通話で確認）。

2 手動保守点検後、ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点灯します。

- ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点灯しないときは、再度、手動保守点検（→P.226）をしてください。
- 手動保守点検が正常に終了しなくてもヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点灯することがあります。このとき、緊急通報できないことがあるため、トヨタ販売店にご相談ください。

警告

●以下のように、関連機器が正常に動作しないとき、緊急時にヘルプネットセンターへ正しい情報が伝わらず、救援困難となる可能性があります。

・通信が始まらない。

・通報位置とヘルプネットセンターの位置表示が違う。

・通話できない。

●手動保守点検後、ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点灯しないとき、緊急通報は動作しません。表示灯が正常に点灯しないときは、トヨタ販売店にご相談ください。

緊急通報をする

■ エアバッグ作動による自動通報

エアバッグ作動時など、お車に一定以上の衝撃が加わると、自動的にヘルプネットセンターに通報されます。

1 エアバッグ作動時など、車に一定以上の衝撃が加わると、緊急通報が開始される。

● スイッチパネルの緑の表示灯が点滅し、システムが作動していることを知らせます。

● メッセージが表示され、その都度、メッセージと同内容の音声案内が流れます。

● エアバッグが作動しなくても、事故の形態によっては通知を開始する場合があります。

2 ヘルプネットセンターに車両の位置などが送信される。

3 データ通信完了後、通話モードになる。

4 通話中画面が表示される。ヘルプネットセンターのオペレーターに、状況やけがの状態、警察または消防などへの通報の要・不要を伝える。

● お客様からの応答が無い場合には意識不明と判断し、オペレーターがお客様に代わって速やかに救急車の手配を要請します。

5 警察または消防への通報が必要なときは、ヘルプネットセンターが警察または消防に接続する。

6 通話終了後、約 60 分間は、ヘルプネットセンターおよび救援機関からの電話による問い合わ

せのため、呼び返し待機状態になる。この間にかかってくる電話は、自動的にハンズフリー通話でつながる。

警告

- 呼び返し待機状態の間は、後続車の追突などの二次災害を防ぐ手段をとり、乗員は安全な場所へ避難してください。基本的には車内にとどまらず、窓を開け、ヘルプネットセンターのオペレーターの声が聞こえる車外で、安全な場所を確保してください。
- 呼び返し待機中は、緊急通報に関係のない着信も自動的にハンズフリー通話でつながります。通話中は救援活動に関わる着信であっても、着信できません。

- 緊急通報終了後約60分間の呼び返し待機状態で電話がかかってくると、さらに約 60 分間、呼び返し待機状態が延長されます。この間にかかってくる電話は自動的にハンズフリー通話でつながります。

7 呼び返し待機状態が終了すると、ヘルプネット画面は解除される。

- ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点滅表示を終了します。

8 車内および車外の状況に応じて二次災害を防ぎながら、最も安全な処置をして救援を待ちます。

知識

- 緊急通報中に音声案内が流れている間は、通話することができません。音声案内が終わったら、ヘルプネットセンターのオペレーターと通話して、状況をお知らせください。
- 緊急通報開始から通話終了までの間は、オーディオなどの音声が自動的にミュート（消音）されます。
- 誤操作などでヘルプネットセンターに接続されたときは、車両から通信または通話を終了することができません。終了する場合には、ヘルプネットセンターのオペレーターに理由を告げて通報を終了してください。ただし、オペレーターとの通話中に電波状態の悪化によって回線が切断されることがあります。

警告

- 緊急通報できなかったときは、最寄りの公衆電話などから通報してください。
- 携帯電話サービスエリア外では緊急通報できません。緊急通報できなかったときには、最寄りの公衆電話などから通報してください。
- 携帯電話サービスエリア内であっても、電波状態または回線混雑のために、緊急通報や通話することが困難になることがあります。このときは、ヘルプネットセンターと回線接続しても通信できず、救援要請の通報および通話ができません。
- 緊急通報時は、ヘルプネットセンターへの回線接続を繰り返し行います。ただし、電波状態などにより回線接続ができないときには、ヘルプネットスイッチパネルの赤の表示灯が点滅し、通報しないまま緊急通報を終了します。通報が必要なときには、最寄りの公衆電話などから通報してください。

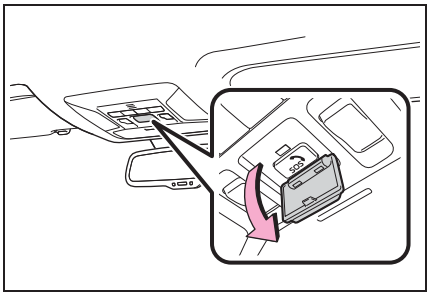
■ ボタン操作による手動通報

急病などの緊急事態発生時、車内からヘルプネットセンターへ通報するときにボタン操作をすることで緊急通報ができます。

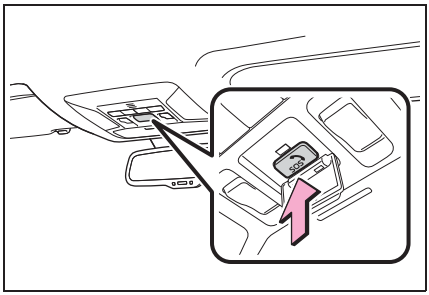
- エンジンスイッチ<パワースイッチ>が ON のとき、ヘルプネットボタンを押すと緊急通報が始まります。あとは音声案内やヘルプネットセンターのオペレーターの指示にしたがってください。

1 ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点灯していることを確かめる。

2 ヘルプネットスイッチパネルのカバーを開く。



3 ヘルプネットボタンを押す。

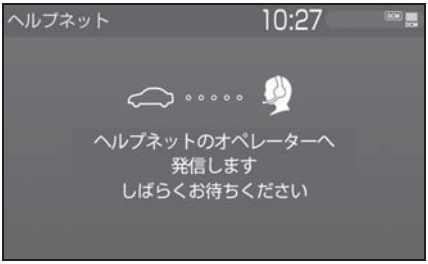


4 ヘルプネットセンターへ接続を開始し、緊急通報が開始される。

- スイッチパネルの緑の表示灯が点滅し、システムが作動していることを知らせます。
- メッセージが表示され、その都度、メッセージと同内容の音声案内が流れます。

5 ヘルプネットセンターにデータ通信を行い、車両の位置などが送信される。

6 データ通信完了後、通話モードになる。



7 通話中画面が表示される。ヘルプネットセンターのオペレーターに、状況やけがの状態、警察または消防などへの通報の要・不要を伝える。

● 手動通報時には、ヘルプネットセンターのオペレーターは、通報者の要請に基づき警察、消防などに接続します。通話にて状況を直接オペレーターにお知らせください。

8 警察または消防への通報が必要なときは、ヘルプネットセンターが警察または消防に接続する。

9 通話終了後、約 60 分間は、ヘルプネットセンターおよび救援機関からの電話による問い合わせのため、呼び返し待機状態になる。この間にかかってくる電話は、自動的にハンズフリー通話でつながる。

● 緊急通報終了後約60分間の呼び返し待機状態で電話がかかってくると、さらに約 60 分間、呼び返し待機状態が延長されます。この間にかかってくる電話は自動的にハンズフリー通話でつながります。

警告

● 呼び返し待機状態の間は、後続車の追突などの二次災害を防ぐ手段をとり、乗員は安全な場所へ避難してください。基本的には車内にとどまらず、窓を開け、ヘルプネットセンターのオペレーターの声が聞こえる車外で、安全な場所を確保してください。

● 呼び返し待機中は、緊急通報に関係のない着信も自動的にハンズフリー通話でつながります。通話中は救援活動に関わる着信であっても、着信できません。

10 呼び返し待機状態が終了すると、ヘルプネット画面は解除される。

● ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点滅表示を終了します。

知識

●緊急通報中に音声案内が流れている間は、通話することができません。音声案内が終わったら、ヘルプネットセンターのオペレーターと通話して、状況をお知らせください。

●緊急通報開始から通話終了までの間は、オーディオなどの音声が自動的にミュート（消音）されます。

●誤操作などでヘルプネットセンターに接続されたときは、車両から通信または通話を終了することができません。終了するときには、ヘルプネットセンターのオペレーターに理由を告げて通報を終了してください。ただし、オペレーターとの通話中に電波状態の悪化によって回線が切断されることがあります。

警告

●緊急通報できなかったときは、最寄りの公衆電話などから通報してください。

・携帯電話サービスエリア外では緊急通報できません。緊急通報できなかったときには、最寄りの公衆電話などから通報してください。

・携帯電話サービスエリア内であっても、電波状態または回線混雑のために、緊急通報や通話することが困難になることがあります。このときは、ヘルプネットセンターと回線接続しても通信できず、救援要請の通報および通話ができません。

・緊急通報時は、ヘルプネットセンターへの回線接続を繰り返し行います。ただし、電波状態などにより回線接続ができないときには、ヘルプネットスイッチパネルの赤の表示灯が点滅し、通報しないまま緊急通報を終了します。通報が必要なときには、最寄りの公衆電話などから通報してください。

保守点検をする

■ 自動保守点検について

自動保守点検は、定期的に自動で実施される保守点検です。お客様が会員登録されているかを、ヘルプネットセンターが確かめます。

自動保守点検を行うための特別な操作は、必要ありません。

● 点検時期
（株）日本緊急通報サービスが定める期間ごとに行われます。

● 点検時間
開始後 1 ～ 2 分で終了します。

注意

●自動保守点検開始後、何らかの理由で通信が中断されてしまったときは、次にエンジンスイッチ＜パワースイッチ＞を OFF から ON にしたときに、再び自動保守点検を開始します。何度も正常に終了しないときは、トヨタ販売店にご相談ください。

■ 手動保守点検を実施する

手動保守点検は、お客様ご自身が手動で実施する保守点検です。

手動保守点検は、以下の保守点検を実施します。

● 関連機器の保守点検（関連機器修理点検や車両修理後の保守点検）

● ヘルプネットセンターに会員登録されているかの確認（加入時、契約内容変更時）

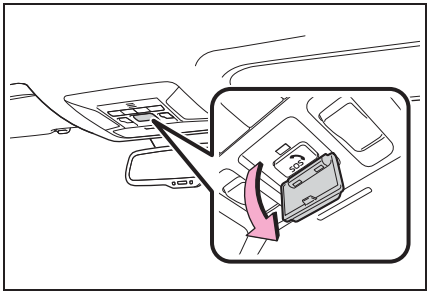
警告

●手動保守点検の途中で、エンジンスイッチ＜パワースイッチ＞を OFF にしないでください。手動保守点検が正しく終了しません。スイッチを OFF にしてしまったときは、再度手動保守点検をやり直してください。

1 できるだけ見晴らしの良い場所に車を移動する。

● ビルの谷間や工場などの屋内は避けてください。

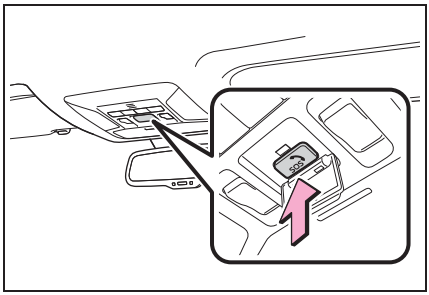
2 ヘルプネットスイッチパネルのカバーを開く。



3 エンジンスイッチ＜パワースイッチ＞を OFF にする。

4 エンジンスイッチ＜パワースイッチ＞を ON にする。

5 ヘルプネットスイッチパネルの赤と緑の表示灯がともに点灯したら、すぐにヘルプネットボタンを約 10 秒間押し続ける。



6 ヘルプネットセンターに接続を開始します。

● 手動保守点検が開始されると、ヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯が点滅し始めます。ボタンから指を離してください。

● メッセージが表示されると、その都度、メッセージと同内容の音声案内が流れます。

7 ヘルプネットセンターに接続すると、最初にデータ通信を行い、以下の確認をする。

● 車両の現在地

● 手動保守点検をしていること

● ヘルプネットセンターに会員登録されていること

8 データ通信完了後、通話モードになります。

9 マイクを通して、ヘルプネットセンターと通話する。

● ヘルプネットセンターの応対は、自動音声で行われます。自動音声で車両の現在地の確認後に、名前を聞かれます。「ピー」と鳴ったら、お客様の名前を話してください。自動音声で名前を繰り返したのち、緊急通報可能であることをお知らせし、通話が終了します。

10 通話の終了後に点検を終了します。

● 緑の表示灯は点滅を終了し、最新のシステム状態を表示します。

知識

●手動保守点検開始から通話終了までの間は、オーディオなどの音声が自動的にミュート（消音）されます。

●手動保守点検中はヘルプネットが優先されるため、ハンズフリー／ヘルプネットを除く T-Connect サービスなどは利用できません。手動保守点検が終了してからご利用ください。

警告

●手動保守点検を実施するときは、途中で中断せず、最後まで完了してください。途中で中断したときは、手動保守点検が失敗となるためヘルプネットスイッチパネルの緑の表示灯は点灯しません。それでも点灯したときは緊急通報できない可能性があるため、トヨタ販売店にご相談ください。

注意

- 手動保守点検は見晴らしのよい場所で行ってください。
- 手動保守点検は、正確に位置情報を送ることができることを確認しています。手動保守点検はビルの谷間や工場などの屋内は避け、GPS を受信できる見晴らしのよい場所で行ってください。
- 手動保守点検開始後、何らかの理由でヘルプネットセンターとの接続ができなかったときは、ヘルプネットスイッチパネルの赤の表示灯が点滅します。このときはエンジンスイッチ<パワースイッチ>を一度 OFF にして、赤の表示灯の点滅が終了してから手動保守点検をやり直してください。携帯電話サービスエリア内でやり直しても接続されないときには、トヨタ販売店にご相談ください。

表示灯について

ヘルプネットシステムはシステムの作動状態をヘルプネットスイッチパネルの赤と緑の表示灯でお知らせします。

表示灯		動作状態	対処法
緑	赤		
点灯	消灯	動作中のとき (携帯電話サービスエリア内)	緊急通報がご利用になれます。
消灯	点灯	動作中のとき (携帯電話サービスエリア外)	緊急通報ができません。携帯電話サービスエリア内に移動して使用してください。
		関連機器に異常があるとき (携帯電話サービスエリア内)	携帯電話サービスエリア内でいつまでもこの表示が続くときは機器の故障が考えられます。 トヨタ販売店にご相談ください。

表示灯		動作状態	対処法
緑	赤		
点滅	消灯	緊急通報中のとき	緊急通報が終了しても表示が変化しないときは、トヨタ販売店にご相談ください。
		手動保守点検中のとき	手動保守点検が終了しても表示が変化しないときは、トヨタ販売店にご相談ください。
消灯	点滅	緊急通報に失敗したとき	約 10 秒後に表示が変化します。再度緊急通報するか、最寄りの公衆電話などから通報してください。
		自動保守点検を何回も連続して失敗したとき（携帯電話サービスエリア外）	携帯電話サービスエリア内に移動して、手動保守点検をしてください。（→P.226）それでも表示が続く場合は、トヨタ販売店にご相談ください。
		手動保守点検に失敗したとき	携帯電話サービスエリア内に移動してから、再度試みてください。
		関連機器に異常があるとき	いつまでも正常な表示に戻らないときは、機器に異常があることが考えられます。ただちにトヨタ販売店にご相談ください。
		ヘルプネット専用補助バッテリーの寿命が切れたとき	トヨタ販売店で交換してください。
点灯	点灯	エンジンスイッチ<パワースイッチ>を ON にしたとき（約 5 秒間）	20 秒以上続くときは、機器に異常があることが考えられます。トヨタ販売店にご相談ください。
		関連機器に異常があるとき	

表示灯		動作状態	対処法
緑	赤		
消灯	消灯	ヘルプネットサービスの契約が切れているとき	T-Connect サービスを契約してください。
		関連機器が動作していないとき	エンジンスイッチ＜パワースイッチ＞を ON にしてもこの状態が続くときは、トヨタ販売店にご相談ください。
		手動保守点検をしていないとき	手動保守点検を行います。(→P.226)

警告

●表示灯が以下のときには、ヘルプネットシステムに異常があることをお知らせしています。これらの異常表示がされたとき、システムが正常作動せず緊急通報できないことがあります。ただちにトヨタ販売店にご相談ください。

・エンジン＜ハイブリッドシステム＞始動後にヘルプネットスイッチパネルの赤と緑の表示灯が約 5 秒間点灯したあと、赤の表示灯が点滅し続ける。

・エンジン＜ハイブリッドシステム＞始動後、赤と緑の表示灯の点灯がいつまでも続く。

・携帯電話サービス圏内にもかかわらず赤の表示灯がいつまでも続く。

・エンジン＜ハイブリッドシステム＞始動後に赤と緑の表示灯が点灯しない。

●表示灯は、緊急通報可能または不可能状態を正しく表示しないことがあります。例えば、解約時の処理をしていない中古車などに搭載された関連機器を使用するときは、サービスの利用契約を結んでいない状態においても緊急通報可能状態として表示することがあります。

緊急通報できない場合について

以下のようなときには、ヘルプネットサービスが提供できない、またはヘルプネットサービスに支障が出ることがあります。

■ T-Connect 利用契約の不成立または消滅

● 未登録の場合

● 利用契約を解除した場合

■ ヘルプネット利用登録の不成立

● 手動保守点検※を完了していない場合

● 登録情報が更新されていない場合

※手動保守点検は必ず契約者本人が行うようにしてください。

■ 関連機器の異常による通信不能

● 関連機器（ヘルプネットスイッチパネル、ディスプレイ、マイク、スピーカー、通信モジュール、アンテナおよびこれらを接続する電気配線など）の故障

● 12V バッテリーの電圧低下など、関連機器の故障・消耗など

● 車両の衝突・横転時の衝撃や車

両火災などによる、関連機器の損傷

■ **緊急通報センターシステムの位置評定エラー**

GPS のシステムの異常、トンネルや建物の密集地、フェリー降船後などで GPS での位置演算の誤差が大きいとき、位置評定が正常に行われないまたは誤差が大きいときなど

知識

●ヘルプネットは、TEL メインアンテナで GPS 測位した情報から位置情報を取得しています。ナビゲーションシステム接続時は、ナビゲーションシステムが GPS アンテナで測位した情報から位置情報を取得しています。

■ **ヘルプネットセンター／トヨタスマートセンターシステムの異常による通信不能**

● センターシステムの故障など

● センターの火災などによる、センターシステムの損傷

■ **ヘルプネットで利用する通信網に起因する通信不能**

● 本サービスに使用する携帯電話サービスエリア外に、“登録車両”が位置するとき

● 本サービスに使用する携帯電話サービスエリア内であっても、電波の受信状態が悪く、結果として通信ができないとき

● 本サービスに使用する携帯電話網または一般公衆固定網（中継網を含む）が著しく混雑しているなど、通話利用もしくは通話時間が制限され、結果としてヘルプネットによる通信ができないとき

● 本サービスに使用する通信事業者が大規模災害などにより通話が制限され、結果としてヘルプネットによる通話ができないとき

● 本サービスに使用する携帯電話網または一般公衆固定網（中継網を含む）のサービスが事故、保守、工事などのため中断または休止されたとき

■ **緊急通報事業者の都合によるサービス提供の中断または休止**

● センターシステムの保守を、定期的にまたは緊急に行う必要があるとき

● 大規模な事故や災害により、一時的に緊急通報がセンターに集中したとき

■ **その他の要因**

手動通報で、ヘルプネットセンターからの問いかけに対して、通報者から応答が無く、ヘルプネットセンターとして状況把握ができないとき（手動通報後に容体が悪化した、強盗や暴漢に襲われたなど）

故障とお考えになる前に

本機が正常に作動しなくなったときは、以下の表にしたがって確認してください。表にしたがって対処しても作動しないときは、トヨタ販売店にご

相談ください。また、万一異常が起きたら、必ずトヨタ販売店に修理をご依頼ください。

症状	考えられること	処置
緑の表示灯が点灯しない	手動保守点検※が正常に完了していない	手動保守点検※を行います。(→P.226)
緊急通報できない	エンジンスイッチ<パワースイッチ>をONにした直後の点検中ではありませんか。	緑の表示灯が点灯するまで待ってから、ヘルプネットボタンを操作して通報してください。(→P.223)
	電波状態は良好ですか。	電波状態の良好な場所に移動して、手動保守点検を実施してください。(→P.226)
	携帯電話のサービスエリア外で使用していませんか。	
	携帯電話回線が混雑している。	しばらくしてから、または電波状態の良好な場所に移動して、手動保守点検を実施してください。(→P.226)
エンジンスイッチ<パワースイッチ>をOFFにしても赤または緑の表示灯が点滅し続けた	緊急通報中ではありませんか。	「緊急通報を、終了しました」という音声案内が流れてから約60分経過するまで待って、緑の表示灯の点滅が終了することを確かめてください。
エンジン<ハイブリッドシステム>始動後、表示灯が両方共に点灯しない	T-Connect利用契約がされていますか。	T-Connect利用契約をします。

※手動保守点検は必ず契約者本人が行うようにしてください。

警告

- 緊急事態発生時に緊急通報できないときは、最寄りの公衆電話などから通報してください。

マイカーサーチ／マイカーサーチ Plus

マイカーサーチは、ドアロック忘れなどをメールでお知らせします。

マイカーサーチ Plus は、アラーム通知、エンジン始動通知、車両位置追跡、警備員派遣がご利用いただけます。

マイカーサーチ Plus は、別途、契約（有料）が必要となりますので、詳しくはトヨタ販売店へお問い合わせください。

マイカーサーチ

■ うっかり通知（→P.235）

ドアロック忘れやウインドウ（ドアガラス）の閉め忘れ、ハザードランプ（非常点滅灯）の消し忘れなどを、メールでお知らせします。

■ リモート確認（→P.236）

ドア・バックドア・ボンネット・ウインドウ（ドアガラス）の開閉やロックの状態、ハザードランプ（非常点滅灯）の点滅状態、電子キーの車内への置き忘れなどをスマートフォンで確認できます。

■ カーファインダー ※（→P.237）

お車の位置を確認することができます。

※ T-Connect ナビキット装着車

マイカーサーチ Plus

■ アラーム通知（→P.237）

お車のオートアラーム作動を検知した場合、お客様へメールと電話でお知らせします。

■ エンジン始動通知（→P.237）

エンジン<ハイブリッドシステム>の始動を検知し、メールでお知らせします。

■ 車両の位置追跡（→P.238）

お客様の要請により、盗難車の位置を追跡します。

■ 警備員の派遣（→P.238）

車両盗難や車上荒らしの際、お客様の要請により、警備員を派遣します。

詳しくは、T-Connect の Web サイト（https://toyota.jp/tconnectservice/）をご覧ください。

知識

- マイカーサーチ Plus では、車両の異常を検知した場合、サポートアドレスに登録されている電話番号やメールアドレスに通知します。サポートアドレスに登録されていない場合、通知できませんので、必ずご登録ください。また、連絡先に変更があった場合は変更手続きを行ってください。サポートアドレスの登録は、T-Connect のユーザーサイト（https://toyota.jp/tconnectservice/）、専用のスマホアプリ、またはナビ画面 ※1, 2 から行えます。

※1 T-Connect ナビキット装着車

※2 詳細は、別冊「ナビゲーション取扱

書」をご覧ください。

●携帯電話で迷惑メールの拒否設定などをされている場合は、以下の発信元メールを受信できるようにご登録ください。
[登録する発信元メールアドレス]
t-connect.info@s.tconnect.jp

●メールによる通知には遅延が発生することがありますので、あらかじめご了承ください。

●マイカーサーチ Plus では車両の位置情報を使用します。本機が起動していない状態で車両が移動された場合、または電波の届かない場所に車両が移動された場合は、位置情報の変化を確認できません。

●T-Connect 利用契約を解除した場合、メールや電話による通知は送信されません。

初期設定の確認・変更

うっかり通知、アラーム通知 ※1、エンジン始動通知 ※1 の設定の確認・変更は、T-Connect の Web サイト（https://toyota.jp/tconnectservice/）、専用のスマホアプリ、またはナビ画面 ※2, 3 から行えます。

■ 通知設定の一覧

サービス名	通知方法	設定		
うっかり通知	E メール	設定中 ※4	解除中	一時停止中
アラーム通知 ※1	電話	※5		－
	E メール	設定中 ※4	解除中	－
エンジン始動通知 ※1	E メール	設定中	解除中 ※4	－

設定中 … 通知します

解除中 … 通知されません

一時停止中 … 通知を 2 時間停止します。一時停止後、2 時間経過すると自動的に設定中に切り替わります

サポートアドレスにメールアドレスの登録がない場合は、通知されません。

サポートアドレスの登録は、T-Connect のユーザーサイト（https://toyota.jp/tconnectservice/）、専用のスマホアプリ、またはナビ画面 ※2, 3 から行えます。

※1 別途、契約（有料）が必要となりますので、詳しくはトヨタ販売店へお問い合わせください。

※2T-Connect ナビキット装着車

※3詳細は、別冊「ナビゲーション取扱書」をご覧ください。

※4納車時の設定

※5T-Connect 申し込み時の設定

本機の画面から設定を変更する ※

※ T-Connect ナビキット装着車

■ 解除中 → 設定中へ切り替える

1 “TC” スイッチを押す。

2 “ ユーザー設定 ” を選択。

3 “ マイカーサーチ ” を選択。

4 設定したい項目を選択。

● 設定の説明画面が表示されるとき内容を確認し、“ 確認 ” を選択します。

● スイッチが「設定中」にかわり、通知設定が切り替わります。

■ 設定中 → 解除中または一時停止中へ切り替える

1 “TC” スイッチを押す。

2 “ ユーザー設定 ” を選択。

3 “ マイカーサーチ ” を選択。

4 解除または一時停止したい項目を選択。

5 エンジン始動通知を解除するときは “ 解除 ” を選択。

● アラーム通知を解除するときは、手順 6 へ

6 T-Connect 暗証番号またはパスワードを入力する。

● ソフトウェアキーボードで入力します。

● T-Connect 暗証番号を登録しているときは、T-Connect 暗証番号表示窓を選択します。

● T-Connect 暗証番号を登録していないときは、パスワード表示窓を選択します。

7 “ 解除 ” または “ 停止 ” を選択。

● “ 停止 ” は手順 4 で「うっかり通知」を選択すると表示されます。

8 “ 確認 ” を選択。

● 設定が「解除中」にかわり、通知設定が切り替わります。

知識

●一時停止は、「うっかり通知」のみの設定です。

●「T-Connect 暗証番号」は、お客様情報の確認・変更やマイカーサーチ Plus の設定変更など暗証番号が必要なときに入力していただく 4 桁の番号です。

うっかり通知

ドアロック忘れやハザードランプ（非常点滅灯）の消し忘れ、ウインドウ（ドアガラス）の閉め忘れなどを、サポートアドレスに登録してあるメールアドレスに通知します。

うっかり通知の設定・解除を行うことができます。（→P.234）

● エンジンスイッチ<パワースイッチ>を OFF にして数分後、

以下の条件をすべて満たすとうっかり通知メールが配信されます。

・ドア・バックドア・ボンネットがすべて閉まっている

・電子キーが車内未検知

・ドアロック忘れやウインドウ（ドアガラス）の閉め忘れ、ハザードランプ（非常点滅灯）が点滅しているなど

● お車を駐車した場所やお客様の携帯電話が電波状態の悪い所にあるときは、配信されなかったり、配信が遅れたりすることがあります。

● うっかり通知メールはサポートアドレスに配信されます。

● 12V バッテリー脱着後はエンジンスイッチ＜パワースイッチ＞を ON にしないと、うっかり通知メールが配信されません。

● 電子キーが車外にあっても、以下のような場合では車内と判断されることがあります。その際には、うっかり通知メールが配信されない場合があります。

・ドアガラスに近い位置、またはルーフ上に電子キーがある場合。

・ウインドウ（ドアガラス）から車内にある電子キーを車外に出した場合。

・スマートエントリー＆スタートシステムをキャンセルしている場合。

● 電子キーが車内にあっても、以下のような場合では車外と判断されることがあります。その際には、うっかり通知メールが配信される場合があります。

・窓から電子キーを車内に入れた場合。

・電子キーの置き場所（インストルメントパネル上など）、状況（電池切れ、金属製ケースなどの中）、また周囲の電波環境によってスマートエントリー＆スタートシステムが正常に働かないおそれがある場合。※

※詳しくは、別冊「取扱書」をご覧ください。

リモート確認

ドア・バックドア・ボンネット・ウインドウ（ドアガラス）の開閉やロックの状態、ハザードランプ（非常点滅灯）の点滅状態、電子キーの車内への置き忘れなどをスマートフォンで確認できます。

● スマートフォンでご覧いただける、リモート確認画面での情報は、センターの最新値で、アクセス時点での状態ではありません。お車が電波状態の悪い所に駐車してあるときなどは情報が更新できず、前回の情報が表示されることがあります。

・各車両の状態はエンジンスイッチ＜パワースイッチ＞ OFF 後、ドアの開閉などが一定時間なかったときに、また、お車の状態の項目は状態に変化が発生するごとに更新されます。

● 12V バッテリー脱着後は、エンジンスイッチ＜パワースイッチ＞を ON にしないと、リモート確認画面での情報は更新されません。

● スマートエントリー＆スタートシステムをキャンセルしている場合、電子キーが車外にあっても、車内にあると判断されることがあり、リモート確認時にもスマホアプリには「スマートキー車内」と表示されます。

カーファインダー ※

※ T-Connect ナビキット装着車

お車の駐車位置を専用のスマホアプリ※1 の地図上で確認できます。※2

※1 専用のスマホアプリのインストールが必要です。

※2 事前に本機から設定が必要です。6ヵ月経過すると自動的に設定が解除されます。

アラーム通知 ※

※ 別途、契約（有料）が必要となります。

ドアのこじ開け、車内侵入などのオートアラーム作動 ※ を検知した場合、サポートアドレスに登録してあるメールアドレスや電話番号に通知します。

※ 詳しくは、別冊「取扱書」をご覧ください。

アラーム通知の設定・解除を行うことができます。（→P.234）

- 車外に出たあと、ドア・バックドア・ボンネットを閉め、全てのドアをロックしたあと、30秒以上経過すると自動的にオートアラームが設定されます。
- アラーム通知はサポートアドレスに連絡されます。
- アラーム通知の連絡を受けたとき、車両から遠く離れていたり車両が盗難にあった場合は、車両の位置確認／警備員の派遣サービスをご利用ください。
  車両の位置確認／警備員の派遣サービスは、お客様の要請に基づいてオペレーターが車両の位置を追跡します。さらに、お客様の要請に基づき警備員を現場に派遣します。
  ご利用の際はセキュリティデスクにご連絡ください。

・セキュリティデスク専用電話番号
0561 － 57 － 2012
（365 日 24 時間対応）

- 12V バッテリーがあがった場合、アラーム通知は行われません。
- 車両の室内温度が非常に高いとき、アラーム通知の送信が行われないことがあります。
- 通信環境が整わない状況等によりアラーム通知の送信が行われない場合、送信が完了するまで継続されます。
- アラーム通知が未送信状態で、アラームが複数回作動した場合は、最新のアラームを通知します。
- ヘルプネット通報中は、通報が終わるまで、アラーム通知は行われません。
- T-Connect 利用契約を解除した場合、アラーム通知は送信されません。

エンジン始動通知 ※

※ 別途、契約（有料）が必要となります。

エンジン<ハイブリッドシステム>の始動を検知し、サポートアドレスに登録してあるメールアドレスに通知します。

お車から離れるとき、専用のスマホアプリなどから設定しておくと、

第三者によるエンジン<ハイブリッドシステム>始動がわかります。

エンジン始動通知の設定・解除を行うことができます。（→P.234）

- エンジン始動通知はサポートアドレスに連絡されます。
- エンジン始動通知の連絡を受けたとき、車両から遠く離れていたり車両が盗難にあった場合は、車両の位置確認／警備員の派遣サービスをご利用ください。
  車両の位置確認／警備員の派遣サービスは、お客様の要請に基づいてオペレーターが車両の位置を追跡します。さらに、お客様の要請に基づき警備員を現場に派遣します。
  ご利用の際はセキュリティデスクにご連絡ください。

・セキュリティデスク専用電話番号
0561 － 57 － 2012
（365 日 24 時間対応）

- オプション設定にて、エンジン始動通知の連絡を受けたあと、エンジンスイッチ<パワースイッチ>が OFF になったことを検知し、通知させることができます。

車両の位置追跡 ※

※ 別途、契約（有料）が必要となります。

お客様の要請により、オペレーターが盗難車両の位置を追跡します。

ご利用の際はセキュリティデスクにご連絡ください。

セキュリティデスク専用電話番号
0561 － 57 － 2012
（365 日 24 時間対応）

車両の位置追跡を依頼するときには、警察への被害届が必要となります。

警備員の派遣 ※

※ 別途、契約（有料）が必要となります。

お車が盗難にあったり、オートアラーム作動を検知した場合にお客様の要請により、警備員を現場に派遣します。

ご利用の際はセキュリティデスクにご連絡ください。

セキュリティデスク専用電話番号
0561 － 57 － 2012
（365 日 24 時間対応）

- 警備員が出動してから 1 時間以内は無料です。1 時間を超える場合は、オペレーターから延長するかどうかの確認を行います。
  延長した場合の利用料金は、トヨタ販売店または T-Connect の Web サイト（https://toyota.jp/tconnectservice/）でご確認ください。
- 警備員は盗難車両の確保はいたしません。追跡調査のみ行います。
- 警備員の派遣を依頼するときには、警察への被害届けが必要となります。

リモートメンテナンスメール／ e ケア／マイカーカスタマイズ

リモートメンテナンスメール

走行距離や使用期間に応じて、定期点検やオイル交換・タイヤ交換などのメンテナンス内容を、T-Connect ユーザーサイト、専用のスマホアプリ、またはお車 ※ にメールでご連絡します。

電話や本機の画面から、その場でトヨタ販売店への入庫予約をおこなうことができます。

リコール情報等、お車に関する大切なお知らせを、トヨタまたはトヨタ販売店から通信モジュール（DCM）を利用し、お車にメールでご連絡する場合があります。

※ T-Connect ナビキット装着車

e ケア

お車の状態に関する情報をトヨタスマートセンターで取得し、カーライフに役立つ情報を提供するサービスです。

車両に OBD（On-Board Diagnostic）Ⅱ通信を行う機器を接続している場合、正しくサービスが行えない場合があります。

走行アドバイス ※1

お車のエンジン＜ハイブリッドシステム＞・ブレーキ関係・オイルなどの項目について、メーター内の警告灯が点灯しトヨタスマートセンターが異常を検知すると、本機にてお客様にご連絡します。

内容について、お車から発信される情報をもとに e ケアコールセンターまたはトヨタ販売店 ※2 から最適なアドバイスが受けられます。

● すべての警告灯の点灯に対し、本機への通知を送信するわけではありません。

※1 サービスのご利用には、リモートメンテナンス店の登録が必要です。登録したリモートメンテナンス店を変更する場合は、トヨタ販売店にご連絡ください。

※2 販売店での対応は、営業時間内に限ります。

ヘルスチェックレポート ※1

エンジンオイル量、電子キーのバッテリー、警告灯点灯状態等についてスマホアプリ ※2 で確認できます。また、トヨタ販売店からはお車から発信される情報をもとに最適なメンテナンスのアドバイスが受けられます。

※1 サービスのご利用にはリモートメンテナンス店の登録が必要です。登録したリモートメンテナンス店を変更する場合は、トヨタ販売店にご連絡ください。

※2 スマホアプリのインストールが必要です。

マイカーカスタマイズ

車両カスタマイズ項目の一部を遠隔で設定変更するサービスです。

● スマホアプリ ※ のご利用、また

はトヨタ販売店へのご依頼により、設定変更ができます。

※ スマホアプリのインストールが必要です。

こんなメッセージが表示されたときは

次のようなメッセージが表示されたときは、処置内容や画面の指示にしたがって操作してください。

故障とお考えになる前に

メッセージ	原因	処置
TC オンラインの利用手続きが必要です T-Connect のオンラインから手続きできます	T-Connect の利用手続きがされていない。	利用手続きを行ってください。（→P.213）
緊急通報中です このサービスはご利用できません	ヘルプネットの緊急通報中のため。	緊急通報が終了してから、ご利用ください。 ●誤操作などでヘルプネットセンターに接続されたときは、ヘルプネットセンターのオペレーターに理由を告げて、通報を終了してください。
オペレーターと通話中です 終了してからご利用ください	オペレーターサービスを利用中のため。	オペレーターサービスが終了してからご利用ください。※1, 2
電話機が使用中です 通話を終了してからご利用ください	ハンズフリー通話中のため。	通話を終了してからご利用ください。
通話中は操作できません		
これ以上登録できません 設定・編集の T-Connect のプライバシー設定で削除してください	ブックマークの最大登録数を超過したため。	不要なブックマークを削除してください。※1, 2
これ以上 G メモリ地点を登録できません 設定・編集のナビから不要な G メモリ地点情報を削除してください	G メモリ地点情報の最大保存数を超過したため。	不要な G メモリ地点情報を削除してください。※1, 2

メッセージ	原因	処置
通信ロック中です ロックを解除してからご利用ください	通信ロックされている。	通信ロックを解除してください。 通信ロック解除のための暗証番号を忘れた場合は、プライバシー設定画面で“暗証番号を忘れた場合”を選択して確認してください。※1, 2
回線が混みあっている等により表示できませんでした しばらく待ってから再度操作してください	サービスエリア圏外にいる。 ●認証に失敗した。 ●通信環境が悪い。 ●通信機器の接続状態に異常がある。	しばらくしてから場所を変えて、数回試してみてください。
時刻データが古いため通信できません 移動して GPS を受信してください	GPS が受信できていない。	GPS が受信できる場所に移動してください。
回線が混雑しています しばらく待ってご利用ください	発信規制中である。	しばらくしてから場所を変えて、数回試してみてください。
通話エリア外です 通話エリアに移動してご利用ください	サービスエリア圏外にいる。	しばらくしてから場所を変えて、数回試してみてください。
回線が混みあっている等により情報を取得できませんでした しばらく待ってから再度操作してください	サービスエリア圏外にいる。 ●認証に失敗した。 ●通信環境が悪い。 ●通信機器の接続状態に異常がある。	しばらくしてから場所を変えて、数回試してみてください。

※1 T-Connect ナビキット装着車

※2 詳細は、別冊「ナビゲーション取扱書」をご覧ください。

さくいん

五十音順さくいん 244
アルファベット順さくいん 248

五十音順さくいん

お

オーディオ & ビジュアル 74
オーディオ & ビジュアルで使用できるメディア／データについて 106
オーディオシステムを ON/OFF する...74
基本操作 74
操作画面とオーディオコントロールスイッチ 74
ソースを選択する.....75
オーディオスイッチ 74
オーディオコントロールスイッチ.....74
オーディオの設定 105
オーディオ設定画面について 105
共通設定をする.....105
音の設定を変更する 77
音声の設定をする 68
音声設定画面を表示する 68

か

画質調整.....79
画面の調整・設定を変更する.....34
画質調整画面を表示する 34
画面モードについて 78

き

共通設定を変更する 61
共通設定画面を表示する 61
個人情報を初期化する 63
時刻を設定する.....62
ソフトウェア更新について 63
緊急警報放送（EWS）.....89
緊急通報.....221

こ

個人情報初期化 63

し

車両設定を変更する 69
車両設定画面を表示する 69
メンテナンス項目を設定する.....69
情報画面について 21
情報画面を表示する 21
初期画面について 24
システムを再起動する 24
メンテナンスの案内表示について.....24

す

ステアリングスイッチで操作する（オーディオ）.....104
ステアリングスイッチで操作する（ハンズフリー）.....185
ステータスアイコンについて.....17
Bluetooth 機器の接続状態表示について 18
受信レベル表示について 17
ステータスアイコンの説明.....17
電池残量表示について 18

せ

設定・編集（オーディオ）.....105
設定・編集（電話）.....195
設定画面について 20
設定・編集画面を表示する.....20
設定を変更する.....61
BEEP 音通知 61
アニメーション表示 61
オープンソフトウェア情報.....61
言語設定 61
個人情報初期化.....61
スイッチ感度レベル 61
操作画面継続表示.....61
ソフトウェア更新.....61

ソフトウェア更新設定 61, 67
テーマ切替 61
Home 画面カスタマイズ 61
文字学習履歴の削除 61
文字学習履歴の保存 61
モバイルサービス選択 61

そ

ソフトウェア更新 63
USB メモリーを使って更新する 64
ソフトウェア更新設定を変更する 67
本機の通信機能を使って更新する 65

た

タッチスクリーンを操作する 25
タッチスクリーンの操作方法 25
タッチスクリーンをお使いになるときは 26

ち

地上デジタルテレビ 82
地上デジタルテレビの操作 82
各種切替画面について 89
緊急警報放送 (EWS) について 89
故障とお考えになる前に 90
こんなメッセージが表示されたとき 90
初回起動時について 82
地上デジタル TV を視聴する 83
地上デジタルテレビ用アンテナ 76

つ

通信モジュール（DCM）について .209
通話中の操作 191
受話音量を調整する 192
送話音量を調整する 192
送話音をミュート（消音）する 193
通話中画面 192
通話を転送する 193
10 キー入力する 192
トーン送出する 192
ナビ案内音声をミュート（消音）する193
割込通話を操作する 193

て

ディスプレイと操作スイッチ 10
各部の名称 10
電子番組表（EPG） 85
電話帳を編集する 196
携帯電話の電話帳データを転送する ... 198
電話帳／履歴自動転送を設定する 197
電話帳に連絡先を登録する 200
電話帳のデータを削除する 201
電話帳のデータを編集する 200
履歴データを削除する 200
ワンタッチダイヤルを削除する 200
ワンタッチダイヤルを登録する 199
電話を受ける 188
着信を拒否する 189
電話を保留する（応答保留） 189
電話をかける 185, 190
音声認識で発信する 190
携帯電話本体から発信する 191
ダイヤル発信する 187
電話画面を表示する 185
電話帳から発信する 187
ナビ画面から発信する 190
履歴から発信する 186
ワンタッチ発信する 187
電話を切る 188

と

時計を調整する 62

に

入力端子.....77
USB.....77

は

バックガイドモニター.....130
運転時の注意について.....130
ガイド画面を表示する.....131
知っておいていただきたいこと.....141
並列駐車（車庫入れ）時に使用する...132
バックガイドモニターの注意点.....137
カメラについて.....138
画面と実際の路面との誤差について...138
画面に映る範囲について.....137
立体物が近くにあるとき.....140
パノラミックビューモニター.....143
拡大機能について.....164
カメラスイッチ.....143
シースルービュー／ムービングビューについて.....146
シースルービュー／ムービングビューの表示.....146
知っておいていただきたいこと.....176
ドアミラー格納時の表示について.....162
パノラミックビュー&バックビュー／ワイドバックビュー／バックビューについて.....154
パノラミックビュー&バックビュー／ワイドバックビュー／バックビューの表示.....154
パノラミックビュー&ワイドフロントビューについて.....148
パノラミックビュー&ワイドフロントビューの表示.....148
パノラミックビューモニター画面表示条件について.....143
パノラミックビューモニターについて143
ボディカラーを設定する.....147
両サイドビューについて.....151
両サイドビューの表示.....151
ハンズフリーについて.....180
Bluetooth オーディオと同時に使用するとき.....181
Bluetooth 携帯電話について.....180
お車を手放すとき.....182
知っておいていただきたいこと.....202
通話について.....182
ハンズフリーが使用できないとき.....181
ハンズフリーの準備をする.....183
Bluetooth 接続の再接続について.....184
携帯電話を接続する.....183
携帯電話を登録する.....183
ハンズフリーの設定を変更する.....195
音の設定をする.....195
電話帳の設定・編集をする.....196
電話の設定・編集をする.....195
電話の通知／表示設定を変更する.....195

へ

並列駐車をする（駐車ガイド線表示モード）.....135
画面の見方について.....135
駐車する.....136
並列駐車をする（予測進路線表示モード）.....133
画面の見方について.....133
駐車する.....134
ヘルプネット（エアバッグ連動タイプ）.....217
各部の名称とはたらき.....217
緊急通報できない場合.....230
緊急通報をする.....221
故障とお考えになる前に.....231
表示灯について.....228
ヘルプネットをお使いになる前に.....220

保守点検をする.....225

ほ

ポータブルオーディオ..... 95, 98, 99

ま

マイカーカスタマイズ.....239
マイカーサーチ / マイカーサーチ Plus
.....233
アラーム通知.....237
うっかり通知.....235
エンジン始動通知.....237
カーファインダー.....237
警備員の派遣.....238
車両の位置追跡.....238
初期設定の確認・変更.....234
マイカーサーチについて.....233
リモート確認.....236
マルチインフォメーションディスプレイとマルチメディアの連携.....35

め

メニュー画面について.....15
メニュー画面の操作.....15
メンテナンス項目を設定する.....69
パーソナル項目を設定する.....70
販売店の情報を修正・入力する.....71
販売店の設定をする.....71
メンテナンス設定を個別に更新する.....71
メンテナンス設定を消去する.....70
メンテナンス設定をすべて更新する.....71

も

文字・数字を入力する／リスト画面を操作する.....29
ソフトウェアキーボードに表示されるスイッチについて.....29
入力モードの切り替え.....30
複数の候補から項目を選ぶ.....32
文字・数字の入力のしかた.....29
予測変換候補を表示する.....30
リスト画面.....31

ら

ラジオの操作.....80
交通情報を聴く.....81
ラジオを聴く.....80
ワイド FM(FM 補完放送) について.....81

り

リモートメンテナンスメール／ e ケア／マイカーカスタマイズ
e ケア.....239
マイカーカスタマイズ.....239
リモートメンテナンスメール.....239
利用手続きをする（T-Connect）....213
解約手続きについて.....214
継続手続きについて.....214
本機で解約手続きをする.....214
申込みをする.....213
利用開始状況を確認する.....213
利用開始操作をする.....213

次の装備は、別冊「取扱書」をお読みください。

・車両カスタマイズ
・クリアランスソナー
・リヤクロストラフィックアラート
・燃費情報
・エネルギーモニター（ハイブリッド車）

アルファベット順さくいん

A

AM ラジオ.....80
Android Auto の操作 98
Android Auto を再生する 98
Apple CarPlay/Android Auto.....55
Android Auto を開始する 56
Apple CarPlay を開始する 55
知っておいていただきたいこと.....59
ASL.....77
AUDIO スイッチ 75

B

Bluetooth オーディオの操作 99
Bluetooth オーディオについて 99
Bluetooth オーディオを再生する 100
Bluetooth 機器を接続する 36
Bluetooth 機器を登録する.....36
オーディオ操作画面から登録する.....38
Bluetooth の設定をする 38
Bluetooth 機器の登録を削除する 41
Bluetooth 機器を追加登録する 41
Bluetooth の各種設定をする 38
Bluetooth の仕様、対応プロファイルについて 42
使用する Bluetooth 機器を選択する ...39
本機の詳細設定を確認・設定する.....41

E

EPG 85
e ケア 239

F

FM ラジオ 80

H

Home 画面を操作する 27

I

iPod/iPhone（Apple CarPlay）の操作 95
iPod/iPhone（Apple CarPlay）を操作する
音楽ファイルを再生する 96
iPod について..... 109

M

Miracast® の操作..... 102
Miracast® の画面表示について..... 103
Miracast® を操作する 103
機器を接続する..... 102
接続できる機器について 102

P

POWER VOLUME ノブ 74

S

SmartDeviceLink ™ Apps 50
SmartDeviceLink ™ Apps 画面を表示する 50
SmartDeviceLink ™ Apps の設定をする 53
アプリをアップデートする.....51
知っておいていただきたいこと.....54
スマートフォンの接続について.....50

T

T-Connect について.....211
こんなメッセージが表示されたとき ...241

U

USB 端子について 77
USB メモリーについて 110
USB メモリーの操作.....92
音楽ファイルを再生する 92
動画ファイルを再生する 93

W

Wi-Fi® ネットワークに接続する.....44
Wi-Fi® 機器使用上の注意事項について 48
Wi-Fi® 通信設定をする.....44
Wi-Fi® について 47

お問い合わせ、ご相談は
下記へお願いいたします。

トヨタ自動車株式会社　お客様相談センター

全国共通・フリーコール

0800-700-7700

オープン時間　365日　9:00～18:00

所在地　〒450－8711　名古屋市中村区名駅4丁目7番1号

ご愛用車のお問い合わせは、自動車検査証（車検証）を
ご用意頂くとスムーズな対応が可能です。

「個人情報保護方針」については、
https://toyota.jp/privacy_statement/ にて
掲載しております。

「リコール等情報」については、
https://toyota.jp/recall/index.html にて
掲載しております。

トヨタ自動車株式会社
https://toyota.jp

フ-21

M 42D39
01999ー42D39
ZI-2021年 1 月20日
2020年 8 月 7 日 初版
2021年 1 月27日 2版

ラブ4/ラブ4 ハイブリッド

マルチメディア